

# シーオーレ新宮大規模改修工事 (建築)

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・目次	—	A-41	2・5階空調機械室詳細図	—	A-82	部分詳細図1	—
A-01	改修特記仕様書1	—	A-42	3・5階設備スペース詳細図	—	A-83	部分詳細図2	—
A-02	改修特記仕様書2	—	A-43	バルコニー詳細図	—	A-84	部分詳細図3	—
A-03	改修特記仕様書3	—	A-44	建具キープラン1(改修前)	1/150	A-85	部分詳細図4	—
A-04	改修特記仕様書4	—	A-45	建具キープラン1(改修後)	1/150	A-86	部分詳細図5	—
A-05	外壁改修標準仕様図	—	A-46	建具キープラン2(改修前)	1/150	A-87	外壁劣化改修図1	1/100
A-06	工事区分表	—	A-47	建具キープラン2(改修後)	1/150	A-88	外壁劣化改修図2	1/100
A-07	付近見取図・配置図	1/300	A-48	建具表1	1/100	A-89	外壁劣化改修図3	1/100
A-08	外部仕上表	—	A-49	建具表2	1/100	A-90	外壁劣化改修図4	1/100
A-09	内部仕上表1	—	A-50	建具表3	1/100	A-91	外壁劣化改修図5	1/100
A-10	内部仕上表2	—	A-51	建具表4	1/100	A-92	外壁劣化改修図6	1/100
A-11	内部仕上表3	—	A-52	1階天井伏図(改修前)	1/100	A-93	外壁劣化改修図7	1/100
A-12	内部仕上表4	—	A-53	1階天井伏図(改修後)	1/100	A-94	外構図1	—
A-13	内部仕上表5	—	A-54	2階天井伏図(改修前)	1/100	A-95	外構図2	—
A-14	1階平面図(改修前)	1/100	A-55	2階天井伏図(改修後)	1/100	A-96	外構図3	—
A-15	1階平面図(改修後)	1/100	A-56	3階天井伏図(改修前)	1/100	A-97	外構劣化改修図	—
A-16	2階平面図(改修前)	1/100	A-57	3階天井伏図(改修後)	1/100	A-98	外構部分詳細図1	—
A-17	2階平面図(改修後)	1/100	A-58	4・5階天井伏図(改修前)	1/100	A-99	外構部分詳細図2	—
A-18	3階平面図(改修前)	1/100	A-59	4・5階天井伏図(改修後)	1/100	A-100	外構部分詳細図3	—
A-19	3階平面図(改修後)	1/100	A-60	1階トイレ詳細図1	—	A-101	外構部分詳細図4	—
A-20	4・5階平面・屋根伏図(改修前)	1/100	A-61	1階トイレ詳細図2	—	A-102	外構部分詳細図5	—
A-21	4・5階平面・屋根伏図(改修後)	1/100	A-62	2階トイレ詳細図	—	A-103	外構部分詳細図6	—
A-22	立面図1(改修前)	1/100	A-63	3階トイレ詳細図	—	A-104	外部仮設計画図(参考)	1/200
A-23	立面図1(改修後)	1/100	A-64	4階トイレ詳細図	—	A-105	内部仮設計画図(参考・1階施工時)	1/200
A-24	立面図2(改修前)	1/100	A-65	1階湯沸室 流し台詳細図	—	A-106	内部仮設計画図(参考・2階施工時)	1/200
A-25	立面図2(改修後)	1/100	A-66	2階事務室 ミニキッチン詳細図	—	A-107	内部仮設計画図(参考・3階施工時)	1/200
A-26	立面図3(改修前)	1/100	A-67	3階湯沸室 流し台詳細図	—	A-108	内部仮設計画図(参考・4階施工時)	1/200
A-27	立面図3(改修後)	1/100	A-68	4階事務室 ミニキッチン詳細図	—			
A-28	断面図1	1/100	A-69	1階多目的ホール廻り詳細図1	—			
A-29	断面図2	1/100	A-70	1階多目的ホール廻り詳細図2(改修前)	—			
A-30	断面図3	1/100	A-71	1階多目的ホール廻り詳細図3(改修前)	—			
A-31	矩計図1	1/50	A-72	1階多目的ホール廻り詳細図4(改修後)	—			
A-32	矩計図2	1/50	A-73	1階多目的ホール廻り詳細図5(改修後)	—			
A-33	矩計図3	1/50	A-74	1階多目的ホール廻り詳細図6	—			
A-34	矩計図4(改修前)	1/50	A-75	1階ステージ備品撤去図	—			
A-35	矩計図4(改修後)	1/50	A-76	1階ステージ備品撤去図2	—			
A-36	矩計図5	1/50	A-77	1階ホール・廊下詳細図1	—			
A-37	矩計図6(改修前)	1/50	A-78	1階ホール・廊下詳細図2	—			
A-38	矩計図6(改修後)	1/50	A-79	2階図書館詳細図1	—			
A-39	屋外階段詳細図	—	A-80	2階図書館詳細図2	—			
A-40	2階陸屋根詳細図	—	A-81	2階図書館詳細図3	—			





5 建具 改修 工事	15. ガラス ブロック (中空)	(8.14.5) 表面形状 (JIS A5212) モジュール呼び寸法による区分 (長さ×高さ) 厚さによる区分 正方形 125×125 160×160 80 200×200 320×320 95 長方形 250×125 320×160 125 品質等 ガラスの種類 柄 目地色 金属枠 耐火性能 一般ガラス 無 白 アルミニウム製 (表面処理) 規定しない 乳白ガラス 有 グレー (有) カラーガラス ステンレス製 (分間) 熱反射ガラス (表面仕上)
	6 内装 改修 工事	15. 視覚障害者用 床タイル ⑩ ビニル幅木 ⑪ カーペット 敷き 18. 合成樹脂塗床 19. フローリング 張り 20. 畳敷き 21. 石こうボード その他ボード 張り 22. 遮音シール材
6 内装 改修 工事	① 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より側面600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま 図示の範囲
	2. 既存床の撤去 ・下地補修 ③ 改修後の 床の清掃範囲 4. 既存壁の撤去 ・下地補修 ⑤ 木材 ⑥ 集成材 ⑦ 床張り用合板 8. 防蟻・防蟻 ・防虫処理 ⑨ 軽量鉄骨天井 下地材 インサート あと施工アンカーの 引抜き試験 耐震性を考慮した補強 ※ 行わない ⑩ 行う (補強方法と補強箇所は図示による) 耐風圧性を考慮した補強 (ピロティ、屋外軒天井等) ※ 行わない ⑪ 行う (補強方法と補強箇所は図示による) ⑫ 軽量鉄骨 壁下地材 ⑬ ビニル床 シート張り ⑭ ビニル床 タイル張り 14. ビニル床 タイル・ビニル 床シートの 特殊機能	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 (6.1.3) 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 (6.1.3) 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 (6.1.3) 合成樹脂塗床の除去方法 (6.2.2) 目荒工法 機械的除去工法 当該室全体 図示の範囲 (6.2.2) 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 (6.3.2) ※ <6.3.2>による ( ) 表面仕上げの程度 A種 ※ B種 C種 (6.5.1) 含水率 下地材 ※ A種 B種 造作材 ※ A種 B種 (6.5.2)(表6.5.1) 造作材の材面の品質 ※ A種 B種 (6.5.2)(表6.5.2) 代用樹種を使用しない箇所 ※ なし あり ( ) 造作用集成材は<6.5.2(c)(ii)>による (6.5.2) 見付け材面等 等級 JASによる集成材 1等 2等 ※ JAS集成材1等同等 その他 単材の樹種 単材の厚さ(mm) 1.0~1.5 1.0~1.5 床下貼り用合板 (6.5.8) ※ JASの構造用合板 種類 2等以上 C-D以上 ( ) 薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 (6.5.5) 適用部位 ( ) 保存処理性能区分 K2 K3 K4 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った 箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※ K1 野縁などの種類 (6.6.2)(表6.6.1) 屋内 ※ 19型 25型 (室名: ) 屋外 19型 ※ 25型 インサート (6.6.4) ⑩ 既存インサートを使用する あと施工アンカーを設ける (6.6.4) あと施工アンカーの引抜き試験 ※ 行わない ※ 行う (6.6.4) 耐震性を考慮した補強 ※ 行わない ⑩ 行う (補強方法と補強箇所は図示による) (6.6.4) 耐風圧性を考慮した補強 (ピロティ、屋外軒天井等) ※ 行わない ⑪ 行う (補強方法と補強箇所は図示による) (6.7.3)(表6.7.1) スタッド、ランナーなどの種類は(表6.7.1)による。 (6.7.3)(表6.7.1) ※ JIS A 6519のJIS表示認証製品 (6.8.2)(6.8.3) JIS A5705のJIS表示認証製品 (6.8.2)(6.8.3) 種類 記号 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法 ⑩ 発泡層のないもの ※ FS ※ 無地 ※ 2.0 ※ 帯電防止 ※ 熱溶接 ※ TS ※ マーブル ※ 2.5 ※ 耐動荷重 ※ 突付け ⑪ 発泡層のあるもの ※ HS ⑩ 木目調 ⑩ 6.0 ※ 衝撃吸収 ※ 熱溶接 ※ 高耐久UV ※ 突付け ⑫ ⑩ KS ⑩ 木目調 ⑩ 4.5 ※ ナワックス ※ 熱溶接 ※ 抗カビ ※ 防カビ性 ※ 衝撃吸収 ※ 耐動荷重 (6.8.2) JIS A5705のJIS表示認証製品 (6.8.2) 種類 記号 寸法 厚さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※ KT ※ 300×300 ※ 2.0 ※ 帯電防止 ※ 耐動荷重 ※ ホモジニアス ※ FT ※ 300×300 ※ 2.0 ※ 帯電防止 ※ 耐動荷重 ※ 450×450 ※ 2.0 ※ 帯電防止 ※ 耐動荷重 (6.8.2) 帯電防止 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2~3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 <sup>0</sup> オーム未満 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 <sup>0</sup> オーム未満

6 内装 改修 工事	15. 視覚障害者用 床タイル ⑩ ビニル幅木 ⑪ カーペット 敷き 18. 合成樹脂塗床 19. フローリング 張り 20. 畳敷き 21. 石こうボード その他ボード 張り 22. 遮音シール材
6 内装 改修 工事	25. セルフレベ リング材張り
7 塗装 改修 工事	① 防火材料 ② 錆止め 塗料塗り ③ 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) ④ 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP)
8 1 耐 震 改 修 工 事	① 鉄筋の種類 ② 溶接金網 ③ 鉄筋の継手 4. 柱の帯筋 5. 圧接完了後の 抜取試験
8 1 耐 震 改 修 工 事	① 設計基準強度 ② レディー ミクス コンクリート ③ 打放し 仕上げの種類 ④ セメントの 種類 ⑤ 骨材

8 1 耐 震 改 修 工 事	② 壁紙張り ④ タイル張り
8 1 耐 震 改 修 工 事	① 防火材料 ② 錆止め 塗料塗り ③ 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) ④ 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP)
8 1 耐 震 改 修 工 事	① 鉄筋の種類 ② 溶接金網 ③ 鉄筋の継手 4. 柱の帯筋 5. 圧接完了後の 抜取試験
8 1 耐 震 改 修 工 事	① 設計基準強度 ② レディー ミクス コンクリート ③ 打放し 仕上げの種類 ④ セメントの 種類 ⑤ 骨材

8 1 耐 震 改 修 工 事	⑥ 混和材料 7. 軽量 コンクリート 8. 無筋 コンクリート 9. グラウト材 10. 底底等の 均しモルタル ⑪ 型 枠 12. コンクリート の打込み工法 13. 既存部分の 撤去
8 1 耐 震 改 修 工 事	① あと施工 アンカー 2. あと施工 アンカーの 試験 3. 埋込配管等 の調査
8 1 耐 震 改 修 工 事	1. 鉄骨製作工場 ② 鋼材の種類 3. 高力ボルト ④ 溶接部の試験 5. 錆び止め塗装 6. 耐火被覆
8 1 耐 震 改 修 工 事	1. 工 法 2. 既存部分の 撤去
8 1 耐 震 改 修 工 事	1. スリットの 種類 2. スリットの 充填材


変更履歴	月、日	月、日	工事名称
			シーオーレ新宮大規模改修工事

図面名称	縮尺	管理No.
改修特記仕様書 3	NoScale	60-030

担当者	管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号	照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号	担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号	日付	2026年3月	図面No.	A / 03
-----	-----------------------------	------------------------------	---------------------------	----	---------	-------	--------

図面名称	縮尺	管理No.
改修特記仕様書 3	NoScale	60-030

9 1 環 境 配 慮 改 修 工 事 (ア ス ベ ス ト 含 有 建 材 の 処 理 工 事)	① 一般事項 石綿等の取扱については、大気汚染防止法(昭和43年6月10日法律第97号)(以下、「大防法」という。)及び石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿規則」という。)を遵守すること。 施工調査 ・ 行わない ※ 行う (大防法第18条の17により、同法の特定工事に該当するか事前調査を行うこと。調査結果は、図面等に記録し、書面により発注者に説明の上、提出すること。 特定工事に該当する場合、受注者は大防法第18条の15による届出書の案を作成し、監督職員に提出すること。 調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。)	9 1 環 境 配 慮 改 修 工 事 (ア ス ベ ス ト 含 有 建 材 の 処 理 工 事)	② 除去工事 共通事項 アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督職員に提出する。 作業主任者の選出 石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。 除去作業者の教育 作業者は、就業時に石綿規則第27条に基づく教育を受けた者とする。 また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。 ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。 表示及び揭示 更衣室など見やすい箇所に次の表示及び揭示を行う。 ※ アスベスト作業主任者名と職務内容 ※ 関係者以外立ち入り禁止 ※ 喫煙・飲食の禁止 ※ 「アスベスト除去作業中」の表示 ※ アスベストの有害性 ※ 取り扱上の注意事項 ※ 使用するべき保護具 周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。 ※ 「建築物等の解体等々の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、騒音防止措置等)」	9 1 2 環 境 配 慮 改 修 工 事 (断 熱 化 工 事)	③ 断熱材 断熱材の打込み及び現場発泡工法 (9.5.2~3) 種 類 箇 所 厚 さ (mm) 備 考 ※ ポリスチレンフォーム(発泡プラスチック保温材) ※ A種ビーズ法 ※ A種押出法 ※ 2種 b JIS A 9511のJIS表示認証製品 ※ A種押出法 3種 b (スキム層付き) ※ A種 ※ 接合部分及び屋根防水部分ピット内部 ※ 硬質ウレタンフォーム保温材 ※ A種 ※ ※ フェノールフォーム保温材 ※ A種 ※ JIS A 9511のJIS表示認証製品 ※ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材 ※ A種 1 ※ ※ 20 ※ JIS A 9526による難燃性・2級 ※ 3級 ※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。 上記以外に用いる断熱材 種 類 箇 所 厚 さ (mm) 備 考 ※ JIS A 発泡プラスチック保温材 ※ A種ビーズ法 ※ A種押出法 ※ 2種 b JIS A 9511のJIS表示認証製品 ※ A種押出法 3種 b (スキム層付き) ※ A種 ※ 接合部分及び屋根防水部分ピット内部 ④ グラスウール保温材 ※ ※ 100 ※ ※ 24K品 ※ 50 ※ 32K品 ※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ・ 防湿層ポリエチレンフィルム(0.15)張り (重ね100)	13 ユ ニ コ ド 及 び そ の 他 の 工 事	④ フリー アクセス フロア <20.2.2> 施工場所 工法 仕上り高(mm) 適用地震時水平力(Ks) 耐荷重性能(N) 表面仕上げ 2階受付 ・ 溝工法(置敷工法) 50mm ・ 1.0G ※ 0.6G ・ 3,000 ・ 5,000 ・ 帯電防止床タイル ・ タイルカーペット ボーダー部 ※ 一般部分の仕様準ずる 図示による 床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。 配線取出し用切り欠きパネルは1枚/㎡以上とする。 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ※ なし ・ 有り( ※ 固定式 ・ 可変式 ) 施工箇所は図示 2. 可動間仕切 (パーテーション) <20.2.3> 構造形式による種類 構成材の種類 パネル表面材 遮音性 防火性能 3. 移動間仕切 (スライディングドア) <20.2.4> パネルの操作方法による種類 パネル表面材の材質及び仕上り 4. トイレブース 表面材 メラミン化粧板(特注色) <20.2.5> 幅木 ステンレス製 H=60 フレーム アルミ製 扉 厚400中心吊りアールエッジ(表面近似色塗装) 帽子掛け戸当たり付き 5. 階段滑り止め (ノンスリップ) 材 種 ステンレス(SUS304) <20.2.6> ビニールタイヤ入り(幅約35mm) 取り付け方法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法 6. 床目地棒 ステンレスFB(SUS304) t5~6×H12 <20.2.7> (床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。) 7. 鏡 <20.2.9> 誘導標識 市販品 室名札 アクリル板 <20.2.10> 施工箇所 材 種 寸 法 形 式 天 井 ※ アルミニウム製 ※ 450×450 ※ 目地タイプ ・ 600×600 ・ 縞線タイプ 床 ※ アルミニウム製 ※ 450×450 ※ 一般型貼用 ・ 600×600 ・ 一般型充填用 ⑤ ブラインド <20.2.14> ※ 図示
	① 一般事項 アスベスト含有分析 (9.1.1) ・ 行わない ○ 行う(分析結果は監督職員に提出する。) 調査箇所 ※ 図示 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。 材 料 名 定性分析 定量分析 ・ (試料数: ) ・ (試料数: ) ・ (試料数: ) ・ (試料数: ) アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1) ・ 行わない ※ 行う(測定する時期・場所等は下表による)計5回 「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第一部- :光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法適用による 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工箇所ごと) 室 名 等 ・ 測定1 処理作業前 処理作業室内(注1) ※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点 ・ 測定2 施工区画周辺又は敷地境界 ※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内(注1) ※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ※1点 ・ 点 ゾーンのTOP ※1点 ・ 点 (空気の流れを確認) ※1点 ・ 点 ※1点 ・ 点 ・ 測定5 負圧・粉じん装置の排出吹出口(除じん装置の性能確認) ※1点 ・ 点 ※1点 ・ 点 ※1点 ・ 点 ※1点 ・ 点 ・ 測定6 施工区画周辺又は敷地境界 ※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点 ・ 測定7 処理作業後シート 処理作業室内 ※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点 ・ 測定8 施工区画周辺又は敷地境界 ※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点 ・ 測定9 処理作業後シート撤去後 処理作業室内 ※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点 測定点 総 計 点 注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 (例)アスベスト粉じん濃度測定方法 測点3 測点1, 2, 4, 6, 7, 8 測点5 数計機器 位相差・分散顕微鏡 メンブレンフィルタの直径 25mm 47mm 試料の吸引流量 1L/min 5L/min 10L/min 試料の吸引時間 5min 120min 240min 試料の透明化 アセトン固定-有機物灰化-屈折率浸漬法 計数条件 総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野 計数アスベスト 幅3µm未満、長さ5µm以上、アスペクト比(長さ/幅)3以上 定量限界 50本/L 0.47本/L 0.3本/L 記録する項目 ア. 測定結果 イ. 測定時間 ウ. 測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。) エ. サンプルング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ. マウンティング法 カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ. 測定時(各測定場所ごと)の天候、湿度、湿度、外気の風速及び風量	③ アスベスト 含有吹付け材 の除去 (9.1.3) アスベスト含有吹き付け材の除去工事 ・ 行う (適用範囲 ・ 図示 ) ・ 行わない 作業場等の隔離等 ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。 隔離シートの性能 ※ 床面 ※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重 ※ 壁面 ※ 0.08mm以上のプラスチックシート等 ただし、(一財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督職員の承諾を得ること。 セキュリティゾーンの設置 ※ 下表による 適用 室名 状態 ※ 更衣室 ※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗顔、うがい設備 ※ 洗浄室 負圧 ※ エアシャワー(温水シャワー) ※ 前室 負圧 ・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご ただし、(一財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督職員の承諾を得ること。 除去物及び汚染等 処理方法 ※ 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化 アスベスト含有保温材の除去工事 (9.1.4) ・ 行う (適用範囲 ・ 図示 ) ・ 行わない 養生等 (9.1.4) ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。 掻き落とし、破砕、切断による除去方法 ※ 行わない ※ 行う (<9.1.3>「アスベスト含有吹き付け材の除去」による) 除去工法 (9.1.4) ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※ 除去物については<9.1.3(b)>により、密封処理とする アスベスト含有成形板の除去工事 (9.1.5) ・ 行う (適用範囲 ・ 図示 ) ・ 行わない 養生 (9.1.5) ※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。 除去工法 (9.1.5) ※ 作業場は、放水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。 ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。	10 総 揮 発 性 有 機 化 合 物 (T V O C) 測 定 1. 一般事項 試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。 2. 測定対象化学物質 測定対象化学物質は、下記4)1、2)の区分に従い、表の①から④の14物質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。 3. 測定方法 1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。 2) トルエン換算で2.0µg/m³未満のピークは測定の対象としない。 3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。 表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値 化学物質名 室内濃度指針値 ①ホルムアルデヒド 100 µg/m³ 0.08 ppm ②トルエン 260 µg/m³ 0.07 ppm ③キシレン 870 µg/m³ 0.20 ppm ④エチルベンゼン 3,800 µg/m³ 0.88 ppm ⑤ステレン 220 µg/m³ 0.05 ppm ⑥パラジクロロベンゼン 240 µg/m³ 0.04 ppm ⑦トリクロロベンゼン 330 µg/m³ 0.04 ppm ⑧アセトアルデヒド 48 µg/m³ 0.03 ppm ⑨ノナール (暫定)41 µg/m³ 0.007 ppm ⑩フタル酸ジ-n-ブチル 220 µg/m³ 0.02 ppm ⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル 120 µg/m³ 0.0076 ppm ⑫クロロピリロス 1 µg/m³ 0.00007 ppm ⑬ダイアジノン 0.29 µg/m³ 0.00002 ppm ⑭フェノバルブ 33 µg/m³ 0.0038 ppm ⑮総揮発性有機化合物(TVOC) 400 µg/m³ (暫定目標値) 4. 測定する室 1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等 ・ 室名: 2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室 ・ 室名: ・ 屋外(周囲の建物から離れた場所1か所) 5. 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を2部提出する。 1) 測定結果(アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20°Cに満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20°C、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25°C、湿度50%に補正した濃度を報告すること。) 2) 試料採取時の状況(気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数) 3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し 6. その他 表の化学物質①から⑮のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。 TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について協議を行うこと。				

変更履歴	月、日	月、日	工事名称	 <b>株式会社 阿波設計事務所九州支店</b> 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲夫	図面名称	改修特記仕様書 4	縮尺	管理No.
					担当者	管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号	日付	2026年3月
					照査技術者	林田祥太郎 一級建築士第395282号	図面No.	60-030 A / 04
					担当者	寺川隆史 一級建築士第389712号		

**外壁改修 標準仕様図**

(1) 共通事項  
図面及び本仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房管轄部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「改修仕様」という。）による。

(2) 改修対象別の工法

1. 浮き部補修  
アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
2. 浮き部補修  
アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
3. 鉄筋露出部補修  
エポキシ樹脂モルタル充填工法
4. 鉄筋露出部補修  
ポリマーセメントモルタル充填工法
5. ひび割れ補修（0.2mm以上）  
Uカットシール材充填工法
6. ひび割れ補修（0.2mm未満）  
シール工法
7. 欠損部補修  
ポリマーセメントモルタル充填工法
8. 欠損部補修  
エポキシ樹脂モルタル充填工法
9. 塗膜の剥離補修  
ポリマーセメントモルタル充填工法

**C-2 浮き部補修（0.25㎡～1㎡）【モルタル塗り仕上】  
アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法**

**C-1 浮き部補修（0.25㎡未満）【モルタル塗り仕上】  
アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法**

**鉄筋露出部補修【モルタル塗り仕上】  
ポリマーセメントモルタル充填工法**

工程	施工方法	工程	施工方法	工程	施工方法
1	浮き部確認 打診用テストハンマーを用いて、浮き部分を確認する。	1	浮き部確認 打診用テストハンマーを用いて、浮き部分を確認する。	1	浮き部確認 目視検査により鉄筋の露出部を確認する。
2	アンカーピンの位置決定 浮き部の状態に合わせて注入孔の位置を決定する。 （一般部：13/㎡2 指定部 20/㎡2）	2	アンカーピンの位置決定 浮き部の状態に合わせて注入孔の位置を決定する。 （一般部：16/㎡2 指定部 25/㎡2）	2	下地処理 脆弱部を丁寧にハツリ除去し、清潔で強固なコンクリート下地を出す。
3	穿孔 コンクリートドリル等により躯体に対し直角に穿孔する。孔径は6mm（アンカーピンの直径より約2mm大きい）穿孔深さは、コンクリート躯体中に30mm以上達するまでとする。	3	穿孔 コンクリートドリル等により躯体に対し直角に穿孔する。孔径は6mm（アンカーピンの直径より約2mm大きい）穿孔深さは、コンクリート躯体中に30mm以上達するまでとする。	3	清掃 鉄筋の錆部をケレンの上、ワイヤーブラシ等で清掃し錆部及び周囲に浸透性防錆材を塗布する。
4	清掃 孔内をエアースプレー等により十分に清掃する。	4	清掃 孔内をエアースプレー等により十分に清掃する。	4	清掃 鉄筋の錆部をケレンの上、ワイヤーブラシ等で清掃し錆部及び周囲に浸透性防錆材を塗布する。
5	エポキシ樹脂注入 エポキシ樹脂を詰めたグリスポンプにより1ヶ所につき約25mlを注入孔に充填する。	5	エポキシ樹脂注入 エポキシ樹脂を詰めたグリスポンプにより1ヶ所につき約25mlを注入孔に充填する。	4	プライマー塗布 プライマーを構内部に小刷毛等でまんべんなく塗布する。
6	アンカーピン挿入 エポキシ樹脂注入後、直径4mmの全ネジステンレスピン（SUS304 L=60mm）を挿入する。アンカーピンの頭は仕上面より5mm引込程度にセットする。	6	アンカーピン挿入 エポキシ樹脂注入後、直径4mmの全ネジステンレスピン（SUS304 L=60mm）を挿入する。アンカーピンの頭は仕上面より5mm引込程度にセットする。	5	ポリマーセメントモルタル充填 露筋部にポリマーセメントモルタルを充填する。
7	表面仕上 アンカーピンを挿入後、表面をエポキシ樹脂により仕上る。	7	表面仕上 アンカーピンを挿入後、表面をエポキシ樹脂により仕上る。	6	表面仕上 ポリマーセメントの表面を加圧しながら平滑に仕上る。
8	残存浮き部穿孔 アンカーピン固定部の硬化後、残存浮き部への注入孔にコンクリート躯体約5mm～10mmの深さまで穿孔する。	8	残存浮き部穿孔 アンカーピン固定部の硬化後、残存浮き部への注入孔にコンクリート躯体約5mm～10mmの深さまで穿孔する。	7	養生 施工完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。
9	清掃 孔内をエアースプレー等により十分に清掃する。	9	清掃 孔内をエアースプレー等により十分に清掃する。		
10	残存浮き部注入 グリスポンプを用いて最下部より樹脂注入を行い、未注入部分が残らないようにする。	10	残存浮き部注入 グリスポンプを用いて最下部より樹脂注入を行い、未注入部分が残らないようにする。		
11	養生 （1）～（10）完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。	11	養生 （1）～（10）完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。		
12	表面仕上 エポキシ樹脂により平滑に仕上る。	12	表面仕上 エポキシ樹脂により平滑に仕上る。		

**塗膜の剥離補修【モルタル塗り仕上】  
ポリマーセメントモルタル充填工法**

**ひび割れ補修（0.2mm以上）【モルタル塗り仕上】  
Uカットシール材充填工法**

**ひび割れ補修（0.2mm未満）【モルタル塗り仕上】  
シール工法**

**B 欠損部補修【コンクリート打放し仕上】  
エポキシ樹脂モルタル充填工法**

工程	施工方法	工程	施工方法	工程	施工方法	工程	施工方法
1	浮き部確認 目視検査により鉄筋の露出部を確認する。	1	浮き部確認 目視検査により鉄筋の露出部を確認する。	1	浮き部確認 目視検査により鉄筋の露出部を確認する。	1	浮き部確認 目視検査により鉄筋の露出部を確認する。
2	下地処理 脆弱部を丁寧にハツリ除去し、清潔で強固なコンクリート下地を出す。	2	Uカット クラック部に沿ってダイヤモンドカッター等で幅10mm、深さ10mmにUの字にカットする。	2	清掃 ひび割れ部をワイヤーブラシ等で清掃する。	2	下地処理 脆弱部を丁寧にハツリ除去し、清潔で強固なコンクリート下地を出す。
3	プライマー塗布 プライマーを構内部に小刷毛等でまんべんなく塗布する。	3	清掃 Uカット溝内部に付着しているハツリ片、粉塵をワイヤーブラシ等で除去する。	3	プライマー塗布 プライマーをひび割れ部に小刷毛等でまんべんなく塗布する。	3	清掃 コンクリート表面のレイタンス、汚れ等はモルタルの付着を妨げるので、デッキブラシ等で十分に除去する。
4	ポリマーセメントモルタル充填 露筋部にポリマーセメントモルタルを充填する。	4	プライマー塗布 プライマーを構内部に小刷毛等でまんべんなく塗布する。	4	シーリング材塗布 シーリング材をUカットした部分にカートリッジガンで充填し金へら等で平滑に仕上げる。	4	プライマー塗布 プライマーを構内部に小刷毛等でまんべんなく塗布する。
5	養生 施工完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。	5	シーリング材充填 シーリング材をUカットした部分にカートリッジガンで充填し金へら等で平滑に仕上げる。	5	養生 施工完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。	5	エポキシ樹脂モルタル充填 欠損部にエポキシ樹脂モルタルを充填する。
		6	表面仕上 ポリマーセメントモルタルを充填し凸凹のないように仕上る。			6	表面仕上 エポキシ樹脂モルタルの表面を加圧しながら平滑に仕上る。
		7	養生 施工完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。			7	養生 施工完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。

**A 鉄筋露出部補修【コンクリート打放し仕上】  
エポキシ樹脂モルタル充填工法**

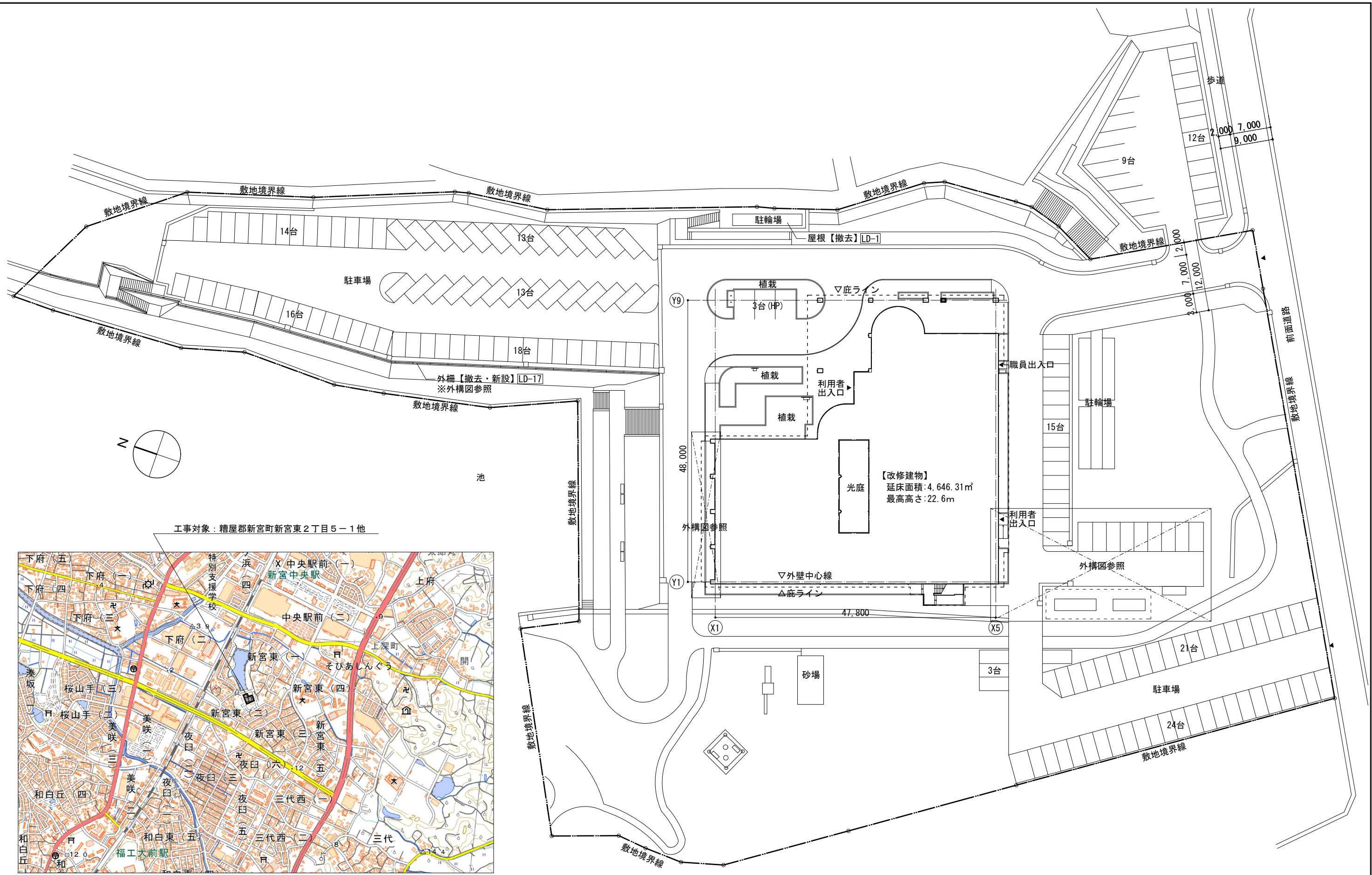
**D-2 ひび割れ補修（0.2mm以上）【コンクリート打放し仕上】  
Uカットシール材充填工法**

**D-1 ひび割れ補修（0.2mm未満）【コンクリート打放し仕上】  
シール工法**

**E 塗膜の剥離補修【コンクリート打放し仕上】  
ポリマーセメントモルタル充填工法**

工程	施工方法	工程	施工方法	工程	施工方法	工程	施工方法
1	露筋部の確認 目視検査により鉄筋の露出部を確認する。	1	クラック確認 目視検査により、ひび割れ発生の有無を確認し幅を測定する。	1	クラック確認 目視検査によりひび割れ発生の有無を確認し幅を測定する。	1	浮き部確認 目視及び打診により塗膜の浮き、剥離を確認する。
2	下地処理 脆弱部を丁寧にハツリ除去し、清潔で強固なコンクリート下地を出す。	2	Uカット クラック部に沿ってダイヤモンドカッター等で幅10mm、深さ10mmにUの字にカットする。	2	清掃 ひび割れ部をワイヤーブラシ等で清掃する。	2	下地処理 脆弱部を丁寧にハツリ除去し、清潔で強固なコンクリート下地を出す。
3	清掃 鉄筋の錆部をケレンの上、ワイヤーブラシ等で清掃し錆部及び周囲に浸透性防錆材を塗布する。	3	清掃 Uカット溝内部に付着しているハツリ片、粉塵をワイヤーブラシ等で除去する。	3	プライマー塗布 プライマーを構内部に小刷毛等でまんべんなく塗布する。	3	プライマー塗布 プライマーを構内部に小刷毛等でまんべんなく塗布する。
4	プライマー塗布 プライマーを構内部に小刷毛等でまんべんなく塗布する。	4	プライマー塗布 プライマーを構内部に小刷毛等でまんべんなく塗布する。	4	シーリング材塗布 シーリング材をUカットした部分にカートリッジガンで充填し金へら等で平滑に仕上げる。	4	ポリマーセメントモルタル充填 欠損部にポリマーセメントモルタルを充填する。
5	エポキシ樹脂モルタル充填 露筋部にエポキシ樹脂モルタルを充填する。	5	表面仕上 ポリマーセメントモルタルを充填し凸凹のないように仕上る。	5	養生 施工完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。	5	養生 施工完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。
6	表面仕上 エポキシ樹脂モルタルの表面を加圧しながら平滑に仕上る。						
7	養生 施工完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。	7	養生 施工完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。				





工事対象：糟屋郡新宮町新宮東2丁目5-1他



付近見取り図

配置図 1:300

変更履歴	月、日	月、日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称 付近見取り図・配置図 担当者 管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号 照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号 担当者 寺川隆史 一級建築士第38912号	縮尺 A1 1:300 A3 1:600	管理No. 60-030
			シーオーレ新宮大規模改修工事			日付 2026年3月	図面No. A / 07

外部仕上表		改修前（下地・仕上）			改修後（仕上）			改修前（その他）		改修後（その他）		
部 位	改修記号				仮防水	劣化補修	下地調整					
[防水改修]												
陸屋根	W-1	平場:コンクリート金コテ押え +露出アスファルト防水★【撤去】+砂利敷 60t【撤去】 立上:コンクリート金コテ押え +露出アスファルト防水★【撤去】 架台:コンクリート金コテ押え +塗膜防水★【撤去】 アゴ:コンクリート金コテ押え +塗膜防水★【撤去】			○	○	○	改質アス常温複合法(標仕D-1同等)【新設】 改質アス常温複合法(塗膜仕上)【新設】 ウレタン塗膜防水(密着工法、高耐性環境対応型)【新設】 ウレタン塗膜防水(密着工法、高耐性環境対応型)【新設】		端部シーリング【撤去】、アルミ押え金物【撤去】 SUS製脱気筒【新設】 端部シーリング+アルミ押え金物【新設】		
設備スペース	W-2	平場:コンクリート金コテ押え +アスファルト防水 +保護モルタル 20t +押えコンクリート 80t【高圧洗浄(30Pa)】 立上:コンクリート金コテ押え +アスファルト防水 +保護モルタル 20t【撤去】 架台:コンクリート金コテ押え +塗膜防水★【撤去】 アゴ:コンクリート金コテ押え +塗膜防水★【撤去】			○	○	○	ウレタン塗膜防水(通気緩衝複合法、高耐性環境対応型)【新設】 ウレタン塗膜防水(通気緩衝複合法、高耐性環境対応型)【新設】 ウレタン塗膜防水(密着工法、高耐性環境対応型)【新設】 ウレタン塗膜防水(密着工法、高耐性環境対応型)【新設】		伸縮目地 @3500 縦横共【撤去】 SUS製脱気筒【新設】		
バルコニー	W-3	平場:防水モルタル +塗膜防水★【水洗い】+人工芝【撤去】 立上:防水モルタル +塗膜防水★【水洗い】				○	○	ウレタン塗膜防水(増塗り工法、高耐性環境対応型)【新設】 ウレタン塗膜防水(増塗り工法、高耐性環境対応型)【新設】		端部シーリング【撤去】 端部シーリング【新設】		
軒樋	W-4	耐酸被覆鋼板 0.4t【水洗い】						既存のまま				
縦樋	W-5	VP管 75・100φ【撤去】※支持金物共						カラーVP 75・100φ【新設】※支持金物共				
ドレン	W-6	鋳鉄製 100φヨコ【撤去】						改修ドレン 100φヨコ【新設】※ドレンキャップ共				
[屋根改修]												
屋根	—	パーライトモルタル 30t +アスファルトルーフィング +和瓦葺						既存のまま ※工事対象外				
熨斗組み(一部)	R-1	パーライトモルタル 30t +アスファルトルーフィング【撤去】+水切【撤去】+台輪【撤去】+雨押え【撤去】 +水切【撤去】+シーリング【撤去】					○	アスファルトルーフィング +水切 +台輪 +雨押え +水切 +シーリング【新設】				
[外壁改修]												
(バルコニー等)上裏 庇鼻・軒裏	①	GB-S 9t +軒天用DR 12t コンクリート打放し +吹付タイル【サンダー】					○	C-1	既存のまま 外装薄塗材E【新設】		アルミ製庇【新設】	
外壁・バラベット・ 根廻り・柱など	② ③	コンクリート打放し +吹付タイル【高圧洗浄(30Pa)】 二丁掛タイル【高圧洗浄(30Pa)】					○	○	可とう形改修塗材RE【新設】		ベントキャップ【水洗い】 取り合いシーリング【撤去】 伸縮目地シーリング・建具廻りシーリング【撤去】 取り合いシーリング【新設】 伸縮目地シーリング・建具廻りシーリング【新設】	
手摺	④	コールテン鋼ウェザーコートプレバレン処理【水洗い】					○		錆止め +DP塗装【新設】			
館名文字	⑤	ステンレス切文字 +金めっき【水洗い】 ステンレス箱文字 +シート貼【水洗い】					○	○	ステンレス対応プライマー塗布の上、DP塗装【新設】 ステンレス対応プライマー塗布の上、DP塗装【新設】			
屋外階段	—	踏面・蹴上:防水モルタル							既存のまま ※工事対象外			
[外構]												
腰壁 ピロティー・犬走り	— L-1	二丁掛タイル【高圧洗浄(30Pa)】 床・段鼻(一部):磁器質100角タイル【撤去】				○	○		床・段鼻(一部):磁器質100角(防滑)タイル【新設】		安全手摺【新設】	
外柵	L-2	縦格子手摺:スチール +垂鉛めっき(静電粉体塗装)【撤去】							縦格子手摺:スチール +垂鉛めっき(静電粉体塗装)【新設】※削孔共			
屋外設備・駐車場	—	緑石【撤去】L字側溝【撤去】メッシュフェンス【撤去】設備基礎【撤去】CB積み【撤去】 焼却炉【撤去】立水栓【撤去】アスファルト舗装【撤去】車止め【撤去】							緑石・メッシュフェンス・設備基礎・アスファルト舗装【新設】 コンクリート舗装・車止め・床土+芝【新設】		受水槽・ポンプ室【撤去(M)】キュービクル【撤去(E)】 焼却炉【撤去(E)】 受水槽・ポンプ室・消火水槽・立水栓【新設(M)】 キュービクル・油庫【新設(E)】	
スロープ	—	床:RC基礎【撤去】+磁器質100角タイル【撤去】							床:RC基礎 +モルタル50t +スロープタイル 磁器質 150角(防滑)【新設】		安全手摺【新設】	

<p>■特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★印の付いた建材は、アスベスト含有建材として適切に処理を行うこと。</li> <li>立上部のアスファルト防水材(アスベスト含有)を撤去する場合、原形のまま剥離して撤去し、必要に応じて湿潤化処理等を併用すること。</li> <li>既存塗膜(下地調整材にアスベスト含有)を撤去するとき、ディスクグラインダー等の高速回転式電動研磨工具を使用する場合、隔離型養生・常時湿潤化処理と等しい効果が得られる工法を選定すること。</li> <li>既存塗膜(下地調整材にアスベスト含有)の撤去において、高機能超音波塗膜剥離装置「ソノスプリッターSS-270」[多賀電機㈱]や携帯型水循環式湿潤吸引電動サンダー「GSCウェットサンダー」[菊水化学工業㈱]など携帯型循環式湿潤吸引電動サンダーケレン工法を用いてもよい。</li> <li>仕上材を撤去後は下地補修材全面塗りの上、指定仕上材を新設とする。</li> <li>図中改修前【撤去】【高圧洗浄】【水洗い】【下地調整】などは改修方法の別を示す。</li> <li>図中改修後【新設】【再取付】などは改修方法の別を示す。</li> <li>特記なき限り【下地調整】はRB種とする。</li> <li>撤去工事における既存コンクリート構造物の撤去工法は、ダイヤモンドカッター及びハンドブレイカー併用工法・圧砕工法とする。</li> <li>コンクリート、モルタルの撤去は全て周囲カッター入れを行うこと。</li> </ul>	<p>■劣化部補修方法 ※は外壁改修標準仕様図(A-05)を参照</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>露出鉄筋部(コンクリート打放し仕上)50×50、100×100・300・500・1000以上</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>エポキシ樹脂モルタル充填工法※</td> </tr> <tr> <td>C-1</td> <td>欠損部(コンクリート打放し仕上)100×100・300・500・1000以上</td> </tr> <tr> <td>C-2</td> <td>エポキシ樹脂モルタル充填工法※</td> </tr> <tr> <td>D-1</td> <td>浮き部(モルタル塗り仕上)0.25㎡未満 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法※</td> </tr> <tr> <td>D-2</td> <td>浮き部(モルタル塗り仕上)0.25㎡~1.0㎡ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法※</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>ひび割れ(コンクリート打放し)0.2mm未満 シーリング工法※</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>ひび割れ(コンクリート打放し)0.2mm以上 Uカットシーリング材充填工法※</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>塗膜浮き ポリマーセメントモルタル充填工法※</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイルひび割れ部 タイル部分張替え工法 [改修標準仕4.4.7]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイル浮き部 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [改修標準仕4.4.9] NETIS:KT-150123-VR 剥落防止保障10年 ①高圧洗浄(15~20MPa) ②穿孔 ③孔内エアークリーニング ④エポキシ樹脂注入 ⑤ステンレスピン挿入 ⑥穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂]</td> </tr> </table>	A	露出鉄筋部(コンクリート打放し仕上)50×50、100×100・300・500・1000以上	B	エポキシ樹脂モルタル充填工法※	C-1	欠損部(コンクリート打放し仕上)100×100・300・500・1000以上	C-2	エポキシ樹脂モルタル充填工法※	D-1	浮き部(モルタル塗り仕上)0.25㎡未満 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法※	D-2	浮き部(モルタル塗り仕上)0.25㎡~1.0㎡ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法※	E	ひび割れ(コンクリート打放し)0.2mm未満 シーリング工法※	F	ひび割れ(コンクリート打放し)0.2mm以上 Uカットシーリング材充填工法※	G	塗膜浮き ポリマーセメントモルタル充填工法※		タイルひび割れ部 タイル部分張替え工法 [改修標準仕4.4.7]		タイル浮き部 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [改修標準仕4.4.9] NETIS:KT-150123-VR 剥落防止保障10年 ①高圧洗浄(15~20MPa) ②穿孔 ③孔内エアークリーニング ④エポキシ樹脂注入 ⑤ステンレスピン挿入 ⑥穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂]	<p>G タイル浮き部 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [改修標準仕4.4.9]</p>
A	露出鉄筋部(コンクリート打放し仕上)50×50、100×100・300・500・1000以上																							
B	エポキシ樹脂モルタル充填工法※																							
C-1	欠損部(コンクリート打放し仕上)100×100・300・500・1000以上																							
C-2	エポキシ樹脂モルタル充填工法※																							
D-1	浮き部(モルタル塗り仕上)0.25㎡未満 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法※																							
D-2	浮き部(モルタル塗り仕上)0.25㎡~1.0㎡ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法※																							
E	ひび割れ(コンクリート打放し)0.2mm未満 シーリング工法※																							
F	ひび割れ(コンクリート打放し)0.2mm以上 Uカットシーリング材充填工法※																							
G	塗膜浮き ポリマーセメントモルタル充填工法※																							
	タイルひび割れ部 タイル部分張替え工法 [改修標準仕4.4.7]																							
	タイル浮き部 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [改修標準仕4.4.9] NETIS:KT-150123-VR 剥落防止保障10年 ①高圧洗浄(15~20MPa) ②穿孔 ③孔内エアークリーニング ④エポキシ樹脂注入 ⑤ステンレスピン挿入 ⑥穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂]																							

棟階	室名	床			巾木		壁		天井				備考		
		下地	仕上	FL	仕上	H	下地	仕上	GH	下地	仕上	廻り縁			
1F	風除室	前	MO	磁器質100角タイル(模様貼)	±0	SUS 二丁掛タイル		CON	ガラス 二丁掛タイル				カラ- SUSパネル		畚拭マット(枠 SUS)
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま				既存のまま		
	ロビー 廊下1、踏込	前	MO	磁器質100角タイル(模様貼)	±0	二丁掛タイル ソフト巾木	75	CON LGS LGS	GB-R 9+12t +ビニルクロス FK 12+12t +ビニルクロス	2,700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 15t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB、P、モニター【撤去(E)】、スイングドア【撤去】 (トイレ前)目隠しスクリーン【新設】	
		後		既存のまま		既存のまま		CON	(一部)二丁掛タイル【新設】	2,700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 12t【新設】	塩ビ【新設】	デジタルサインエージ【新設(E)】、取付金物【新設】	
	事務室☆、通路	前		ビニル床シート 2.5t	±0	ソフト巾木	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +ビニルクロス GB-R 9+12t +ビニルクロス	2,700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB、P、受付カウンター、美術陶板890×1,170	
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2,700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】		
	OA室☆	前		OAフロー- H150 タイルカーペット	±0	ソフト巾木	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +吹付タイル GB-R 12+12t +吹付タイル	2,700	LGS【撤去】	GB-R 12t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】		
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2,700	LGS【新設】	GB-NC 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】		
	湯沸室	前		ビニル床シート 2t	±0	ソフト巾木	75	LGS	GB-R 9+12t +吹付タイル	2,700	LGS	FK 6t +吹付タイル	塩ビ	BB、流し台【撤去】コンロ台【撤去】吊戸棚【撤去】 レンジフード【撤去】水切棚【撤去】水栓【撤去(M)】	
		後		既存のまま		既存のまま		CON	EP、メラミン化粧板 3t【新設】 モルタル金コテ押え +AEP			既存のまま		流し台、コンロ台、吊戸棚、レンジフード、 水切棚【新設】水栓【新設(M)】	
	更衣室	前		塩ビタイル 2t	±0	ソフト巾木	75	CON LGS	GB-R 9+12t +AEP	2,700	LGS【撤去】	GB-D 12t【撤去】	塩ビ【撤去】		
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2,700	LGS【新設】	GB-NC 9.5t【新設】	塩ビ【新設】		
	印刷室	前		塩ビタイル 2t	±0	ソフト巾木	75	LGS LGS	FK 12+12t +AEP GB-R 12+12t +AEP	2,700	LGS【撤去】	GB-D 12t【撤去】	塩ビ【撤去】		
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2,700	LGS【新設】	GB-NC 9.5t【新設】	塩ビ【新設】		
	通用口	前		ビニル床シート 2t	±0	ソフト巾木	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +吹付タイル GB-R 9+12t +吹付タイル	2,700	LGS	GB-D 9t	塩ビ	畚拭マット(枠 SUS)	
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま			既存のまま			
	踏込	前		天然複合フローリング 12t ビニル床シート 2t	±0	堅木 +OS	75	LGS	GB-R 9+12t +ビニルクロス	2,700	LGS	GB-D 9t	木製	下足箱	
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま			既存のまま			
	控室(和室)	前	W	畳 55t	+200	畳寄せ		CON LGS	FP 25t +GB-R 9t +ビニルクロス GB-R 9+12t +ビニルクロス	2,500	LGS【撤去】	杉化粧化粧石膏ボード 9t【撤去】	木製【撤去】	竿縁【撤去】	
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2,500	LGS【新設】	GB-R 9.5t +クロス(木目調)【新設】	木製【新設】	竿縁【新設】	
	押入	前	W	榻合板 5.5t	+200	雑巾摺			榻合板 5.5t	2,500	LGS【撤去】	榻合板 3t【撤去】	木製【撤去】	中段、天袋	
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2,500	LGS【新設】	榻合板 3t【新設】	木製【新設】		
	洗面所	前	W	合板 +EP	+200	堅木 +OS	75	LGS	GB-R 9+12t +ビニルクロス	2,500	LGS	GB-R 9t +ビニルクロス	木製	洗面カウンター、化粧鏡、ユニットバス	
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま			既存のまま			
	倉庫2	前		塩ビタイル 2t	±0	ソフト巾木	75	LGS CON	GB-R 9+12t +吹付タイル モルタル金コテ押え +吹付タイル	2,500	LGS【撤去】	GB-D 12t【撤去】	塩ビ【撤去】		
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2,500	LGS【新設】	GB-D 9.5t【新設】	塩ビ【新設】		
	小会議室☆	前		ビニル床シート 2.5t	±0	ソフト巾木	75	CON CON LGS	FP 25t +GB-R 9t +ビニルクロス モルタル金コテ押え +ビニルクロス GB-R 9+12t +ビニルクロス	2,700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB、P、ホワイトボード【撤去】	
		後		既存のまま		既存のまま		CON	既存のまま	2,700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	モニター【新設(E)】	
	授乳室	前	MO	カーペット	±0	ソフト巾木	75	CON LGS LGS	モルタル金コテ押え +吹付タイル GB-R 9+12t +吹付タイル FK 12+12t +吹付タイル	2,700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】		
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2,700	LGS【新設】	GB-NC 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】		
	倉庫・書庫	前		塩ビタイル 2t	±0	ソフト巾木	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +AEP FK 12+12t +AEP	2,700	LGS【撤去】	GB-D 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	移動棚	
		後		既存のまま		既存のまま		CON	既存のまま	2,700	LGS【新設】	GB-D 9.5t【新設】	塩ビ【新設】		
	消毒室☆	前		ビニル床シート 2.5t	±0	ソフト巾木	75	LGS LGS	モルタル金コテ押え +吹付タイル GB-R 9+12t +吹付タイル FK 12+12t +吹付タイル	2,700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB、SUS流し台	
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2,700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】		
	相談室1・2	前		ビニル床シート 2.5t	±0	ソフト巾木	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +ビニルクロス GB-R 9+12t +ビニルクロス	2,700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB、P	
		後		既存のまま		既存のまま		CON	既存のまま	2,700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】		
	相談室3	前		タイルカーペット	±0	ソフト巾木	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +ビニルクロス GB-R 9+12t +ビニルクロス	2,700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB	
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2,700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】		

備考・凡例

<p>&lt; 共通事項 &gt;</p> <p>※ hは高さ、wは幅、tは厚み、Dは奥行を示す。  ※ 内装材、接着剤、家具、建具仕上等はすべてノンアスベスト品・F☆☆☆☆材を使用する。  ※ 天井裏の建築材料はF☆☆☆☆材を使用する。  ※ クロルピリホスを含有する製品、材料は使用しない。  ※ 廻り縁は特記なき場合突付けとし、塩ビ製コの字タイプとする。  ※ 下がり天井の見切り・コーナー材は、特記なき場合塩ビ製とする。  ※ 鉄部については錆止め塗装(工場1回、現場1回)を行う。  ※ 木製製作物で特記のないものの樹種はすべて米桐とする。  ※ 家具類はすべて耐震止めを行うこと。  ※ トイレ・給湯室等の水廻りに使用するシーリング材はすべて防カビ使用とする。  ※ ビニルクロスは準不燃以上とし、カーテン、絨毯類は防災物品とする。  ※ トイレの壁に使用するタイルは既設のタイルと色を合わせる。  ※ 室名( )書きは改修前の名称を表す。  ※ ☆印の付いた室は、残置物を合板・シートなどで適切に養生すること。  ※ ★印の付いた建材は、石綿含有建材として適切に処理を行うこと。  ※ アスベストを含有した接着剤を撤去する場合にはHEPAフィルター等の集塵装置付き振動式剥離工具や手工具、剥離剤等を併用すること。</p>	<p>&lt; 略号凡例 &gt;</p> <p>CON コンクリート  MO モルタル  W 木  S スチール  LGS 鋼製天井・壁下地材  SUS ステンレス  CB コンクリートブロック  GB-R せっこうボード  GB-F 強化せっこうボード  GB-S シーリングせっこうボード  GB-D 化粧せっこうボード  GB-NC 不燃積層せっこうボード  GB-P 吸音用穴あきせっこうボード  FK ケイ酸カルシウム板  化粧FK 化粧ケイ酸カルシウム板</p>	<p>&lt; 防火認定材料 &gt;</p> <p>FP ポリスチレンフォーム  GW グラスウール  TB テラゾブロック  人研 人造石研ぎ出し  AEP アクリルエマルジョンペイント塗り  SOP 合成樹脂調合ペイント塗り  VP ビニールペイント塗り  DP 耐候性塗料塗り  EP 合成樹脂系エマルジョンペイント塗り  EP-G つや有合成樹脂系エマルジョンペイント塗り  EP-T 合成樹脂系エマルジョンペイント塗り  UC ウレタン樹脂ワニス塗り  OS オイルステイン塗り  WP 木材保護塗料塗り  DR ロックウール化粧吸音板</p>	<p>&lt; その他凡例 &gt;</p> <p>BB: プライントボックス 既存のまま  P: ピクチャーレール 既存のまま  TB: トイレフース 既存のまま  (M): 機械設備工事 (E): 電気設備工事</p> <p>&lt; 劣化部補修 &gt;</p> <p>D ひび割れ(コンクリート打放し)0.2mm未満  シール工法【外壁改修標準仕様書(D-1)】  F タイルひび割れ部  F タイル部分張替え工法【改修仕様4.4.7】  G タイル浮き部  アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法【改修仕様4.4.9】  NETIS-KT-150123-VR 剥落防止保障10年  ①高圧洗浄(15~20MPa) ②穿孔  ③孔内エアークリーニング ④エポキシ樹脂注入  ⑤ステンレスピン挿入 ⑥穿孔跡隠し【バテ状エポキシ樹脂】</p>
---	--	--	---

棟階	室名	床			巾木			壁			天井			備考
		下地	仕上	FL	仕上	H	下地	仕上	CH	下地	仕上	廻り縁		
1F	保険指導室	前	W	天然複合フローリング 12t 畳 55t	+200 +200	雑巾摺 畳寄せ	CON LGS	FP 25t +GB-R 9t +ビニルクロス GB-R 9+12t +ビニルクロス	2.600	LGS【撤去】	杉柀化粧石膏ボード 9t【撤去】	木製【撤去】	BB、竿縁【撤去】	
		後		既存のまま		既存のまま		既存のまま	2.600	LGS【新設】	GB-R 9.5t +クロス(木目調)【新設】	木製【新設】	竿縁【新設】	
	押入	前	W	榻合板 5.5t	+200	雑巾摺		榻合板 5.5t	2.600	LGS【撤去】	榻合板 3t【撤去】	木製【撤去】	中段、天袋	
		後		既存のまま		既存のまま		既存のまま	2.600	LGS【新設】	榻合板 3t【新設】	木製【新設】		
	診察室	前		ビニル床シート 2.5t ★【撤去】	±0	ソフト巾木★【撤去】	75	LGS	GB-R 9+12t +ビニルクロス★	2.700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB、SUS流し台、カーテンレール、カーテン
		後		ビニル床シート(KS) 4.5t【新設】	±0	ソフト巾木【新設】			既存のまま	2.700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	
	男子便所 1	前	MO	磁器質100角タイル(模様貼)	-20	陶器質100角タイル 【一部撤去】		MO	陶器質100角タイル(模様貼)【一部撤去】	2.500	LGS【撤去】	FK 6t +VP【撤去】	塩ビ【撤去】	ライニング【撤去】TB、洗面カウンター、化粧鏡
		後		既存のまま		陶器質100角タイル 【撤去部新設】			既存のまま【劣化補修 F・G】 【撤去部新設】	2.500	LGS【新設】	FK 6t +EP【新設】	塩ビ【新設】	ライニング、ペビーチェア【新設】
	女子便所 1	前	MO	磁器質100角タイル(模様貼)【一部撤去】	-20	陶器質100角タイル 【一部撤去】		MO	陶器質100角タイル(模様貼)【一部撤去】	2.500	LGS【撤去】	FK 6t +VP【撤去】	塩ビ【撤去】	和便器【撤去(M)】紙巻器【撤去(M)】 TB、洗面カウンター、化粧鏡
		後		既存のまま【撤去部新設】		陶器質100角タイル 【撤去部新設】			既存のまま【劣化補修 F・G】 【撤去部新設】	2.500	LGS【新設】	FK 6t +EP【新設】	塩ビ【新設】	洋便器、紙巻器【新設(M)】 便座除菌クリーナー【新設】 ペビーチェア【撤去】可動式手摺【撤去】 傾斜鏡、手洗器、手摺、ペビーシート ライニング、跳ね上げ手摺【新設】 オストメイトバック【新設(M)】
	多目的トイレ	前		ビニル床シート 2t	±0	ソフト巾木	75	CON	モルタル金コテ押え +吹付タイル	2.500	LGS【撤去】	FK 6t +VP【撤去】	塩ビ【撤去】	
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2.500	LGS【新設】	FK 6t +EP【新設】	塩ビ【新設】	
	男子便所 2	前	MO	磁器質100角タイル(模様貼)	-20	陶器質100角タイル 【一部撤去】		MO	陶器質100角タイル(模様貼)【一部撤去】	2.500	LGS	FK 6t +VP	塩ビ	ライニング【撤去】TB、洗面カウンター、化粧鏡
		後		既存のまま		陶器質100角タイル 【撤去部新設】			既存のまま【劣化補修 F・G】 【撤去部新設】			既存のまま		ライニング【新設】
	女子便所 2	前	MO	磁器質100角タイル(模様貼)	-20	陶器質100角タイル 【一部撤去】		MO	陶器質100角タイル(模様貼)【一部撤去】	2.500	LGS【撤去】	FK 6t +VP【一部撤去】	塩ビ【撤去】	ライニング【撤去】TB、洗面カウンター、化粧鏡
		後		既存のまま		陶器質100角タイル 【撤去部新設】			既存のまま【劣化補修 F・G】 【撤去部新設】	2.500	LGS【新設】	FK 6t +EP【撤去部新設】	塩ビ【新設】	ライニング【新設】
	階段室	前		ビニル床シート 2.5t	±0	ソフト巾木		CON LGS	モルタル金コテ押え +寒冷紗 +吹付タイル GB-R 9+12t +吹付タイル			コンクリート打放し +吹付タイル		SUSノンスリップ(ゴムタイヤ入り)、手摺
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま【劣化補修 D】			既存のまま		
	倉庫 1 (階段室下)	前		塩ビタイル 2t	±0	ソフト巾木	75	CON	モルタル金コテ押え +AEP			コンクリート打放し +AEP		
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま			既存のまま		
	ホール	前	MO	タイルカーペット【撤去】	±0	堅木 +OS【撤去】	75	CON CON LGS	FP 25t +GB-R 9t +ビニルクロス★【撤去・下地調整】 モルタル金コテ押え +ビニルクロス★【撤去・下地調整】 GB-R 9+12t +ビニルクロス★【撤去・下地調整】	2.700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB、P、スライディングウォール、飾棚
		後		ビニル床シート(HS) 6.0t【新設】	±0	堅木 +UC【新設】	75	CON LGS	ビニルクロス【新設】 ビニルクロス【新設】	2.700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	
	廊下 2	前	MO	タイルカーペット【撤去】	±0	堅木 +OS【撤去】	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +ビニルクロス★【撤去・下地調整】 GB-R 9+12t +ビニルクロス★【撤去・下地調整】	2.700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB、P
		後		ビニル床シート(HS) 6.0t【新設】	±0	堅木 +UC【新設】	75	CON LGS	ビニルクロス【新設】 ビニルクロス【新設】	2.700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	
	多目的ホール	前	S	鋼製床下地 +パーティクルボード 21t 複合フローリング 15t +ポリウレタン塗装	±0	堅木 +OS 麗音調整パネル	100	CON LGS LGS	FP 25t +GB-R 9t +AEP GB-R 9+12t +AEP GB-R 9t +AEP	5.400 ~8.300 5.400 ~8.300	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB【下地調整】スピーカー【撤去(E)】 床上換気口、バドミントン支柱 BB【UC塗装】スピーカー【新設(E)】 天井クリアランス塞ぎ金物【新設】 チェアーキャリアー【撤去】舞台装置【撤去】 トラップ【撤去】
		後		既存のまま		堅木 +UC【新設】 有孔化粧合板【新設】	100 700	LGS	GB-R 12.5t +EP【新設】		(特定天井)	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	
	(ステージ)	前	S	鋼製床下地【撤去】 +パーティクルボード 21t【撤去】 複合フローリング 15t +ポリウレタン塗装【撤去】	+750	堅木 +OS【撤去】	100	LGS CON	GB-R 9+12t +AEP【下地調整】 AEP【下地調整】			ブドウ棚(鉄骨+SOP)		
		後		セルフレベリング 10t +捨て合板 9t +和紙製畳 12t【新設】	±0	堅木 +UC【新設】 MDF壁見切【新設】	75 15	LGS【新設】 LGS CON	GW 50t +GB-R 12.5t +EP【新設】 EP【新設】 EP【新設】	2.700	LGS【新設】	GB-NC 9.5t +DR 9t【新設】	木製【新設】	クライミングウォール、ハイハイタウンセット、 掲示板【新設】
	一物入	後		セルフレベリング 10t +ビニル床シート(FS) 2t【新設】	±0	ソフト巾木【新設】	75	LGS【新設】 LGS CON	GB-R 12.5t +EP【新設】 EP【新設】 EP【新設】	2.500	LGS【新設】	GB-D 9.5t【新設】	塩ビ【新設】	
		後		セルフレベリング 10t +ビニル床シート(FS) 2t【新設】	±0	ソフト巾木【新設】	75	LGS【新設】 LGS CON	GB-R 12.5t +EP【新設】 EP【新設】 EP【新設】	2.500	LGS【新設】	GB-D 9.5t【新設】	塩ビ【新設】	
	(放送室)	前	S	鋼製床下地【撤去】 +パーティクルボード 21t【撤去】 カーペット【撤去】	+750	堅木 +OS【撤去】	75	CON	GW 50t【撤去】 +有孔ケイカル板 8t +AEP【撤去】	2.500	LGS【撤去】	GB-R 12t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB【撤去】
		後		セルフレベリング 10t +ビニル床シート(HS) 6.0t【新設】	±0	ソフト巾木【新設】	75	CON	GW 50t +GB-R 12.5t +EP【新設】	2.700	LGS【新設】	GB-NC 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	授乳アームチェア、おむつ交換台、テーブル【新設】
	(控室)	前	S	鋼製床下地【撤去】 +パーティクルボード 21t【撤去】 複合フローリング 15t +ポリウレタン塗装【撤去】	+750	堅木 +OS【撤去】	75	CON	FP 25t +GB-R 12t +吹付タイル【下地調整】 モルタル金コテ押え +吹付タイル【下地調整】	2.700	LGS【撤去】	GB-R 12t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	木製階段【撤去】
		後		セルフレベリング 10t +ビニル床シート(HS) 6.0t【新設】	±0	ソフト巾木【新設】	75	LGS【新設】 CON	GW 50t +GB-R 12.5t +EP【新設】 EP【新設】	2.700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	
	一廊下	後		セルフレベリング 10t +ビニル床シート(HS) 6.0t【新設】	±0	ソフト巾木【新設】	75	LGS【新設】 CON	GW 50t +GB-R 12.5t +EP【新設】 EP【新設】	2.700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	
		後		セルフレベリング 10t +ビニル床シート(HS) 6.0t【新設】	±0	ソフト巾木【新設】	75	LGS【新設】 CON	GW 50t +GB-R 12.5t +EP【新設】 EP【新設】	2.700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	
	一相談室	後		セルフレベリング 10t +ビニル床シート(HS) 6.0t【新設】	±0	ソフト巾木【新設】	75	LGS【新設】 CON	GW 50t +GB-R 12.5t +EP【新設】 EP【新設】	2.700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	
		後		セルフレベリング 10t +ビニル床シート(HS) 6.0t【新設】	±0	ソフト巾木【新設】	75	LGS【新設】 CON	GW 50t +GB-R 12.5t +EP【新設】 EP【新設】	2.700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	
	倉庫	前		塩ビタイル 2t	±0	堅木 +OS	75	CON	FP 25t +GB-R 12t +AEP モルタル金コテ押え +AEP	3.000	LGS	GB-D 12t	塩ビ	木製階段【撤去】
		後		セルフレベリング 10t +ビニル床シート 2t【一部新設】	±0	堅木【一部新設】	75	LGS【新設】	GB-R 12.5t +EP【一部新設】			既存のまま		

備考・凡例		＜ 共通事項 ＞		＜ 略号凡例 ＞		＜ 防火認定材料 ＞		＜ その他凡例 ＞	
※	hは高さ、wは幅、tは厚み、Dは奥行を示す。	CON	コンクリート	FP	ポリスチレンフォーム	せつこうボード	GB-R 9.5t	QM-9828	BB: ブラインドボックス 既存のまま P: ピクチャーレール 既存のまま TB: トイレブース 既存のまま (M): 機械設備工事 (E): 電気設備工事
※	内装材、接着剤、家具、建具仕上等はすべてノンアスベスト品・F☆☆☆☆材を使用する。	MO	モルタル	GW	グラスウール	せつこうボード	GB-R 12.5t 15t	NM-8619	
※	天井裏の建築材料はF☆☆☆☆材を使用する。	W	木	TB	テラゾブロック	強化せつこうボード	GB-F 21t	NM-8615	
※	クロロビリホスを含有する製品、材料は使用しない。	S	スチール	人研	人造石研ぎ出し	シージングせつこうボード	GB-S 9.5t 12.5t	QM-0898、QM-0493	
※	廻り縁は特記なき場合突付けとし、塩ビ製の字タイプとする。	LGS	鋼製天井・壁下地材	AEP	アクリルエマルジョンペイント塗り	シージングせつこうボード	GB-S 12.5t	NM-9346、NM-9639	
※	下がり天井の見切り・コーナー材は、特記なき場合塩ビ製とする。	SUS	ステンレス	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	化粧せつこうボード	GB-D 9.5t	GM-0831、QM-0524	
※	鉄部については錆止め塗装(工場1回、現場1回)を行う。	CB	コンクリートブロック	VP	不燃積層せつこうボード	ケイ酸カルシウム板	FK 6t	NM-0441	
※	木製製作物で特記のないものの樹種はすべて米桐とする。	GB-R	せつこうボード	DP	耐候性塗料塗り	吸音用穴あきせつこうボード	GB-P 9.5t	NM-4961	
※	家具類はすべて耐震止めを行うこと。	GB-F	強化せつこうボード	EP	合成樹脂系エマルジョンペイント塗り	ケイ酸カルシウム板	FK 6t	NM-8522	
※	トイレ・給湯室等の水廻りに使用するシーリング材はすべて防カビ使用とする。	GB-S	シージングせつこうボード	EP-G	つや有合成樹脂系エマルジョンペイント塗り	化粧ケイ酸カルシウム板	化粧FK 6t	NM-3352	
※	ビニルクロスは準不燃以上とし、カーテン、絨毯類は防火物品とする。	GB-D	化粧せつこうボード	EP-T	合成樹脂系エマルジョンペイント塗り	岩綿吸音板	DR 9t 12t	NM-8599、NM-2816	
※	トイレの壁に使用するタイルは既設のタイルと色を合わせる。	GB-NC	不燃積層せつこうボード	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	メラミン化粧板	3t	NM-2183	
※	室名( ) 書きは改修前の名称を表す。	GB-P	吸音用穴あきせつこうボード	OS	オイルステイン塗り	ビニルクロス		NM-3991他	
※	★印の付いた室は、残置物を合板・シートなどで適切に養生すること。	FK	ケイ酸カルシウム板	WP	木材保護塗料塗り				
※	★印の付いた建材は、石綿含有建材として適切に処理を行うこと。	化粧FK	化粧ケイ酸カルシウム板	DR	ロックウール化粧吸音板				
※	アスベストを含有した接着剤を撤去する場合にはHEPAフィルター等の集塵装置付き振動式剥離工具や手工具、剥離剤等を併用すること。								

棟階	室名	床			巾木		壁			天井			備考		
		下地	仕上	FL	仕上	H	下地	仕上	CH	下地	仕上	廻り縁			
1F	ブックポスト	前	塩ビタイル 2t		±0	ソフト巾木	75	CON	GB-R 9+12t +ビニルクロス		2.700	LGS	GB-R 9t +DR 9t	塩ビ	
		後	既存のまま			既存のまま			既存のまま				既存のまま		
2F	EVホール	前	MO タイルカーペット		±0	堅木 +SOP	100	CON	モルタル金コテ押え +ペルビアン		3.000	LGS	GB-R 9t +DR 9t	塩ビ	BB
		後	既存のまま			既存のまま			既存のまま				既存のまま		
	児童開架☆ 一般開架☆	前	MO タイルカーペット		±0	堅木+SOP【撤去】	100	CON CON LGS	FP 25t +GB-R 9t【撤去】+ビニルクロス【撤去】 モルタル金コテ押え +ビニルクロス【撤去・下地調整】 GB-R 9+12t【撤去】+ビニルクロス【撤去】		3.000	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB、P、書棚 ブラインド【撤去】スイングドア【撤去】
		後	既存のまま			堅木+SOP【新設】	100	CON CON LGS	EP【新設】 GB-R 9.5t +EP【新設】 GB-R 9.5+12.5t +EP【新設】		3.000	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	ブラインド・目隠しスクリーン【新設】
	お話コーナー☆	前	W タイルカーペット		+100	堅木+SOP【撤去】	100	CON CON LGS	モルタル金コテ押え +ビニルクロス【撤去・下地調整】 GB-R 9+12t【撤去】+ビニルクロス【撤去】		2.900	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB、書棚 ブラインド【撤去】
		後	既存のまま			堅木+SOP【新設】	100	CON CON LGS	EP【新設】 GB-R 9.5+12.5t +EP【新設】		2.900	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	ブラインド【新設】
	受付☆	前	OAフロアー H50 タイルカーペット【劣化補修】		±0	堅木+SOP【撤去】	100	CON CON LGS	モルタル金コテ押え +ビニルクロス【撤去・下地調整】 GB-R 9+12t【撤去】+ビニルクロス【撤去】		3.000	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB、カウンター
		後	既存のまま			堅木+SOP【新設】	100	CON CON LGS	EP【新設】 GB-R 9.5+12.5t +EP【新設】		3.000	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	
	事務室☆	前	OAフロアー H50 タイルカーペット(一部 複合フローリング 12t、畳 55t)		±0	ソフト巾木	75	CON CON LGS	モルタル金コテ押え +ビニルクロス GB-R 9+12t +ビニルクロス		3.000	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	BB、スチールパーテーション ミニキッチン【撤去】ブラインド【撤去】
		後	既存のまま			既存のまま			既存のまま		3.000	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	ミニキッチン【新設】ブラインド【新設】
	書庫☆	前	塩ビタイル 2t		±0	ソフト巾木	75	CON CON	FP 25t +GB-R 9t +AEP モルタル金コテ押え +AEP		3.000	LGS【撤去】	GB-D 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	移動書棚
		後	既存のまま			既存のまま			既存のまま		3.000	LGS【新設】	GB-D 9.5t【新設】	塩ビ【新設】	
	男子便所	前	MO 磁器質150角タイル【一部撤去】		-20	陶器質150角タイル		MO	陶器質150角タイル(模様貼)		2.500	LGS【撤去】	FK 6t +VP【撤去】	塩ビ【撤去】	和便器【撤去(M)】紙巻器【撤去(M)】 TB、洗面カウンター、化粧鏡、窓面アルミパイプ 洋便器、紙巻器【新設(M)】
		後	既存のまま【撤去部新設】			既存のまま			既存のまま【劣化補修 F・G】		2.500	LGS【新設】	FK 6t +EP【新設】	塩ビ【新設】	ペビーチェア、便座除菌クリーナー【新設】
	女子便所	前	MO 磁器質150角タイル【一部撤去】		-20	陶器質150角タイル		MO	陶器質150角タイル(模様貼)		2.500	LGS【撤去】	FK 6t +VP【撤去】	塩ビ【撤去】	和便器【撤去(M)】紙巻器【撤去(M)】 TB、洗面カウンター、化粧鏡、窓面アルミパイプ 洋便器、紙巻器【新設(M)】
		後	既存のまま【撤去部新設】			既存のまま			既存のまま【劣化補修 F・G】		2.500	LGS【新設】	FK 6t +EP【新設】	塩ビ【新設】	便座除菌クリーナー【新設】
	多目的トイレ	前	ビニル床シート 2t		±0	ソフト巾木	75	CON	モルタル金コテ押え +吹付タイル		2.500	LGS【撤去】	FK 6t +VP【撤去】	塩ビ【撤去】	傾斜鏡、手洗器、手摺
		後	既存のまま			既存のまま			既存のまま		2.500	LGS【新設】	FK 6t +EP【新設】	塩ビ【新設】	ペビーシート【新設】
	空調機械室	前	コンクリート金コテ押え		±0	モルタル金コテ押え	200	CON	GW 25t ガラスクロス押え				GW 25t ガラスクロス押え		設備基礎
		後	既存のまま			既存のまま			既存のまま				既存のまま		
	階段室	前	ビニル床シート 2.5t		±0	ソフト巾木		CON	モルタル金コテ押え +寒冷紗 +吹付タイル				コンクリート打放し +吹付タイル		SUSノンスリップ(ゴムタイヤ入り)、手摺
		後	既存のまま			既存のまま			既存のまま【劣化補修 D】				既存のまま		
3F	ホール	前	ビニル床シート 2.5t		±0	ソフト巾木	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +吹付タイル GB-R 9+12t +吹付タイル		2.700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 12t【撤去】	塩ビ【撤去】	P、展示用スライディングウォール
		後	既存のまま			既存のまま			既存のまま		2.700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	
	廊下	前	ビニル床シート 2.5t		±0	ソフト巾木	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +吹付タイル GB-R 9+12t +吹付タイル		2.700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	P、スイングドア【撤去】
		後	既存のまま			既存のまま			既存のまま		2.700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	目隠しスクリーン【新設】
	会議室 1	前	MO OAフロアー H50 タイルカーペット		±0	ソフト巾木	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +ビニルクロス GB-R 9+12t +ビニルクロス		2.700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	P、BB、ホワイトボード、掲示板
		後	既存のまま			既存のまま			既存のまま		2.700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	
	会議室 2	前	MO OAフロアー H50 タイルカーペット		±0	ソフト巾木	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +ビニルクロス GB-R 9+12t +ビニルクロス		2.700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	P、BB、スライディングウォール、ホワイトボード 掲示板、ロールスクリーンBOX
		後	既存のまま			既存のまま			既存のまま		2.700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	
	栄養指導室	前	ビニル床シート 2.5t		±0	ソフト巾木	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +吹付タイル GB-R 9+12t +吹付タイル		2.700	LGS【撤去】	FK 6t +VP【撤去】	塩ビ【撤去】	P、BB、調理実習台、ホワイトボード、掲示板 SUS流し台、レンジ、吊戸棚
		後	既存のまま			既存のまま			既存のまま		2.700	LGS【新設】	FK 6t +EP【新設】	塩ビ【新設】	
	踏込	前	ビニル床シート 2.5t、上框：ヒノキ		±0	堅木 OS	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +ビニルクロス GB-R 9+12t +ビニルクロス		2.700	LGS【撤去】	杉桎化粧石膏ボード 9t【撤去】	木製【撤去】	下足箱
		後	既存のまま			既存のまま			既存のまま		2.700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +クロス(木目調)【新設】	木製【新設】	

備考・凡例


< 共通事項 >		< 略号凡例 >		< 防火認定材料 >		< その他凡例 >	
※ hは高さ、wは幅、tは厚み、Dは奥行を示す。 ※ 内装材、接着剤、家具、建具仕上等はすべてノンアスベスト品・F☆☆☆☆材を使用する。 ※ 天井裏の建築材料はF☆☆☆☆材を使用する。 ※ クロルビリホスを含有する製品、材料は使用しない。 ※ 廻り縁は特記なき場合突付けとし、塩ビ製の字タイプとする。 ※ 下がり天井の見切り・コーナー材は、特記なき場合塩ビ製とする。 ※ 鉄部については錆止め塗装(工場1回、現場1回)を行う。 ※ 木製製作物で特記のないものの樹種はすべて米桐とする。 ※ 家具類はすべて耐震止めを行うこと。 ※ トイレ・給湯室等の水廻りに使用するシーリング材はすべて防カビ使用とする。 ※ ビニルクロスは準不燃以上とし、カーテン、絨毯類は防災物品とする。 ※ トイレの壁に使用するタイルは既設のタイルと色を合わせる。 ※ 室名( )書きは改修前の名称を表す。 ※ ★印の付いた室は、残置物を合板・シートなどで適切に養生すること。 ※ ★印の付いた建材は、石綿含有建材として適切に処理を行うこと。 ※ アスベストを含有した接着剤を撤去する場合にはHEPAフィルター等の集塵装置付き振動式剥離工具や手工具、剥離剤等を併用すること。	CON コンクリート MO モルタル W 木 S スチール LGS 鋼製天井・壁下地材 SUS ステンレス CB コンクリートブロック GB-R せっこうボード GB-F 強化せっこうボード GB-S シーリングせっこうボード GB-D 化粧せっこうボード GB-NC 不燃積層せっこうボード GB-P 吸音用穴あきせっこうボード FK ケイ酸カルシウム板 化粧FK 化粧ケイ酸カルシウム板	FP ポリスチレンフォーム GW グラスウール TB テラゾブロック 人研 人造石研ぎ出し AEP アクリルエマルジョンペイント塗り SOP 合成樹脂調合ペイント塗り VP ビニルペイント塗り DP 耐候性塗料塗り EP 合成樹脂系エマルジョンペイント塗り EP-G つや有合成樹脂系エマルジョンペイント塗り EP-T 合成樹脂系エマルジョンペイント塗り UC ウレタン樹脂ワニス塗り OS オイルステイン塗り WP 木材保護塗料塗り DR ロックウール化粧吸音板	せっこうボード GB-R 9.5t せっこうボード GB-R 12.5t 15t 強化せっこうボード GB-F 21t シーリングせっこうボード GB-S 9.5t 12.5t シーリングせっこうボード GB-S 12.5t 不燃積層せっこうボード GB-D 9.5t 吸音用穴あきせっこうボード GB-P 9.5t ケイ酸カルシウム板 GB-NC 9.5t 化粧ケイ酸カルシウム板 化粧FK 6t 岩綿吸音板 DR 9t 12t メラミン化粧板 3t ビニルクロス	QM-9828 NM-8619 NM-8615 NM-0898、QM-0493 NM-9346、NM-9639 NM-0831、QM-0524 NM-0441 NM-4961 NM-8522 NM-3352 NM-8599、NM-2816 NM-2183 NM-3991他	BB:ブラインドボックス 既存のまま P:ピクチャーレール 既存のまま TB:トイレフース 既存のまま (M):機械設備工事 (E):電気設備工事  < 劣化部補修 > D ひび割れ(コンクリート打放し)0.2mm未満 シール工法【外壁改修標準仕様書(D-1)】 F タイルひび割れ部 タイル部分張替え工法【改修標準仕4.4.7】 G タイル浮き部 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法【改修標準仕4.4.9】 NETIS-KT-150123-VR 剥落防止保障10年 ①高圧洗浄(15~20MPa) ②穿孔 ③孔内エアークリーニング ④エポキシ樹脂注入 ⑤ステンレスピン挿入 ⑥穿孔跡埋戻し【バテ状エポキシ樹脂】		

変更履歴	月、日	月、日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下智矢	図面名称	内部仕上表3	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事		担当者	管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号	NoScale	60-030
					照査技術者	林田祥太郎 一級建築士第395282号	日付	図面No.
					担当者	寺川隆史 一級建築士第389712号	2026年3月	A / 11

棟階	室名	床					巾木					壁					天井				備考
		下地	仕上		FL	仕上	H	下地	仕上		CH	下地	仕上		廻り縁						
3F	和室	前	W	複合フローリング 15t 畳 55t		+200	畳寄せ		CON	モルタル金コテ押え +ビニルクロス		2,500	LGS	杉桎化粧石膏ボード 9t		木製	畳縁				
		後		既存のまま			既存のまま			既存のまま		2,500	LGS	GB-R 9.5t +クロス(木目調)		木製	畳縁				
	押入	前	W	榻合板 5.5t		+200	雑巾摺			榻合板 5.5t		2,500	LGS	榻合板 3t		木製	中段、天袋				
		後		既存のまま			既存のまま			既存のまま		2,500	LGS	榻合板 3t		木製					
	視聴覚室	前	MO	タイルカーペット		±0	堅木 OS	75	CON	GB-R 9t(GL貼) +ビニルクロス		2,700	LGS	GB-R 9t +DR 9t		塩ビ	スピーカー【撤去(E)】、ロールスクリーンBOX BB、P、ホワイトボード【撤去】、掲示板				
		後		既存のまま			既存のまま			既存のまま		2,700	LGS	GB-R 9.5t +DR 9t		塩ビ	モニター・スピーカー【新設(E)】				
	研修室	前		ビニル床シート 2.5t		±0	堅木 OS	75	CON	FP 25t +GB-R 9t +吹付タイル		2,700	LGS	GB-R 9t +DR 9t		塩ビ	BB、P、ロールスクリーンBOX、ホワイトボード 流し台、スライディングウォール、掲示板				
		後		既存のまま			既存のまま			既存のまま		2,700	LGS	GB-R 9.5t +DR 9t		塩ビ					
	レッスンルーム	前	MO	タイルカーペット		±0	堅木 OS	75	CON	FP 25t +GB-R 9t +音響調整パネル		2,700	LGS	GB-R 9t +DR 9t		塩ビ	BB、ロールスクリーンBOX				
		後		既存のまま			既存のまま			既存のまま		2,700	LGS	GB-R 9.5t +DR 9t		塩ビ					
	湯沸室	前		ビニル床シート 2.5t		±0	ソフト巾木★	75	CON	モルタル金コテ押え +吹付タイル★		2,500	LGS	FK 6t +AEP		塩ビ	BB、流し台【撤去】コンロ台【撤去】吊戸棚【撤去】レンジフード【撤去】水切柵【撤去】水栓【撤去(M)】				
		後		既存のまま			既存のまま			EP、メラミン化粧板【新設】		2,500	LGS	FK 6t +EP		塩ビ	流し台、コンロ台、吊戸棚、レンジフード、水切柵【新設】水栓【新設(M)】				
	男子便所	前	MO	磁器質100角タイル(模様貼)		-20	陶器質100角タイル		MO	陶器質100角タイル(模様貼)		2,500	LGS	FK 6t +AEP		塩ビ	TB、洗面カウンター、化粧鏡、窓面アルミパイプ				
		後		既存のまま			既存のまま			既存のまま【劣化補修 F・G】		2,500	LGS	FK 6t +EP		塩ビ					
	女子便所	前	MO	磁器質100角タイル(模様貼)【一部撤去】		-20	陶器質100角タイル		MO	陶器質100角タイル(模様貼)		2,500	LGS	FK 6t +AEP		塩ビ	和便器【撤去(M)】紙巻器【撤去(M)】 TB、洗面カウンター、化粧鏡、窓面アルミパイプ				
		後		既存のまま【撤去部新設】			既存のまま			既存のまま【劣化補修 F・G】		2,500	LGS	FK 6t +EP		塩ビ	洋便器、紙巻器【新設(M)】 便座除菌クリーナー【新設】				
	多目的トイレ	前		ビニル床シート 2t		±0	ソフト巾木	75	CON	モルタル金コテ押え +吹付タイル		2,500	LGS	FK 6t +VP		塩ビ	傾斜鏡、手洗器、手摺、可動式手摺【撤去】				
		後		既存のまま			既存のまま			既存のまま		2,500	LGS	FK 6t +EP		塩ビ	跳ね上げ手摺、ペーパーシート【新設】 オストメイトバック【新設(M)】				
	倉庫	前		ビニル床シート 2t		±0	ソフト巾木	75	CON	モルタル金コテ押え +AEP		2,500	LGS	GB-D 12t		塩ビ					
		後		既存のまま			既存のまま			既存のまま		2,500	LGS	GB-D 9.5t		塩ビ					
	階段室	前		ビニル床シート 2.5t		±0	ソフト巾木		CON	モルタル金コテ押え +寒冷紗 +吹付タイル				コンクリート打放し +吹付タイル			SUSノンスリップ(ゴムタイヤ入り)、手摺				
		後		既存のまま			既存のまま			既存のまま【劣化補修 D】				既存のまま							
4F	EVホール	前		カラーコンクリート		±0	ソフト巾木	100	CON	モルタル金コテ押え +ビニルクロス		2,700	LGS	GB-R 9t +DR 12t		塩ビ	美術陶板				
		後		既存のまま			既存のまま			既存のまま				既存のまま							
	ホール	前		カラーコンクリート		±0	ソフト巾木	100	CON	モルタル金コテ押え +ビニルクロス		2,700	LGS	GB-R 9t +DR 12t		塩ビ	BB				
		後		既存のまま			既存のまま			既存のまま		2,700	LGS	GB-R 9.5t +DR 12t		塩ビ					
	廊下	前		タイルカーペット ビニル床シート 2.5t		±0	ソフト巾木	75	CON	モルタル金コテ押え +ビニルクロス		2,700	LGS	GB-R 9t +DR 9t		塩ビ	スイングドア【撤去】				
		後		既存のまま			既存のまま			既存のまま		2,700	LGS	GB-R 9.5t +DR 9t		塩ビ	P、目隠しスクリーン【新設】				
	展示室	前		—			—			—				—							
		後		既存のまま			既存のまま			既存のまま				既存のまま							

**備考・凡例**

< 共通事項 >		< 略号凡例 >		< 防火認定材料 >		< その他凡例 >					
※ hは高さ、wは幅、tは厚み、Dは奥行を示す。 ※ 内装材、接着剤、家具、建具仕上等はすべてノンアスベスト品・F☆☆☆☆材を使用する。 ※ 天井裏の建築材料はF☆☆☆☆材を使用する。 ※ クロルビリホスを含有する製品、材料は使用しない。 ※ 廻り縁は特記なき場合突付けとし、塩ビ製コの字タイプとする。 ※ 下がり天井の見切り・コーナー材は、特記なき場合塩ビ製とする。 ※ 鉄部については錆止め塗装(工場1回、現場1回)を行う。 ※ 木製製作物で特記のないものの樹種はすべて米桐とする。 ※ 家具類はすべて耐震止めを行うこと。 ※ トイレ・給湯室等の水廻りに使用するシーリング材はすべて防カビ使用とする。 ※ ビニルクロスは準不燃以上とし、カーテン、絨毯類は防災物品とする。 ※ トイレの壁に使用するタイルは既設のタイルと色を合わせる。 ※ 室名( ) 書きは改修前の名称を表す。 ※ ☆印の付いた室は、残置物を合板・シートなどで適切に養生すること。 ※ ★印の付いた建材は、石綿含有建材として適切に処理を行うこと。 ※ アスベストを含有した接着剤を撤去する場合にはHEPAフィルター等の集塵装置付き振動式剥離工具や手工具、剥離剤等を併用すること。		CON コンクリート MO モルタル W 木 S スチール LGS 銅製天井・壁下地材 SUS ステンレス CB コンクリートブロック GB-R せっこうボード GB-F 強化せっこうボード GB-S シーリングせっこうボード GB-D 化粧せっこうボード GB-NC 不燃積層せっこうボード GB-P 吸音用穴あきせっこうボード FK ケイ酸カルシウム板 化粧FK 化粧ケイ酸カルシウム板		FP ポリスチレンフォーム GW グラスウール TB テラソブロック 人研 人造石研ぎ出し AEP アクリルエマルジョンペイント塗り SOP 合成樹脂調合ペイント塗り VP ビニールペイント塗り DP 耐候性塗料塗り EP 合成樹脂系エマルジョンペイント塗り EP-G つや有合成樹脂系エマルジョンペイント塗り EP-T 合成樹脂系エマルジョン模様塗料塗り UC ウレタン樹脂ワニス塗り OS オイルステイン塗り WP 木材保護塗料塗り DR ロックウール化粧吸音板		せっこうボード GB-R 9.5t 強化せっこうボード GB-R 12.5t 15t シーリングせっこうボード GB-F 21t シーリングせっこうボード GB-S 9.5t 12.5t 化粧せっこうボード GB-D 9.5t 不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5t 吸音用穴あきせっこうボード GB-P 9.5t ケイ酸カルシウム板 FK 6t 化粧ケイ酸カルシウム板 化粧FK 6t 岩綿吸音板 DR 9t 12t メラミン化粧板 3t ビニルクロス		QM-9828 NM-8619 NM-8615 QM-0898、QM-0493 NM-9346、NM-9639 GM-0831、QM-0524 NM-0441 NM-4961 NM-8522 NM-3352 NM-8599、NM-2816 NM-2183 NM-3991他		BB: フライندوقス 既存のまま P: ピクチャーレール 既存のまま TB: トイレフース 既存のまま (M): 機械設備工事 (E): 電気設備工事 < 劣化部補修 > D ひび割れ(コンクリート打放し)0.2mm未満 シール工法【外壁改修標準仕様書(D-1)】 F タイルひび割れ部 タイル部分張替え工法【改修標準仕4.4.7】 G タイル浮き部 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法【改修標準仕4.4.9】 NETIS:KT-150123-VR 剥落防止保障10年 ①高圧洗浄(15~20MPa) ②穿孔 ③孔内エアークリーニング ④エポキシ樹脂注入 ⑤ステンレスピン挿入 ⑥穿孔跡隠し【バテ状エポキシ樹脂】	

変更履歴	月、日	月、日	工事名称	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下智矢	図面名称 内部仕上表4 担当者 管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号 照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号 担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号	縮尺 NoScale 日付 2026年3月	管理No. 60-030 図面No. A / 12
------	-----	-----	------	--	---	--------------------------------	------------------------------------

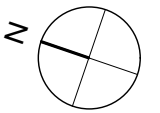
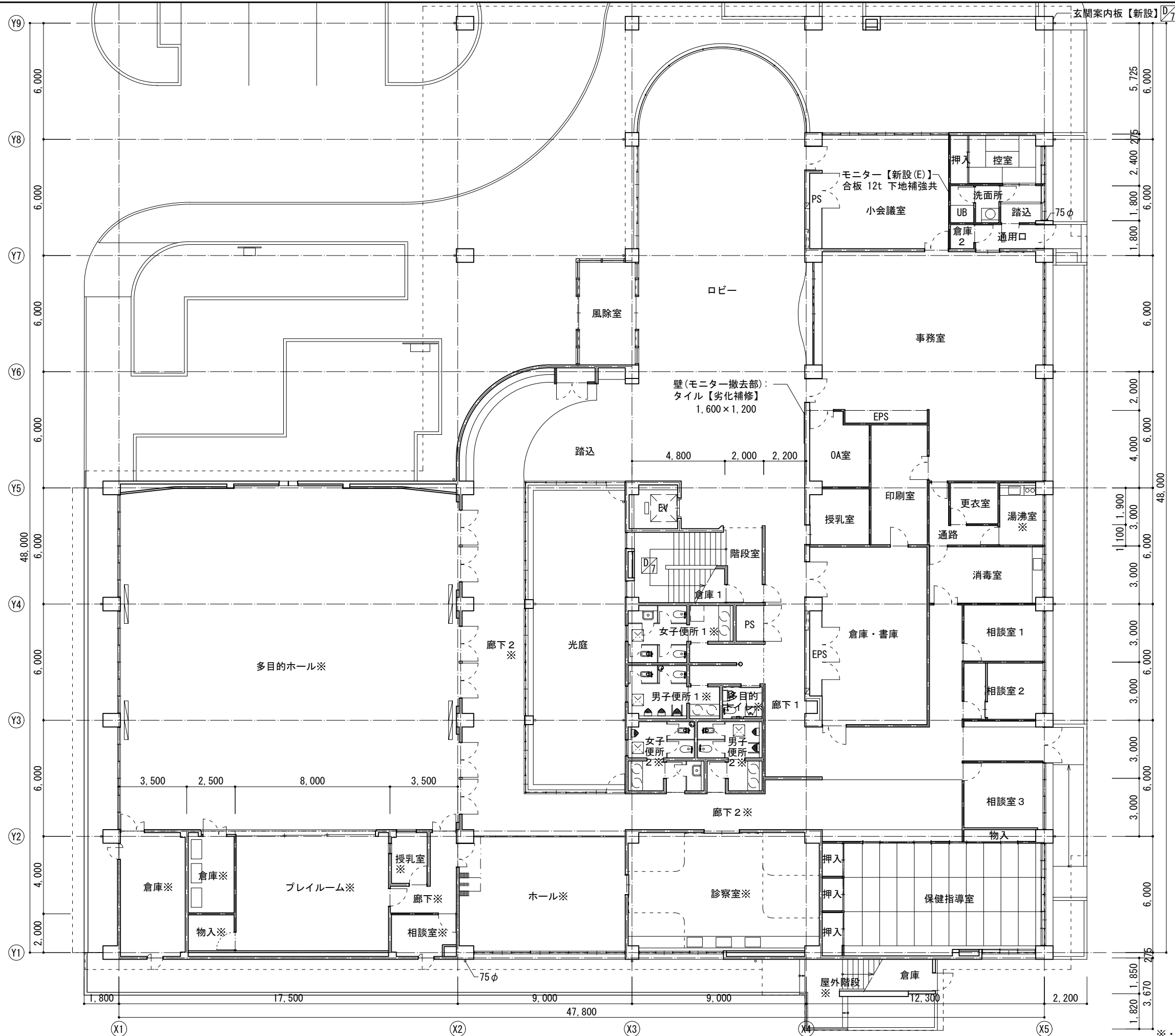
棟階	室名	床			巾木			壁			天井			備考
		下地	仕上	FL	仕上	H	下地	仕上	CH	下地	仕上	廻り縁		
4F	一般収蔵庫	前	W	コンパネ 15t +フローリング 15t	±0	杉 90角	90	W	杉板 24t(落込み)	2,700	LGS	FK 6t	木製	木製収蔵棚
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま			既存のまま		
	事務室・復元室☆	前		ビニル床シート 2.5t(一部 合成樹脂塗床)	±0	ソフト巾木	75	CON LGS	モルタル金コテ押え +吹付タイル GB-R 9+12t +吹付タイル	2,700	LGS【撤去】	GB-R 9t +DR 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	受付カウンター、ミニキッチン【撤去】、SUS流し台
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2,700	LGS【新設】	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	塩ビ【新設】	ミニキッチン【新設】
	特別収蔵庫☆	前	W	コンパネ 15t +フローリング 15t	±0	杉 90角	90	W	杉板 24t(落込み)	2,700	LGS【撤去】	FK 6t【撤去】	—	木製収蔵棚
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2,700	LGS【新設】	FK 6t【新設】	—	
	倉庫	前		塩ビタイル 2t	±0	ソフト巾木	75	CON	モルタル金コテ押え +AEP	2,500	LGS【撤去】	GB-D 9t【撤去】	塩ビ【撤去】	
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま	2,500	LGS【新設】	GB-D 9.5t【新設】	塩ビ【新設】	
	男子便所	前	MO	磁器質100角タイル(模様貼)【一部撤去】	-20	陶器質100角タイル		MO	陶器質100角タイル(模様貼)	2,500	LGS【撤去】	FK 6t +AEP【一部撤去】	塩ビ【撤去】	和便器【撤去(M)】紙巻器【撤去(M)】 TB、洗面カウンター、化粧鏡、窓面アルミパイプ
		後		既存のまま【撤去部新設】		既存のまま			既存のまま【劣化補修 F・G】	2,500	LGS【新設】	FK 6t +EP【撤去部新設】	塩ビ【新設】	洋便器、紙巻器【新設(M)】 便座除菌クリーナー【新設】
	女子便所	前	MO	磁器質100角タイル(模様貼)【一部撤去】	-20	陶器質100角タイル		MO	陶器質100角タイル(模様貼)	2,500	LGS【撤去】	FK 6t +AEP【一部撤去】	塩ビ【撤去】	和便器【撤去(M)】紙巻器【撤去(M)】 TB、洗面カウンター、化粧鏡、窓面アルミパイプ
		後		既存のまま【撤去部新設】		既存のまま			既存のまま【劣化補修 F・G】	2,500	LGS【新設】	FK 6t +EP【撤去部新設】	塩ビ【新設】	洋便器、紙巻器【新設(M)】 便座除菌クリーナー【新設】
	階段室	前		ビニル床シート 2.5t	±0	ソフト巾木		CON	モルタル金コテ押え +寒冷紗 +吹付タイル			コンクリート打放し +吹付タイル		SUSノンスリップ(ゴムタイヤ入り)、手摺
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま【劣化補修 D】			既存のまま		
5F	階段室	前		ビニル床シート 2.5t	±0	ソフト巾木		CON	モルタル金コテ押え +寒冷紗 +吹付タイル	2,500	LGS	GB-R 9t +DR 9t	塩ビ	SUSノンスリップ(ゴムタイヤ入り)、手摺
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま【劣化補修 D】			既存のまま		
	前室	前		塩ビタイル 2t	±0	ソフト巾木	75		コンクリート打放し +吹付タイル		LGS	GB-D 9t	塩ビ	
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま			既存のまま		
	屋根裏収蔵庫	前		塩ビタイル 2t	±0	ソフト巾木	75		コンクリート打放し +AEP		LGS	GB-D 9t	塩ビ	
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま			既存のまま		
	空調機械室	前		コンクリート金コテ押え	±0	モルタル金コテ押え	200	CON	GW 25t ガラスクロス押え		LGS	GW 25t ガラスクロス押え		設備基礎
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま			既存のまま		
	EV機械室	前		コンクリート金コテ押え	+700	モルタル金コテ押え	100	CON	ロックウール吹付金コテ押え 15t		LGS	ロックウール吹付 10t		
		後		既存のまま		既存のまま			既存のまま			既存のまま		

備考・凡例

＜ 共通事項 ＞		＜ 略号凡例 ＞		＜ 防火認定材料 ＞		＜ その他凡例 ＞	
※ hは高さ、wは幅、tは厚み、Dは奥行を示す。	※ 内装材、接着剤、家具、建具仕上等はすべてノンアスベスト品・F☆☆☆☆材を使用する。	CON	コンクリート	FP	ポリスチレンフォーム	せっこうボード GB-R 9.5t	QM-9828
※ 天井裏の建築材料はF☆☆☆☆材を使用する。	※ クロルビリホスを含有する製品、材料は使用しない。	MO	モルタル	GW	グラスウール	強化せっこうボード GB-R 12.5t 15t	NM-8619
※ 廻り縁は特記なき場合突付けとし、塩ビ製コの字タイプとする。	※ 下がり天井の見切り・コーナー材は、特記なき場合塩ビ製とする。	W	木	TB	テラソブロック	シーリングせっこうボード GB-F 21t	NM-8615
※ 鉄部については錆止め塗装(工場1回、現場1回)を行う。	※ 木製製作物で特記のないものの樹種はすべて米桐とする。	S	スチール	人研	人造石研ぎ出し	シーリングせっこうボード GB-S 9.5t 12.5t	QM-0898、QM-0493
※ 家具類はすべて耐震止めを行うこと。	※ トイレ・給湯室等の水廻りに使用するシーリング材はすべて防カビ使用とする。	LGS	鋼製天井・壁下地材	AEP	アクリルエマルジョンペイント塗り	シーリングせっこうボード GB-S 12.5t	NM-9346、NM-9639
※ ビニルクロスは準不燃以上とし、カーテン、絨毯類は防災物品とする。	※ トイレの壁に使用するタイルは既設のタイルと色を合わせる。	SUS	ステンレス	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	化粧せっこうボード GB-D 9.5t	GM-0831、QM-0524
※ ☆印の付いた室は、残置物を合板・シートなどで適切に養生すること。	※ ★印の付いた建材は、石綿含有建材として適切に処理を行うこと。	CB	コンクリートブロック	VP	ビニールペイント塗り	不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5t	NM-0441
※ アスベストを含有した接着剤を撤去する場合にはHEPAフィルター等の集塵装置付き振動式剥離工具や手工具、剥離剤等を併用すること。		GB-R	せっこうボード	DP	耐候性塗料塗り	吸音用穴あきせっこうボード GB-P 9.5t	NM-4961
		GB-F	強化せっこうボード	EP	合成樹脂系エマルジョンペイント塗り	化粧ケイ酸カルシウム板 FK 6t	NM-8522
		GB-S	シーリングせっこうボード	EP-G	つや有合成樹脂系エマルジョンペイント塗り	化粧ケイ酸カルシウム板 化粧FK 6t	NM-3352
		GB-D	化粧せっこうボード	EP-T	合成樹脂系エマルジョンペイント塗り	岩綿吸音板 DR 9t 12t	NM-8599、NM-2816
		GB-NC	不燃積層せっこうボード	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	メラミン化粧板 3t	NM-2183
		GB-P	吸音用穴あきせっこうボード	OS	オイルステイン塗り	ビニルクロス	NM-3991他
		FK	ケイ酸カルシウム板	WP	木材保護塗料塗り		
		化粧FK	化粧ケイ酸カルシウム板	DR	ロックウール化粧吸音板		

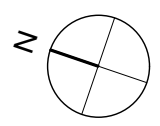
変更履歴	月、日	月、日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下智矢	図面名称	内部仕上表 5	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事		担当者	管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号	NoScale	60-030
					照査技術者	林田祥太郎 一級建築士第395282号	日付	図面No.
					担当者	寺川隆史 一級建築士第38912号	2026年3月	A / 13





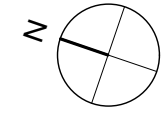
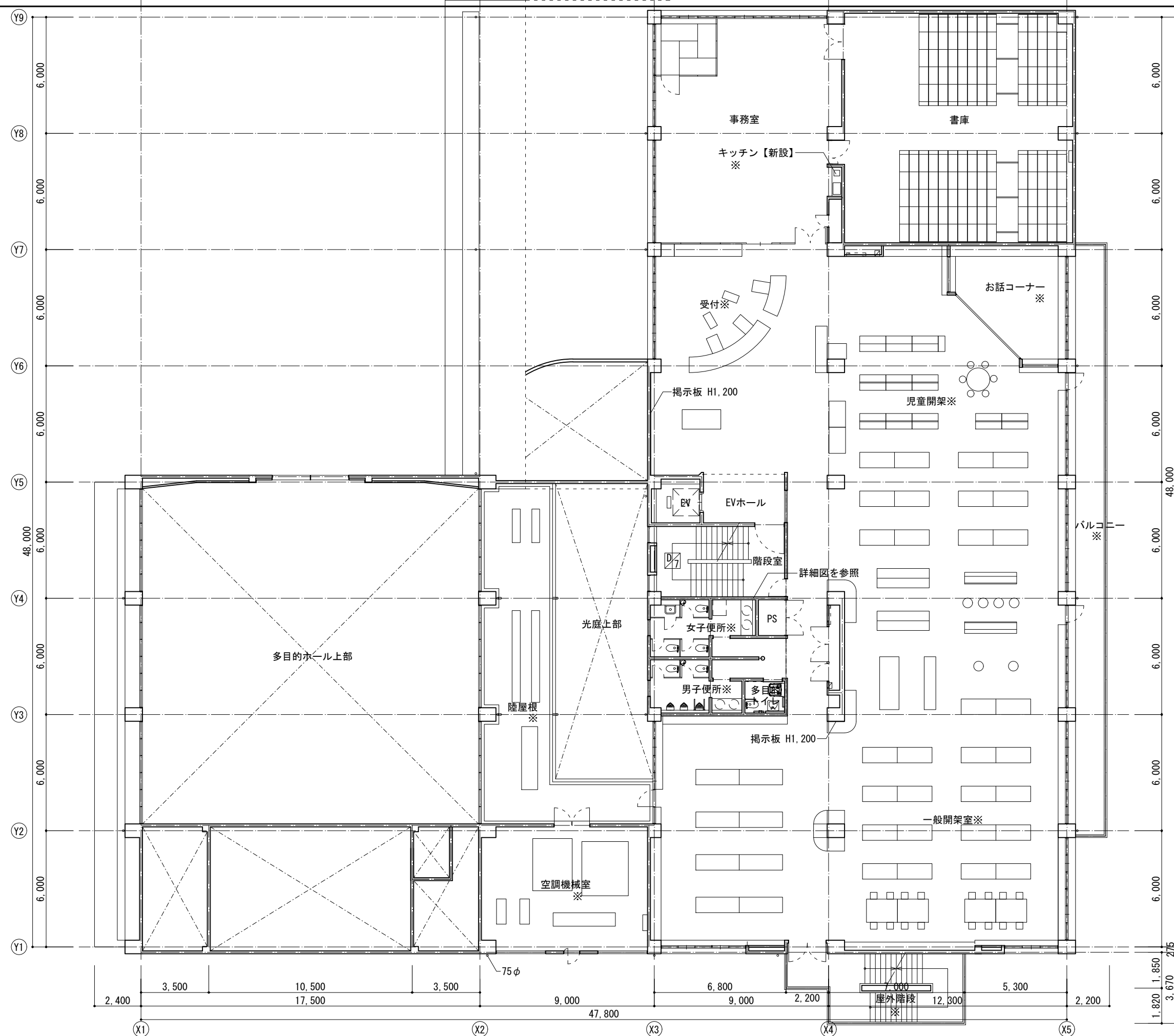
※・・・改修内容・寸法など詳細図を参照

変更履歴	月. 日	月. 日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店	図面名称	1階平面図 (改修後)	縮尺	A1 1:100 A3 1:200	管理No.	60-030
			シーオーレ新宮大規模改修工事	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	担当者	管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号	日付	2026年3月	図面No.	A / 15
					照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号	担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号				



※・・・改修内容・寸法などは詳細図を参照

変更履歴	月.日	月.日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店	図面名称	2階平面図 (改修前)	縮尺	A1 1:100 A3 1:200	管理No.	60-030
			シーオーレ新宮大規模改修工事	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	担当者	管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号	日付	2026年3月	図面No.	A / 16
						照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号				
						担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号				




※・・・改修内容・寸法など詳細図を参照

変更履歴	月.日	月.日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店	図面名称	2階平面図(改修後)	縮尺	A1 1:100 A3 1:200	管理No.	60-030
			シーオーレ新宮大規模改修工事	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	担当者	管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号	照査技術者	林田祥太郎 一級建築士第395282号	担当者	寺川隆史 一級建築士第389712号
					日付	2026年3月			図面No.	A / 17



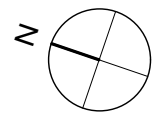
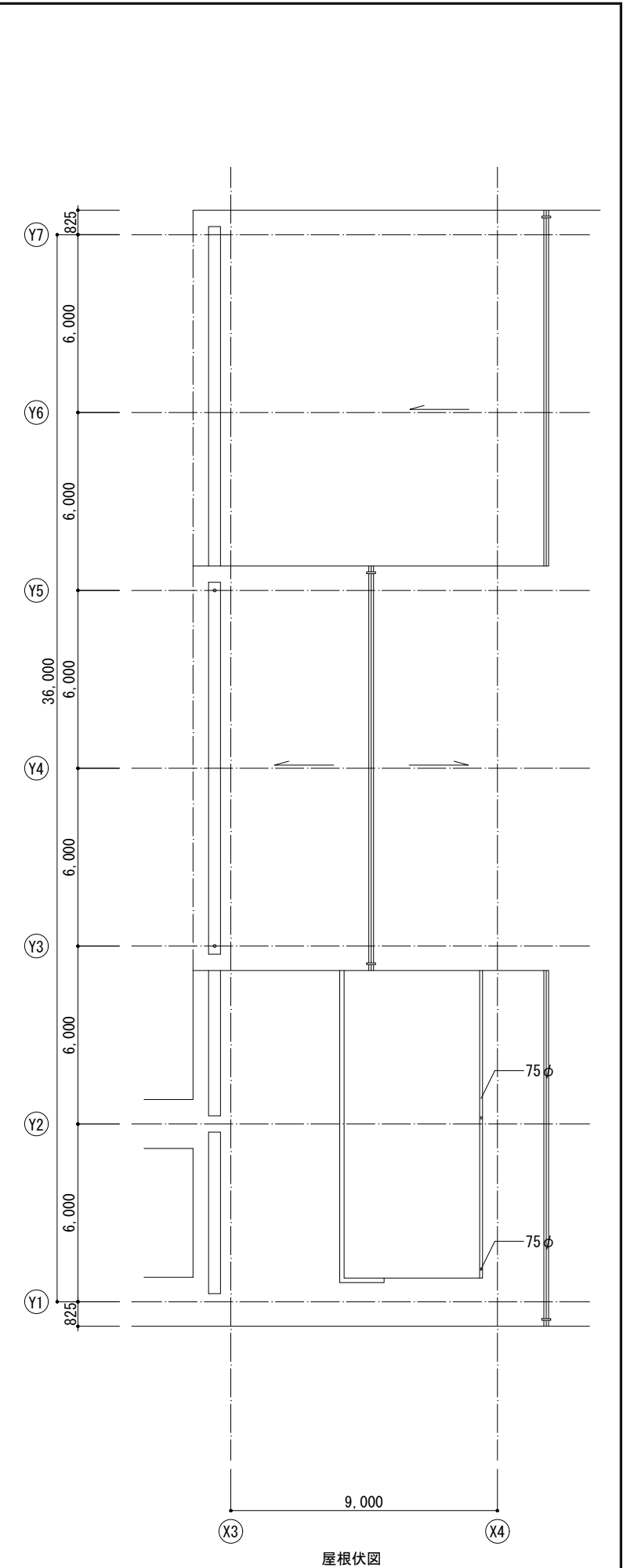
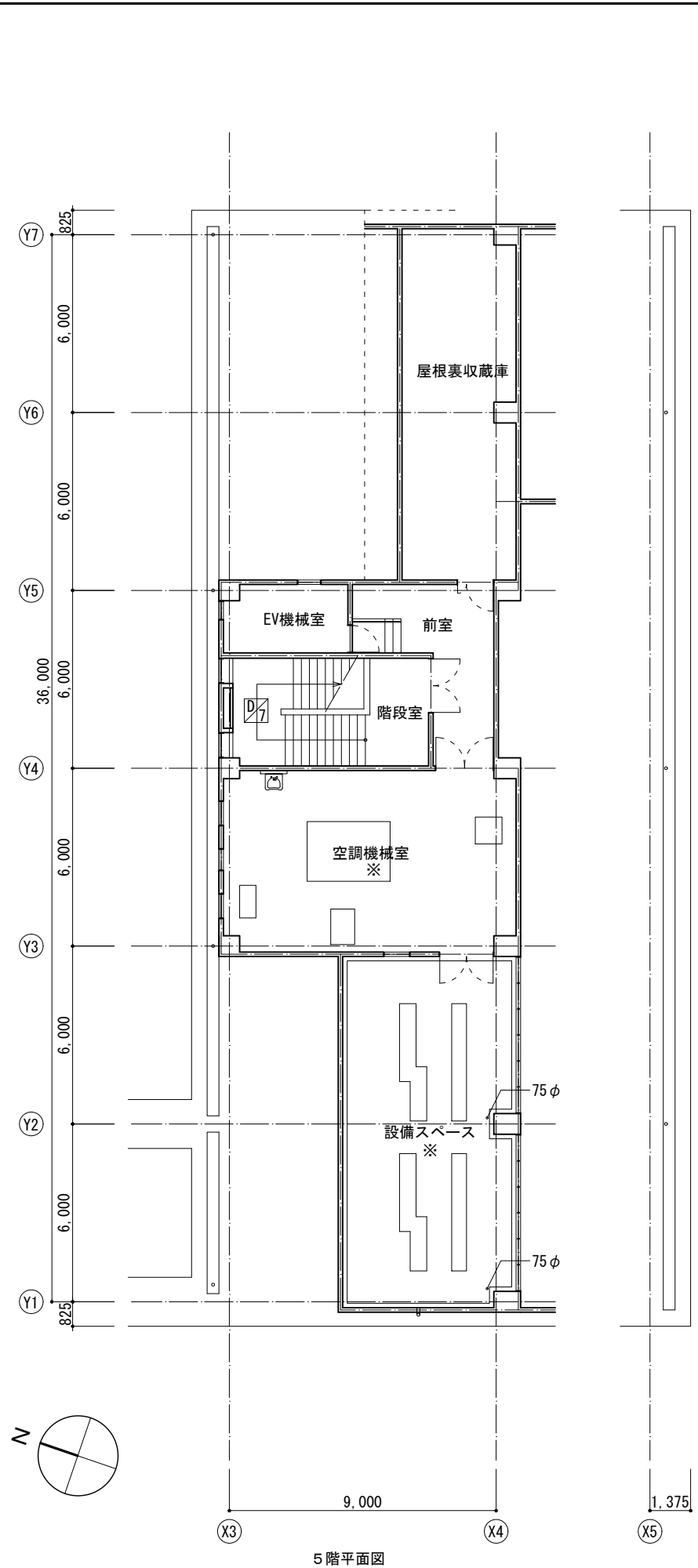
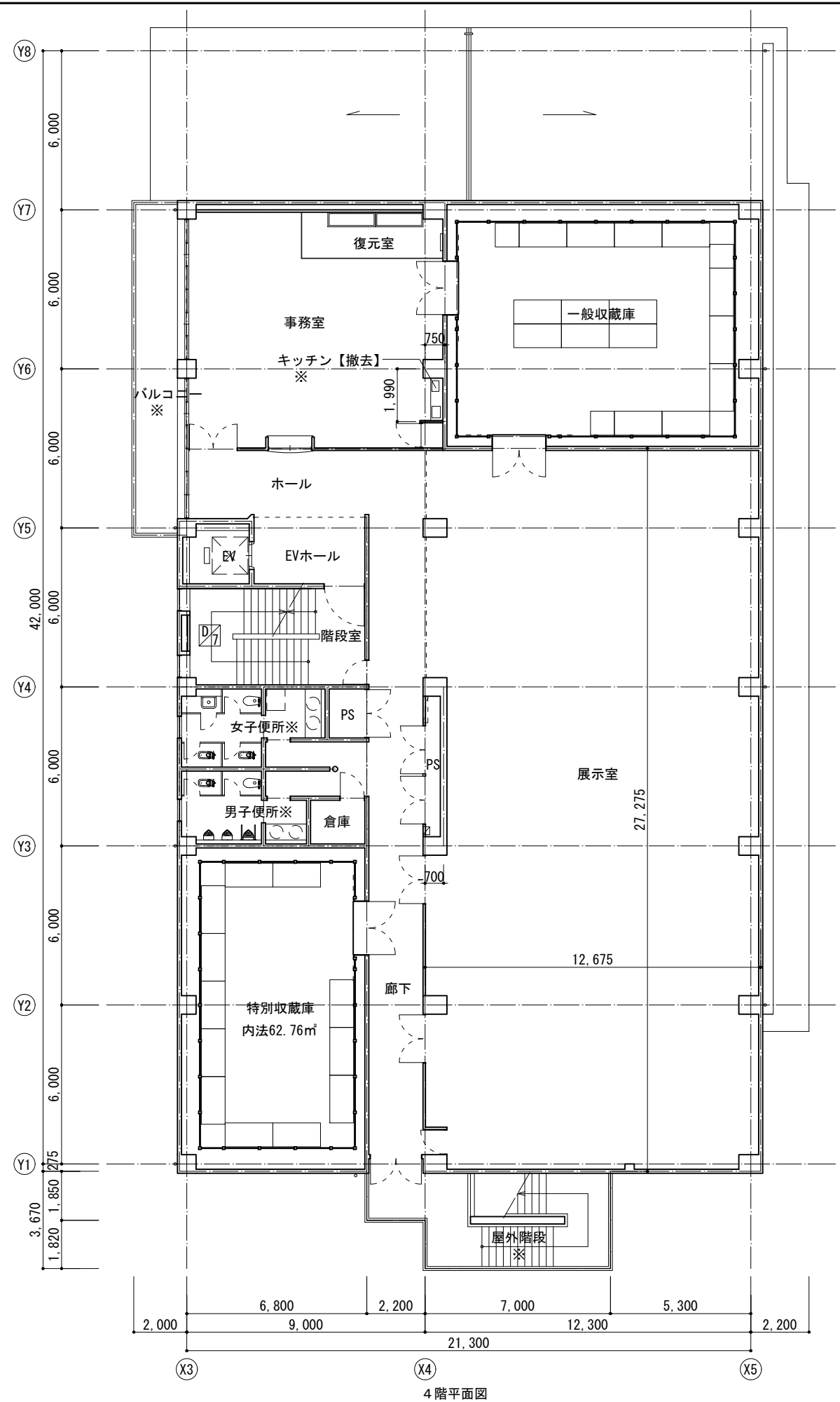
※・・・改修内容・寸法など詳細図を参照

変更履歴	月. 日	月. 日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称 3階平面図 (改修前)	縮尺 A1 1:100	管理No.
						担当者 管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号	照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号



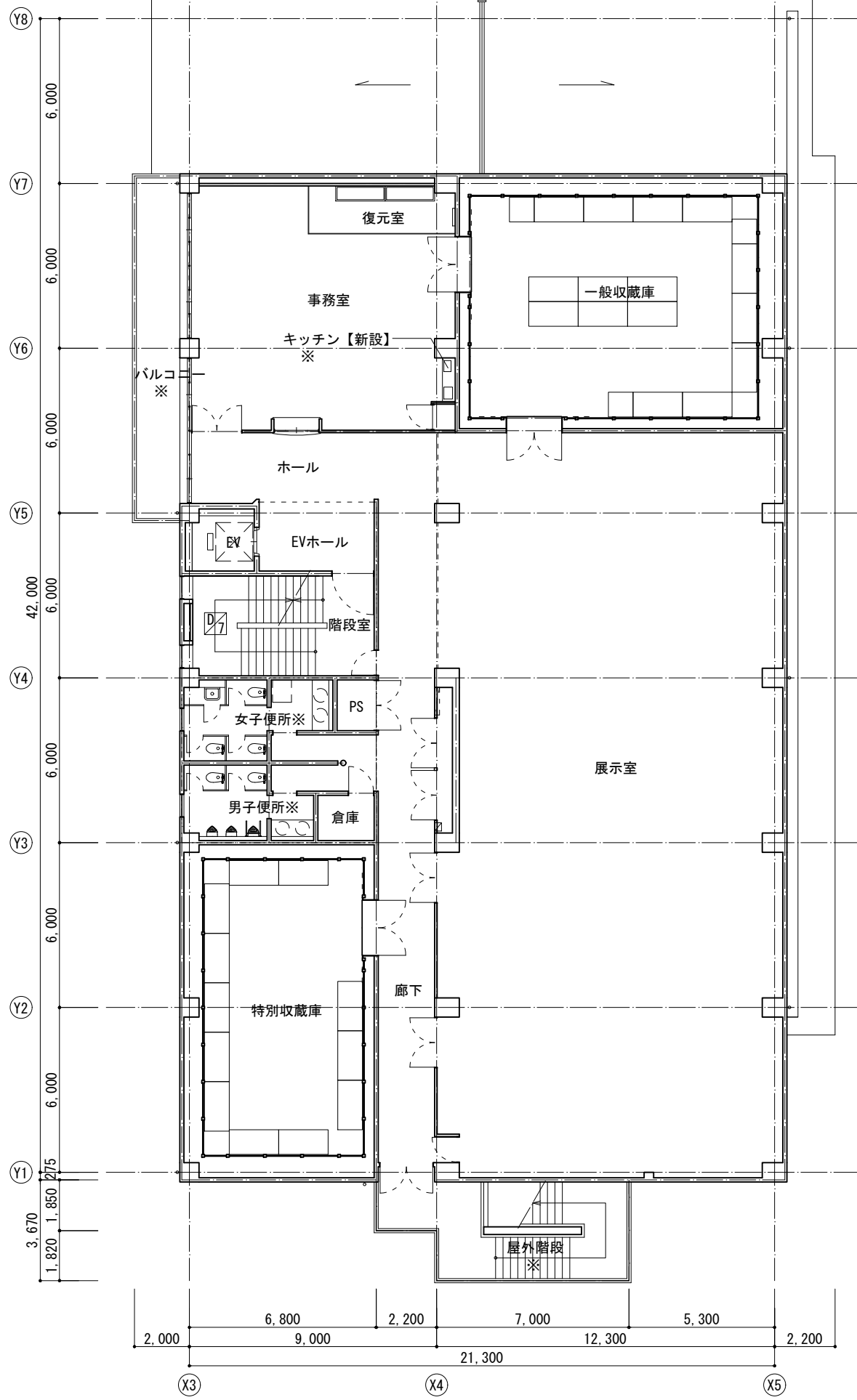
※・・・改修内容・寸法など詳細図を参照

変更履歴	月. 日	月. 日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店	図面名称	3階平面図 (改修後)	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	担当者	管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号	A1 1:100 A3 1:200	60-030
					担当者	照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号	日付	図面No.
					担当者	寺川隆史 一級建築士第389712号	2026年3月	A / 19

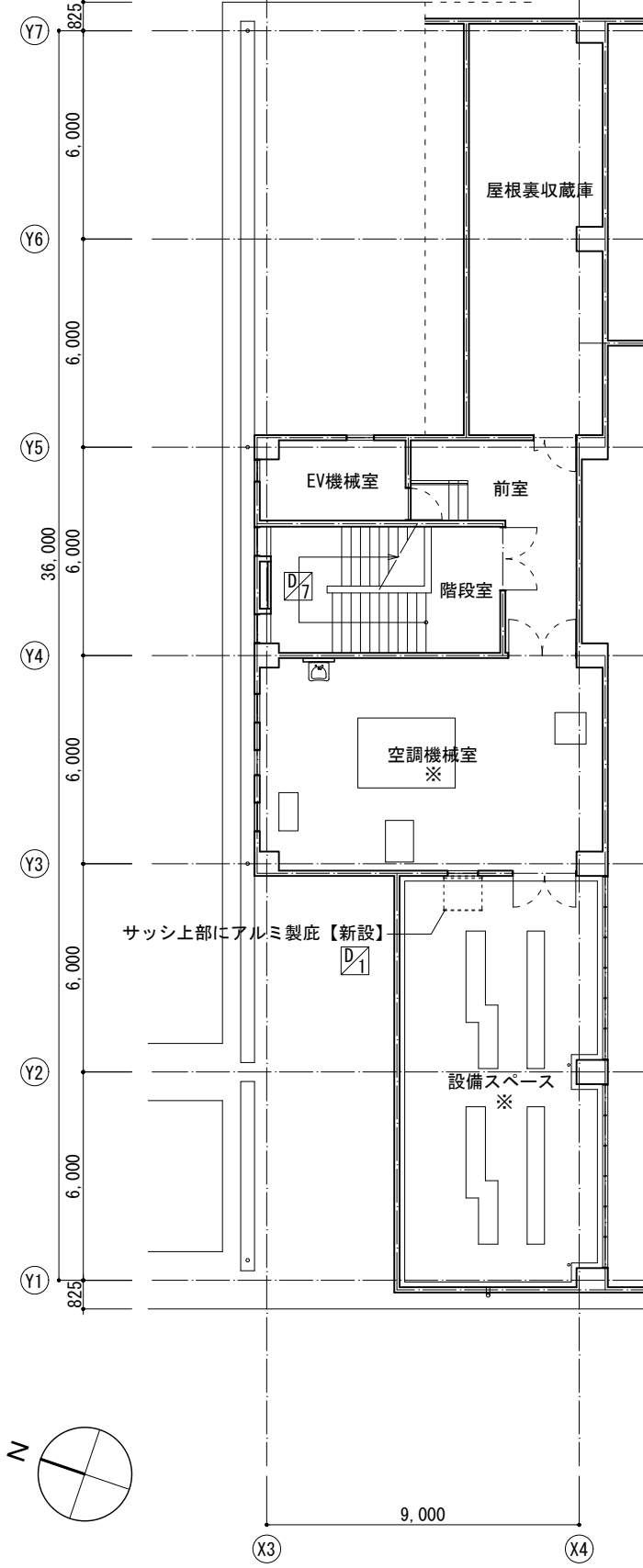


※・・・改修内容・寸法など詳細図を参照

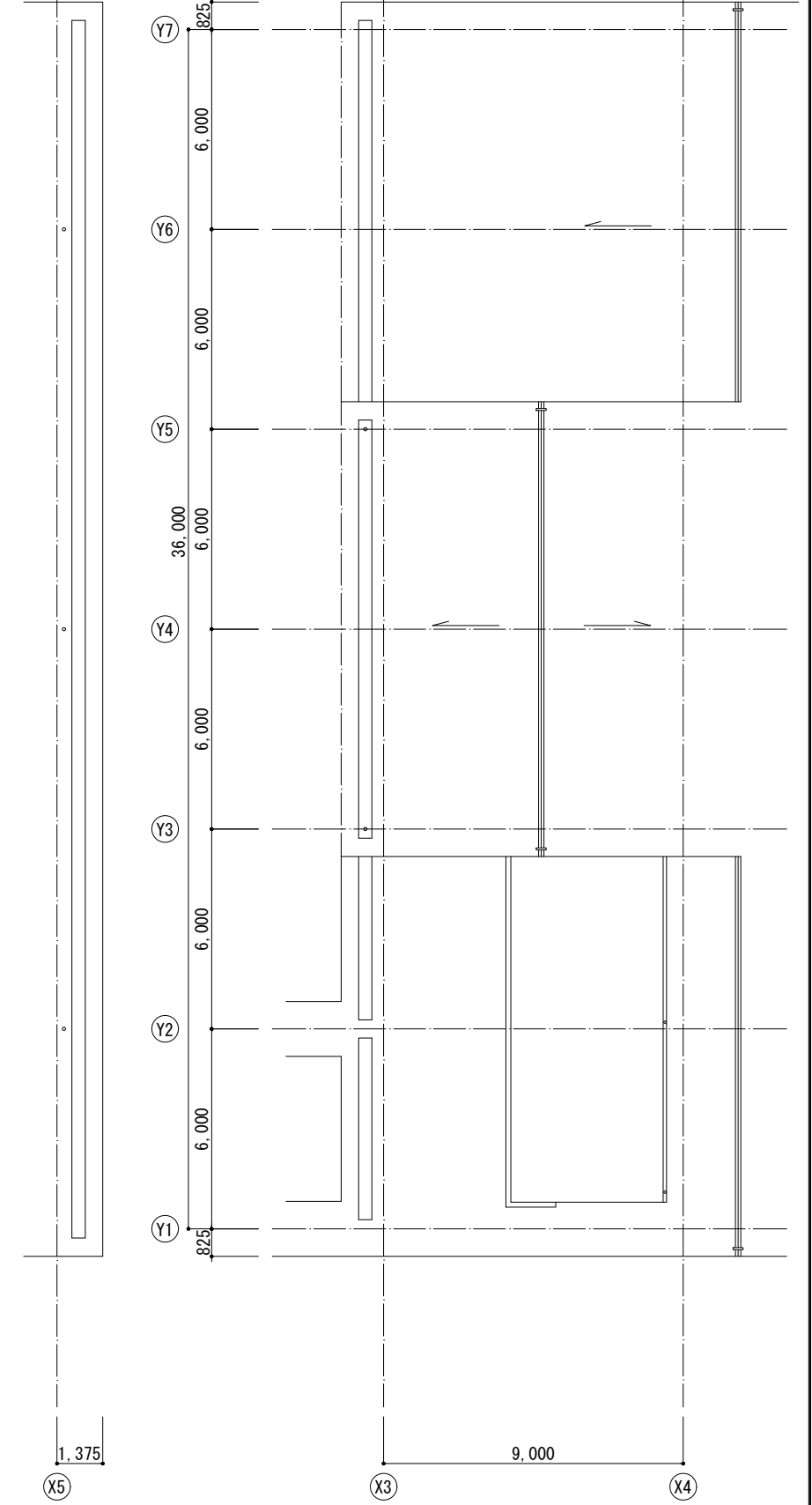
変更履歴	月、日	月、日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称	4・5階平面・屋根伏図 (改修前)	縮尺	A1 1:100 A3 1:200	管理No.	60-030	
			シーオーレ新宮大規模改修工事		担当者	管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号			日付	2026年3月	
						照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号				図面No.	A / 20
						担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号					



4階平面図




5階平面図

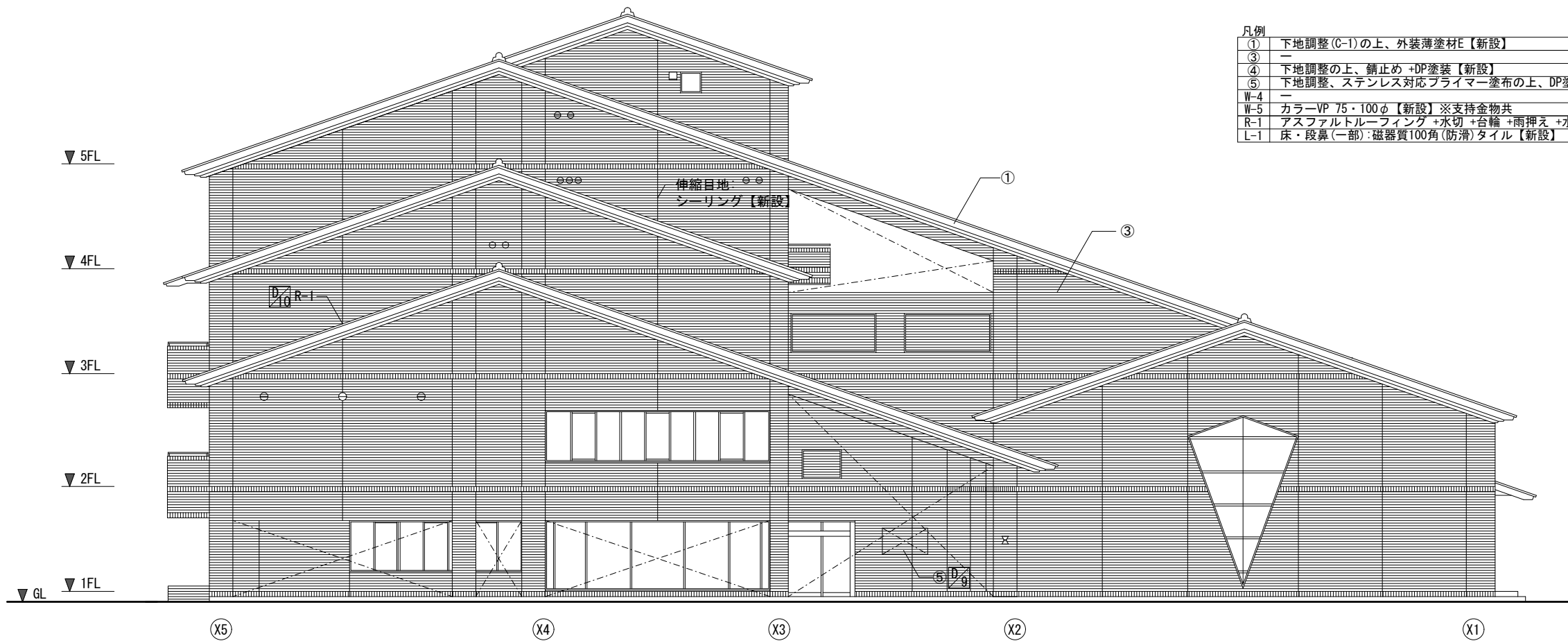


屋根伏図

※・・・改修内容・寸法など詳細図を参照

変更履歴	月.日	月.日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称 4・5階平面・屋根伏図 (改修後)	縮尺 A1 1:100 管理No. 60-030
						担当者 管理技術者 大林信二 照査技術者 林田祥太郎 担当 寺川隆史 一級建築士第308950号 一級建築士第395282号 一級建築士第389712号





東立面図

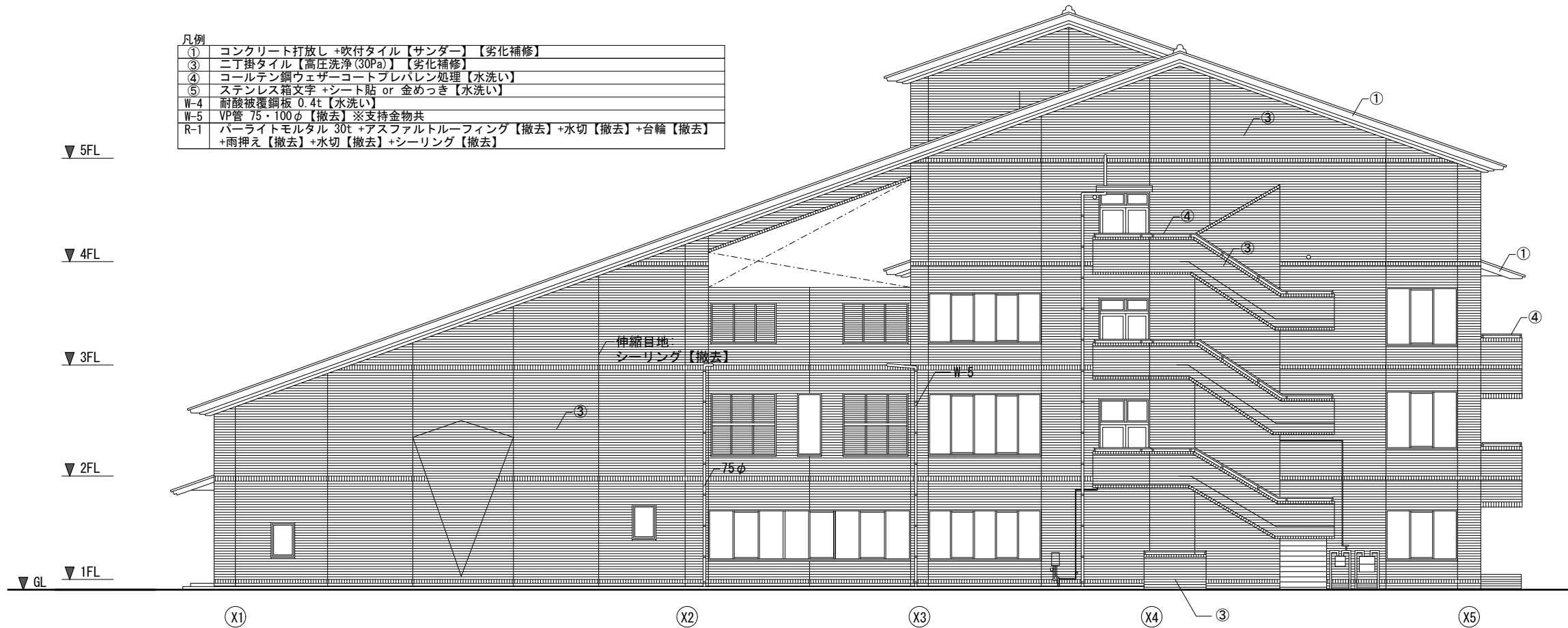
凡例	
①	下地調整(C-1)の上、外装薄塗材E【新設】
③	—
④	下地調整の上、錆止め+DP塗装【新設】
⑤	下地調整、ステンレス対応プライマー塗布の上、DP塗装【新設】
W-4	—
W-5	カラーVP 75・100φ【新設】※支持金物共
R-1	アスファルトルーフィング+水切+台輪+雨押え+水切+シーリング【新設】
L-1	床・段鼻(一部):磁器質100角(防滑)タイル【新設】



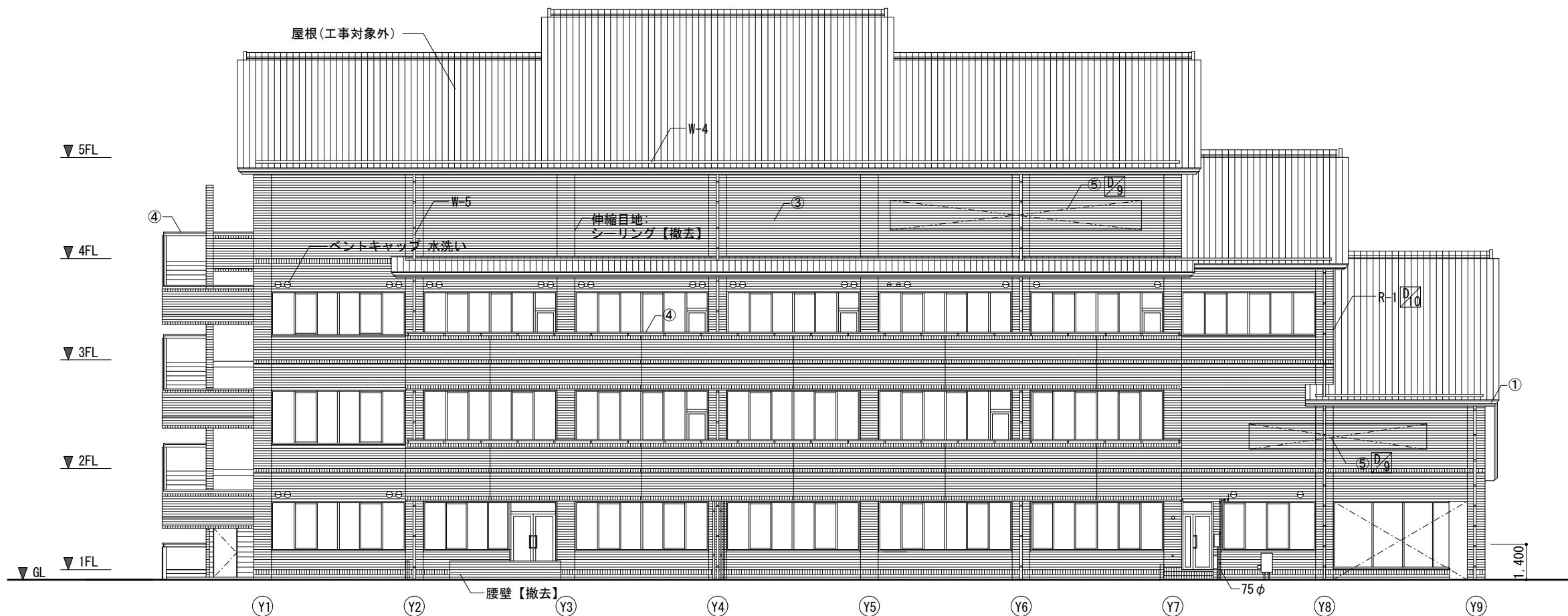
北立面図

変更履歴	月.日	月.日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲夫	図面名称	立面図1 (改修後)	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事		担当者	管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号	A1 1:100 A3 1:200	60-030
					照査技術者	林田祥太郎 一級建築士第395282号	日付	図面No.
					担当者	寺川隆史 一級建築士第389712号	2026年3月	A / 23

凡例
① コンクリート打放し + 吹付タイル【サンダー】【劣化補修】
③ 二丁掛タイル【高圧洗浄(30Pa)】【劣化補修】
④ コールテン銅ウェザーコートプレバレン処理【水洗い】
⑤ ステンレス箱文字 + シート貼 or 金めっき【水洗い】
W-4 耐酸被覆鋼板 0.4t【水洗い】
W-5 VP管 75・100φ【撤去】※支持金物共
R-1 パーライトモルタル 30t + アスファルトルーフィング【撤去】+水切【撤去】+台輪【撤去】 +雨押え【撤去】+水切【撤去】+シーリング【撤去】



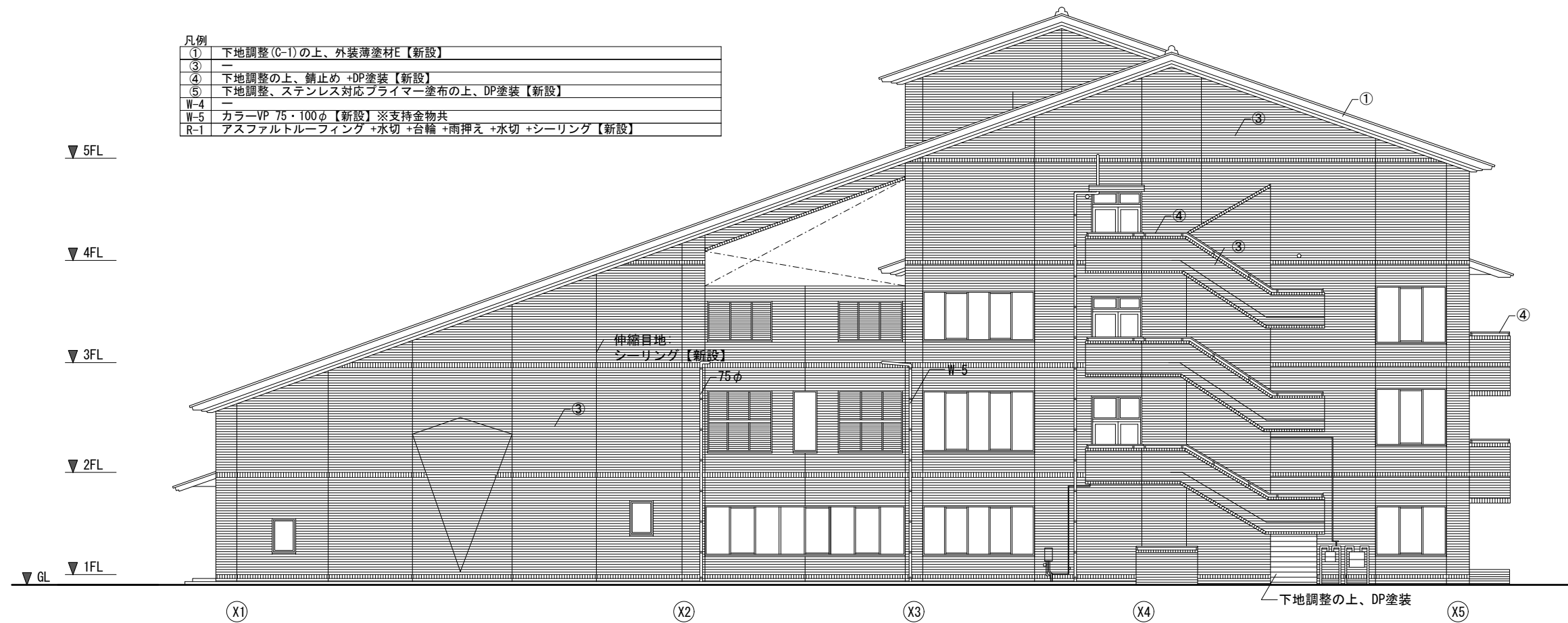
西立面図



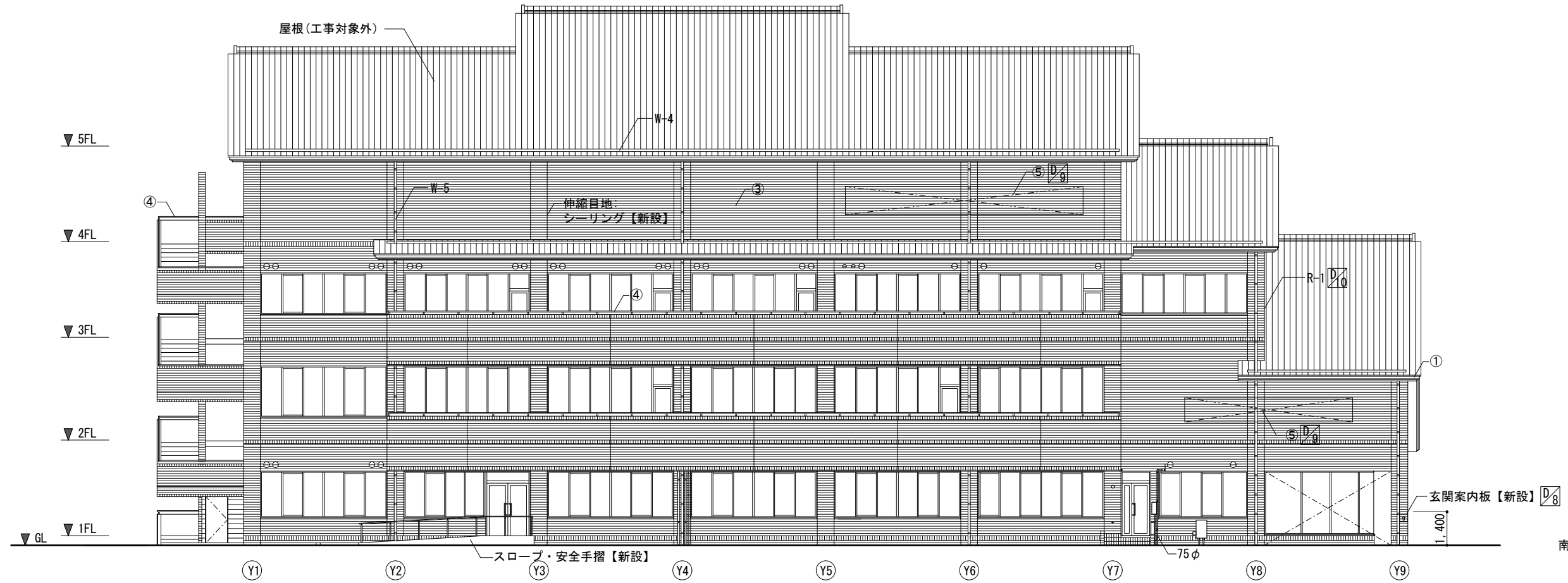
南立面図

変更履歴	月 日	月 日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店	図面名称	立面図2 (改修前)	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲夫	担当者	管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号	A1 1:100 A3 1:200	60-030
						照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号	日付	図面No.
						担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号	2026年3月	A / 24

凡例
① 下地調整(C-1)の上、外装薄塗材E【新設】
③ ー
④ 下地調整の上、錆止め+DP塗装【新設】
⑤ 下地調整、ステンレス対応プライマー塗布の上、DP塗装【新設】
W-4 ー
W-5 カラーVP 75・100φ【新設】※支持金物共
R-1 アスファルトルーフィング+水切+台輪+雨押え+水切+シーリング【新設】

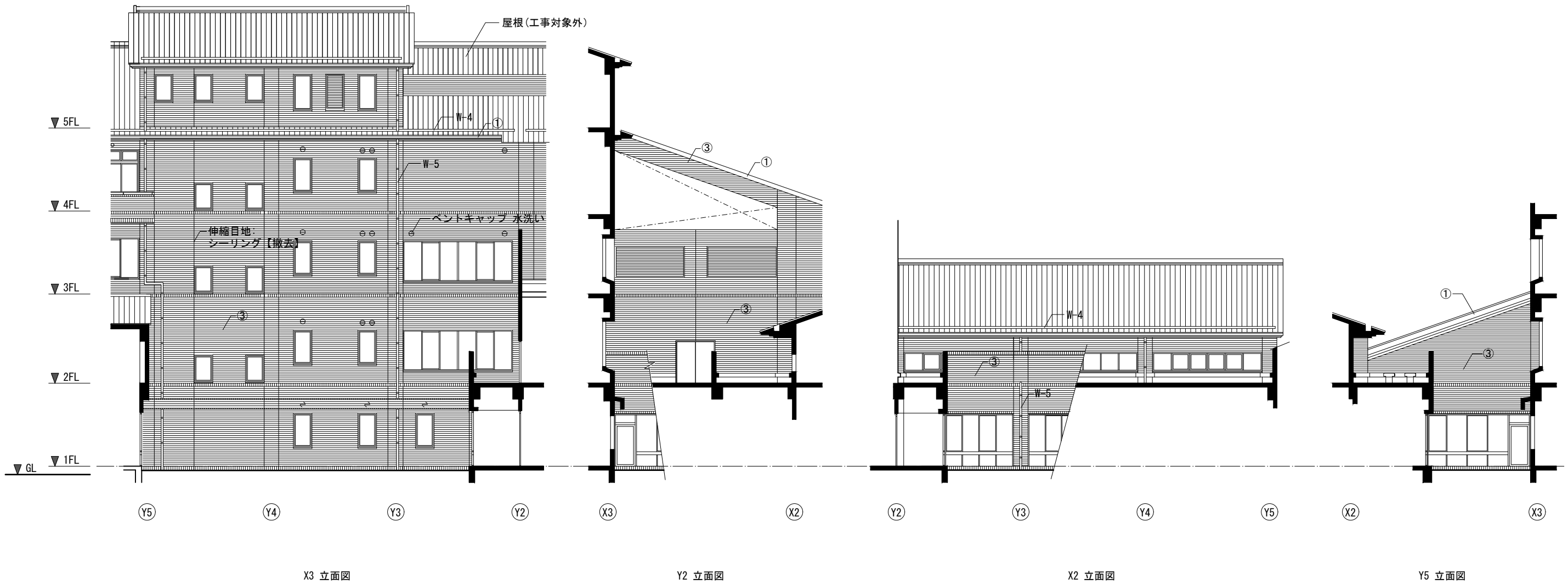


西立面図




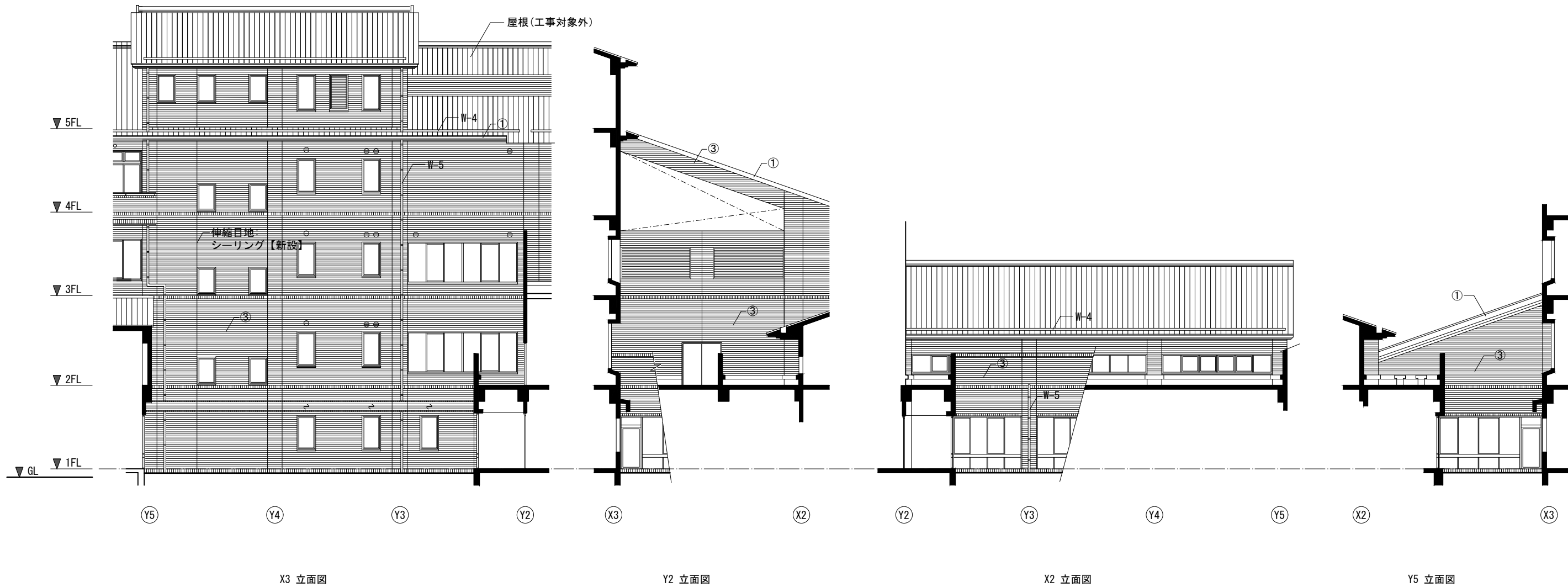
南立面図

変更履歴	月 日	月 日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店	図面名称	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲夫	立面図2 (改修後)	A1 1:100 A3 1:200	60-030
					担当者	日付	図面No.
					管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号	2026年3月	A / 25
					照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号		
					担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号		



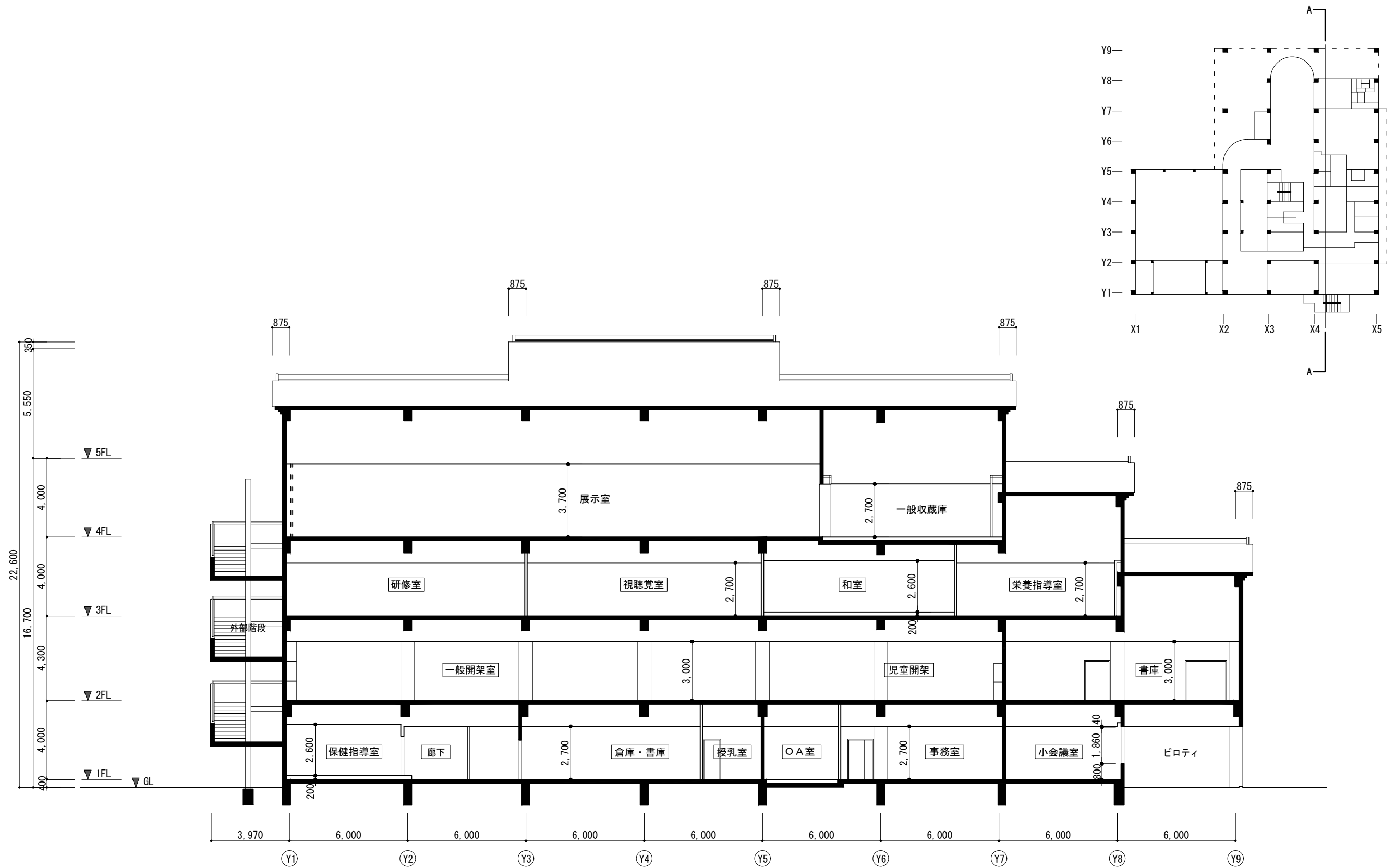
凡例	
①	コンクリート打放し+吹付タイル【サンダー】【劣化補修】
③	三丁掛タイル【高圧洗浄(30Pa)】【劣化補修】
W-4	耐酸被覆鋼板 0.4t【水洗い】
W-5	VP管 75・100φ【撤去】※支持金物共

変更履歴	月.日	月.日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲夫	図面名称 立面図3 (改修前) 担当者 管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号 照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号 担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	管理No. 60-030
						日付 2026年3月	図面No. A / 26




凡例

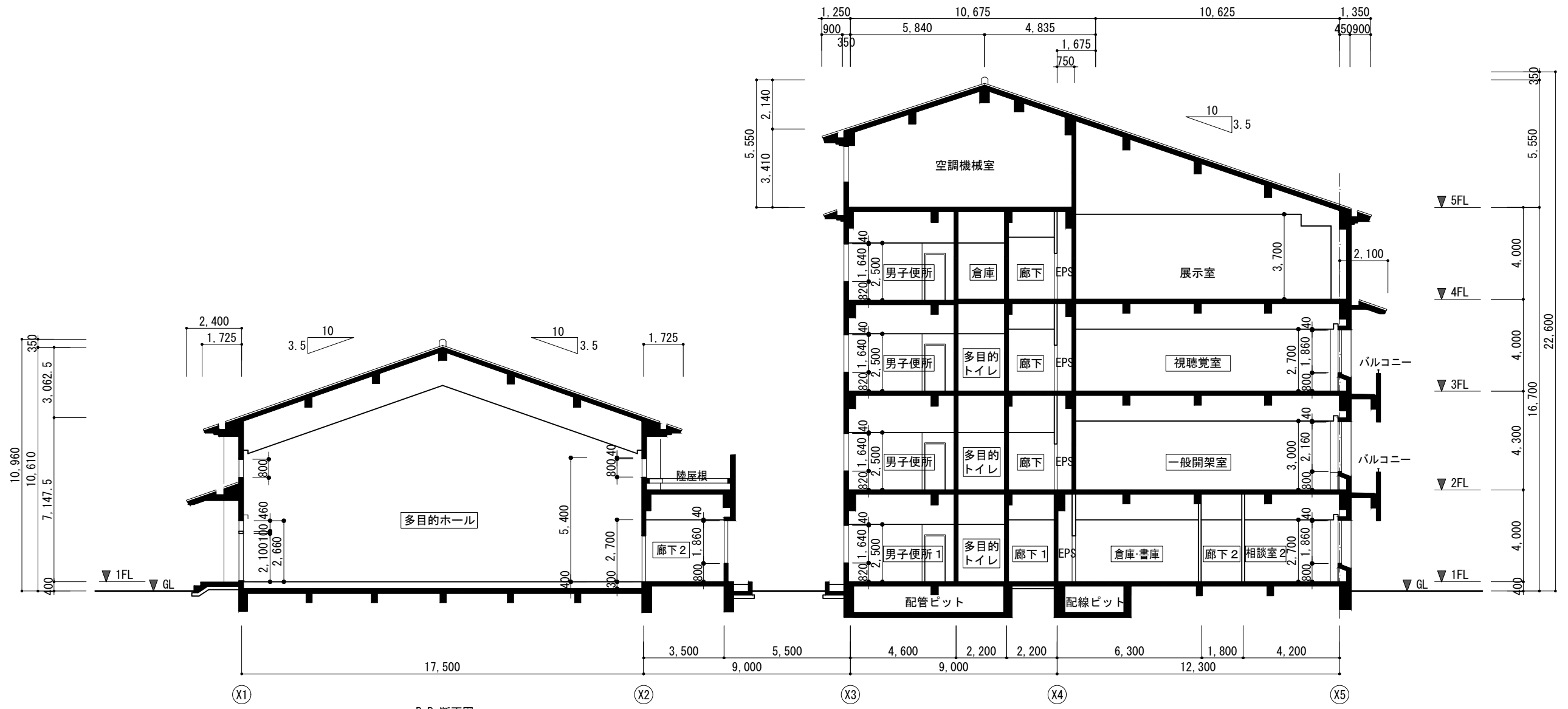
①	下地調整(C-1)の上、外装薄塗材E【新設】
③	—
W-4	—
W-5	カラーVP 75・100φ【新設】※支持金物共



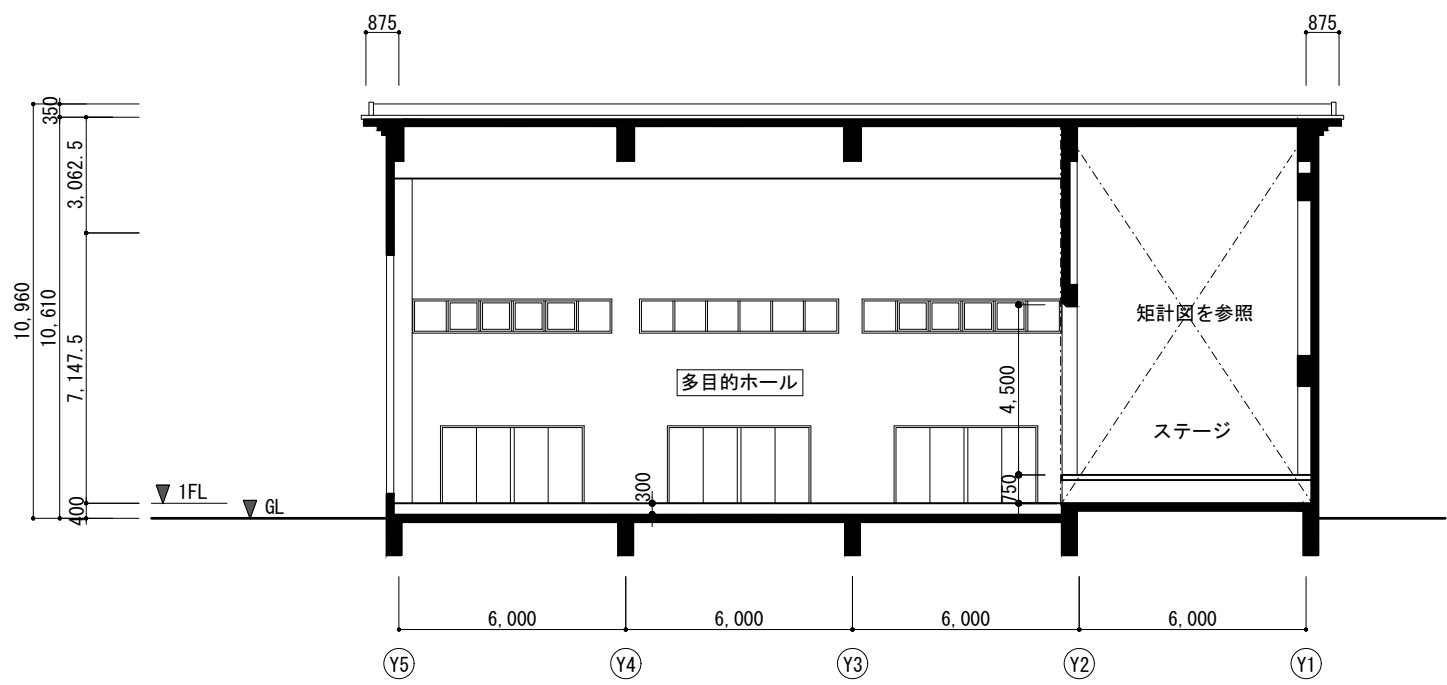
A-A 断面図

室名・・・天井を全面撤去・新設する室

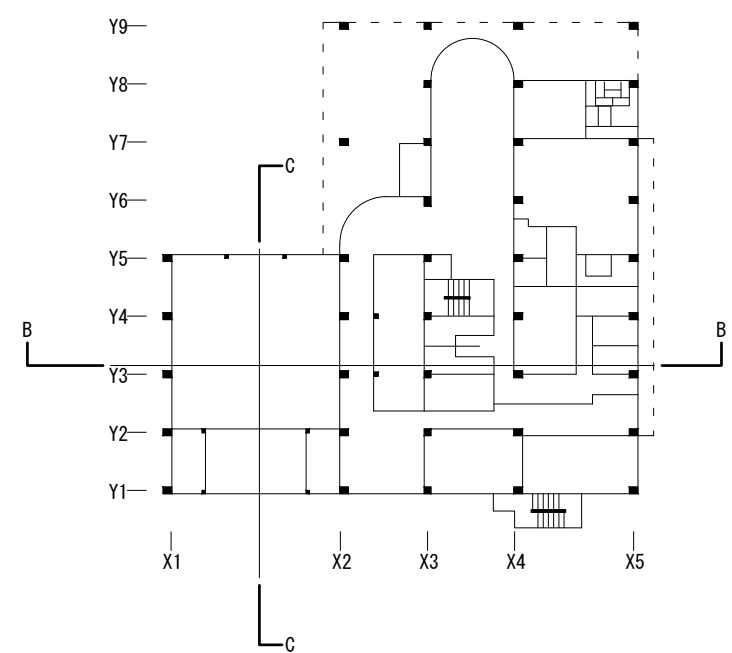
変更履歴	月 日	月 日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲夫	図面名称 断面図 1 担当者 管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号 調査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号 担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号	縮尺 A1 1:100 A3 1:200 日付 2026年3月	管理No. 60-030 図面No. A / 28



B-B 断面図

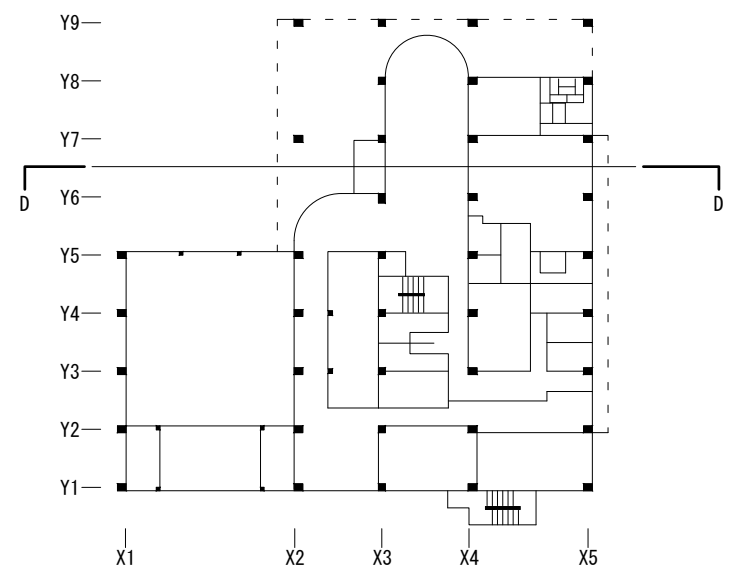
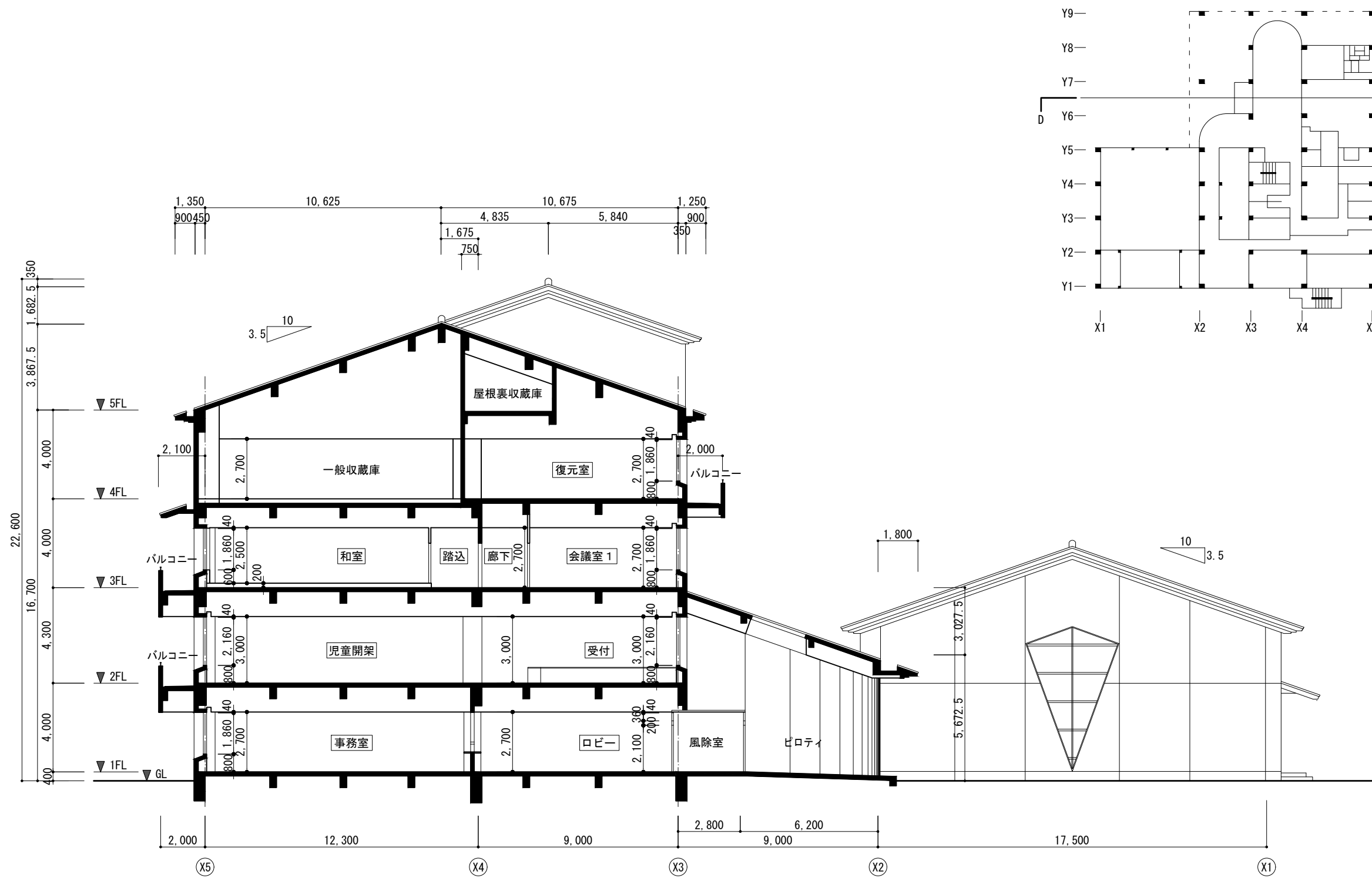


C-C 断面図




室名・・・天井を全面撤去・新設する室

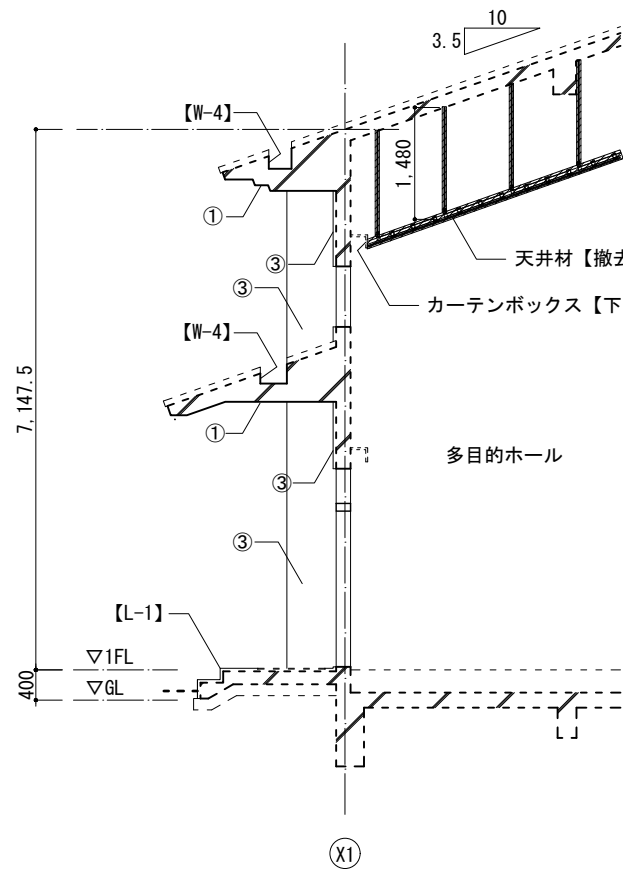
変更履歴	月 日	月 日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲夫	図面名称 断面図 2 担当者 管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号 照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号 担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	管理No. 60-030
						日付 2026年3月	図面No. A / 29



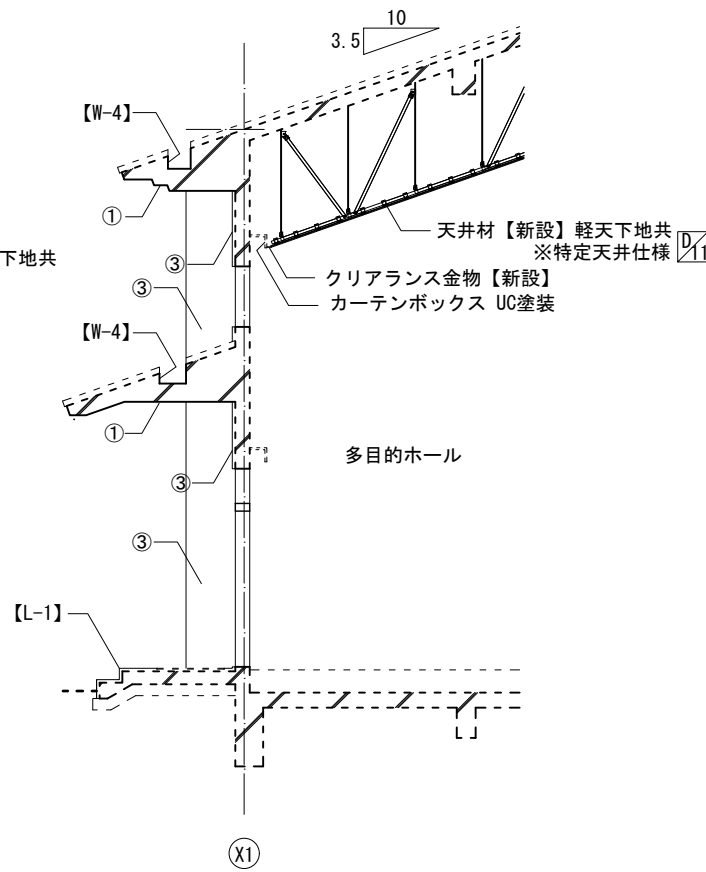
D-D 断面図

室名・・・天井を全面撤去・新設する室

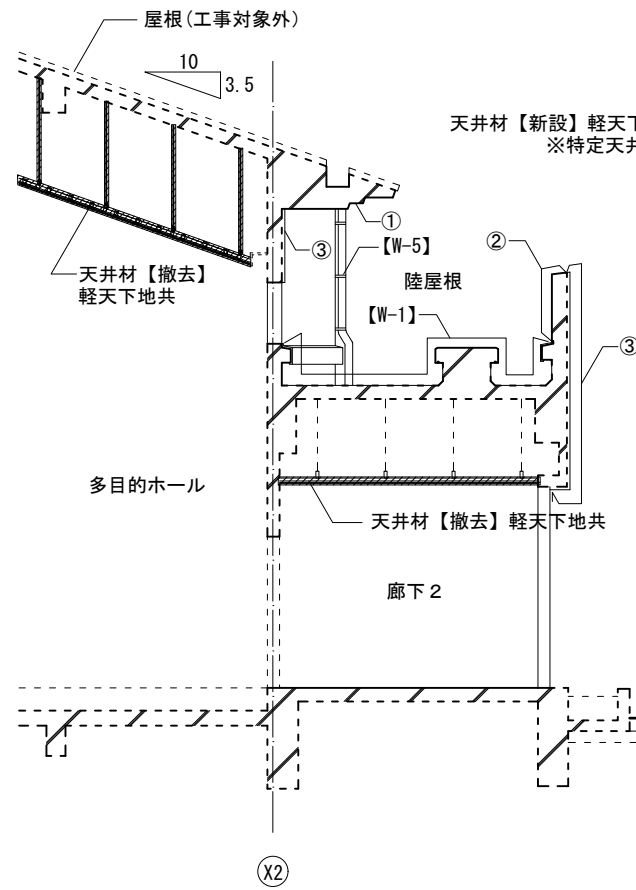
変更履歴	月 日	月 日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲夫	図面名称 断面図 3			縮尺 A1 1:100 A3 1:200	管理No. 60-030
					担当者 管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号	照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号	担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号		



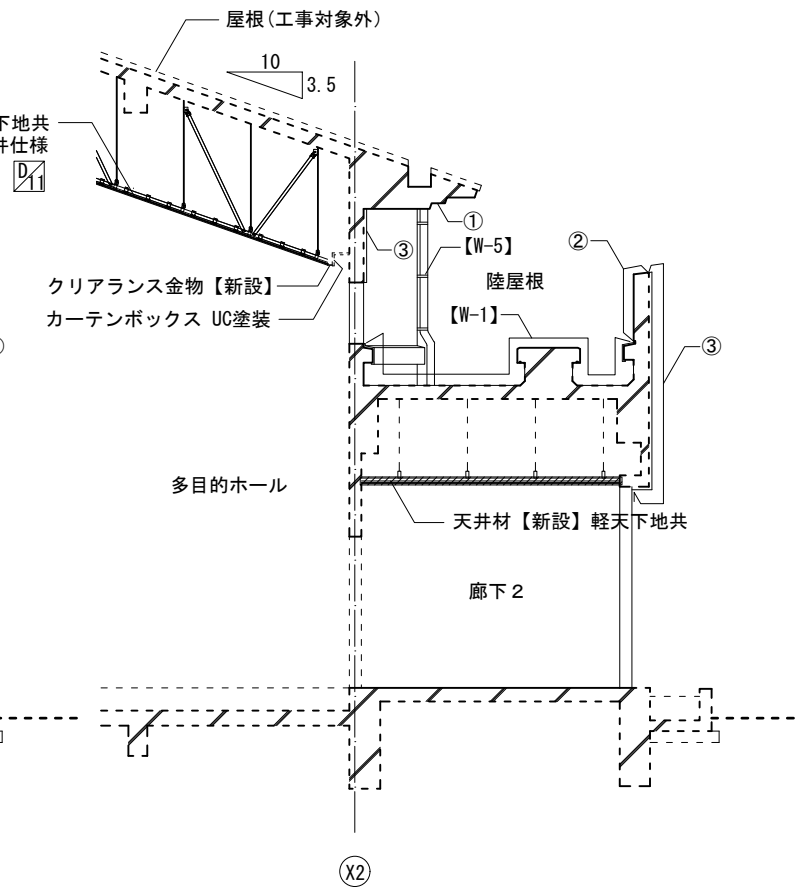
矩計図 (改修前) 1:50



矩計図 (改修後) 1:50



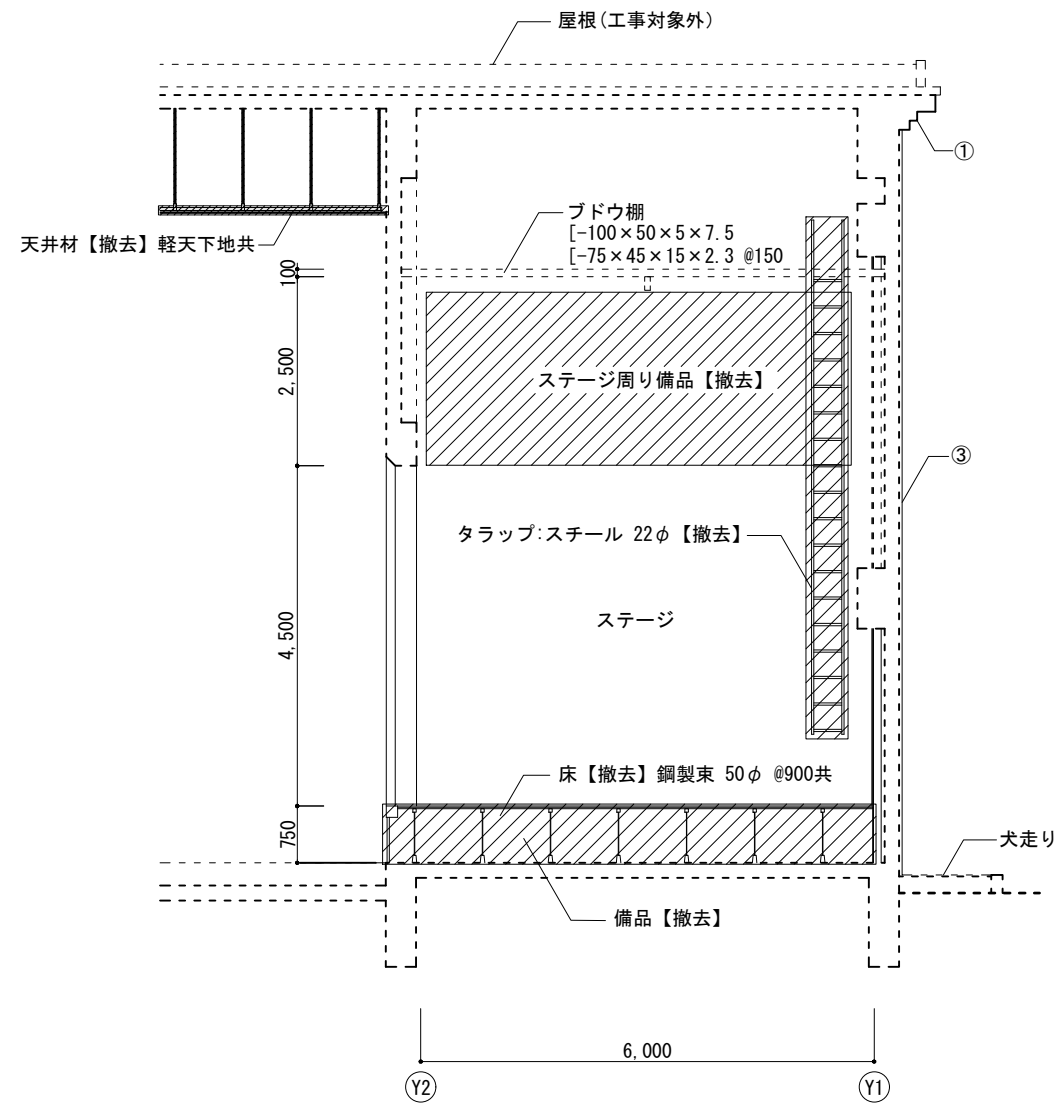
矩計図 (改修前) 1:50



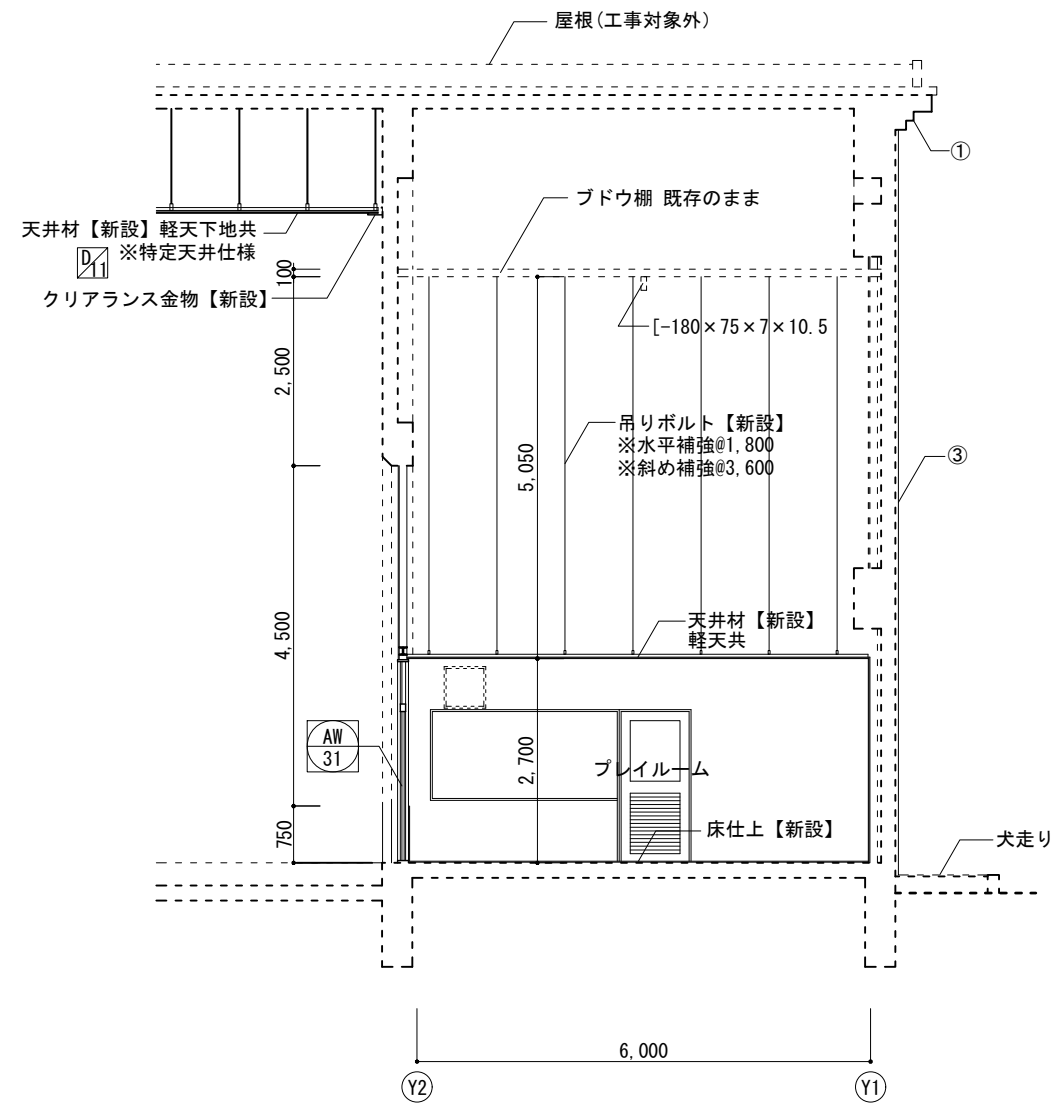
矩計図 (改修後) 1:50

凡例 (外部仕上)

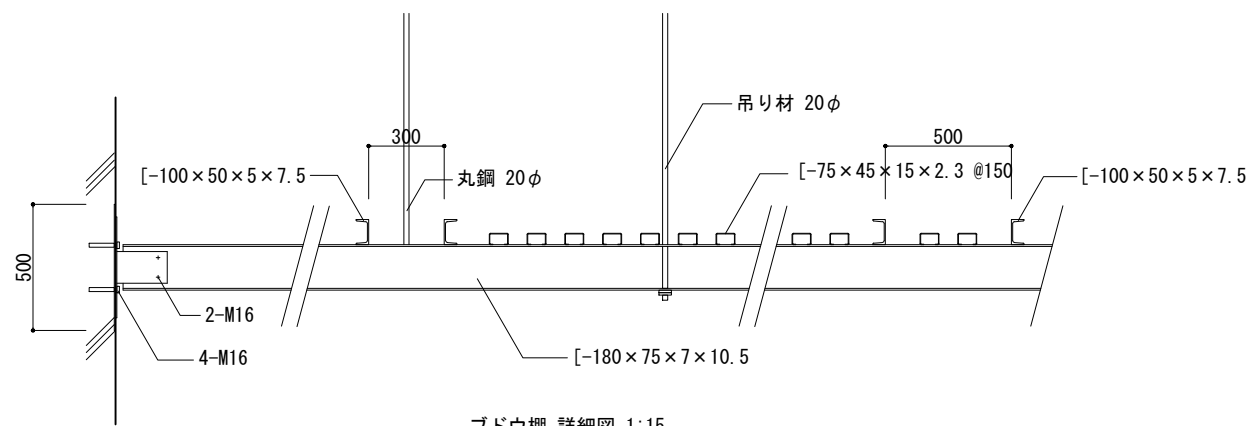
	(改修前)	(改修後)
①	コンクリート打放し+吹付タイル【サンダー】【劣化補修】	下地調整(C-1)の上、外装薄塗材E【新設】
②	コンクリート打放し+吹付タイル【高圧洗浄(30Pa)】【劣化補修】	下地調整の上、可とう形改修用仕上塗材RE【新設】
③	二丁掛タイル【高圧洗浄(30Pa)】【劣化補修】	—
W-1	平場:コンクリート金コテ押え+露出アスファルト防水★【撤去】+砂利敷60t【撤去】【仮防水】 立上:コンクリート金コテ押え+露出アスファルト防水★【撤去】【仮防水】【劣化補修】 架台:コンクリート金コテ押え+塗膜防水★【撤去】 アゴ:コンクリート金コテ押え+塗膜防水★【撤去】【劣化補修】	平場:下地調整の上、改質アス常温複合法(標仕0-1同等)【新設】 立上:下地調整の上、改質アス常温複合法(塗膜仕上)【新設】 架台:下地調整の上、ウレタン塗膜防水(密着工法、高粘性環境対応型)【新設】 アゴ:下地調整の上、ウレタン塗膜防水(密着工法、高粘性環境対応型)【新設】
W-4	耐酸被覆鋼板0.4t【水洗い】	—
W-5	VP管75・100φ【撤去】※支持金物共	カラーVP75・100φ【新設】※支持金物共
W-6	鑄鉄製100φヨコ【撤去】	改修ドレン100φヨコ【新設】※ドレンキャップ共
L-1	床・段鼻(一部):磁器質100角タイル【撤去】	床・段鼻(一部):磁器質100角(防滑)タイル【新設】
備考	★印の付いた建材は、アスベスト含有建材として適切に処理を行うこと。	



矩計図 (改修前)



矩計図 (改修後)



ブドウ棚 詳細図 1:15

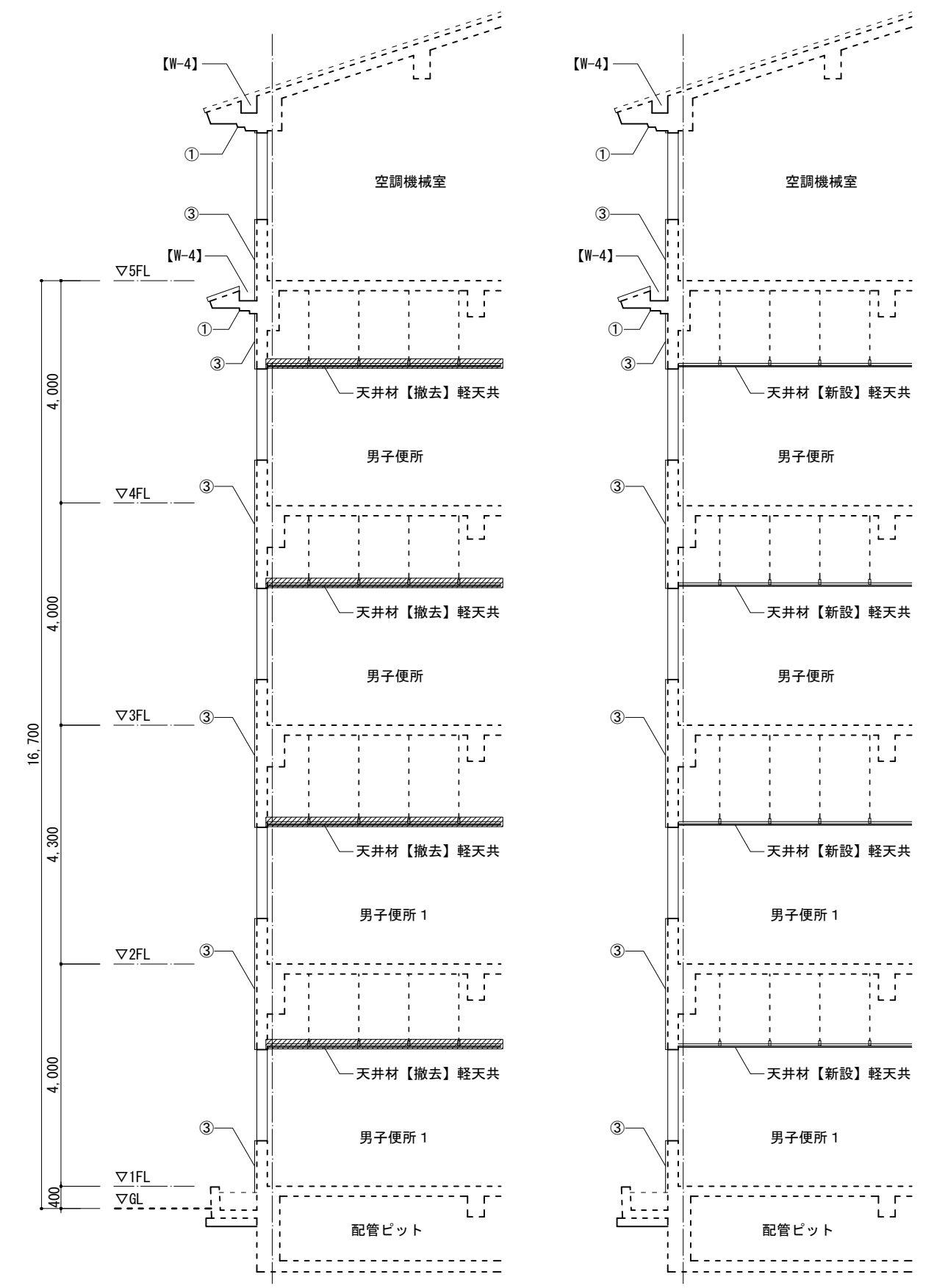
凡例 (外部仕上)	
(改修前)	(改修後)
① コンクリート打放し+吹付タイル【サンダー】【劣化補修】	下地調整(C-1)の上、外装薄塗材E【新設】
③ 二丁掛タイル【高圧洗浄(30Pa)】【劣化補修】	—

変更履歴	月.日	月.日	工事名称
			シーオーレ新宮大規模改修工事

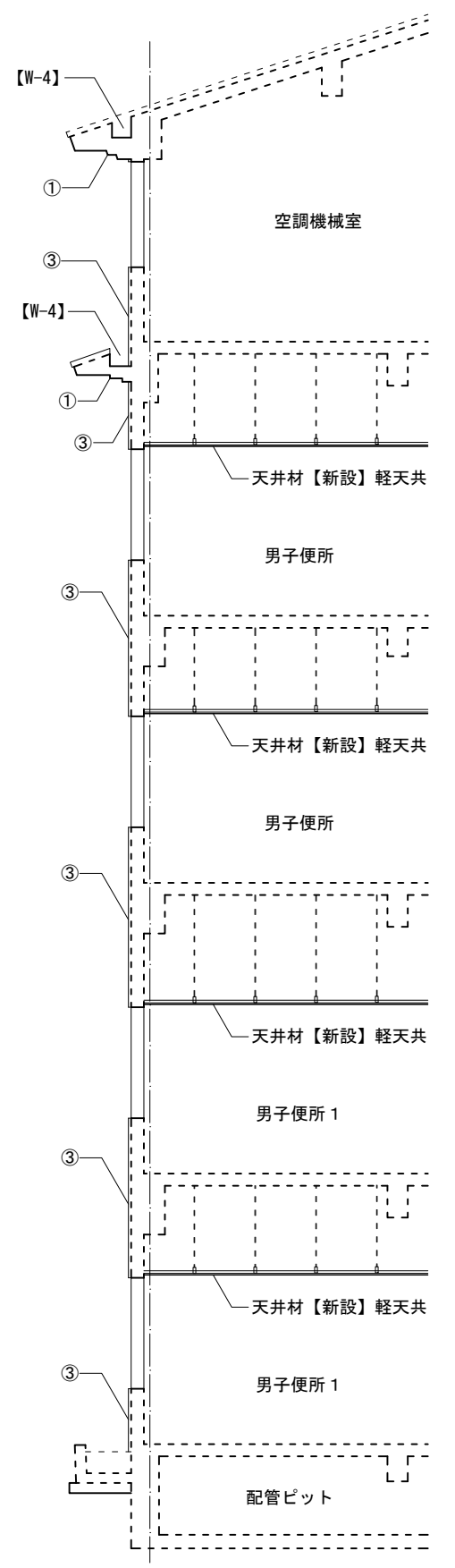
株式会社 阿波設計事務所九州支店  
 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号  
 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲夫

図面名称	矩計図 2	縮尺	A1 1:50 A3 1:100	管理No.	60-030
担当者	管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号	照査技術者	林田祥太郎 一級建築士第395282号	担当者	寺川隆史 一級建築士第389712号
日付	2026年3月	図面No.	A / 32		

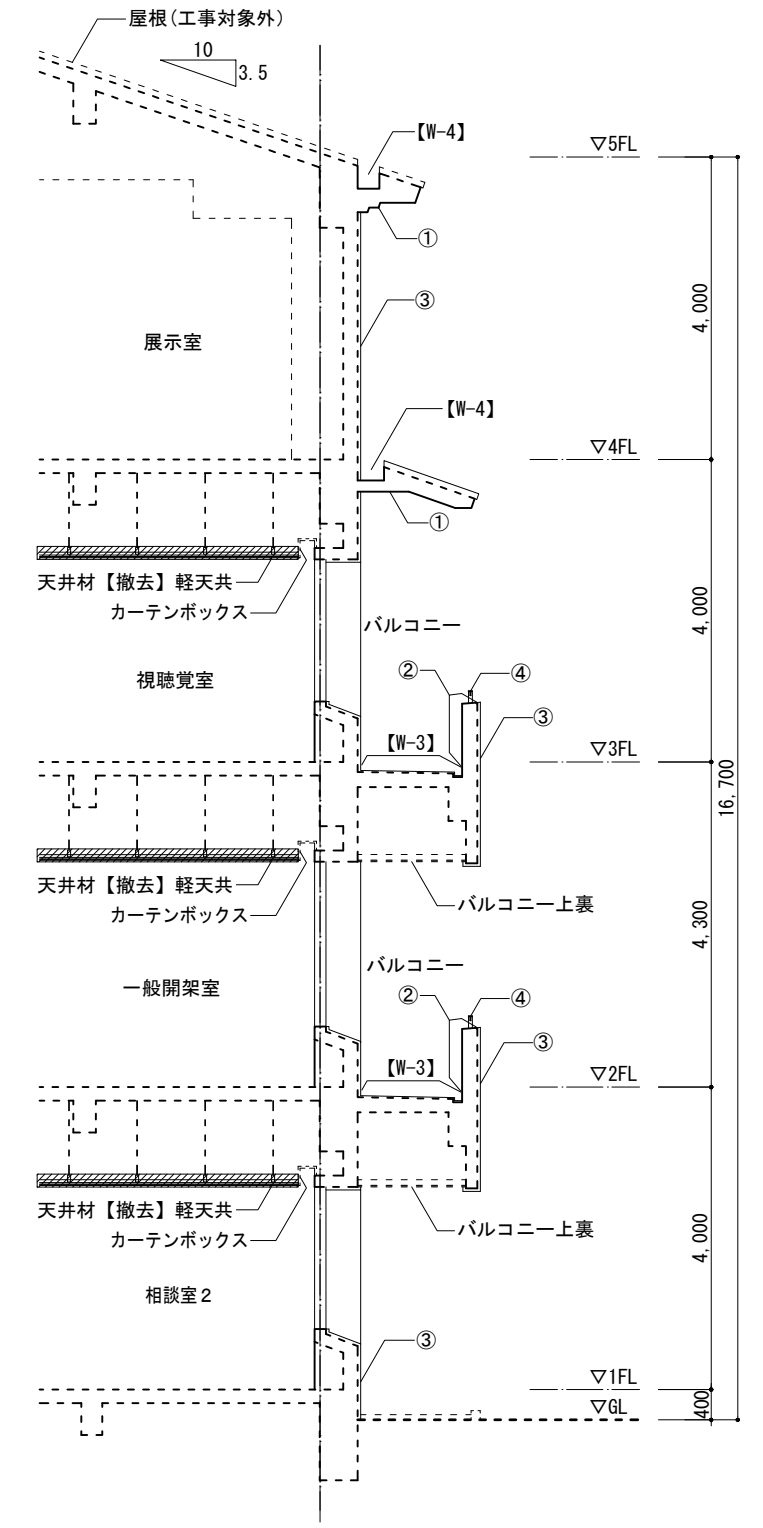
凡例 (外部仕上)		(改修前)	(改修後)
①	コンクリート打放し + 吹付タイル【サンダー】	【劣化補修】	下地調整 (C-1) の上、外装薄塗材E【新設】
②	コンクリート打放し + 吹付タイル【高圧洗浄 (30Pa)】	【劣化補修】	下地調整の上、可とう形改修用仕上塗材RE【新設】
③	二丁掛タイル【高圧洗浄 (30Pa)】	【劣化補修】	—
④	コーティングウエザークートプレバレン処理	【水洗い】	下地調整の上、錆止め + DP塗装【新設】
W-3	平場：防水モルタル + 塗膜防水★	【水洗い】 + 人工芝【撤去】	下地調整の上、ウレタン塗膜防水 (増塗り工法、高靱性環境対応型)【新設】
W-4	立上：防水モルタル + 塗膜防水★	【水洗い】	【劣化補修】
W-4	耐酸被覆鋼板 0.4t	【水洗い】	—
備考 ★印の付いた建材は、アスベスト含有建材として適切に処理を行うこと。			



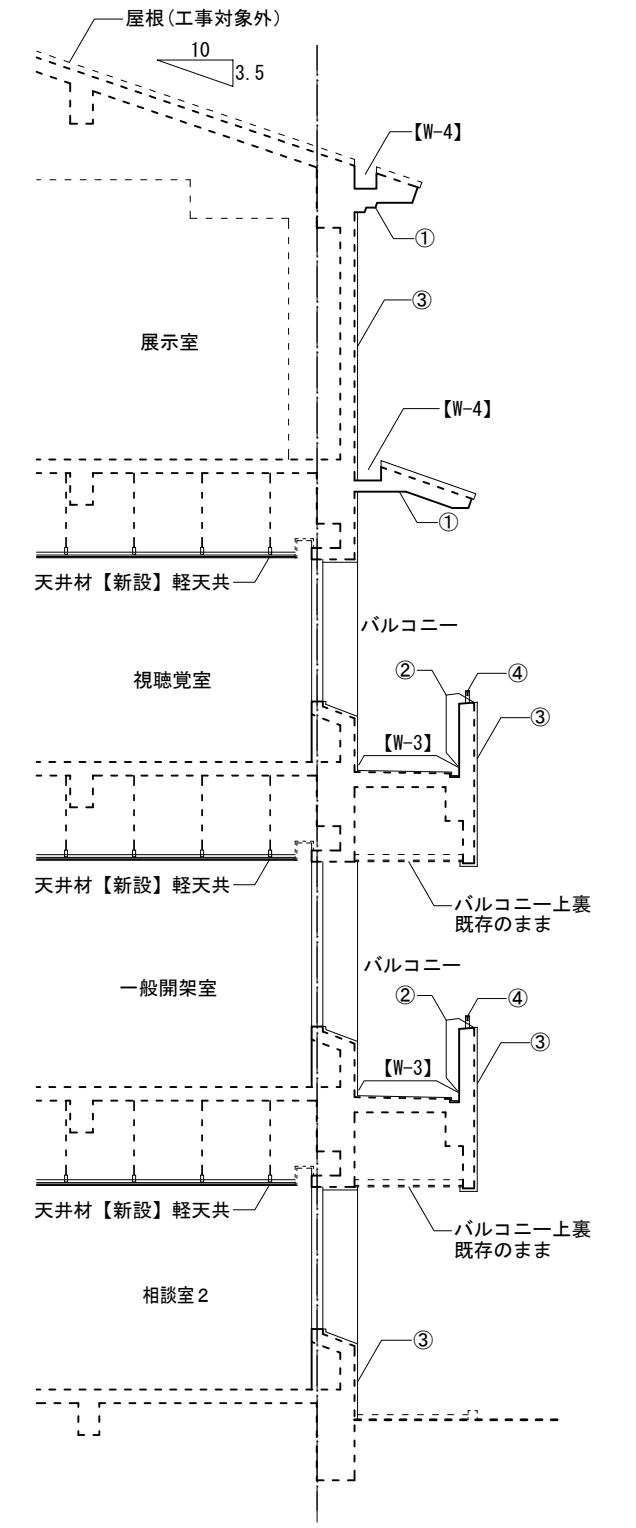
矩計図 (改修前)



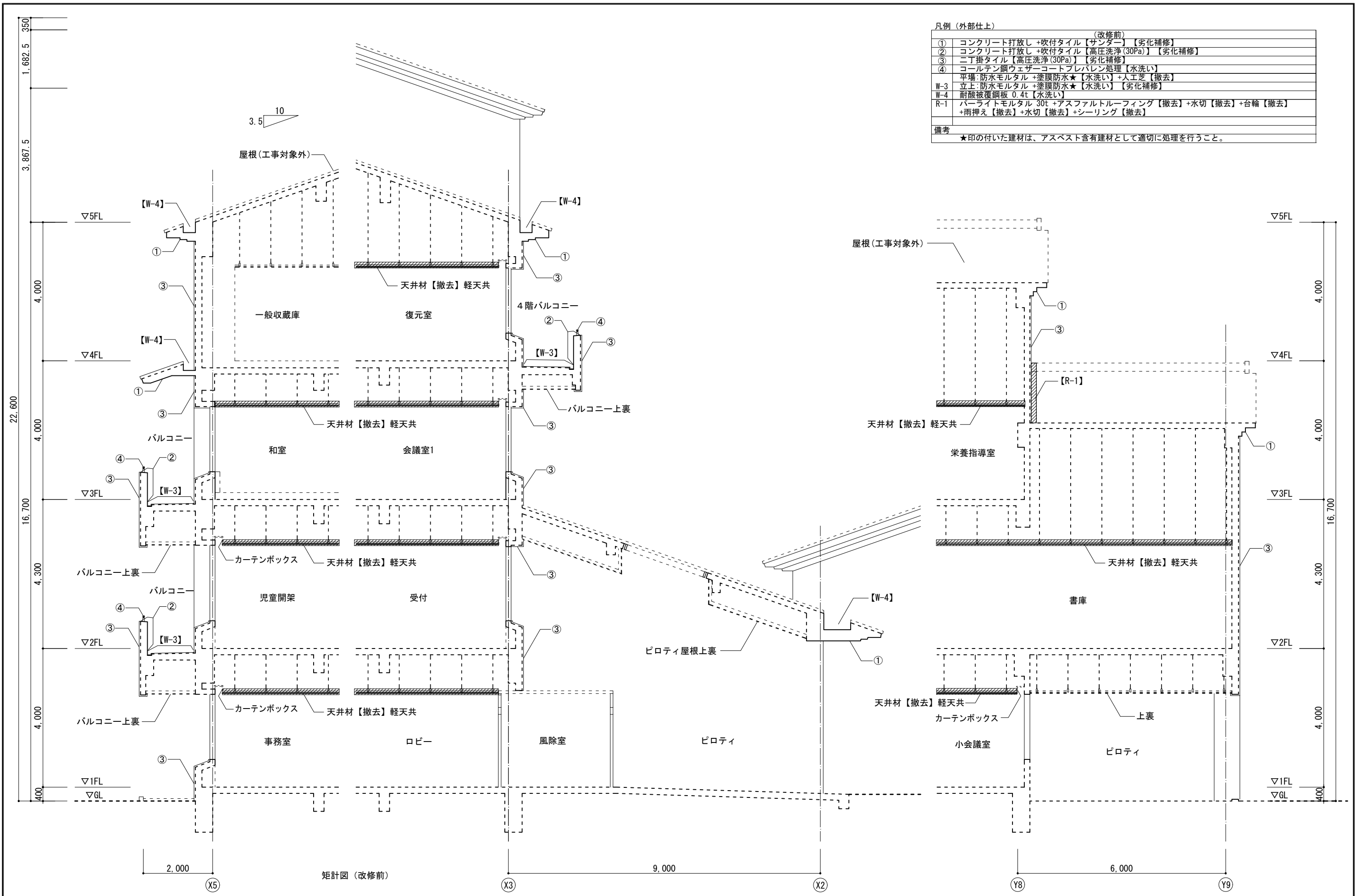
矩計図 (改修後)



矩計図 (改修前)

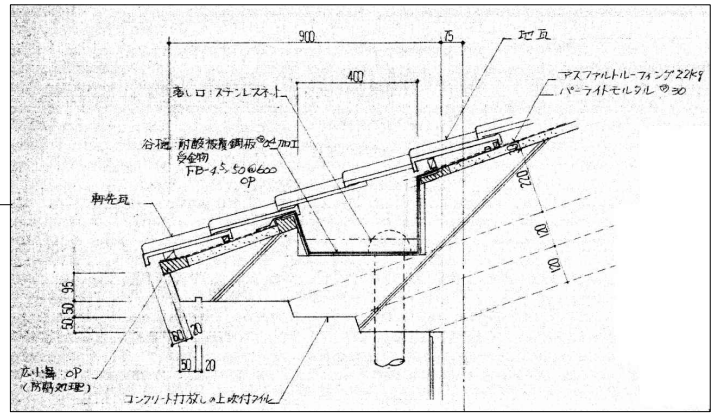
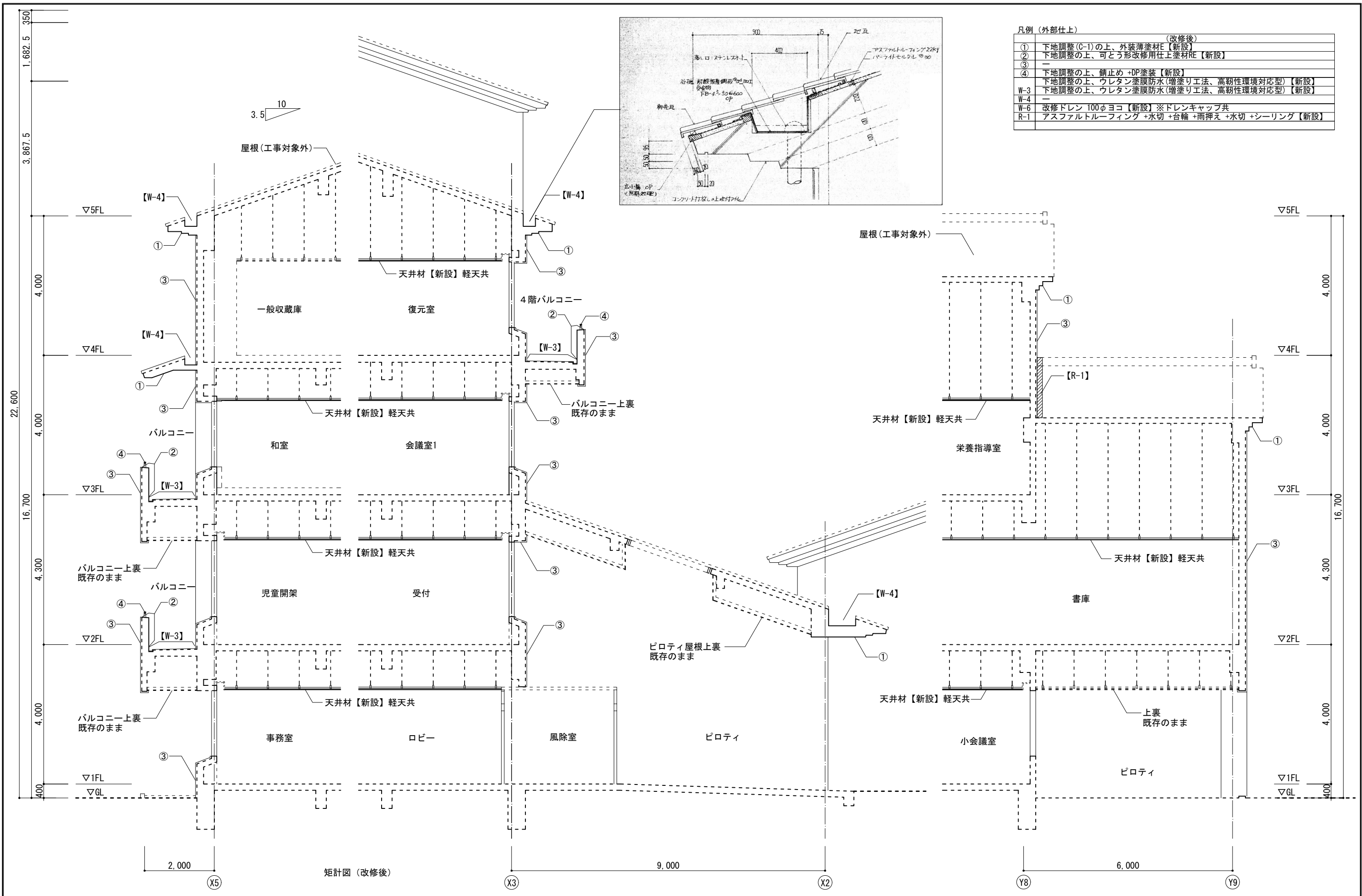


矩計図 (改修後)

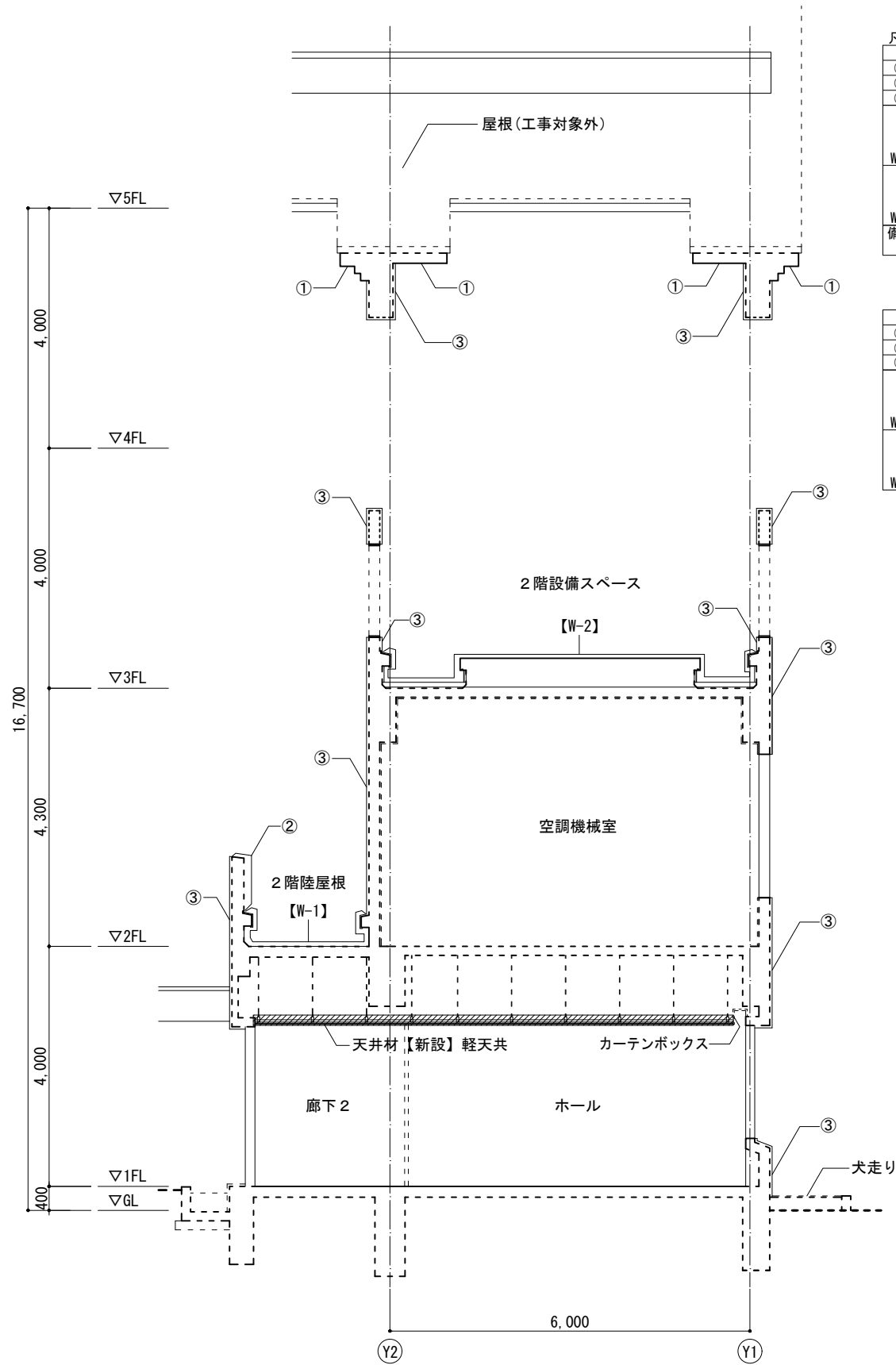


凡例 (外部仕上) (改修前)

①	コンクリート打放し + 吹付タイル【サンダー】【劣化補修】
②	コンクリート打放し + 吹付タイル【高圧洗浄(30Pa)】【劣化補修】
③	二丁掛タイル【高圧洗浄(30Pa)】【劣化補修】
④	コールテン鋼ウエザーコートフレバレン処理【水洗い】
W-3	平場: 防水モルタル + 塗膜防水★【水洗い】 + 人工芝【撤去】
W-4	立上: 防水モルタル + 塗膜防水★【水洗い】【劣化補修】
R-1	耐酸被覆鋼板 0.4t【水洗い】
	パワライトモルタル 30t + アスファルトルーフィング【撤去】 + 水切【撤去】 + 台輪【撤去】 + 雨押え【撤去】 + 水切【撤去】 + シーリング【撤去】
備考	★印の付いた建材は、アスベスト含有建材として適切に処理を行うこと。



凡例 (外部仕上)	
(改修後)	
①	下地調整(C-1)の上、外装薄塗材E【新設】
②	下地調整の上、可とう形改修用仕上塗材RE【新設】
③	—
④	下地調整の上、錆止め+DP塗装【新設】
W-3	下地調整の上、ウレタン塗膜防水(増塗り工法、高耐性環境対応型)【新設】
W-4	下地調整の上、ウレタン塗膜防水(増塗り工法、高耐性環境対応型)【新設】
W-6	改修ドレン 100φヨコ【新設】※ドレンキャップ共
R-1	アスファルトルーフィング+水切+台輪+雨押え+水切+シーリング【新設】



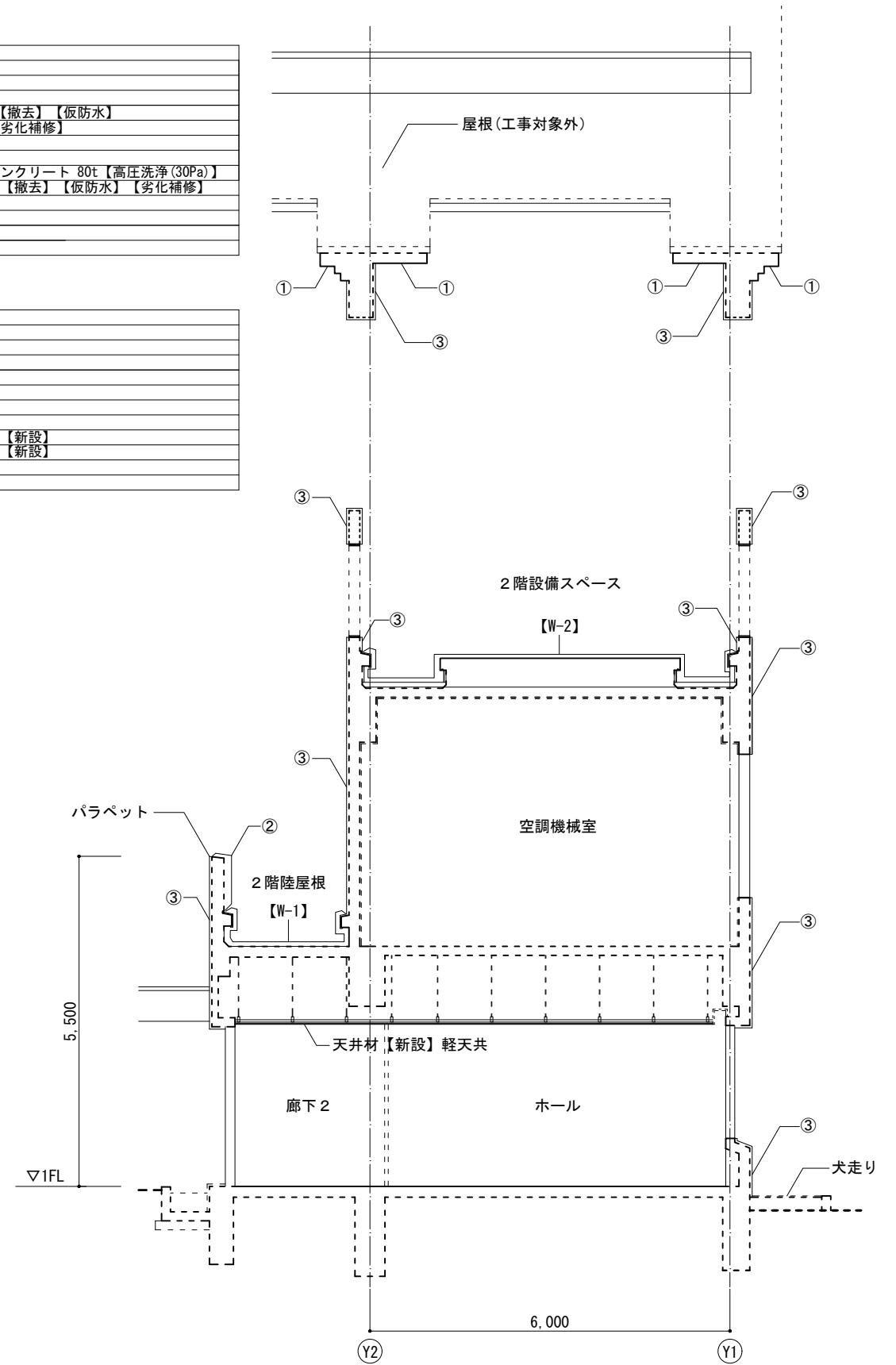
矩計図 (改修前)

凡例 (外部仕上)

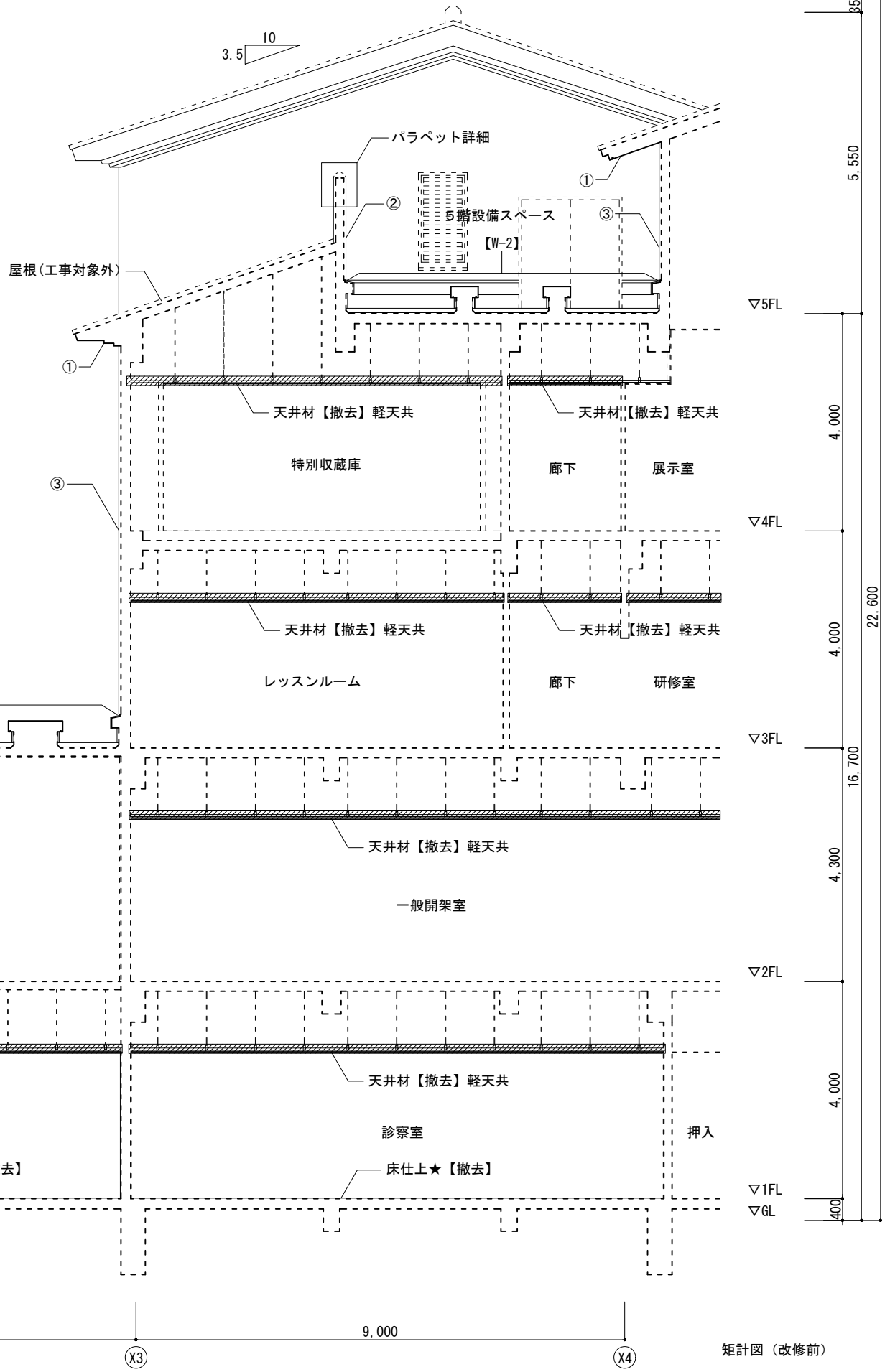
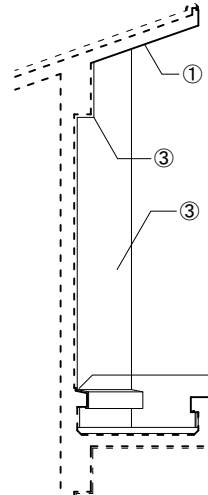
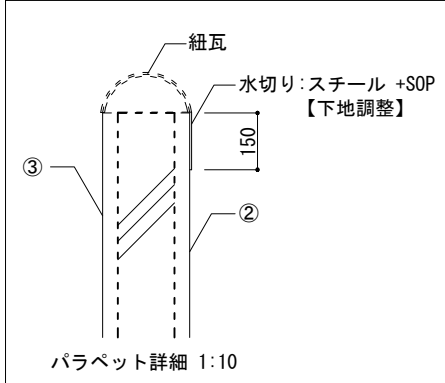
(改修前)	
①	コンクリート打放し+吹付タイル【サンダー】【劣化補修】
②	コンクリート打放し+吹付タイル【高圧洗浄(30Pa)】【劣化補修】
③	二丁掛タイル【高圧洗浄(30Pa)】【劣化補修】
W-1	平場:コンクリート金コテ押え+露出アスファルト防水★【撤去】+砂利敷 60t【撤去】【仮防水】
	立上:コンクリート金コテ押え+露出アスファルト防水★【撤去】【仮防水】【劣化補修】
	架台:コンクリート金コテ押え+塗膜防水★【撤去】
W-2	平場:コンクリート金コテ押え+アスファルト防水+保護モルタル 20t+押えコンクリート 80t【高圧洗浄(30Pa)】
	立上:コンクリート金コテ押え+アスファルト防水【撤去】+保護モルタル 20t【撤去】【仮防水】【劣化補修】
	架台:コンクリート金コテ押え+塗膜防水★【撤去】
備考	★印の付いた建材は、アスベスト含有建材として適切に処理を行うこと。

(改修後)

①	下地調整(C-1)の上、外装薄塗材E【新設】
②	下地調整の上、可とう形改修用仕上塗材RE【新設】
③	—
W-1	平場:下地調整の上、改質アス常温塗膜工法(標仕D-1同等)【新設】
	立上:下地調整の上、改質アス常温塗膜工法(塗膜仕上)【新設】
	架台:下地調整の上、ウレタン塗膜防水(密着工法、高耐久性環境対応型)【新設】
W-2	平場:下地調整の上、ウレタン塗膜防水(通気緩衝複合工法、高耐久性環境対応型)【新設】
	立上:下地調整の上、ウレタン塗膜防水(通気緩衝複合工法、高耐久性環境対応型)【新設】
	架台:下地調整の上、ウレタン塗膜防水(密着工法、高耐久性環境対応型)【新設】
備考	アゴ:下地調整の上、ウレタン塗膜防水(密着工法、高耐久性環境対応型)【新設】

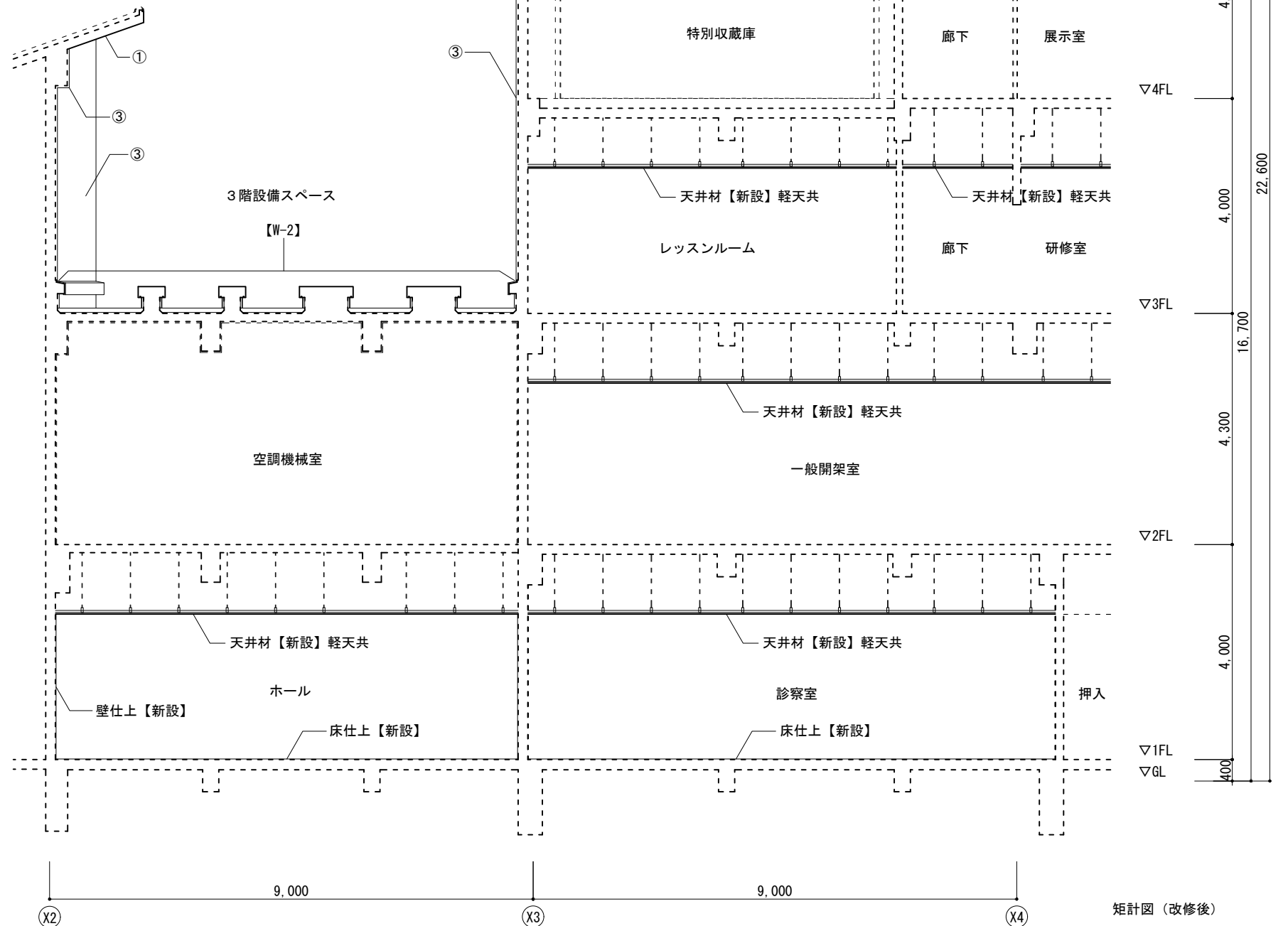
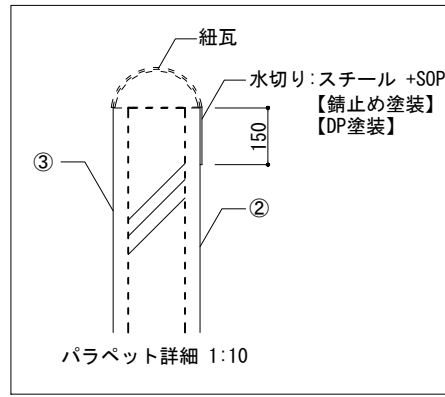


矩計図 (改修後)



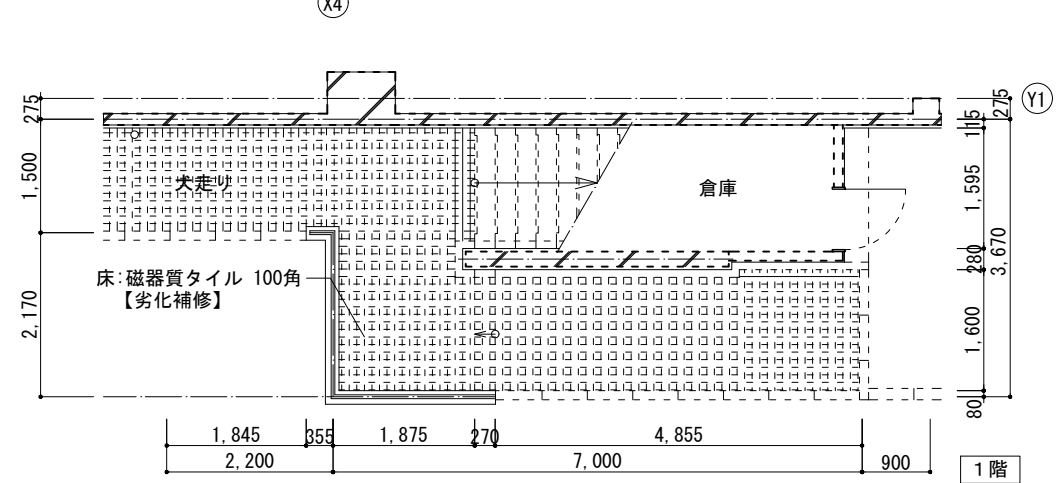
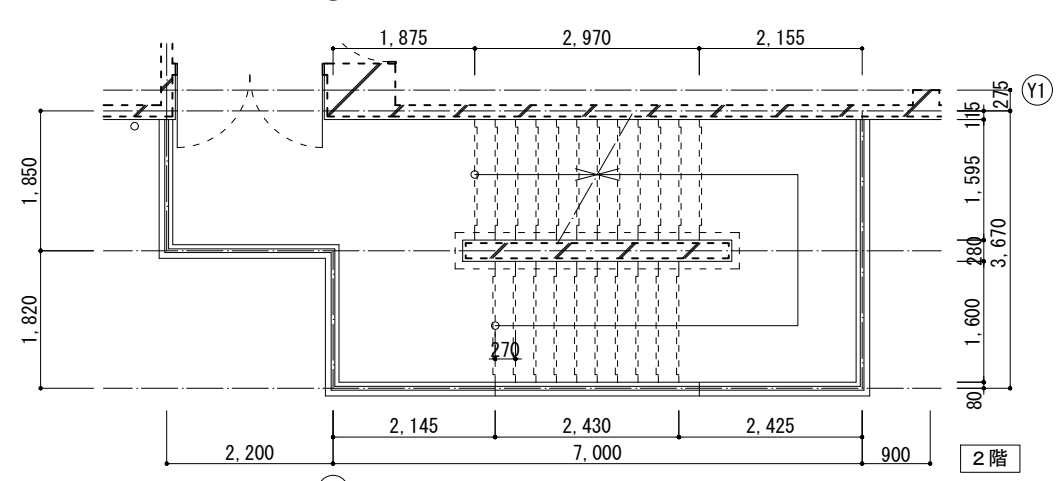
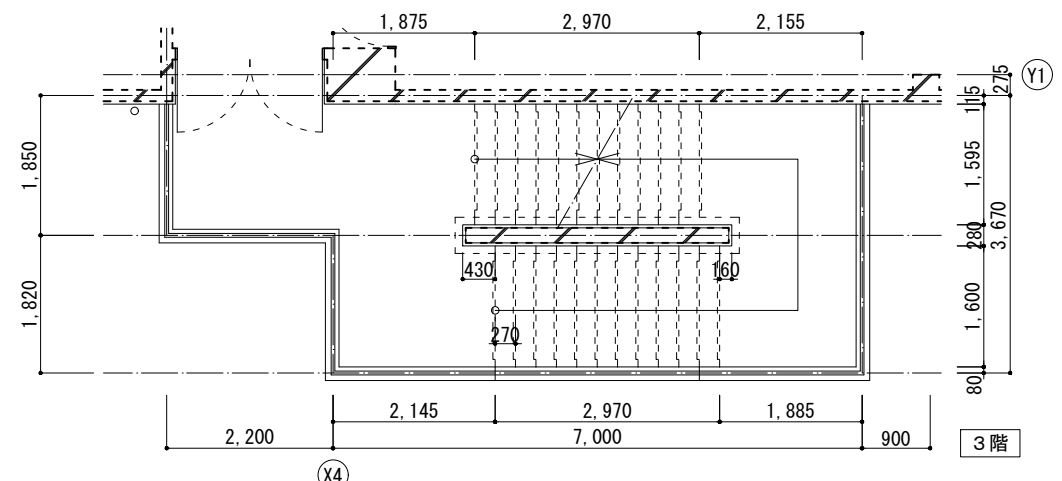
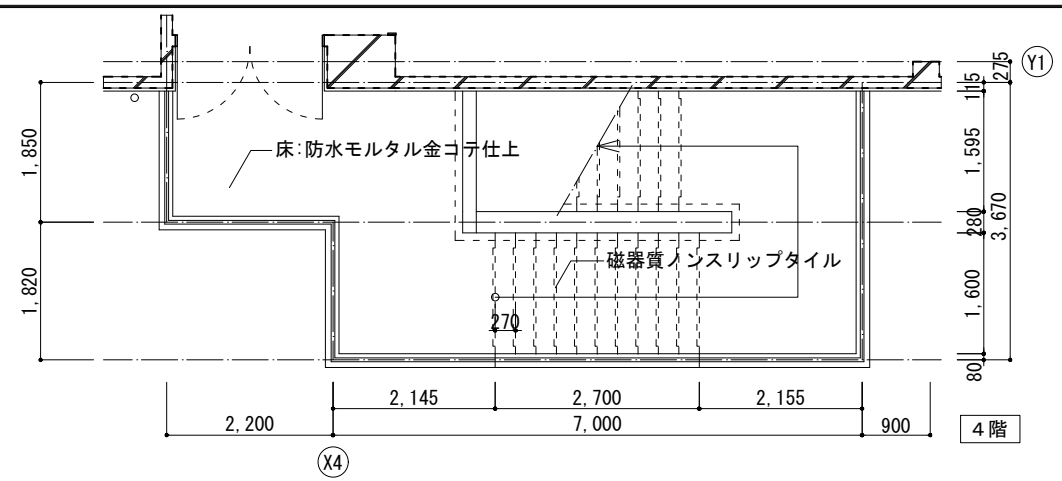
凡例(外部仕上) (改修前)

①	コンクリート打放し+吹付タイル【サンダー】【劣化補修】
②	コンクリート打放し+吹付タイル【高圧洗浄(30Pa)】【劣化補修】
③	二丁掛タイル【高圧洗浄(30Pa)】【劣化補修】
W-2	平場:コンクリート金コテ押え+アスファルト防水+保護モルタル 20t+押えコンクリート 80t【高圧洗浄(30Pa)】 立上:コンクリート金コテ押え+アスファルト防水【撤去】+保護モルタル 20t【撤去】【仮防水】【劣化補修】 架台:コンクリート金コテ押え+塗膜防水★【撤去】 アゴ:コンクリート金コテ押え+塗膜防水★【撤去】【劣化補修】
備考	★印の付いた建材は、アスベスト含有建材として適切に処理を行うこと。

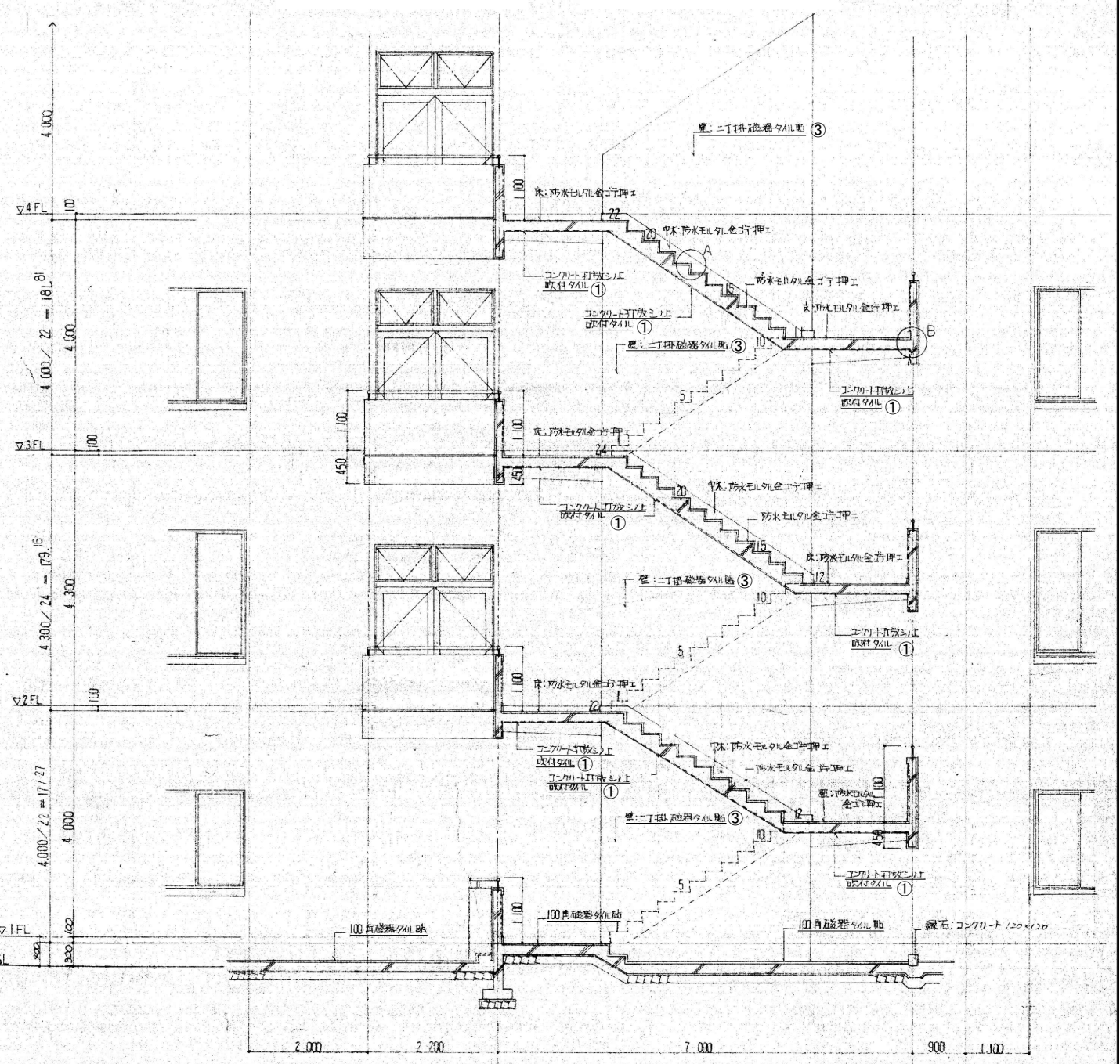
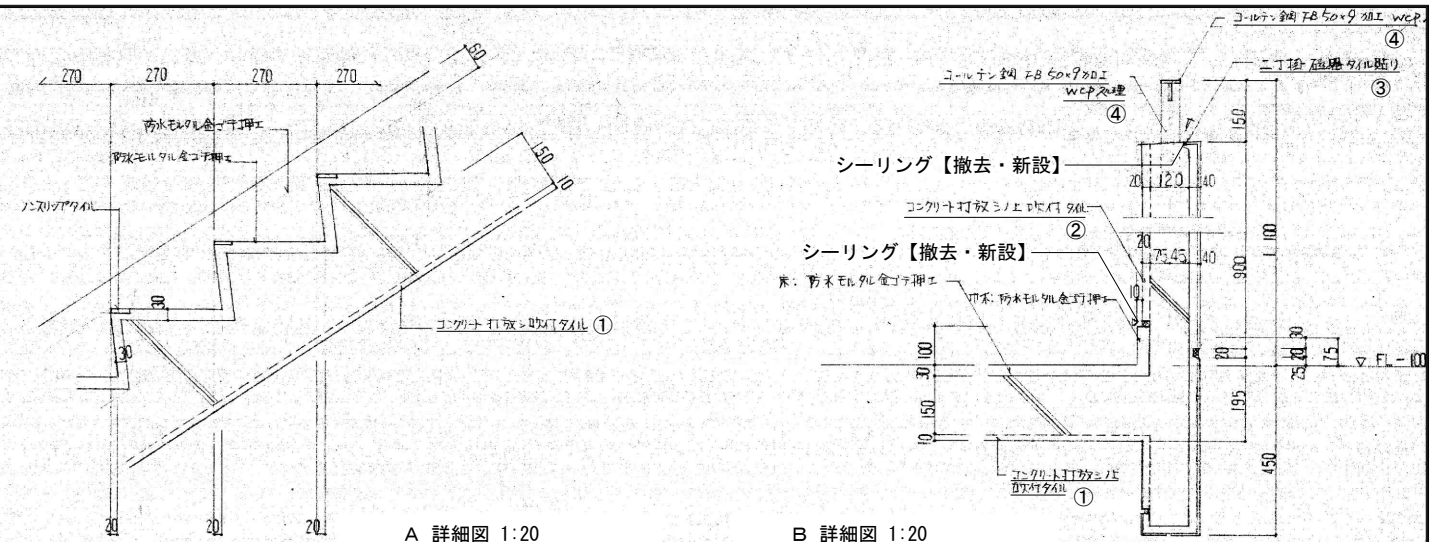


凡例 (外部仕上) (改修後)

①	下地調整(C-1)の上、外装薄塗材E【新設】
②	下地調整の上、可とう形改修用仕上塗材RE【新設】
③	—
平場:	下地調整の上、ウレタン塗膜防水(通気緩衝複合工法、高靱性環境対応型)【新設】
立上:	下地調整の上、ウレタン塗膜防水(通気緩衝複合工法、高靱性環境対応型)【新設】
架台:	下地調整の上、ウレタン塗膜防水(密着工法、高靱性環境対応型)【新設】
W-2	アゴ: 下地調整の上、ウレタン塗膜防水(密着工法、高靱性環境対応型)【新設】

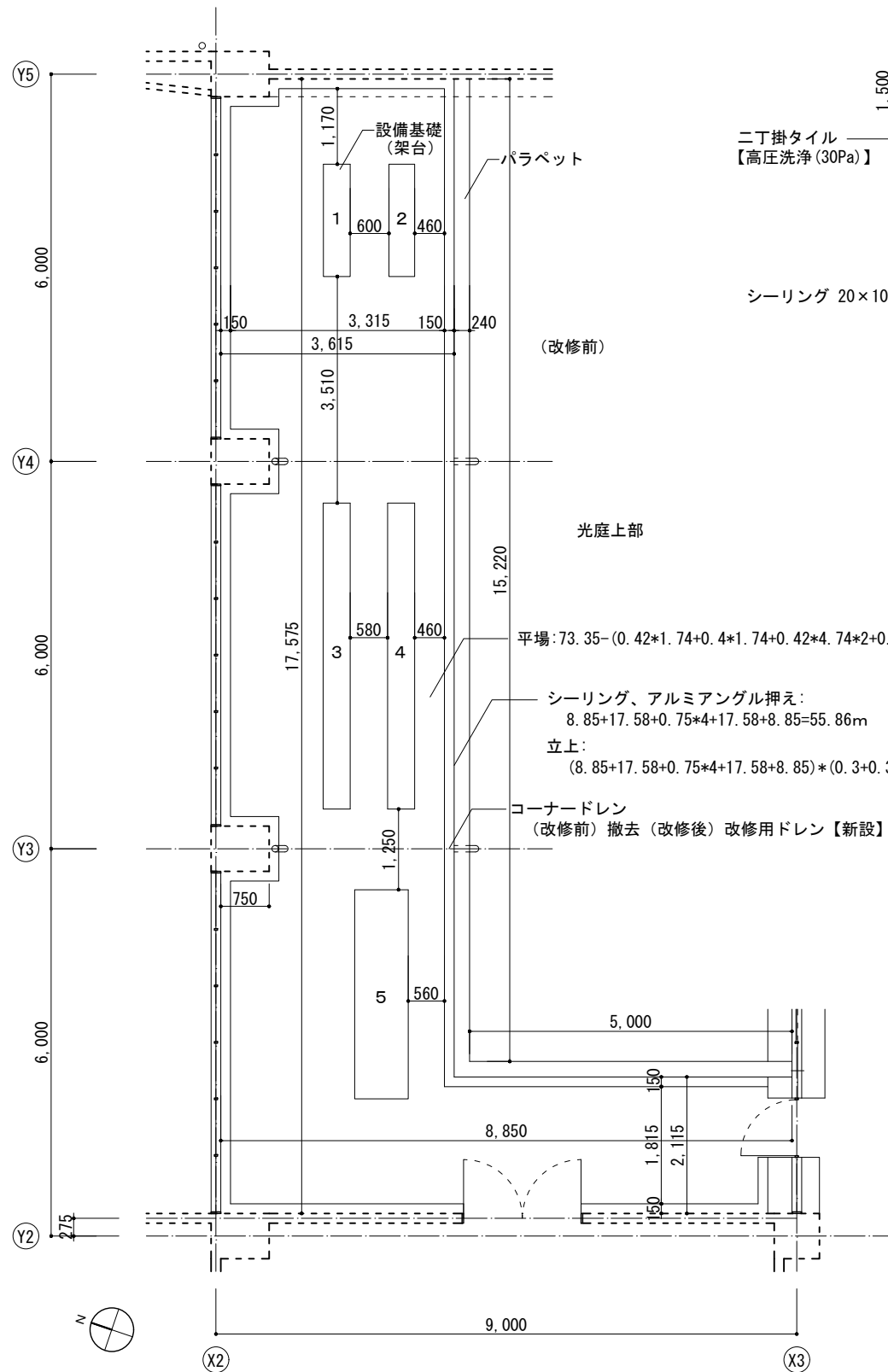


屋外階段 平面図 1:50

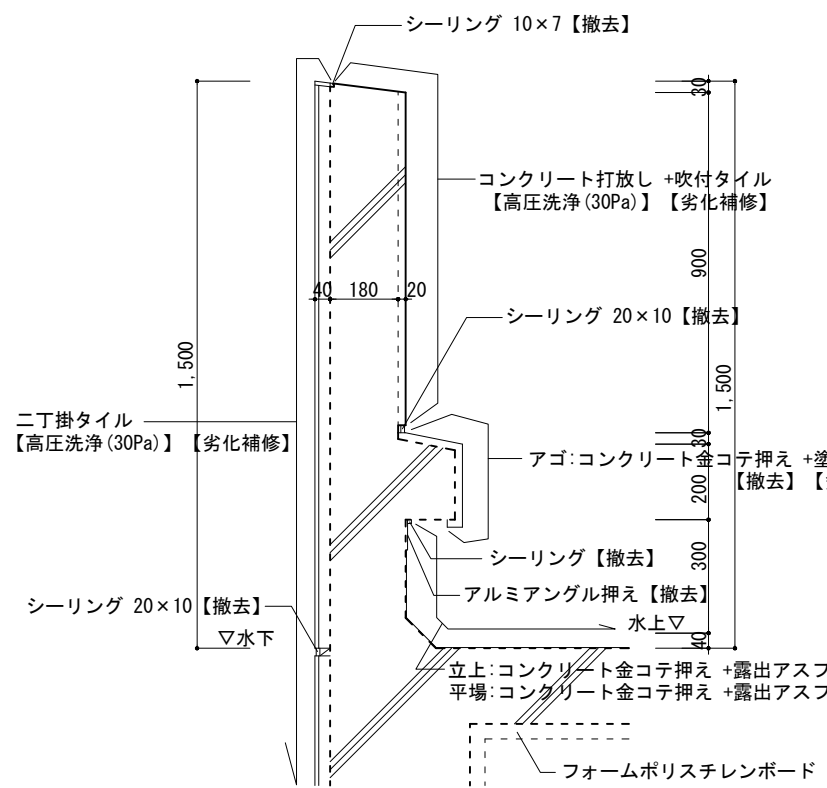


凡例	(改修前)	(改修後)
①	コンクリート打放し+吹付タイル【サンダー】【劣化補修】	① 下地調整(C-1)の上、外装薄塗材E【新設】
②	コンクリート打放し+吹付タイル【高圧洗浄(30Pa)】【劣化補修】	② 下地調整の上、可とう形改修用仕上塗材RE【新設】
③	二丁掛タイル【高圧洗浄(30Pa)】【劣化補修】	③ -
④	コールドレン鋼ウェザーコートプレバレン処理【水洗い】	④ 下地調整の上、錆止め+DP塗装【新設】

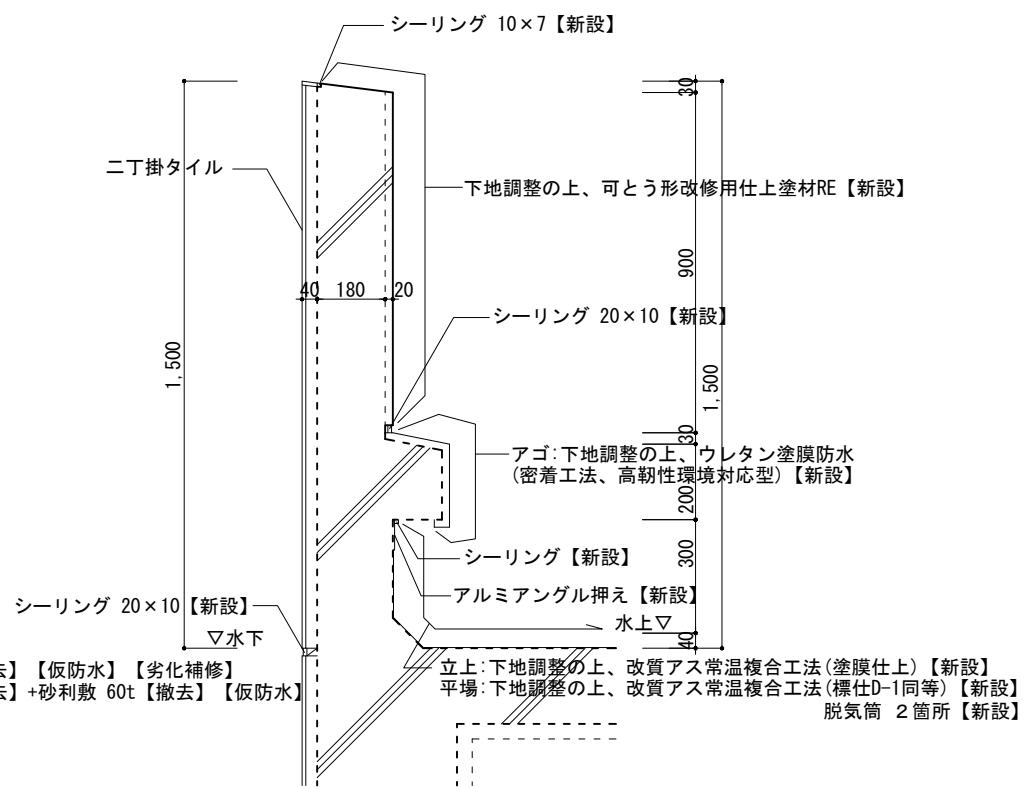
変更履歴	月、日	月、日	工事名称	図面名称	縮尺	図示	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事	屋外階段詳細図			60-030
				担当者	日付		図面No.
				管理技術者 大林 二 一級建築士 第308950号	2026年3月		A / 39
				照査技術者 林田 祥太郎 一級建築士 第395282号			
				担当者 寺川 隆史 一級建築士 第389712号			



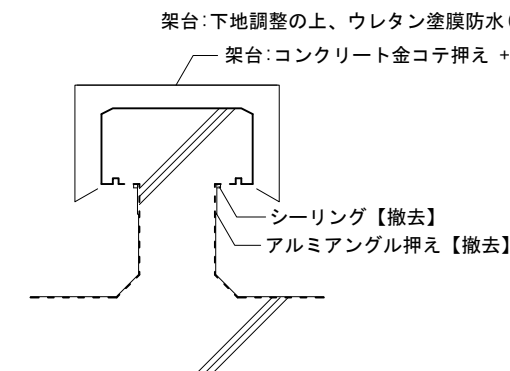
2階陸屋根平面図 1:50



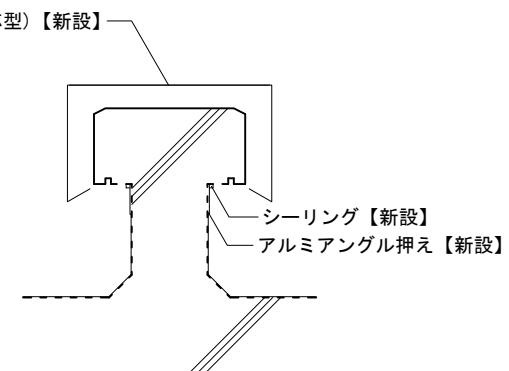
パラペット廻り断面図 (改修前) 1:10



パラペット廻り断面図 (改修後) 1:10



設備基礎 (架台) 断面図 (改修前) 1:10



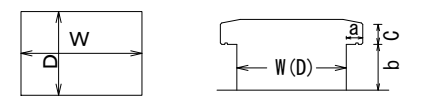
設備基礎 (架台) 断面図 (改修後) 1:10

光庭上部  
 平場:  $73.35 - (0.42 \times 1.74 + 0.4 \times 1.74 + 0.42 \times 4.74 \times 2 + 0.84 \times 3.24) = 65.22 \text{m}^2$   
 シーリング、アルミアングル押え:  
 $8.85 + 17.58 + 0.75 \times 4 + 17.58 + 8.85 = 55.86 \text{m}$   
 立上:  
 $(8.85 + 17.58 + 0.75 \times 4 + 17.58 + 8.85) \times (0.3 + 0.34) / 2 = 17.88 \text{m}^2$   
 コーナードレン  
 (改修前) 撤去 (改修後) 改修用ドレン【新設】

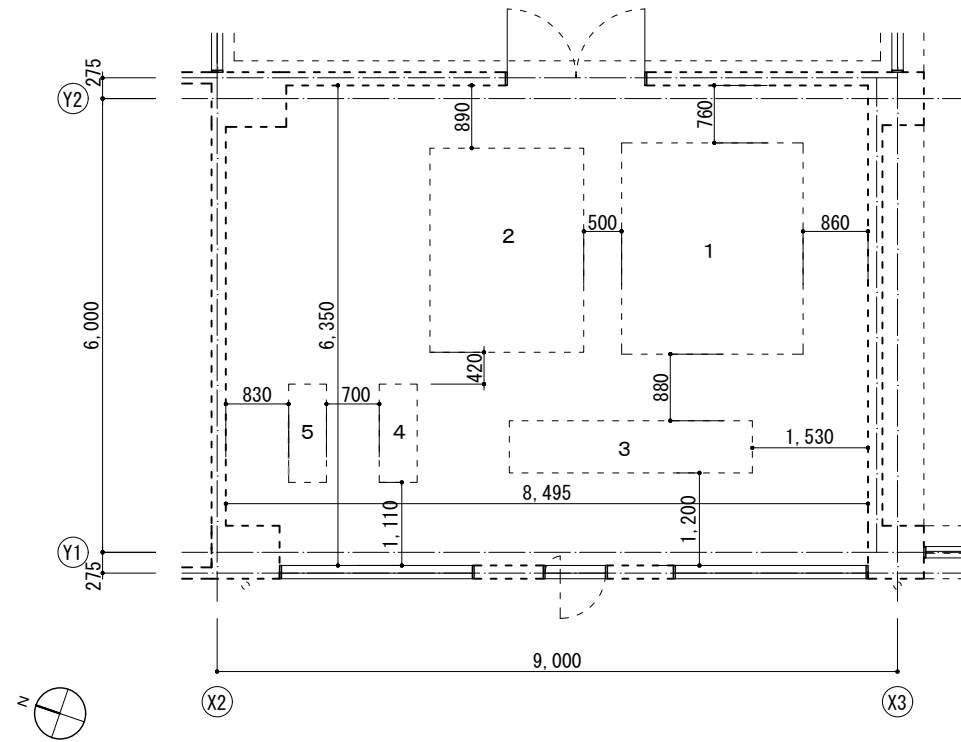
基礎リスト

番号	サイズ (W×D)	高さ (a、b、c)			上面 (㎡)	側面 (㎡)	シーリング (m)	立上り (㎡)
		a	b	c				
1	420×1,740	a:100	b:300	c:200	1.20	0.86	4.32	1.30
2	400×1,740	a:100	b:300	c:200	1.16	1.02	4.28	1.28
3	420×4,740	a:100	b:300	c:200	3.06	2.22	10.32	3.10
4	420×4,740	a:100	b:300	c:200	3.06	2.22	10.32	3.10
5	840×3,240	a:100	b:300	c:200	3.58	1.79	8.16	2.45
計					12.06	8.11	37.4	11.23

基礎符号凡例



★印の付いた建材は、アスベスト含有建材として適切に処理を行うこと。

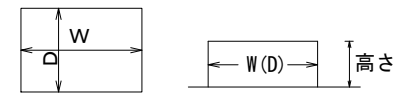


2階空調機械室平面図 1:50

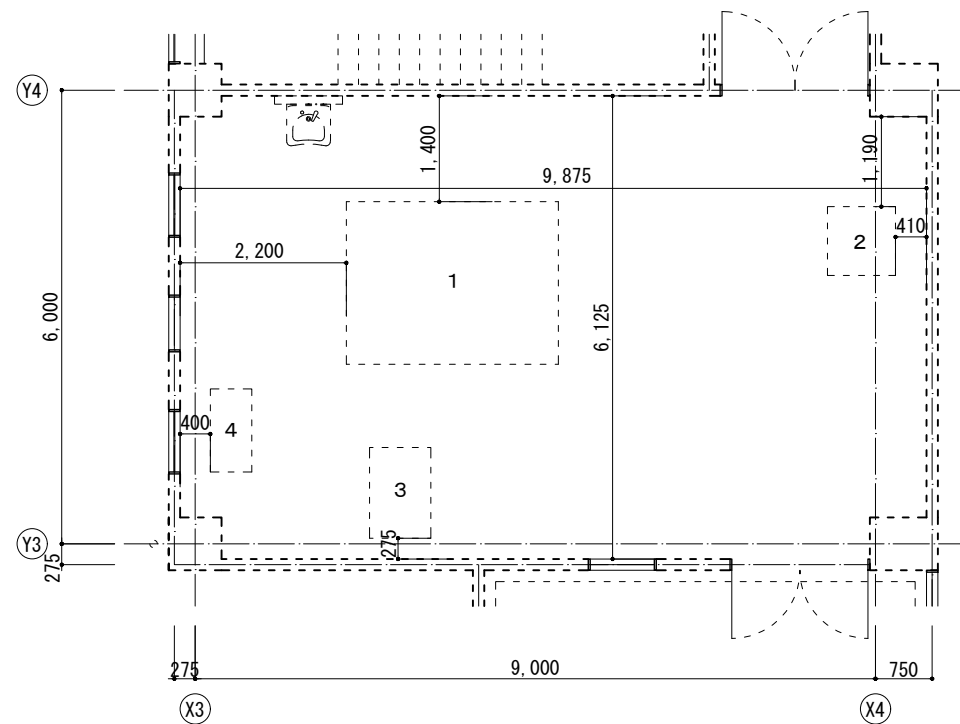
基礎リスト

番号	サイズ (W×D)	高さ	上面 (㎡)	側面 (㎡)
1	2,400×2,795	200	6.72	2.08
2	2,035×2,700	200	5.51	1.90
3	3,215×690	200	2.22	1.56
4	500×1,300	200	0.65	0.72
5	500×1,300	200	0.65	0.72
計			15.75	6.98

基礎符号凡例



基礎:設備撤去跡モルタル補修

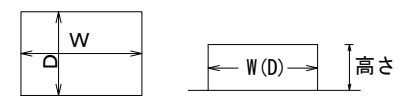


5階空調機械室平面図 1:50

基礎リスト

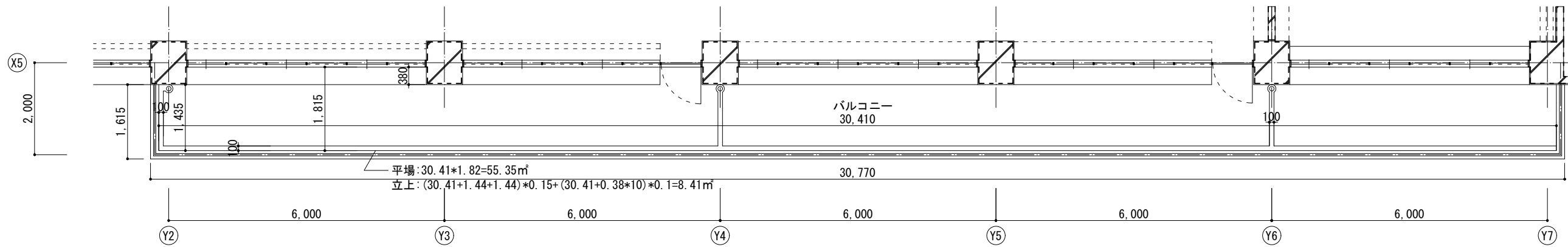
番号	サイズ (W×D)	高さ	上面 (㎡)	側面 (㎡)
1	2,800×2,150	170	6.02	1.68
2	910×905	200	0.83	0.73
3	810×1,220	190	0.99	0.77
4	550×1,100	190	0.61	0.63
5			8.45	3.81

基礎符号凡例

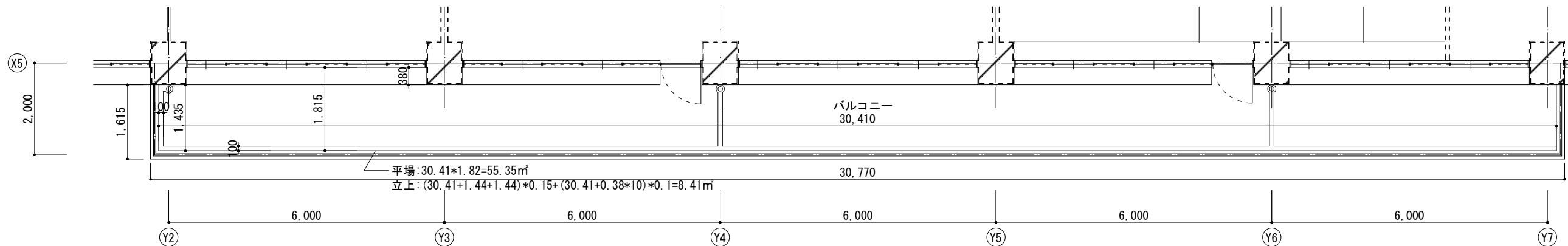


基礎:設備撤去跡モルタル補修

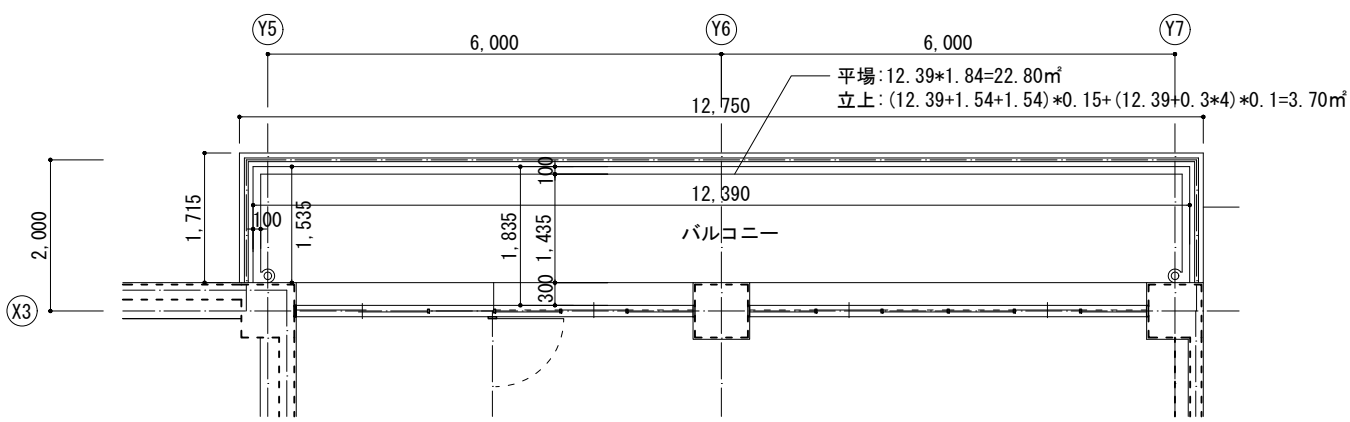




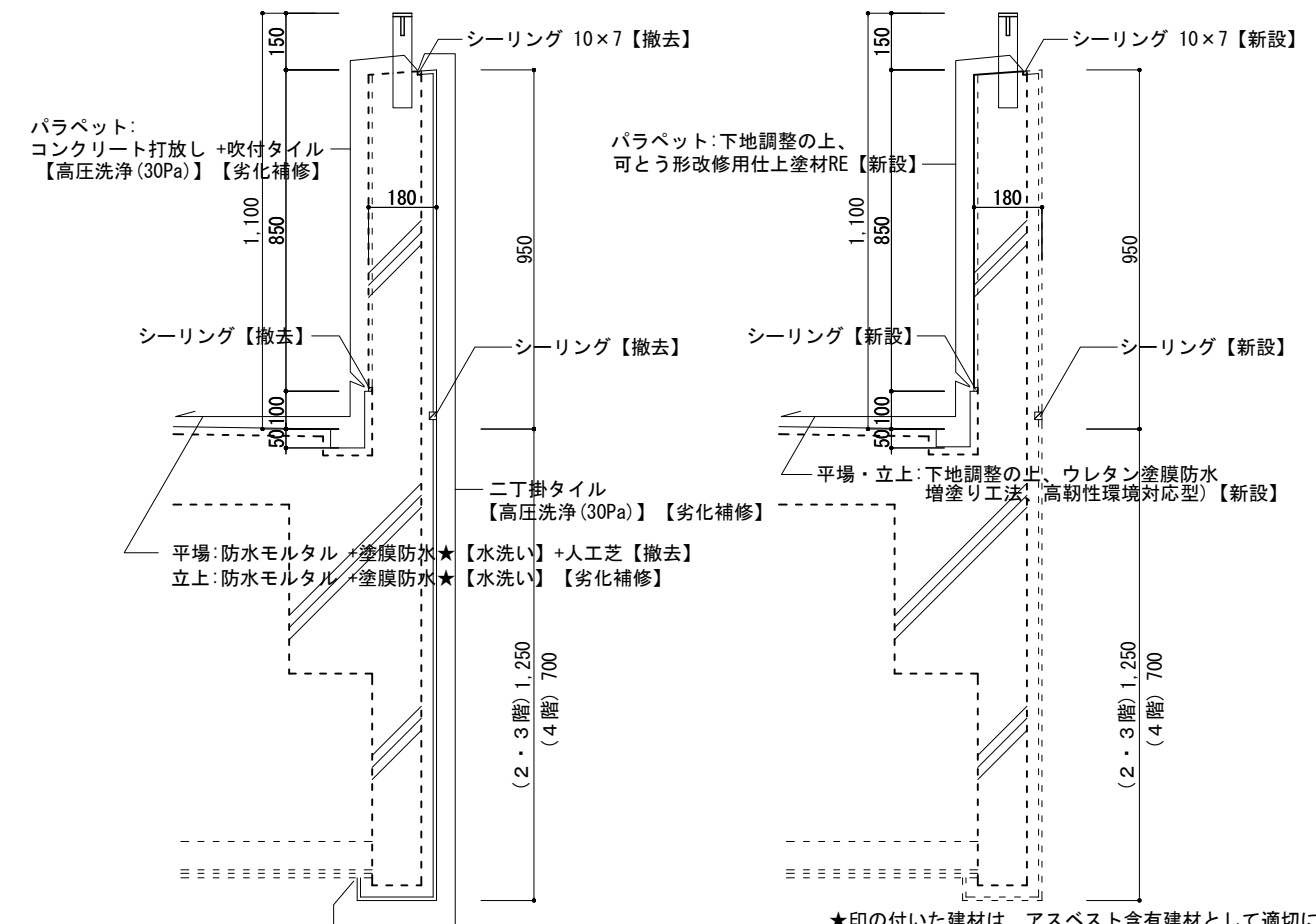
2階バルコニー平面図 1:50



3階バルコニー平面図 1:50

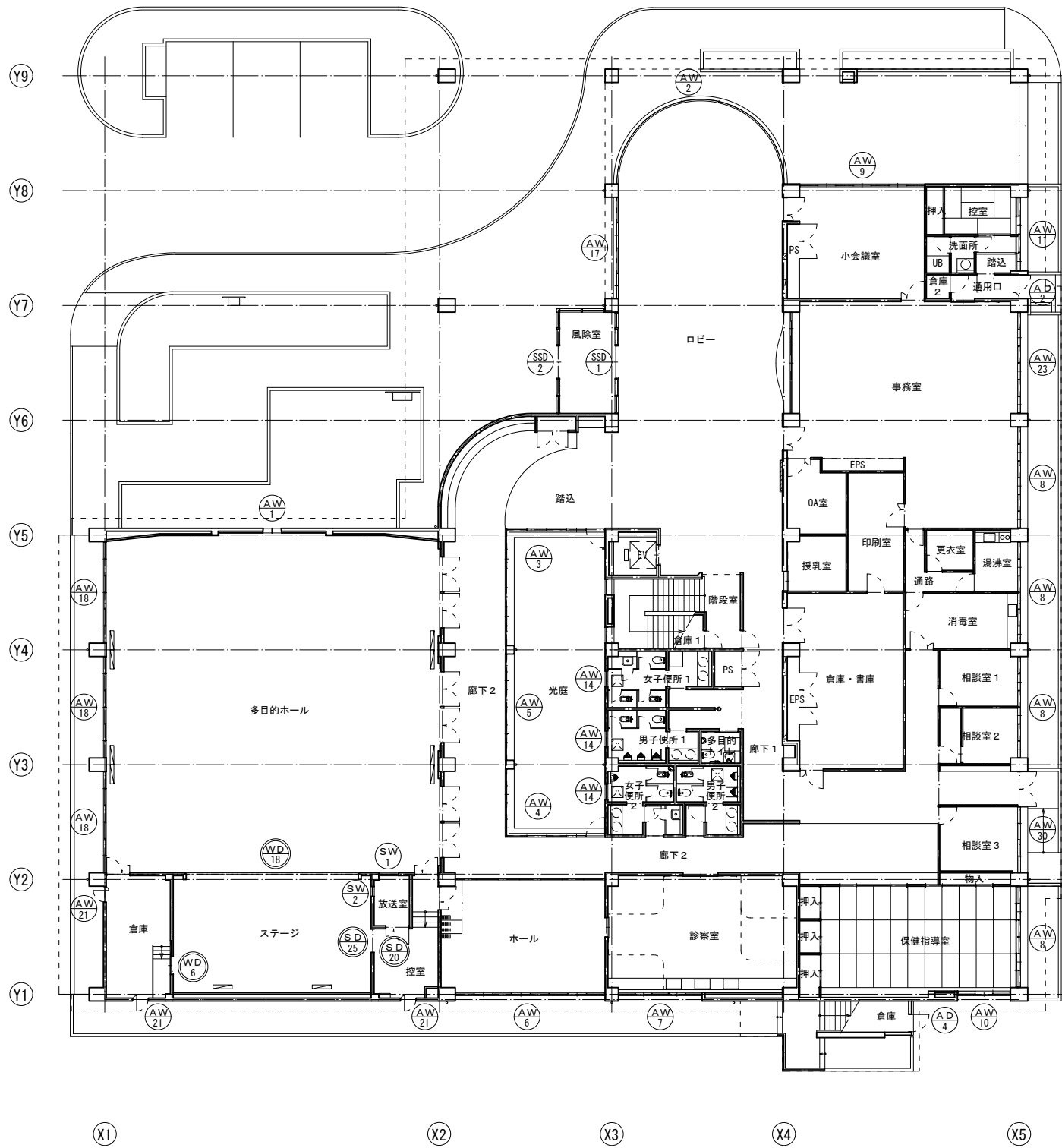


4階バルコニー平面図 1:50

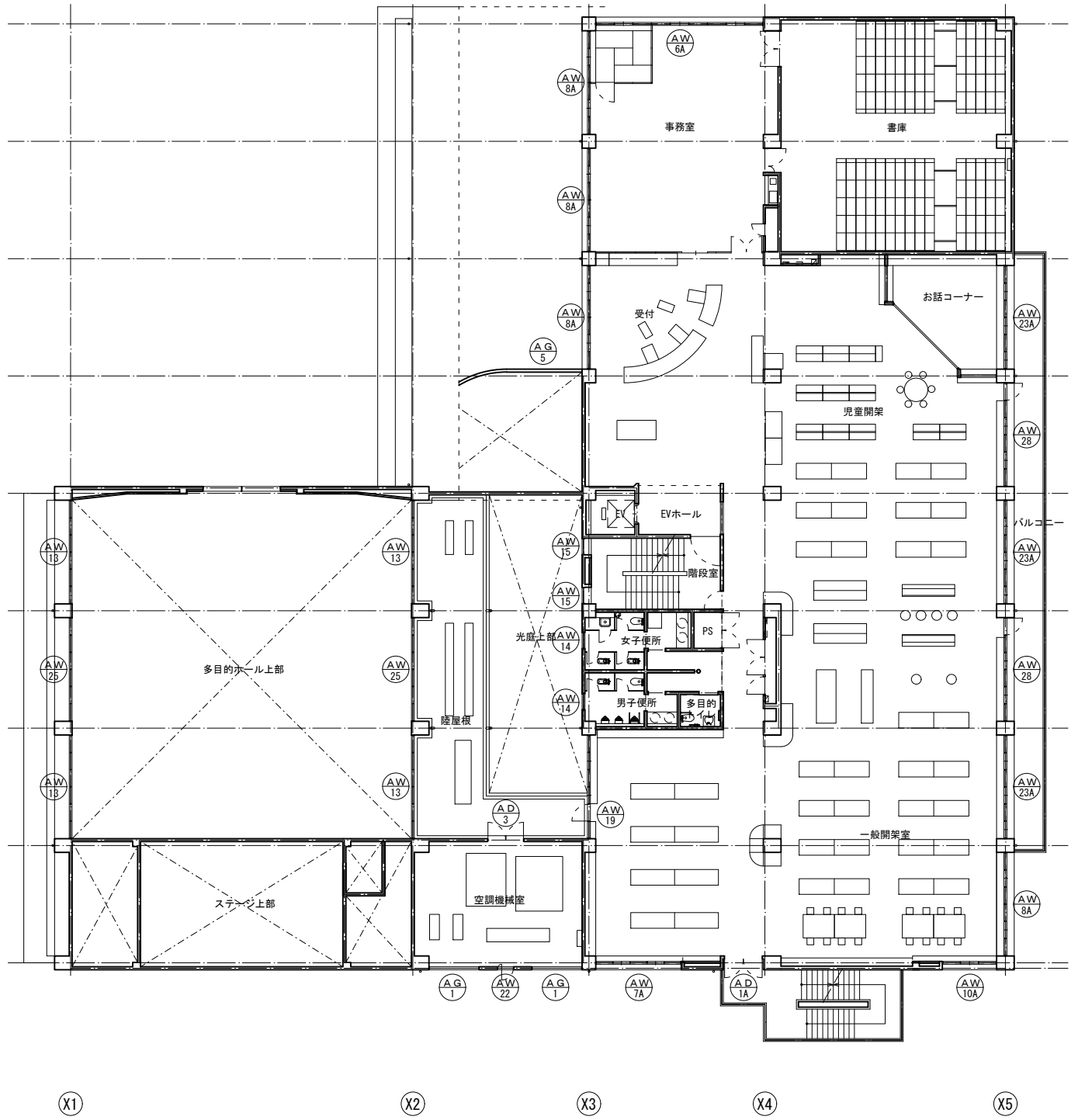


★印の付いた建材は、アスベスト含有建材として適切に処理を行うこと。

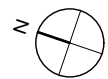
変更履歴	月. 日	月. 日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店	図面名称	バルコニー詳細図	縮尺	図示	管理No.			
			シーオーレ新宮大規模改修工事	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下智矢	担当者	管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号	照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号	担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号	日付	2026年3月	図面No.	A / 43



1階建具キープラン (改修前) 1:150

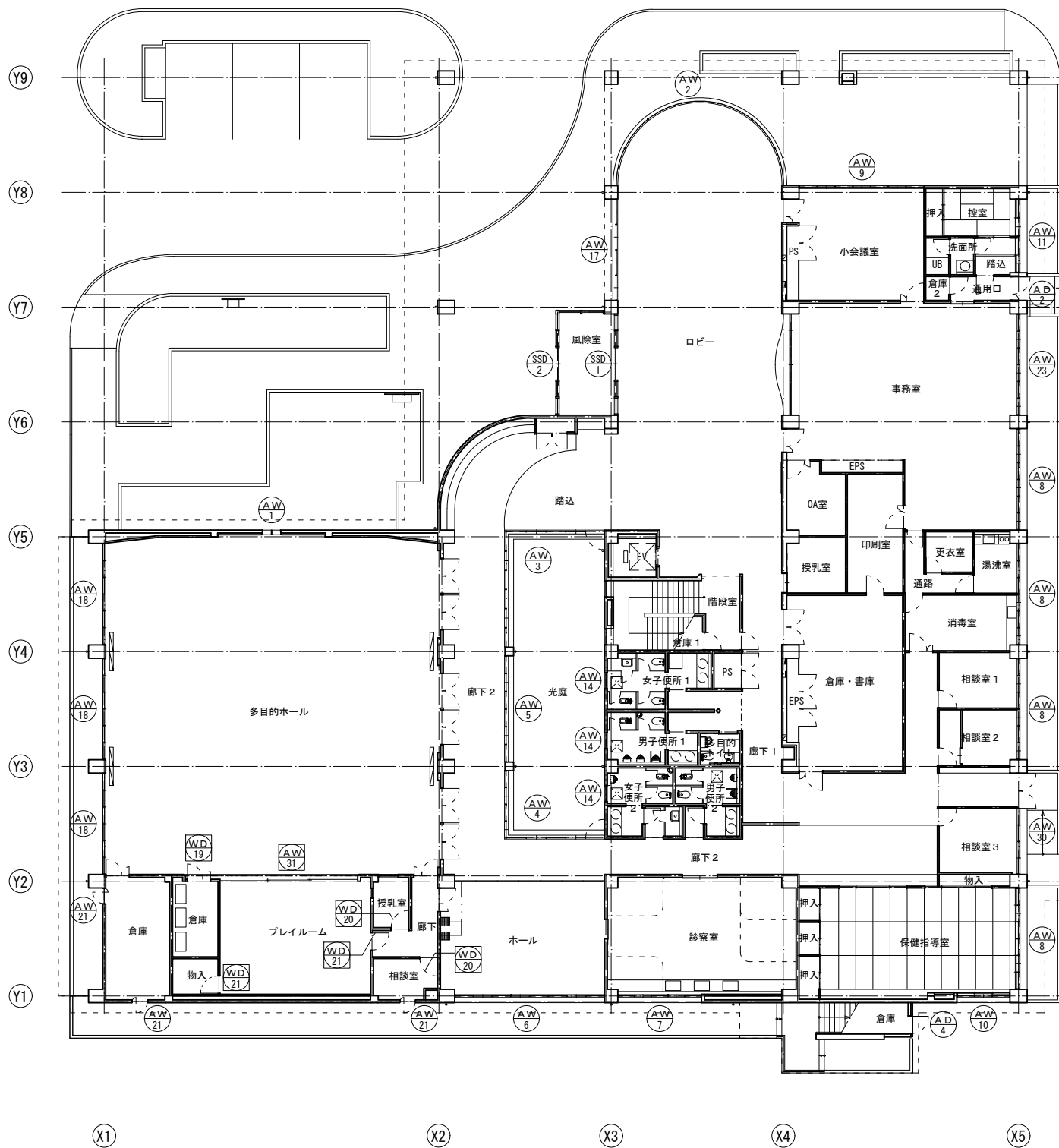


2階建具キープラン (改修前) 1:150

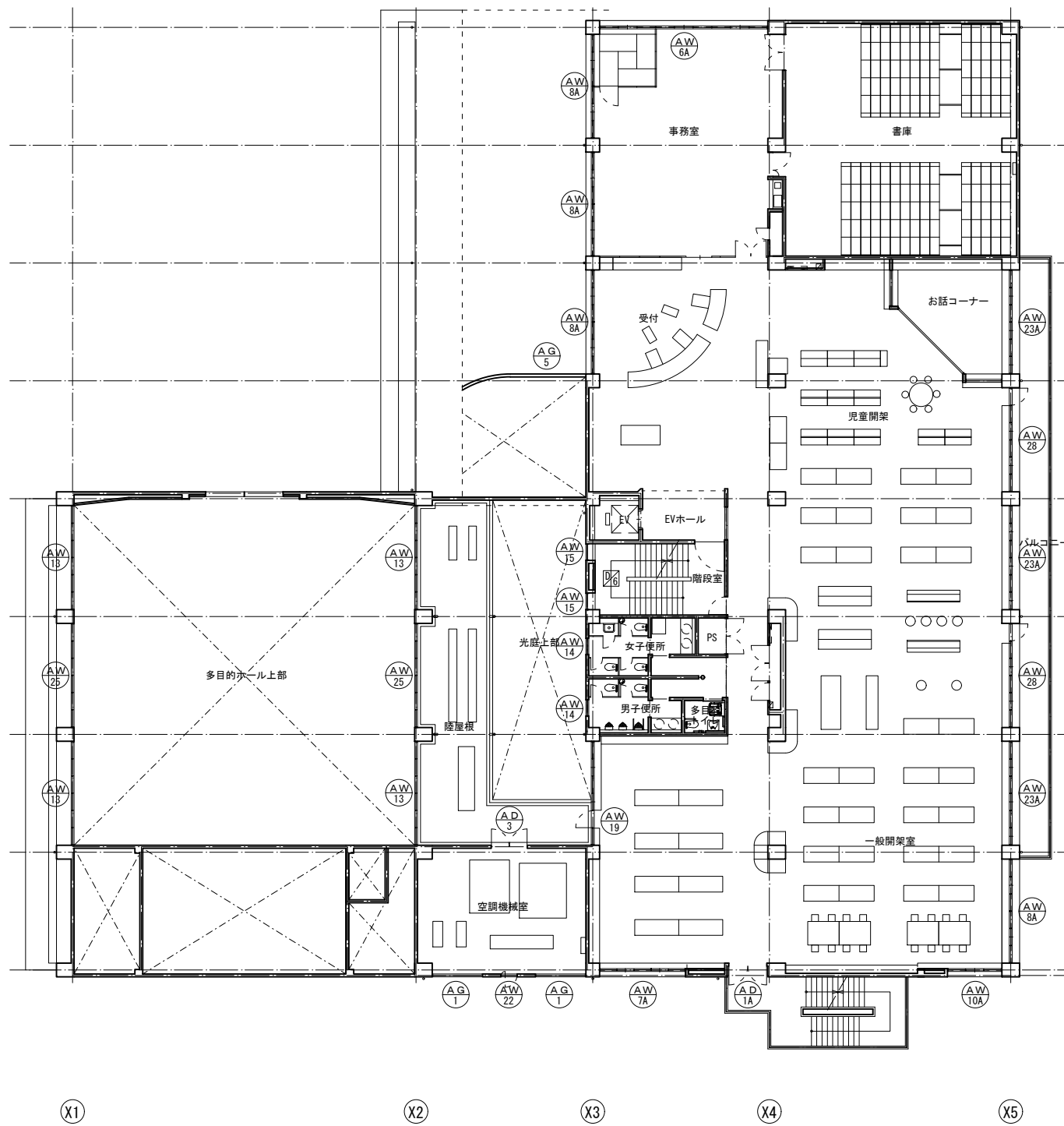


⊖ ... 建具撤去を示す

変更履歴	月.日	月.日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称	建具キープラン1 (改修前)	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事		担当者	管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号	A1 1:150 A3 1:300	60-030
					担当者	照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号	日付	図面No.
					担当者	寺川隆史 一級建築士第389712号	2026年3月	A / 44



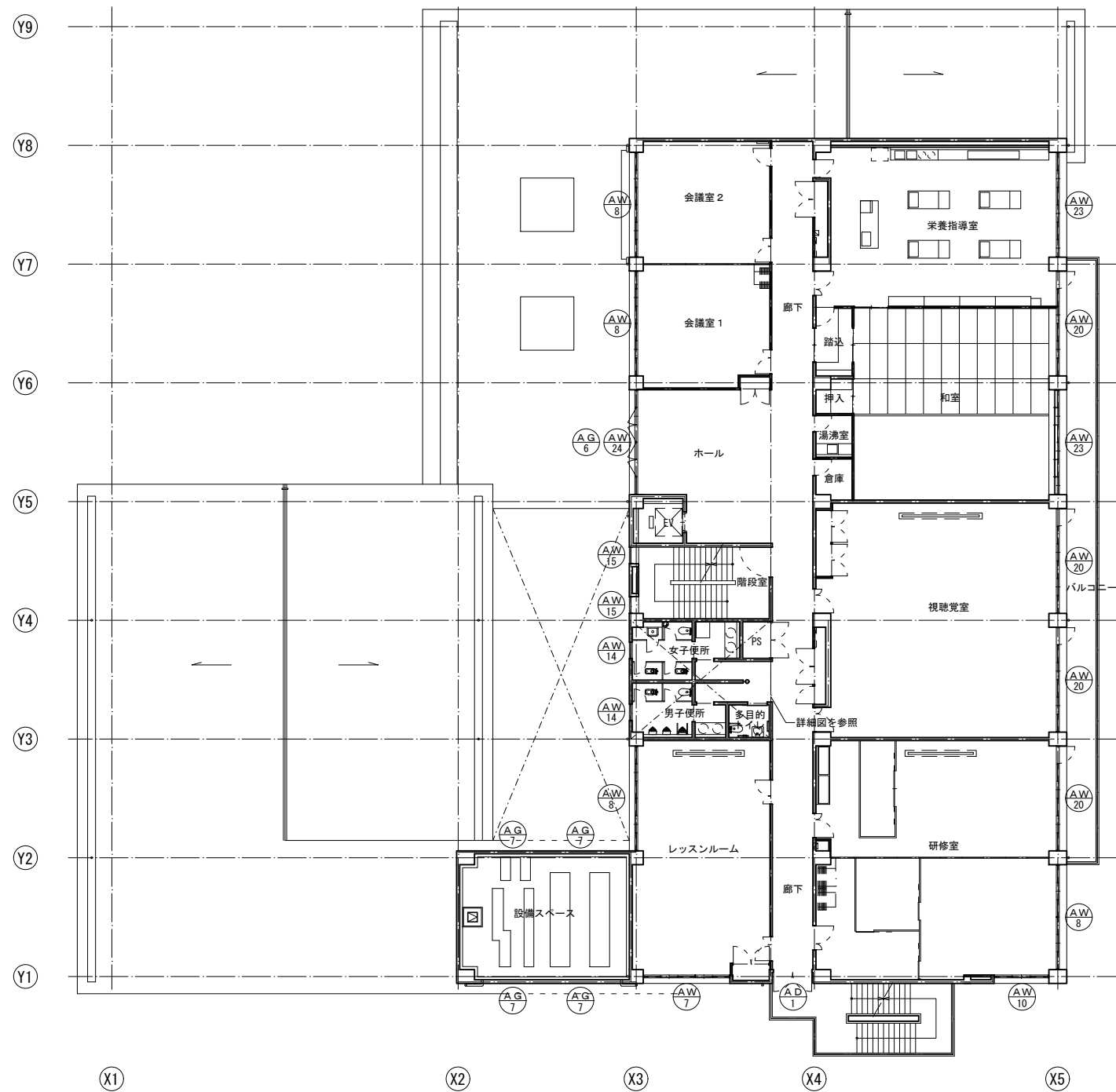
1階建具キープラン (改修後) 1:150



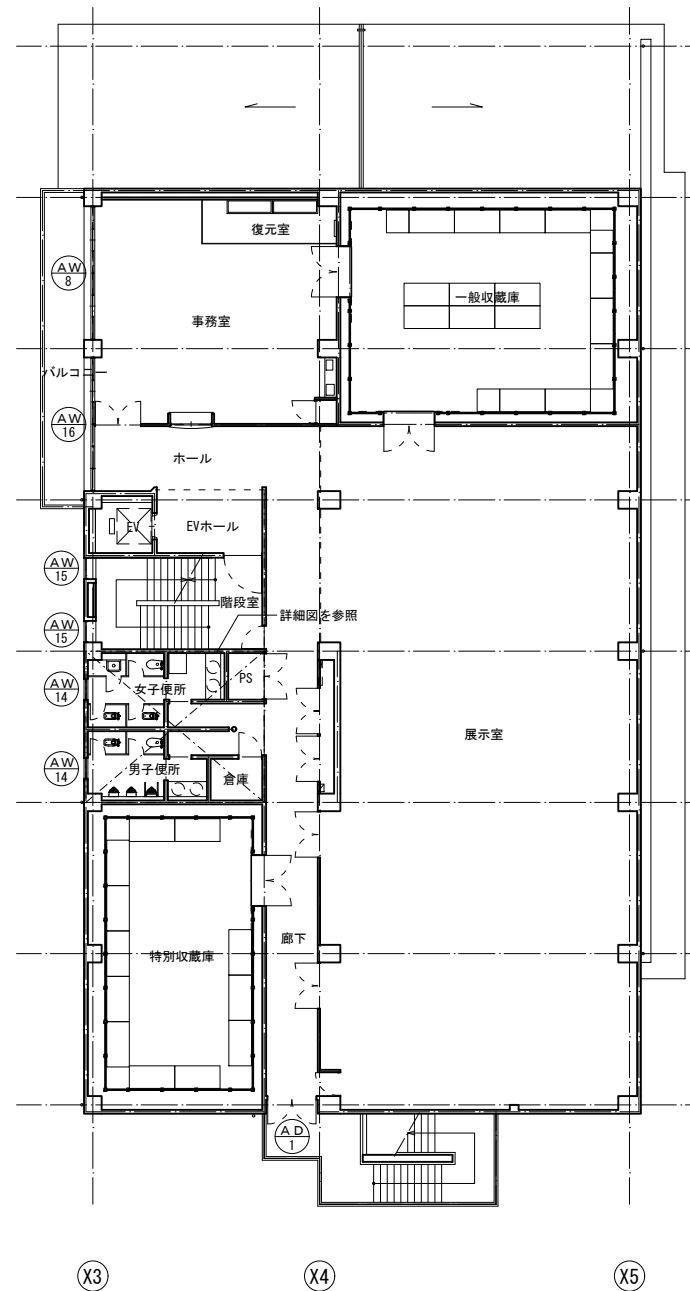
2階建具キープラン (改修後) 1:150

... 建具新設を示す

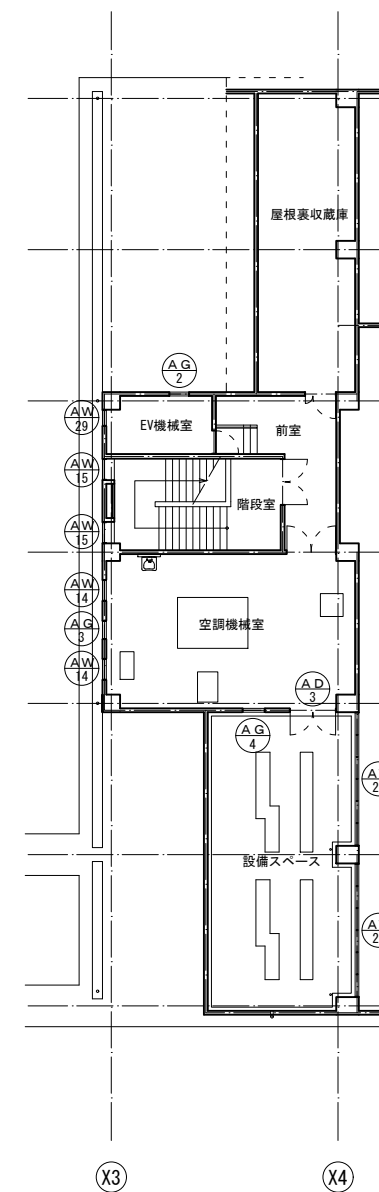
変更履歴	月. 日	月. 日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称 建具キープラン1 (改修後)	縮尺 A1 1:150 管理No. 60-030
						担当者 管理技術者 大林信二 照査技術者 林田祥太郎 担当者 寺川隆史 一級建築士第308950号 一級建築士第395282号 一級建築士第389712号



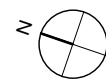
3階建具キープラン (改修前) 1:150



4階建具キープラン (改修前) 1:150

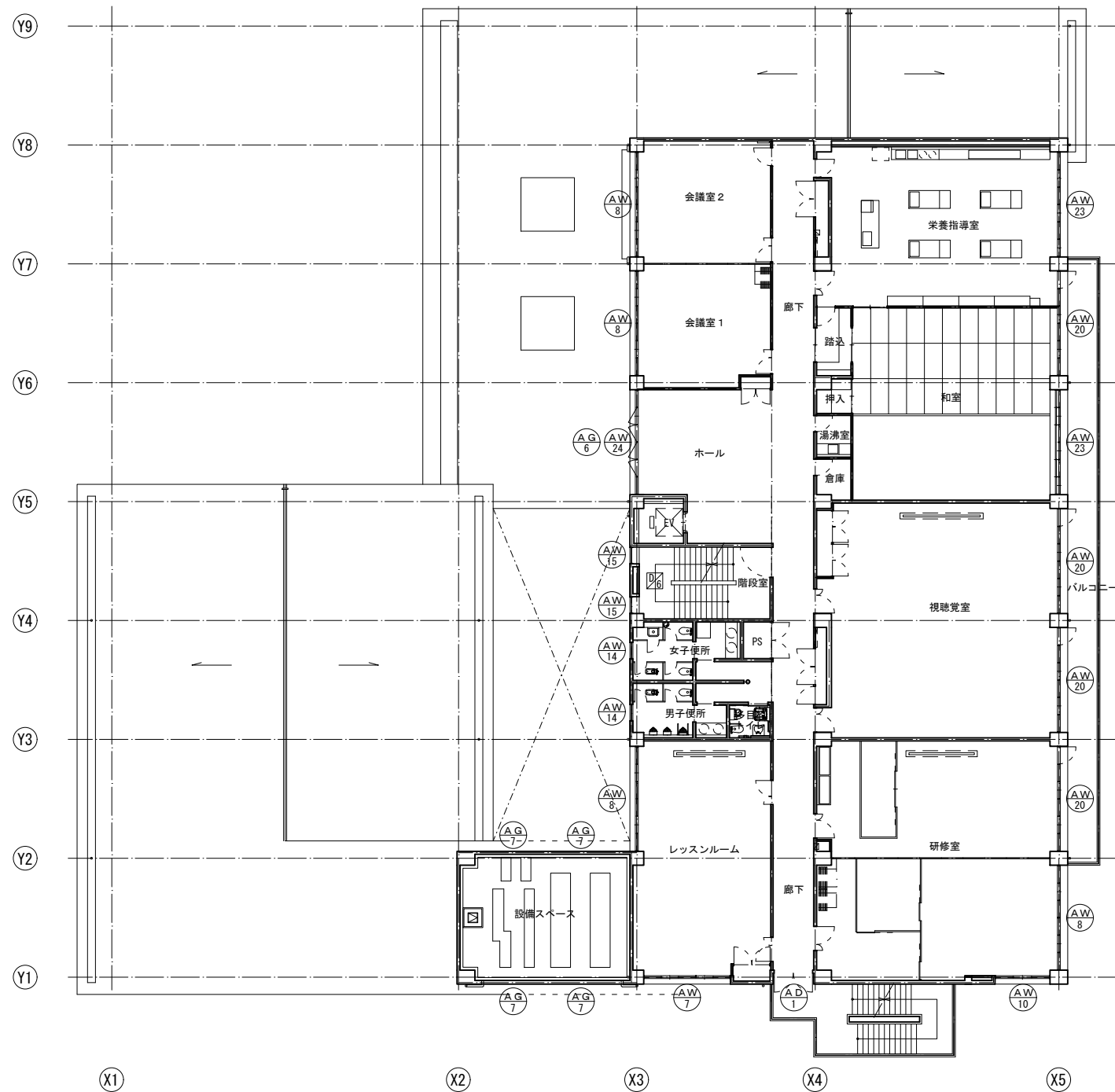


5階建具キープラン (改修前) 1:150

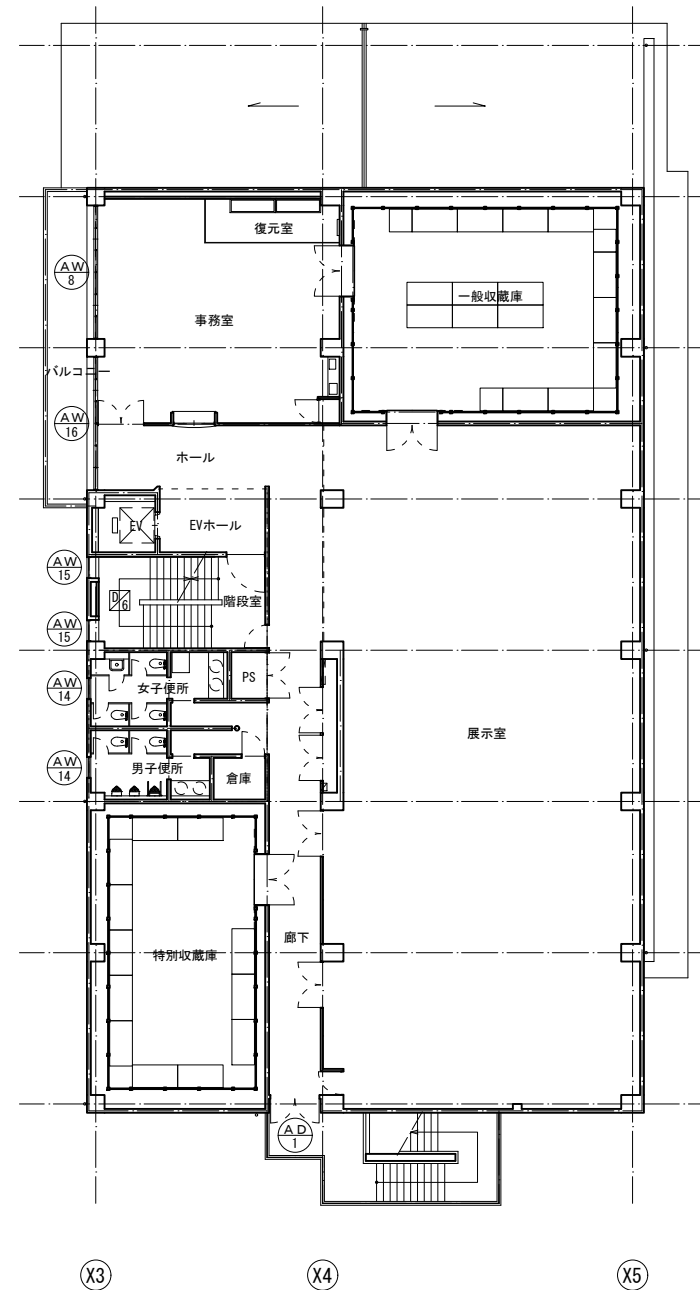


⊖・・・建具撤去を示す

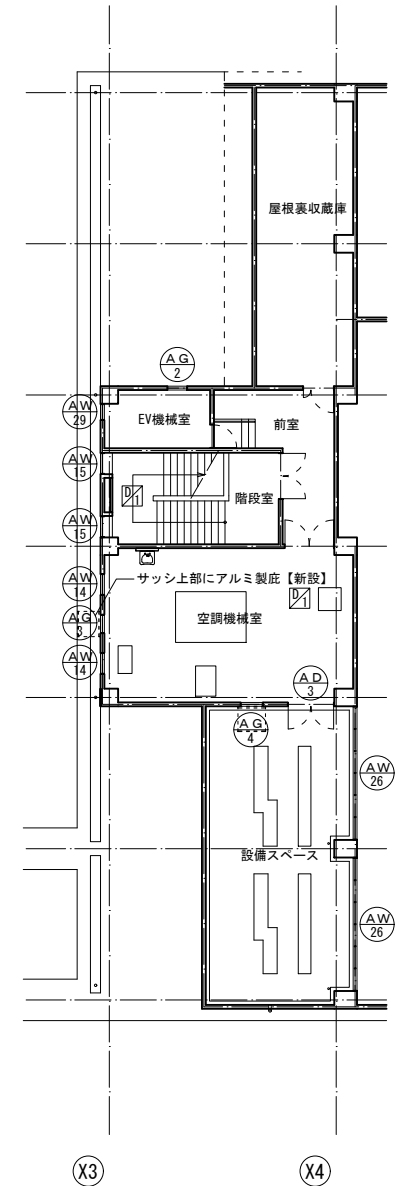
変更履歴	月. 日	月. 日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲夫	図面名称 建具キープラン2 (改修前)	縮尺	管理No.
						担当者 管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号 照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号 担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号	日付 2026年3月



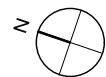
3階建具キープラン (改修後) 1:150




4階建具キープラン (改修後) 1:150



5階建具キープラン (改修後) 1:150



⊞・・・建具新設を示す

変更履歴	月. 日	月. 日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称 建具キープラン2 (改修後)	縮尺 A1 1:150 管理No. 60-030
						担当者 管理技術者 大林信二 照査技術者 林田祥太郎 担当者 寺川隆史 一級建築士第308950号 一級建築士第395282号 一級建築士第389712号

記号	名称	数量	AW1 アルミ製 FIX窓	1	AW2 アルミ製 FIX窓 (曲面)	1	AW3 アルミ製 FIX窓+片引窓+片開戸	1	AW4 アルミ製 FIX窓+片引窓+片開戸	1
形状										

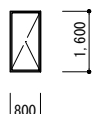
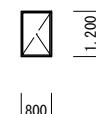
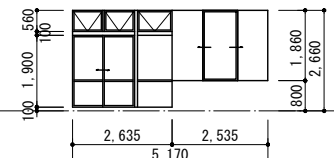
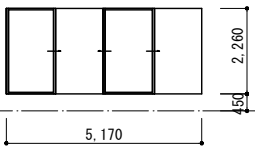
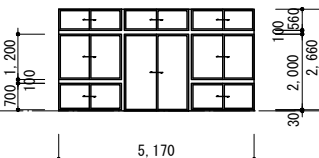
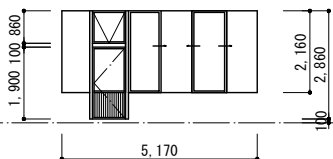
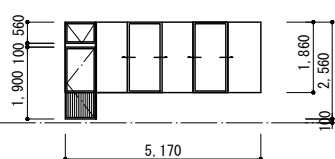
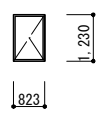
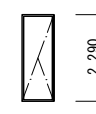
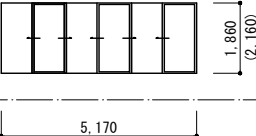
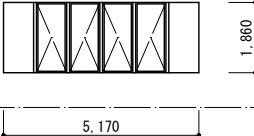
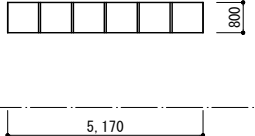
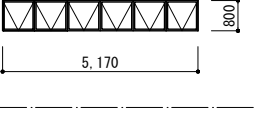
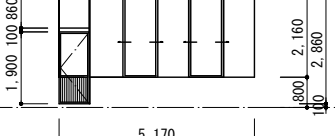

仕上	見込	二次電解着色 (マット仕上)	175	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100
金物	付属金物一式		付属金物一式		クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、付属金物一式		クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、振り玉付シリンダー錠		
ガラス	CFL6		GBFL5		GBFL5		GBFL5		
場所	1階多目的ホール		1階ロビー		1階廊下2		1階廊下2		
改修内容	シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		

記号	名称	数量	AW5 アルミ製 FIX窓+片引窓	1	AW6 x1, AW6A x1	2	AW7 x2, AW7A x1	3	AW8 x9, AW8A x4	13
形状										
仕上	見込	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	
金物	クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、付属金物一式		クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、付属金物一式		クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、付属金物一式		クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、付属金物一式			
ガラス	GBFL5		GBFL5		GBFL5		GBFL5			
場所	1階廊下2		1階ホール、2階事務室		AW-7: 1階診察室、3階レッスンルーム AW-7A: 2階一般開架室		AW-8: 1階消毒室、湯沸室、相談室12、事務室、保健指導室、3階研修室、会議室12、レッスンルーム、4階復元室 AW-8A: 児童開架、一般開架室、事務室、受付			
改修内容	シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)			

記号	名称	数量	AW9 アルミ製 FIX窓+片引窓	1	AW10 x2, AW10A x1	3	AW11 アルミ製 FIX窓+片引窓	1	AW13 アルミ製 FIX窓+外倒窓	4
形状										
仕上	見込	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	70	
金物	クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、付属金物一式		クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、付属金物一式		クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、付属金物一式		ワイヤーオペレーター、外倒しヒンジ、付属金物一式			
ガラス	GBFL5		GBFL5		GBFL5		GBFW6.8			
場所	1階小会議室		AW-10: 1階保健指導室、3階研修室 AW-10A: 2階一般開架室		1階控室		多目的ホール (上部)			
改修内容	シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)			

AW	アルミ製窓	OS	スチール製重量シャッター	FL	透明フロートガラス	T	強化ガラス	HL	ヘアライン	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョン塗	SF-A SF-B 	H	丁番	PD	シリンダー本締め (サムターン付を含む)	注: 建具廻りシーリング全面撤去の上、MS-2 (15x10) 新設とする。 注: 外部に面する建具のガラスは全面クリーニングする。
ACW	アルミカーテンウォール	LSD	鋼製軽量ドア	PWC	網入り磨き板ガラス (クロスワイヤ)	GBFL	熱線吸収フロートガラス	AL	アルマイト加工 (ステンカラー B-2種)	SOP	合成樹脂顔合ペイント塗		AHN	オートヒンジ ストッパーなし	LH	レバーハンドル (ステンレス製)	
AG	アルミ製ガラリ	SSD	ステンレス製ドア	PWL	網入り磨き板ガラス	GBFW	熱線吸収網入り型板ガラス	A-BE	アクリル系塗料焼付き	焼付	焼付塗装		DCS	ドアチェック ストッパーあり	PB	把手 (図示なき限りステンレスまたはアルミ合金製 L=600内外)	
ATP	アルミ製トップライト			FWC	網入り板ガラス (クロスワイヤ)	F	型板ガラス	DP	耐候性塗料				DGN	ドアチェック ストッパーなし	GR	グレモン錠	
SD	鋼製ドア			CFL	熱線反射フロートガラス			EP	合成樹脂エマルジョン塗				F	フランス落し			

変更履歴	月、日	月、日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店	図面名称	建具表 1	縮尺	A1 1:100 A3 1:200	管理No.	60-030
			シーオーレ新宮大規模改修工事	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	担当者 管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号 照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号 担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号	日付 2026年3月 図面No. A / 48				

記号	名称	数量	AW14	アルミ製 縦出し窓	11	AW15	アルミ製 縦出し窓	8	AW16	アルミ製 FIX窓+外倒窓+引違戸+片引窓	1	AW17	アルミ製 FIX窓+片引窓	1	AW18	アルミ製 引違窓+引違戸	3		
形状																			
仕上	見込	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上) ※下枠:ステンレス	100						
金物	引出しヒンジ、クレセント、付属金物一式		引出しヒンジ、クレセント、付属金物一式		クレセント、アイロン戸車、安全アタッチ付引戸、指詰防止		クレセント、アイロン戸車、安全アタッチ付引戸、指詰防止		クレセント、アイロン戸車、安全アタッチ付引戸、指詰防止		クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、付属金物一式		クレセント、ナイロン戸車、安全アタッチ付引戸、指詰防止、付属金物一式						
ガラス	GBFL5、GBFW6.8 (1階3箇所)		GBFL5		GBFL5		GBFL5		GBFL8		GBFL5								
場所	1~4階男子・女子便所、5階空調機械室		2~5階階段室		4階事務室		4階事務室		1階ロビー		1階多目的ホール								
改修内容	シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)								
記号	名称	数量	AW19	アルミ製 FIX窓+片引窓+外倒窓+片開戸	1	AW20	アルミ製 FIX窓+片引窓+外倒窓+片開戸	4	AW21	アルミ製 縦出し窓	3	AW22	アルミ製 縦出し窓	1	AW23 x 3	AW23A x 3	アルミ製 FIX窓+片引窓	6	
形状																	AW-23A・・・( )内寸法		
仕上	見込	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	100						
金物	クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、握り玉付シリンダー錠		クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、握り玉付シリンダー錠		クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、握り玉付シリンダー錠		引出しヒンジ、クレセント、付属金物一式		引出しヒンジ、クレセント、付属金物一式		引出しヒンジ、クレセント、付属金物一式		クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、付属金物一式						
ガラス	GBFL5		GBFL5		GBFL5		GBFL5		GBFL5		GBFL5		GBFL5						
場所	2階一般開架室		3階和室、視聴覚室、研修室		1階倉庫、控室		2階空調機械室		2階空調機械室		1階事務室 2階児童開架、一般開架 3階栄養指導室、和室								
改修内容	シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)								
記号	名称	数量	AW24	アルミ製 FIX窓+縦出し窓	1	AW25	アルミ製 FIX窓	2	AW26	アルミ製 外倒窓	2	AW28	アルミ製 FIX窓+片引窓+外倒窓+片開戸	2	AW29	アルミ製 内倒窓	1		
形状																			
仕上	見込	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	70						
金物	クレセント、引出しヒンジ、付属金物一式		付属金物一式		ワイヤーオペレーター、外倒しヒンジ、付属金物一式		ワイヤーオペレーター、外倒しヒンジ、付属金物一式		クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、握り玉付シリンダー錠		クレセント、付属金物一式								
ガラス	GBFL5		GBFL5		GBFW6.8		GBFL5		GBFL5		GBFW6.8								
場所	3階ホール		2階多目的ホール (上部)		4階展示室 (上部)		2階一般開架室、児童開架室		2階一般開架室、児童開架室		5階EV機械室								
改修内容	シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)		シーリングやり替え (ガラスシール共)								
AW	アルミ製窓	OS	ステール製重量シャッター	FL	透明フロートガラス	T	強化ガラス	HL	ヘアーライン	EP-G	つやや合成樹脂エマルジョン塗	SF-A	SF-B	H	丁番	PD	シリンダー本軸まり錠 (サムターン付を含む)	<b>注: 建具廻りシーリング全面撤去の上、MS-2 (15×10) 新設とする。</b> <b>注: 外部に面する建具のガラスは全面クリーニングする。</b>	
ACM	アルミカーテンウォール	LSD	鋼製軽量ドア	PWC	網入り磨き板ガラス (クロスワイヤ)	GBFL	熱線吸収フロートガラス	AL	アルマイト加工 (ステンカラー B-2種)	SOP	合成樹脂調合ペイント塗	AWN	オートヒンジ ストッパーなし	LH	レバーハンドル (ステンレス製)	LH	レバーハンドル (ステンレス製)		
AG	アルミ製ガラリ	SSD	ステンレス製ドア	PWL	網入り磨き板ガラス	GBFW	熱線吸収網入り型板ガラス	A-BE	アクリル系塗料焼付き	焼付	焼付塗装	DCS	ドアチェック ストッパーあり	PB	把手 (図示なき限りステンレスまたはアルミ合金製 L=600内外)	PB	把手 (図示なき限りステンレスまたはアルミ合金製 L=600内外)		
ATP	アルミ製トップライト			FWC	網入り板ガラス (クロスワイヤ)	F	型板ガラス	DP	耐候性塗料			DCN	ドアチェック ストッパーなし	F	フランす落し	GR	グレモン錠		
SD	鋼製ドア			OFL	熱線反射フロートガラス			EP	合成樹脂エマルジョン塗			F	フランす落し	GR	グレモン錠				
建具略号表	AW	アルミ製窓	OS	ステール製重量シャッター	FL	透明フロートガラス	T	強化ガラス	HL	ヘアーライン	EP-G	つやや合成樹脂エマルジョン塗	SF-A	SF-B	H	丁番	PD	シリンダー本軸まり錠 (サムターン付を含む)	<b>注: 建具廻りシーリング全面撤去の上、MS-2 (15×10) 新設とする。</b> <b>注: 外部に面する建具のガラスは全面クリーニングする。</b>
	ACM	アルミカーテンウォール	LSD	鋼製軽量ドア	PWC	網入り磨き板ガラス (クロスワイヤ)	GBFL	熱線吸収フロートガラス	AL	アルマイト加工 (ステンカラー B-2種)	SOP	合成樹脂調合ペイント塗	AWN	オートヒンジ ストッパーなし	LH	レバーハンドル (ステンレス製)	LH	レバーハンドル (ステンレス製)	
	AG	アルミ製ガラリ	SSD	ステンレス製ドア	PWL	網入り磨き板ガラス	GBFW	熱線吸収網入り型板ガラス	A-BE	アクリル系塗料焼付き	焼付	焼付塗装	DCS	ドアチェック ストッパーあり	PB	把手 (図示なき限りステンレスまたはアルミ合金製 L=600内外)	PB	把手 (図示なき限りステンレスまたはアルミ合金製 L=600内外)	
	ATP	アルミ製トップライト			FWC	網入り板ガラス (クロスワイヤ)	F	型板ガラス	DP	耐候性塗料			DCN	ドアチェック ストッパーなし	F	フランす落し	GR	グレモン錠	
	SD	鋼製ドア			OFL	熱線反射フロートガラス			EP	合成樹脂エマルジョン塗			F	フランす落し	GR	グレモン錠			
変更履歴	月、日				月、日				工事名称	シーオーレ新宮大規模改修工事		図面名称	建具表 2		縮尺	A1 1:100 A3 1:200	管理No.	60-030	
												担当者	管理技術者 大林健二 一級建築士 第308950号	照査技術者 林田祥太郎 一級建築士 第395282号	担当者 寺川隆史 一級建築士 第389712号	日付	2026年3月	図面No.	A / 49

記号	名称	数量	AW 30 アルミ製 FIX窓+片引窓+両開戸	1	AD 1 x 2 AD 1A x 1 アルミ製 外倒窓+両開戸	3	AD 2 アルミ製 FIX窓+両開戸	1	AD 3 アルミ製 両開戸	2	AD 4 アルミ製 片開戸	1																
形状																												
仕上	見込	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100	二次電解着色 (マット仕上)	100															
金物	クレセント、ナイロン戸車、起倒式ストッパー、握り玉付シリンダー錠			D.C、オートヒンジ、引手(ユニオンT60)、F、PD			オートヒンジ、引手(ユニオンT60)、F、PD			ステンレス丁番、F、ケースロック、D.C、付属金物一式			ステンレス丁番、F、ケースロック、D.C、付属金物一式															
ガラス	GBFL5			GBFW6.8			GBFL6			-			-															
場所	1階廊下2			AD-1:3・4階廊下 AD-1A:一般開架室			1階通用口			2・5階空調機械室			外部(屋外階段下)倉庫															
改修内容	シーリングやり替え(ガラスシール共)			シーリングやり替え(ガラスシール共)			シーリングやり替え(ガラスシール共)			シーリングやり替え			シーリングやり替え															
記号	名称	数量	AG 1 アルミ製 ガラリ	2	AG 2 アルミ製 ガラリ	1	AG 3 アルミ製 ガラリ	1	AG 4 アルミ製 ガラリ	1	AG 5 アルミ製 ガラリ	1	AG 6 アルミ製 ガラリ	1	AG 7 アルミ製 ガラリ	4												
形状																												
仕上	見込	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	70	二次電解着色 (マット仕上)	70											
金物	-			-			-			-			-			-												
ガラス	-			-			-			-			-			-												
場所	2階空調機械室			5階EV機械室			5階空調機械室			5階空調機械室			1階廊下2(天井裏)			3階ホール(天井裏)			3階設備スペース									
改修内容	シーリングやり替え			シーリングやり替え			シーリングやり替え			シーリングやり替え			シーリングやり替え			シーリングやり替え												
記号	名称	数量	SSD 1 ステンレス製 FIX窓+オートドア	1	SSD 2 ステンレス製 FIX窓+外倒窓+オートドア	1																						
形状																												
仕上	見込	カラーHL	185	カラーHL	185																							
金物	オートドアエンジン (エンジン内蔵型)、電源スイッチ、シリンダー錠			オートドアエンジン (エンジン内蔵型)、電源スイッチ、シリンダー錠																								
ガラス	GBFL8 欄間:GBFL4 ドア:強化ガラス12(熱線吸収)			GBFL8 欄間:GBFL5 ドア:強化ガラス12(熱線吸収)																								
場所	1階風除室			1階風除室																								
改修内容	方立・無目:下地調整、ステンレス対応プライマー塗布の上、DP塗装 シーリングやり替え(ガラスシール共)			方立・無目:下地調整、ステンレス対応プライマー塗布の上、DP塗装 シーリングやり替え(ガラスシール共)																								
AW	アルミ製窓	OS	スチール製重量シャッター	FL	透明フロートガラス	T	強化ガラス	HL	ヘアライン	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョン塗	SF-A	SF-B	H	丁番	PD	シリンダー本締め付(サムターン付を含む)	<b>注: 建具廻りシーリング全面撤去の上、MS-2(15×10)新設とする。</b> <b>注: 外部に面する建具のガラスは全面クリーニングする。</b>										
ACW	アルミカーテンウォール	LSD	鋼製軽量ドア	PWC	網入り磨き板ガラス(クロスワイヤ)	GBFL	熱線吸収フロートガラス	AL	アルマイト加工(ステンカラー B-2種)	SOP	合成樹脂調合ペイント塗	AG	アルミ製ガラリ	SSD	ステンレス製ドア	PWL	網入り磨き板ガラス		GBFW	熱線吸収網入り型板ガラス	A-BE	アクリル系塗料焼付き	焼付	焼付塗装	DCS	ドアチェック ストッパーあり	PB	把手(図示なき限りステンレスまたはアルミ合金製 L=600内外)
ATP	アルミ製トップライト			PWL	網入り板ガラス(クロスワイヤ)	F	型板ガラス	DP	耐候性塗料			DCN	ドアチェック ストッパーなし	F	フランス産し	GR	グレモン錠											
SD	鋼製ドア			QFL	熱線反射フロートガラス			EP	合成樹脂エマルジョン塗																			
建具略号表																												
変更履歴	月、日		月、日		工事名称				株式会社 阿波設計事務所九州支店				図面名称				縮尺		管理No.									
					シーオーレ新宮大規模改修工事				一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲夫				建具表 3				A1 1:100 A3 1:200		60-030									
									持の形状と符号				担当者 管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号 照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号 担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号				日付		図面No.									
									SF-A SF-B				2026年3月				A / 50											

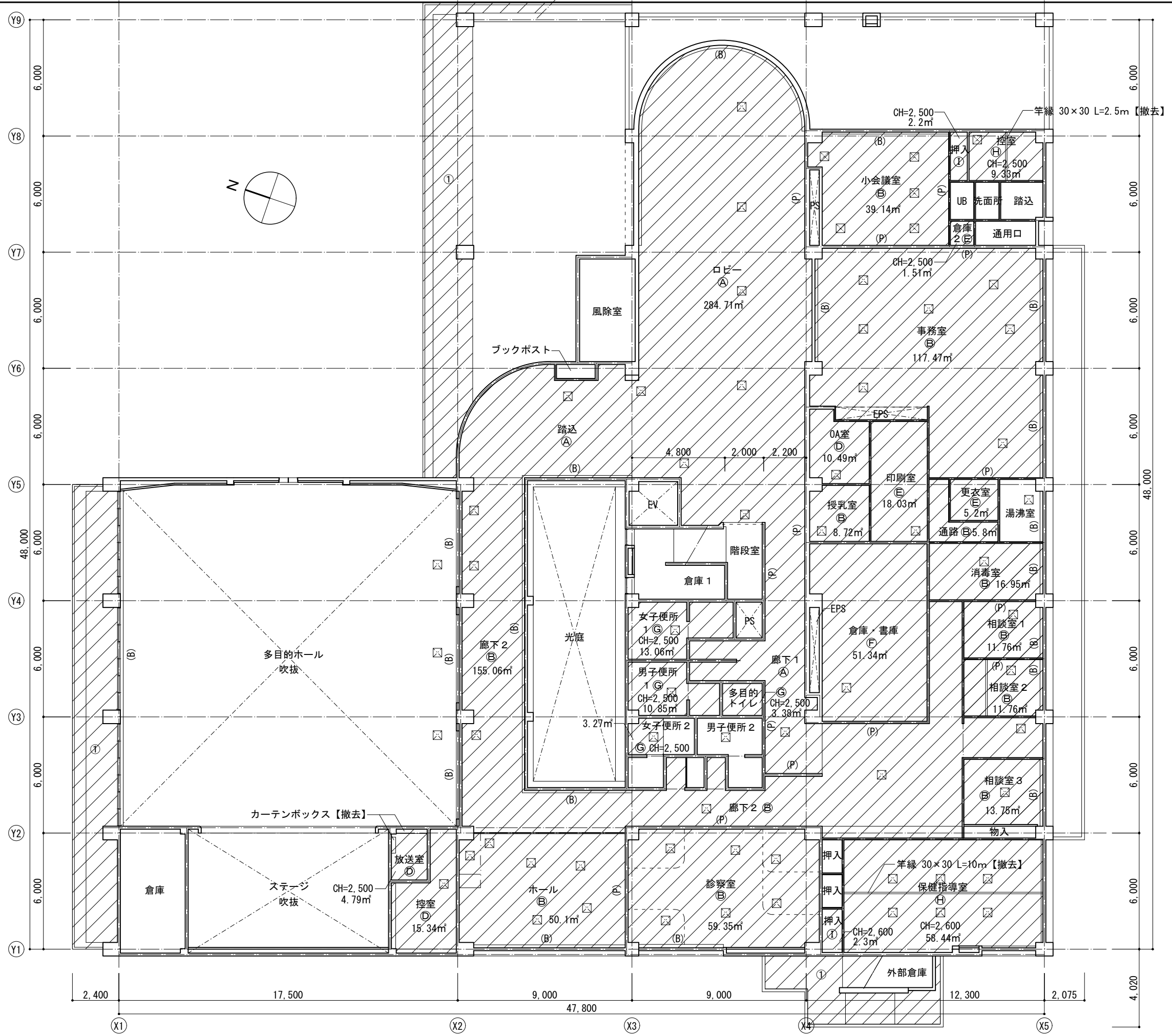
記号	名称	数量	SW1 ①	①	SW2 ②	②	SD25 ③	③	SD20 ④	④	WD6 ⑤	⑤	WD18 ⑥	⑥
形状														
仕上	見込	SOP仕上	150	SOP仕上	150	SOP仕上	200	SOP仕上	129	シナベニヤ+SOP塗装	40	天然木縁付合板(片面)+OSCL、シナ合板(片面)	30	
金物	付属金物一式	付属金物一式		付属金物一式		ピボットヒンジ、D.C、ケースロック、F		付属金物一式		ピボットヒンジ、D.C、ケースロック、F		ナイロン戸車、引手、鍍銀		隠し丁番、F、ケースハンドル錠
ガラス	FL5	FL5		FL5		FL5		—		FL5		FL5		
場所	1階(放送室)物入	1階(放送室)物入		1階(放送室)物入		1階ステージ		1階放送室		1階倉庫		1階ステージ下部		
改修内容	(放送室側) 額縁 下地調整の上、SOP塗装	(両面) 額縁 下地調整の上、SOP塗装		撤去		撤去		撤去		撤去		撤去		

記号	名称	数量	AW31 ⑦	⑦	WD19 ⑧	⑧	WD20 ⑨	⑨	WD21 ⑩	⑩
形状										
仕上	見込	ダイノックシート貼り仕上	70	シナ合板+SOP塗装	40	シナ合板+SOP塗装	40	シナ合板+UC塗装	40	
金物	クレセント、ナイロン戸車、安全アタッチ付引戸、指詰防止	ワンタッチオペレーター、付属金物一式		オートヒンジ(丁番型)、ケースロック、戸当たりゴム		オートヒンジ(丁番型)、ケースロック、戸当たりゴム		オートヒンジ(丁番型)、ケースロック、戸当たりゴム		オートヒンジ(丁番型)、ケースロック、戸当たりゴム
ガラス	F5	F5		F3		F3		FL3(ブレイルーム)、F3(物入)		
場所	ブレイルーム	1階倉庫		1階相談室3、授乳室		1階ブレイルーム、物入				
改修内容	新設	新設		新設		新設		新設		

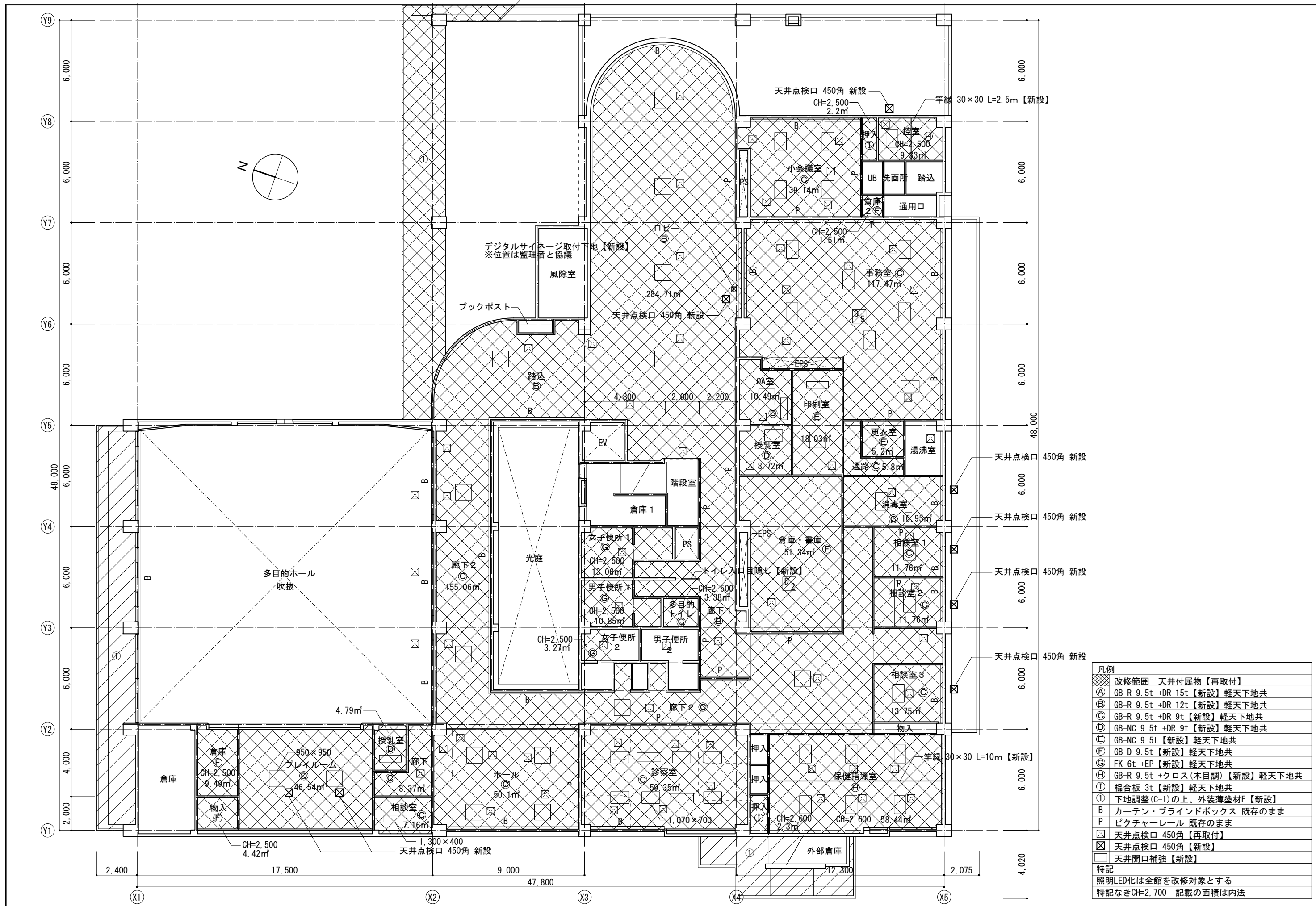
記号	名称	数量										
形状												
仕上												
金物												
ガラス												
場所												
改修内容												

AW	アルミ製窓	OS	スチール製重量シャッター	FL	透明フロートガラス	T	強化ガラス	HL	ヘアライン	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョン塗	SF-A	SF-B	H	丁番	PD	シリンダー本補まり錠(サムターン付を含む)	<b>注：建具廻りシーリング全面撤去の上、MS-2(15×10)新設とする。</b> <b>注：外部に面する建具のガラスは全面クリーニングする。</b>
ACW	アルミカーテンウォール	LSD	鋼製軽量ドア	PWC	網入り磨き板ガラス(クロスワイヤ)	GBFL	熱線吸収フロートガラス	AL	アルマイト加工(ステンカラー B-2種)	SOP	合成樹脂調合ペイント塗	AWN	オートヒンジ ストッパーなし	LH	レバーハンドル(ステンレス製)	DOS	ドアチェック ストッパーあり	
AG	アルミ製ガラリ	SSD	ステンレス製ドア	PWL	網入り磨き板ガラス	GBFW	熱線吸収網入り型板ガラス	A-BE	アクリル系塗料焼付き	焼付	焼付塗装	DCN	ドアチェック ストッパーなし	PB	把手(図示なき限りステンレスまたはアルミ合金製 L=600内外)	DCN	ドアチェック ストッパーなし	
ATP	アルミ製トップライト			FWC	網入り板ガラス(クロスワイヤ)	F	型板ガラス	DP	耐候性塗料			F	フランス落し	GR	グレモン錠			
SD	鋼製ドア			QFL	熱線反射フロートガラス			EP	合成樹脂エマルジョン塗									

変更履歴	月、日	月、日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称	建具表 4	縮尺	A1 1:100 A3 1:200	管理No.	60-030
			シーオーレ新宮大規模改修工事		担当者	管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号	日付	2026年3月	図面No.	A / 51
					担当者	照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号				
					担当者	寺川隆史 一級建築士第389712号				



凡例	
	改修範囲 天井付属物【取外し】
(A)	GB-R 9t +DR 15t【撤去】軽天下地共
(B)	GB-R 9t +DR 9t【撤去】軽天下地共
(C)	GB-R 9t +DR 12t【撤去】軽天下地共
(D)	GB-R 12t +DR 9t【撤去】軽天下地共
(E)	GB-D 12t【撤去】軽天下地共
(F)	GB-D 9t【撤去】軽天下地共
(G)	FK 6t【撤去】軽天下地共
(H)	杉柎化粧石膏ボード 9t【撤去】軽天下地共
(I)	コンクリート打放し+吹付タイル【サンダー】
(B)	カーテン・ブラインドボックス
(P)	ピクチャーレール
	天井点検口 450角【取外し】
特記	
照明LED化は全館を改修対象とする	
軽天下地の吊りボルトはする	
特記なきCH=2,700 記載の面積は内法	
既設のピクチャーレールはする	



凡例	
	改修範囲 天井付属物【再取付】
(A)	GB-R 9.5t +DR 15t【新設】軽天下地共
(B)	GB-R 9.5t +DR 12t【新設】軽天下地共
(C)	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】軽天下地共
(D)	GB-NC 9.5t +DR 9t【新設】軽天下地共
(E)	GB-NC 9.5t【新設】軽天下地共
(F)	GB-D 9.5t【新設】軽天下地共
(G)	FK 6t +EP【新設】軽天下地共
(H)	GB-R 9.5t +クロス(木目調)【新設】軽天下地共
(I)	幅合板 3t【新設】軽天下地共
(1)	下地調整(C-1)の上、外装薄塗材E【新設】
B	カーテン・ブラインドボックス 既存のまま
P	ピクチャーレール 既存のまま
	天井点検口 450角【再取付】
	天井点検口 450角【新設】
	天井開口補強【新設】
特記	
照明LED化は全館を改修対象とする	
特記なきCH=2,700 記載の面積は内法	



(改修前)防煙垂れ壁

記号	仕様	L(m)	H(mm)	数量
BT1	防煙スクリーン	5.3	800	5

防煙垂れ壁は残置する

(改修前)ブラインド【撤去】リスト

ア	横型ブラインド	1,860×2,350
イ	〃	1,870×2,350
ウ	〃	1,880×2,350
エ	〃	1,870×2,980
オ	〃	710×2,980
カ	〃	1,700×2,980
キ	〃	1,730×2,980
ク	〃	1,600×2,360
ケ	〃	1,890×2,360
コ	〃	840×2,360
サ	〃	1,700×2,360
シ	〃	1,720×2,360
ス	〃	1,730×2,360
セ	〃	1,850×2,090

凡例

改修範囲	天井付属物【取外し】
Ⓐ	GB-R 9t +DR 15t【撤去】軽天下地共
Ⓑ	GB-R 9t +DR 9t【撤去】軽天下地共
Ⓒ	GB-R 9t +DR 12t【撤去】軽天下地共
Ⓓ	GB-R 12t +DR 9t【撤去】軽天下地共
Ⓔ	GB-D 12t【撤去】軽天下地共
Ⓕ	GB-D 9t【撤去】軽天下地共
Ⓖ	FK 6t【撤去】軽天下地共
Ⓗ	杉珪化粧石膏ボード 9t【撤去】軽天下地共
①	福合板 3t【撤去】軽天下地共
②	コンクリート打放し+吹付タイル【サンダー】
(B)	カーテン・ブラインドボックス
(P)	ピクチャーレール
ⓧ	天井点検口 450角【取外し】

特記  
 照明LED化は全館を改修対象とする  
 軽天下地の吊りボルトはする  
 特記なきCH=2,700 記載の面積は内法  
 既設のピクチャーレールはする

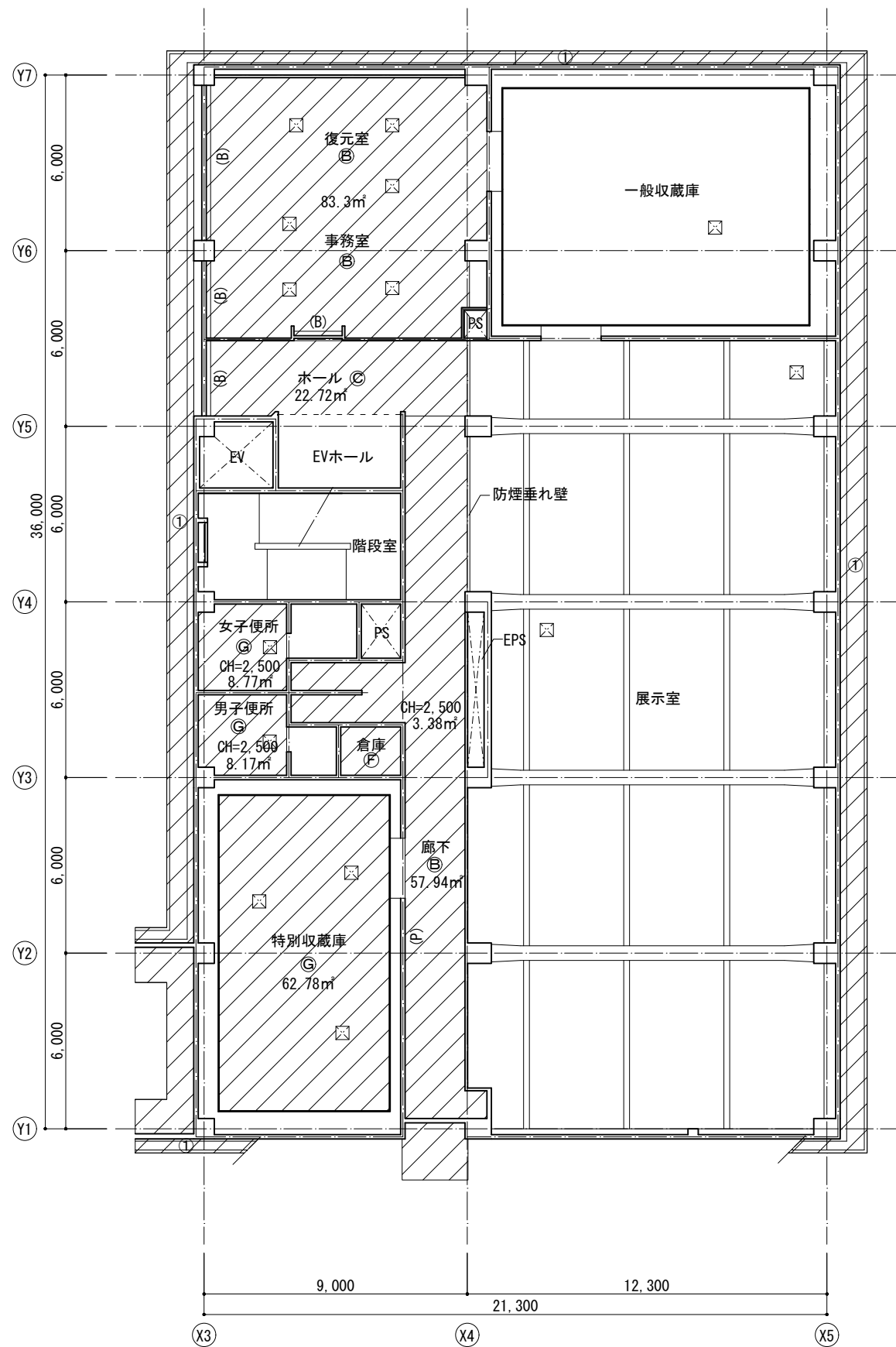




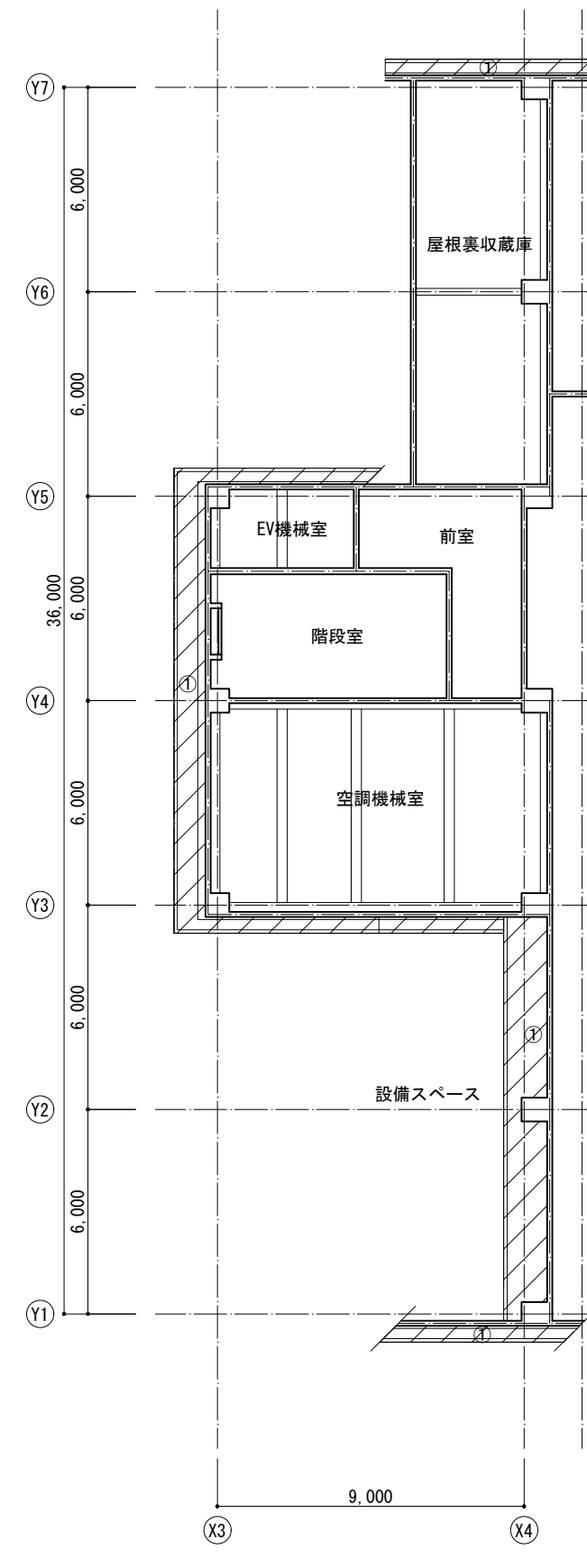
凡例	
	改修範囲 天井付属物【取外し】
(A)	GB-R 9t +DR 15t【撤去】 軽天下地共
(B)	GB-R 9t +DR 9t【撤去】 軽天下地共
(C)	GB-R 9t +DR 12t【撤去】 軽天下地共
(D)	GB-R 12t +DR 9t【撤去】 軽天下地共
(E)	GB-D 12t【撤去】 軽天下地共
(F)	GB-D 9t【撤去】 軽天下地共
(G)	FK 6t【撤去】 軽天下地共
(H)	杉珪化粧石膏ボード 9t【撤去】 軽天下地共
(I)	福合板 3t【撤去】 軽天下地共
(J)	コンクリート打放し+吹付タイル【サンダー】
(K)	カーテン・ブラインドボックス
(L)	ピクチャーレール
(M)	天井点検口 450角【取外し】
特記	
照明LED化は全館を改修対象とする	
軽天下地の吊りボルトはする	
特記なきCH=2,700 記載の面積は内法	
既設のピクチャーレールはする	



凡例	
	改修範囲 天井付属物【再取付】
Ⓐ	GB-R 9.5t +DR 15t【新設】 軽天下地共
Ⓑ	GB-R 9.5t +DR 12t【新設】 軽天下地共
Ⓒ	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】 軽天下地共
Ⓓ	GB-NC 9.5t +DR 9t【新設】 軽天下地共
Ⓔ	GB-NC 9.5t【新設】 軽天下地共
Ⓕ	GB-D 9.5t【新設】 軽天下地共
Ⓖ	FK 6t +EP【新設】 軽天下地共
Ⓗ	GB-R 9.5t +クロス(木目調)【新設】 軽天下地共
①	榻合板 3t【新設】 軽天下地共
②	下地調整(C-1)の上、外装薄塗材E【新設】
B	カーテン・ブラインドボックス 既存のまま
P	ピクチャーレール 既存のまま
	天井点検口 450角【再取付】
	天井点検口 450角【新設】
	天井開口補強【新設】
特記	
照明LED化は全館を改修対象とする	
特記なきCH=2,700 記載の面積は内法	

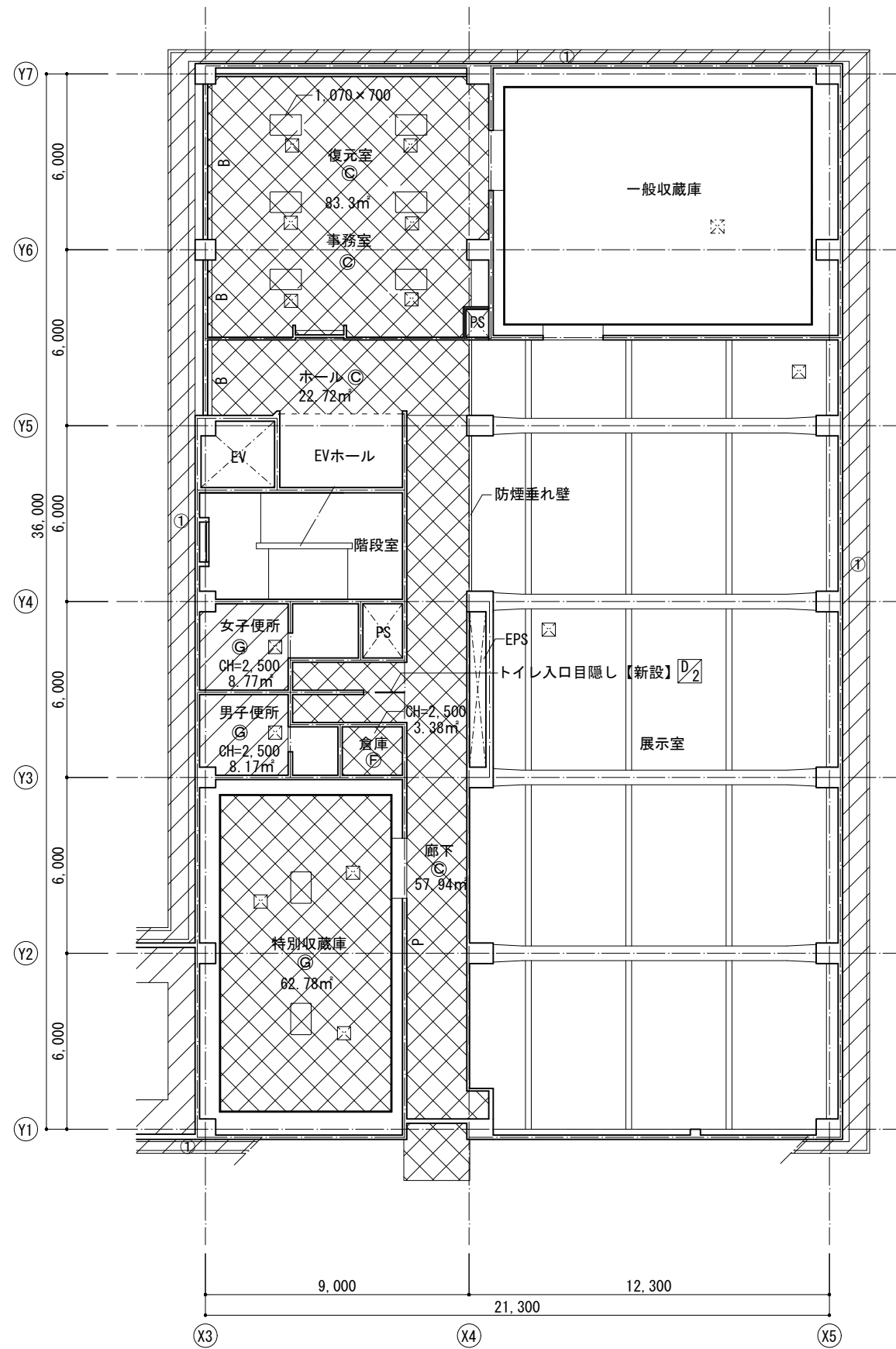


4階平面図

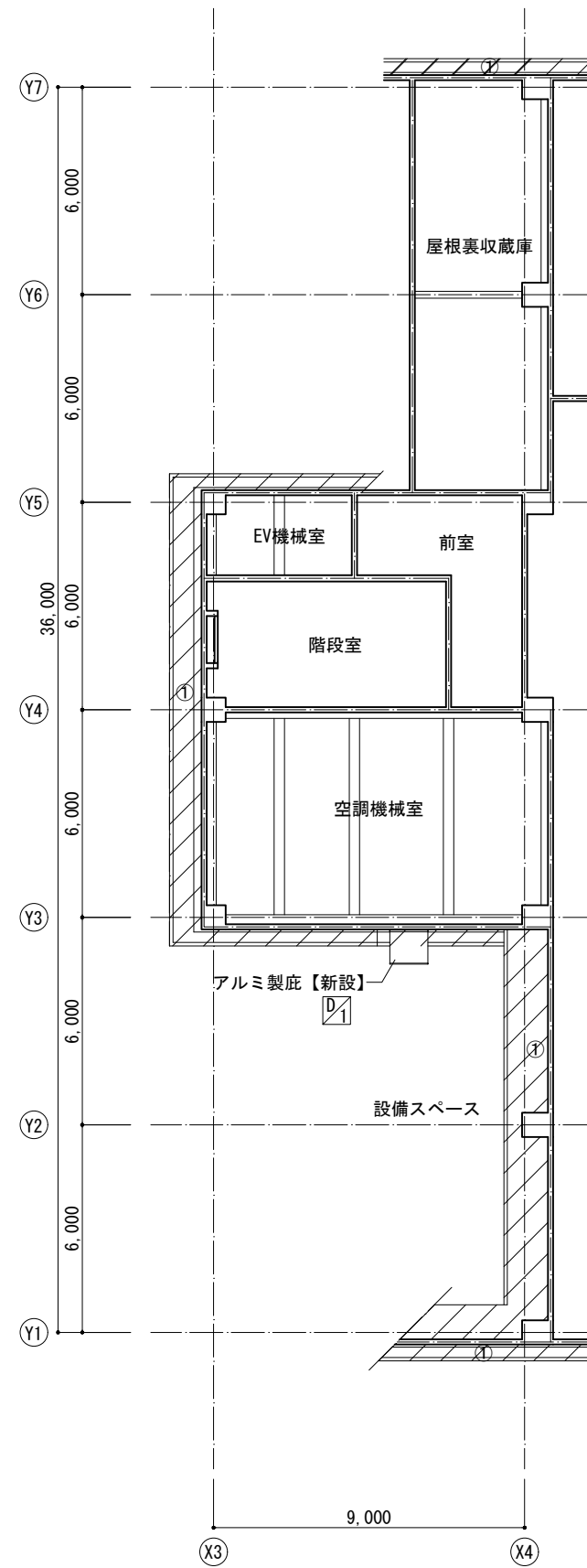


5階平面図

凡例	
	改修範囲 天井付属物【取外し】
(A)	GB-R 9t +DR 15t【撤去】軽天下地共
(B)	GB-R 9t +DR 9t【撤去】軽天下地共
(C)	GB-R 9t +DR 12t【撤去】軽天下地共
(D)	GB-R 12t +DR 9t【撤去】軽天下地共
(E)	GB-D 12t【撤去】軽天下地共
(F)	GB-D 9t【撤去】軽天下地共
(G)	FK 6t【撤去】軽天下地共
(H)	杉証化粧石膏ボード 9t【撤去】軽天下地共
(I)	樞合板 3t【撤去】軽天下地共
(J)	コンクリート打放し+吹付タイル【サンダー】
(B)	カーテン・ブラインドボックス
(P)	ピクチャーレール
	天井点検口 450角【取外し】
特記	
照明LED化は全館を改修対象とする	
軽天下地の吊りボルトはする	
特記なきCH=2,700 記載の面積は内法	
既設のピクチャーレールはする	

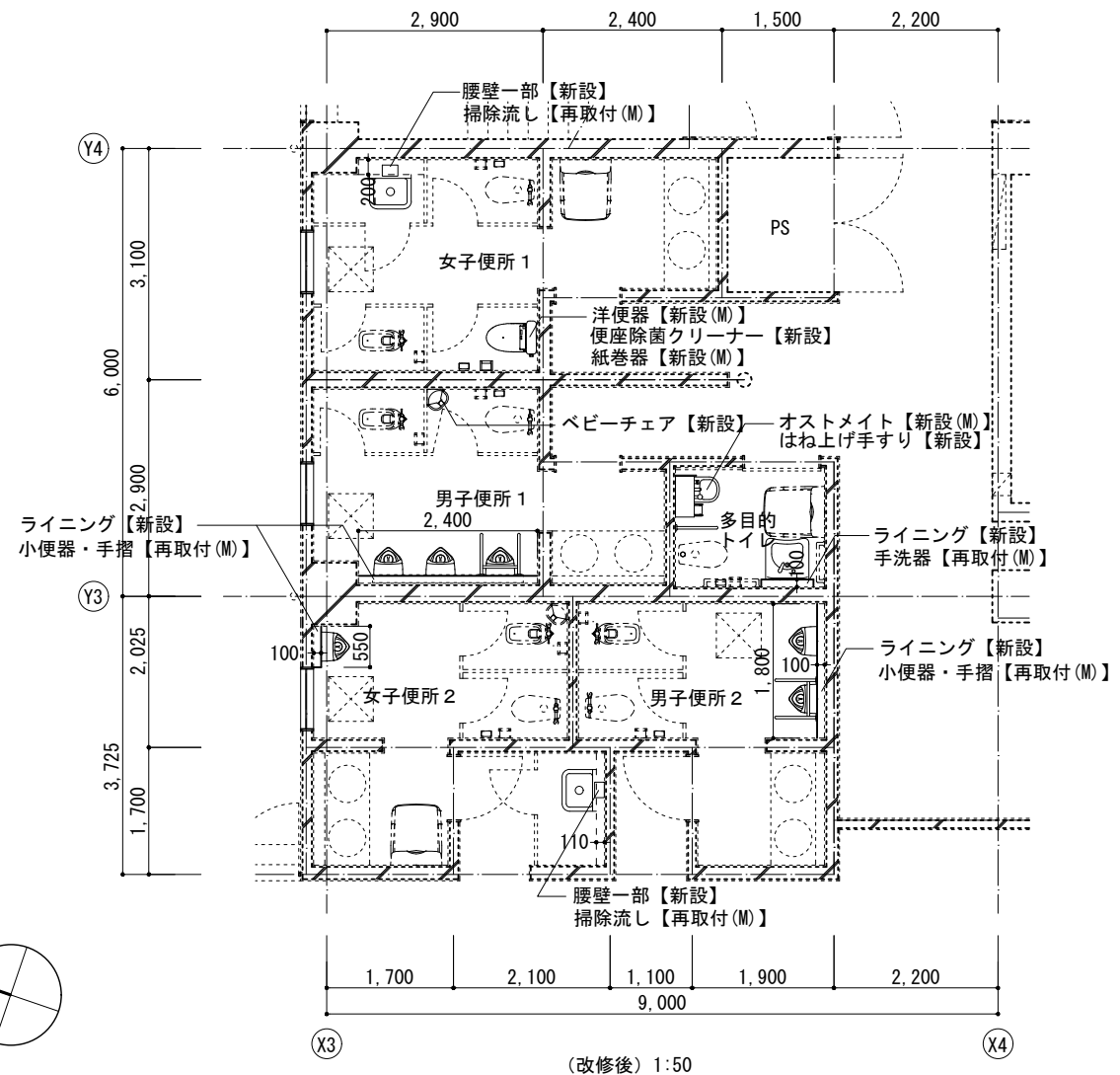
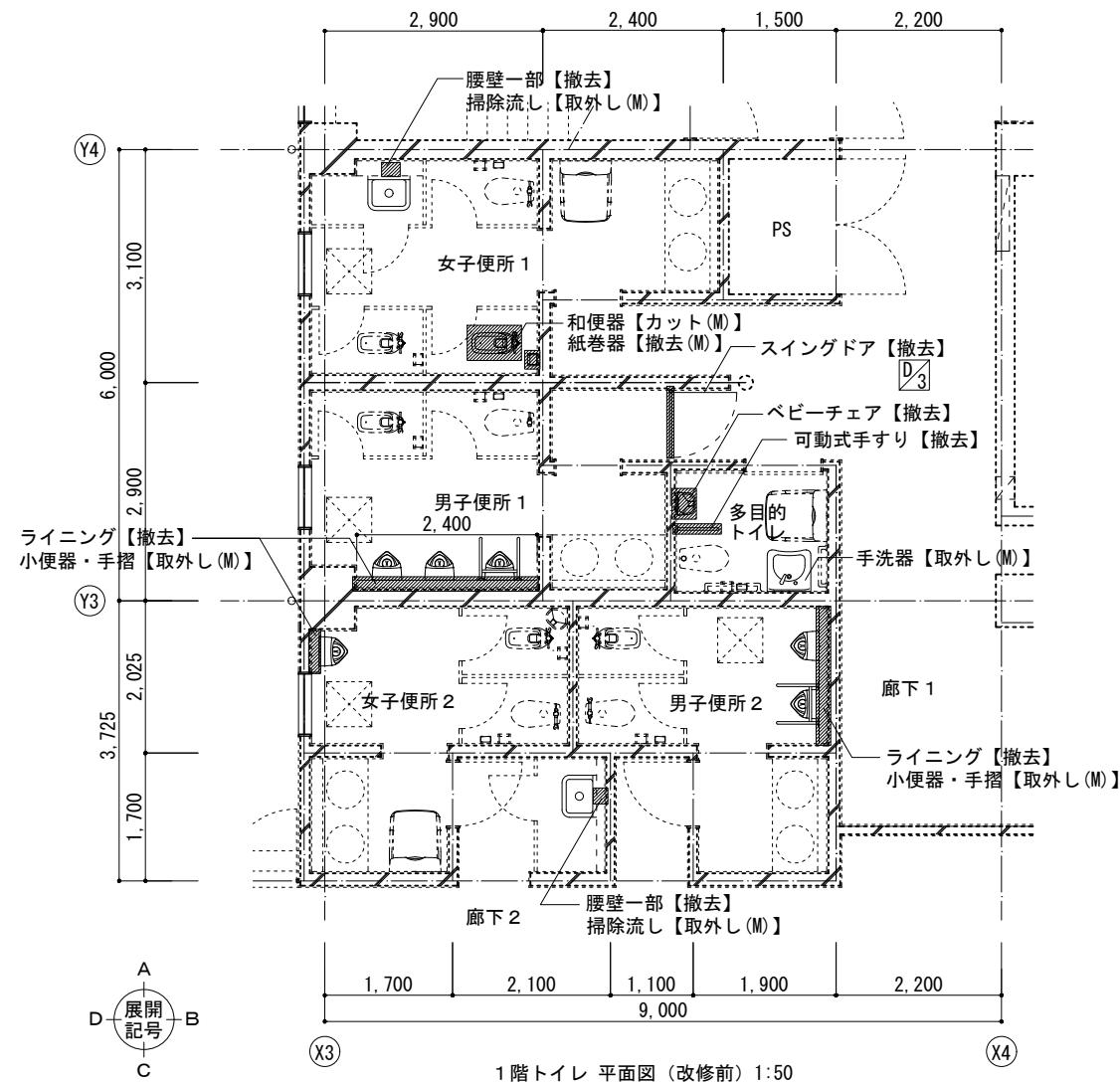


4階平面図



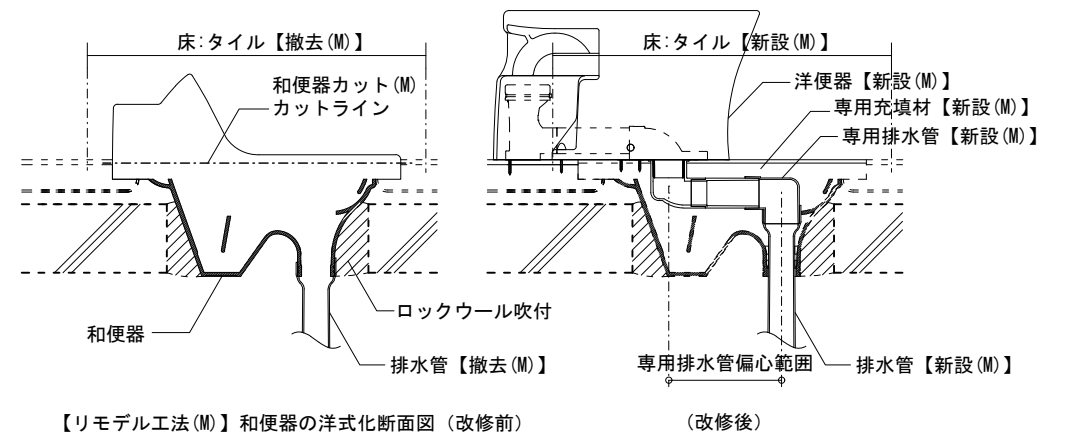
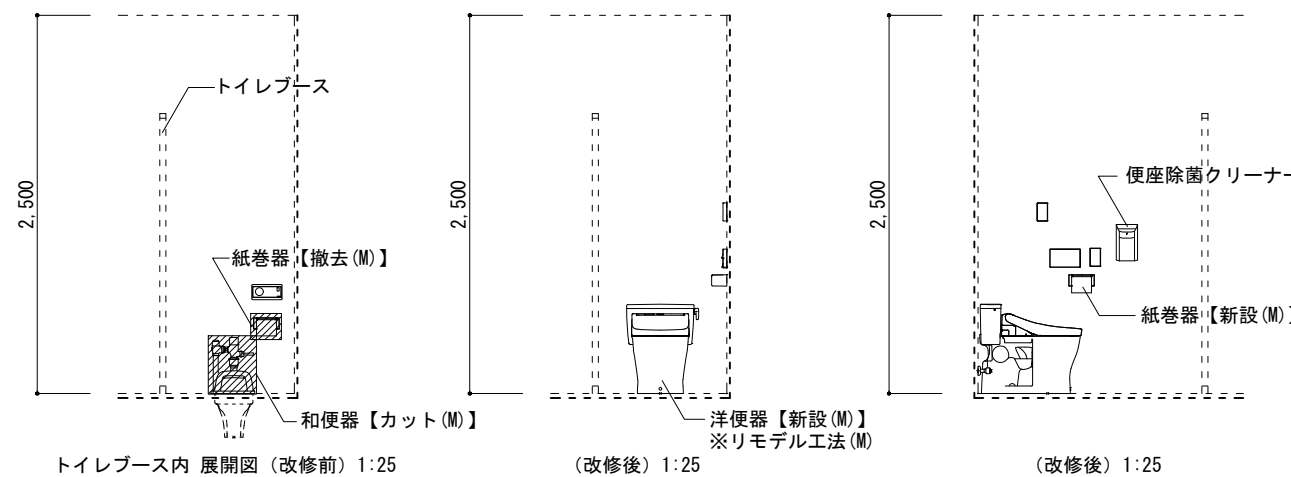
5階平面図

凡例	
	改修範囲 天井付属物【再取付】
Ⓐ	GB-R 9.5t +DR 15t【新設】 軽天下地共
Ⓑ	GB-R 9.5t +DR 12t【新設】 軽天下地共
Ⓒ	GB-R 9.5t +DR 9t【新設】 軽天下地共
Ⓓ	GB-NC 9.5t +DR 9t【新設】 軽天下地共
Ⓔ	GB-NC 9.5t【新設】 軽天下地共
Ⓕ	GB-D 9.5t【新設】 軽天下地共
Ⓖ	FK 6t +EP【新設】 軽天下地共
Ⓗ	GB-R 9.5t +クロス(木目調)【新設】 軽天下地共
①	榻合板 3t【新設】 軽天下地共
②	下地調整(C-1)の上、外装薄塗材E【新設】
B	カーテン・ブラインドボックス 既存のまま
P	ビクチャーレール 既存のまま
	天井点検口 450角【再取付】
	天井点検口 450角【新設】
	天井開口補強【新設】
特記	
照明LED化は全館を改修対象とする	
特記なきCH=2,700 記載の面積は内法	



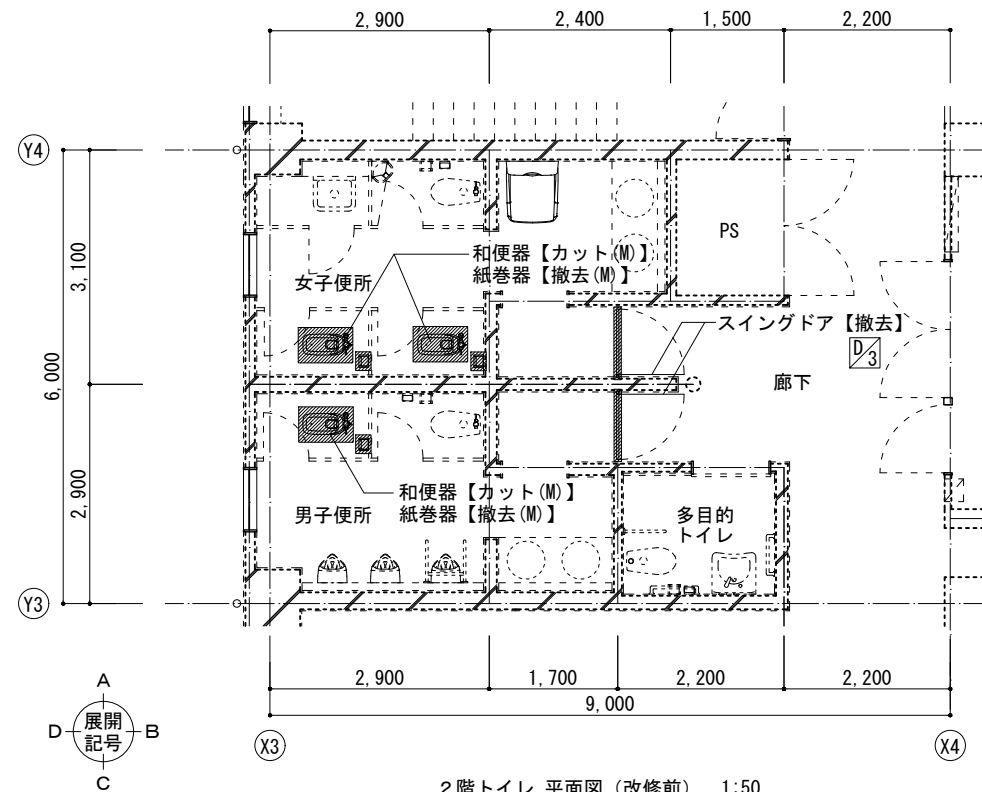
室名	部位	改修前	改修後
男女便所 (共通)	床	磁器質100角タイル(模様貼)【一部撤去(M)】	【撤去部新設(M)】※リモデル工法【撤去部新設】
	幅木	陶器質100角タイル【一部撤去】	既存のまま【劣化補修 F・G】【撤去部新設】
多目的トイレ	天井	陶器質100角タイル(模様貼)【一部撤去】	既存のまま【劣化補修 F・G】【撤去部新設】
	天井廻縁	FK 6t +VP【撤去】軽量鉄骨下地共	FK 6t +EP【新設】軽量鉄骨下地共
	床	塩ビ【撤去】	塩ビ【新設】
	幅木	ビニル床シート 2t	既存のまま
	天井	ソフト巾木	既存のまま
	天井廻縁	モルタル金コテ押え +吹付タイル	既存のまま
		FK 6t +VP【撤去】	FK 6t +EP【新設】
		塩ビ【撤去】	塩ビ【新設】

【壁タイル 劣化補修】  
 F タイルひび割れ部 :8枚  
 タイル部分張替え工法[改修標仕4.4.7]  
 G タイル浮き部 :322枚  
 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法[改修標仕4.4.9]  
 ※施工数量調査を行うこと。

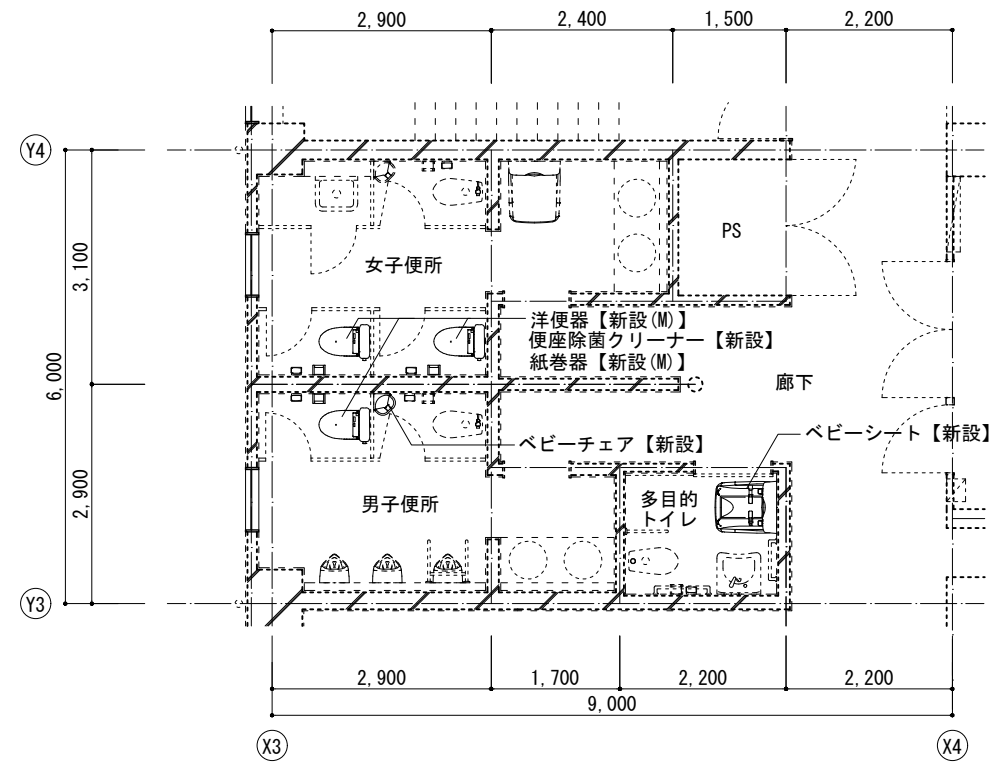


(M) 機械設備工事 (E) 電気設備工事を表す。

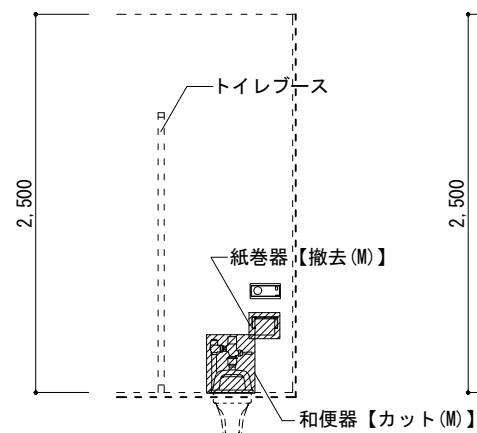




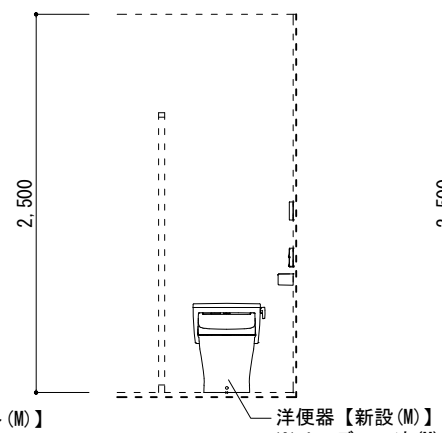
2階トイレ 平面図 (改修前) 1:50



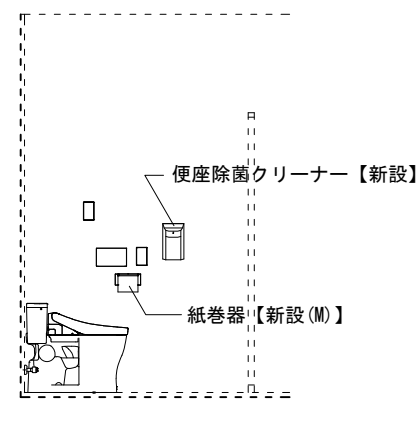
(改修後) 1:50



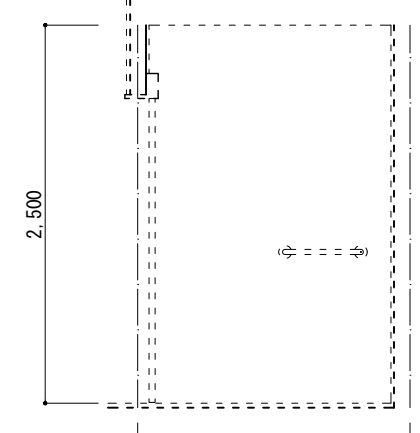
トイレブース内 展開図 (改修前) 1:25



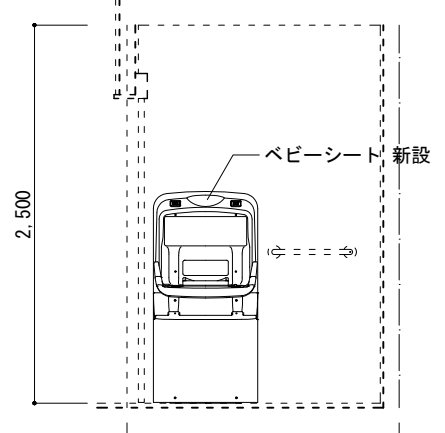
(改修後) 1:25



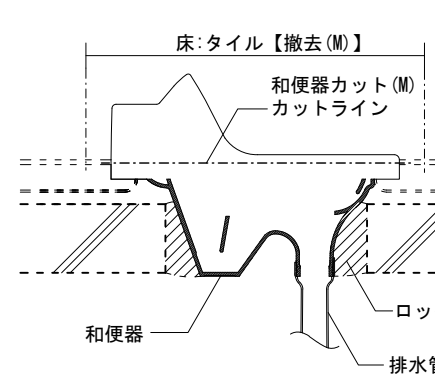
(改修後) 1:25



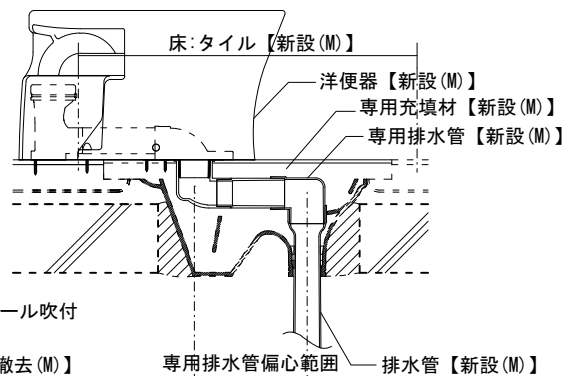
多目的トイレ展開図 (改修前) 1:25



展開図 (改修後) 1:25



【リモデル工法(M)】和便器の洋式化断面図 (改修前)



(改修後)

室名	部位	改修前	改修後
男女便所 (共通)	床	磁器質150角タイル(模様貼)【一部撤去(M)】	【撤去部新設(M)】※リモデル工法
	幅木	陶器質150角タイル	既存のまま
多目的トイレ	壁	陶器質150角タイル(模様貼)	既存のまま【劣化補修 F・G】
	天井	FK 6t +VP【撤去】 軽量鉄骨下地共	FK 6t +EP【新設】 軽量鉄骨下地共
	廻縁	塩ビ【撤去】	塩ビ【新設】
	床	ビニル床シート 2t	既存のまま
	幅木	ソフト巾木	既存のまま
壁	モルタル金コテ押え +吹付タイル	既存のまま	
天井	FK 6t +VP【撤去】	FK 6t +EP【新設】	
廻縁	塩ビ【撤去】	塩ビ【新設】	

【壁タイル 劣化補修】  
 F タイルひび割れ部 :10枚  
 タイル部分張替え工法[改修標仕4.4.7]  
 G タイル浮き部 :100枚  
 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法[改修標仕4.4.9]

※施工数量調査を行うこと。

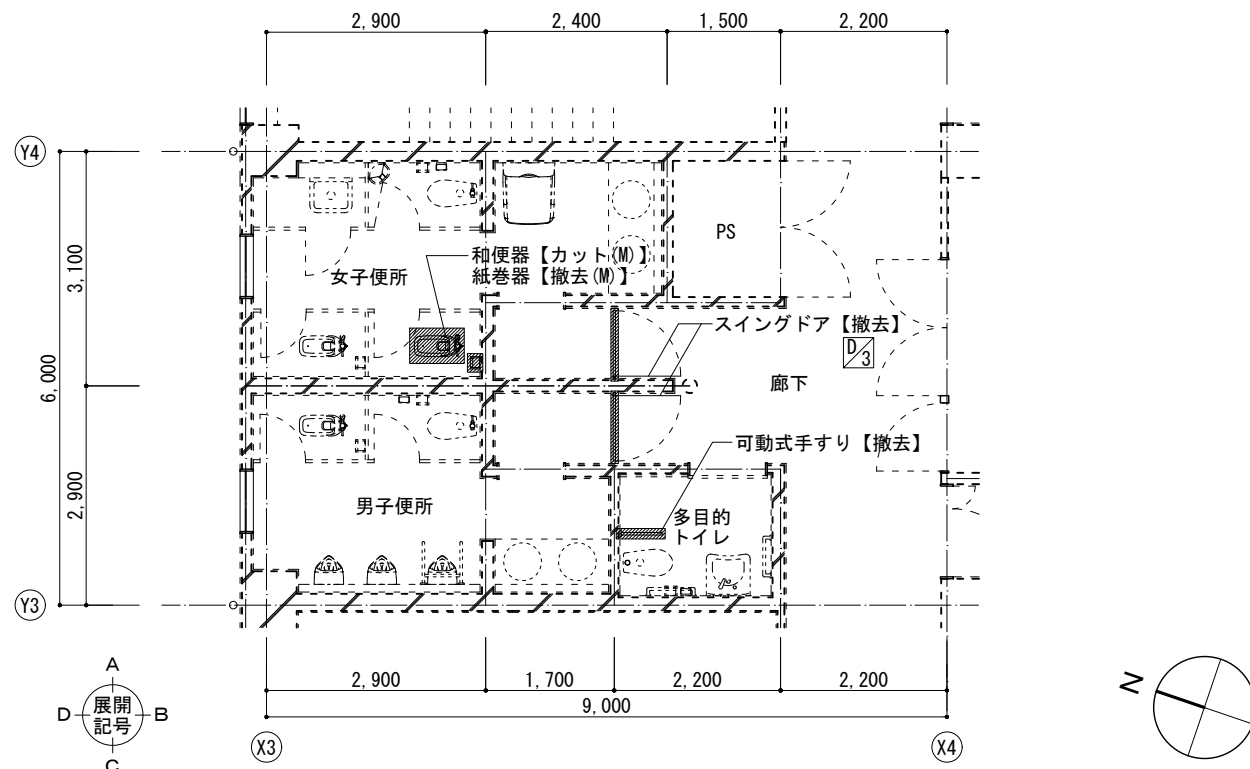
(M) 機械設備工事 (E) 電気設備工事を表す。

変更履歴	月.日	月.日	工事名称
			シーオーレ新宮大規模改修工事

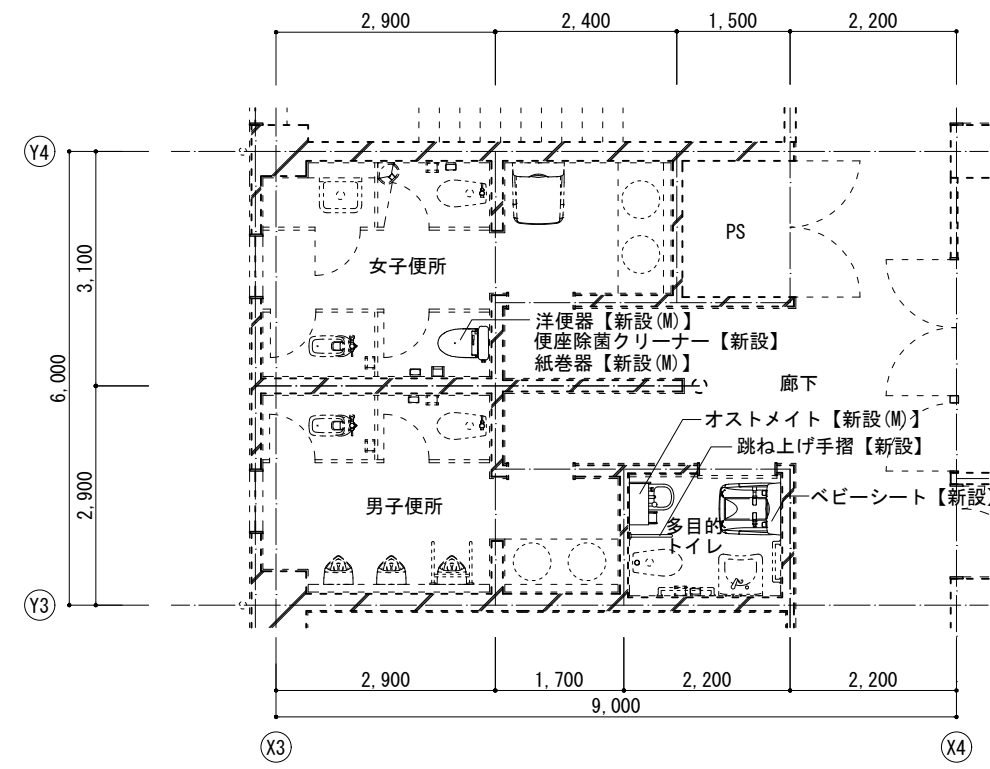
図面名称	縮尺	管理No.
2階トイレ詳細図	図示	60-030

担当者	管理技術者 大林健二	照査技術者 林田祥太郎	担当者 寺川隆史
	一級建築士第308950号	一級建築士第395282号	一級建築士第389712号

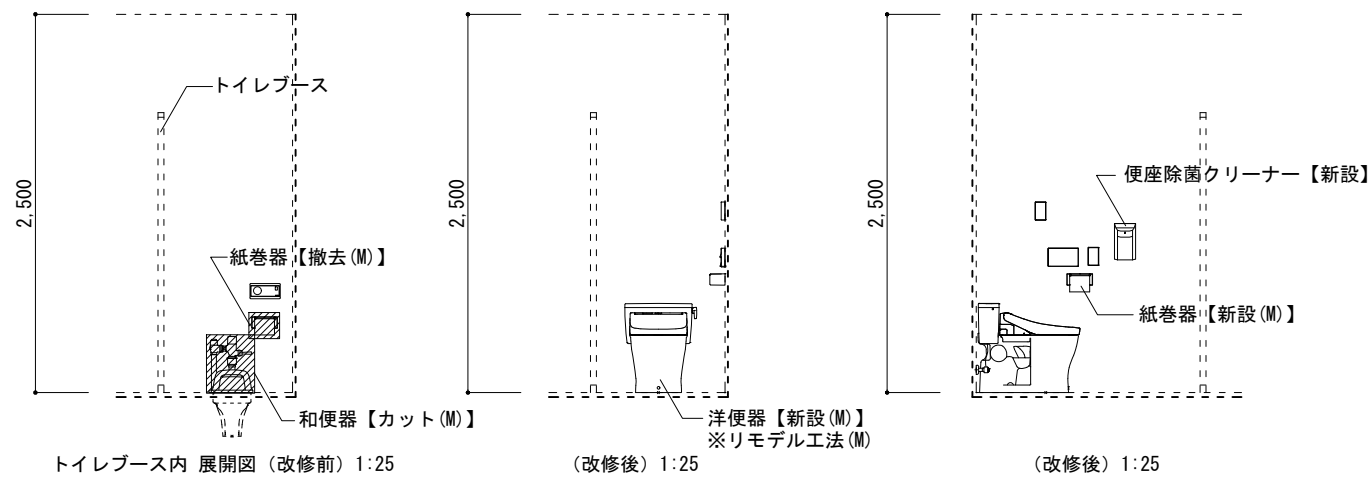
日付	2026年3月	図面No.	A / 62
----	---------	-------	--------



3階トイレ 平面図 (改修前) 1:50



平面図 (改修後) 1:50



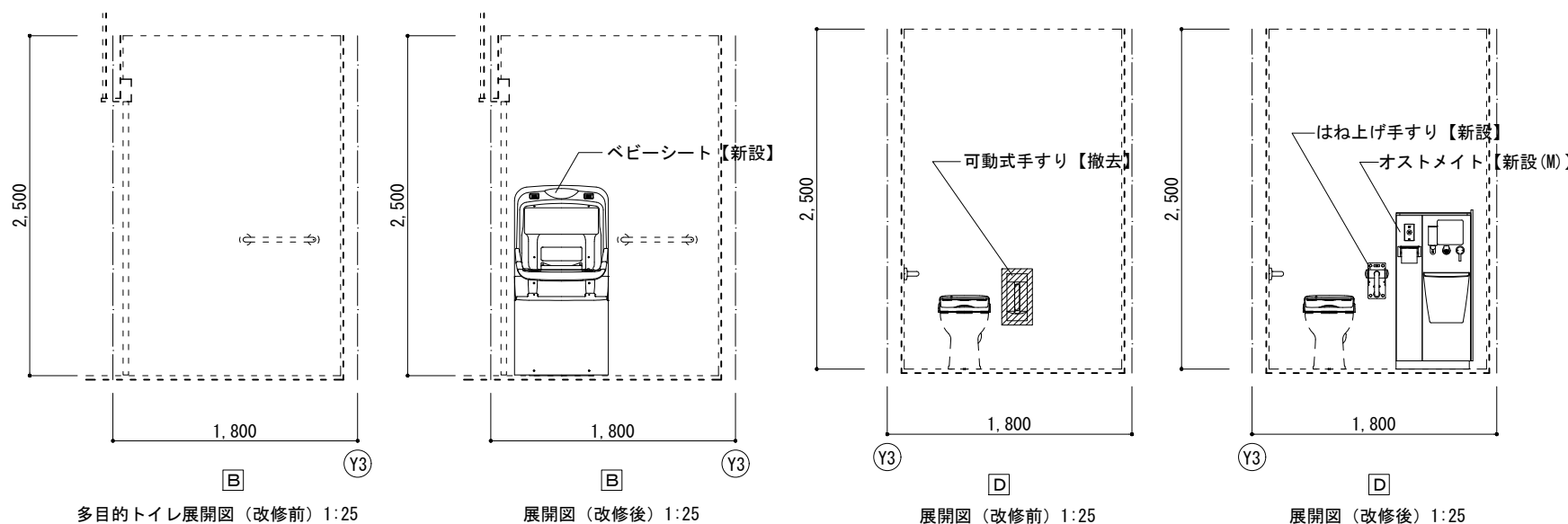
トイレブース内 展開図 (改修前) 1:25

(改修後) 1:25

(改修後) 1:25

室名	部位	改修前	改修後
男女便所 (共通)	床	磁器質100角タイル(模様貼)【一部撤去(M)】	【撤去部新設(M)】※リモデル工法
	幅木	陶器質100角タイル	既存のまま
	壁	陶器質100角タイル(模様貼)	既存のまま【劣化補修 F・G】
	天井	FK 6t +VP【撤去】 軽量鉄骨下地共	FK 6t +EP【新設】 軽量鉄骨下地共
	廻縁	塩ビ【撤去】	塩ビ【新設】
多目的トイレ	床	ビニル床シート 2t	既存のまま
	幅木	ソフト巾木	既存のまま
	壁	モルタル金コテ押え +吹付タイル	既存のまま
	天井	FK 6t +VP【撤去】	FK 6t +EP【新設】
	廻縁	塩ビ【撤去】	塩ビ【新設】

【壁タイル 劣化補修】  
 F タイルひび割れ部 :10枚  
 タイル部分張替え工法[改修標仕4.4.7]  
 G タイル浮き部 :100枚  
 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法[改修標仕4.4.9]  
 ※施工数量調査を行うこと。

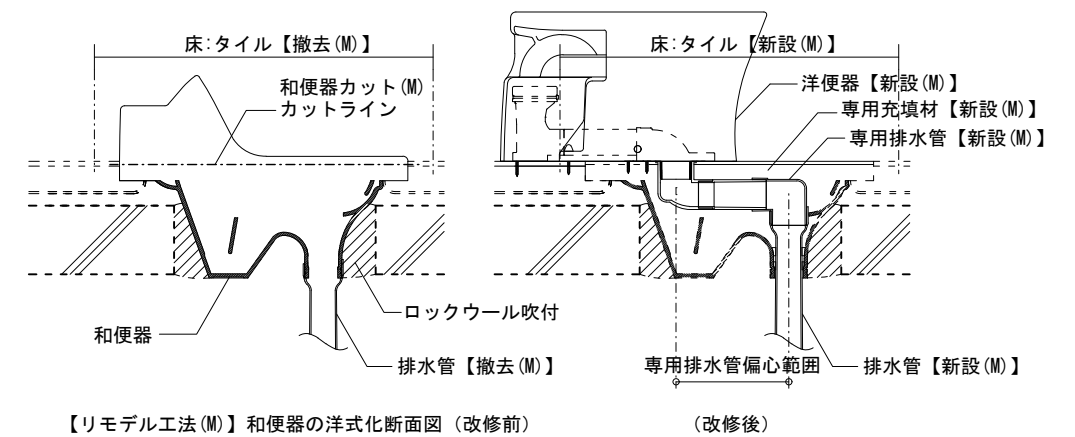


多目的トイレ展開図 (改修前) 1:25

展開図 (改修後) 1:25

展開図 (改修前) 1:25

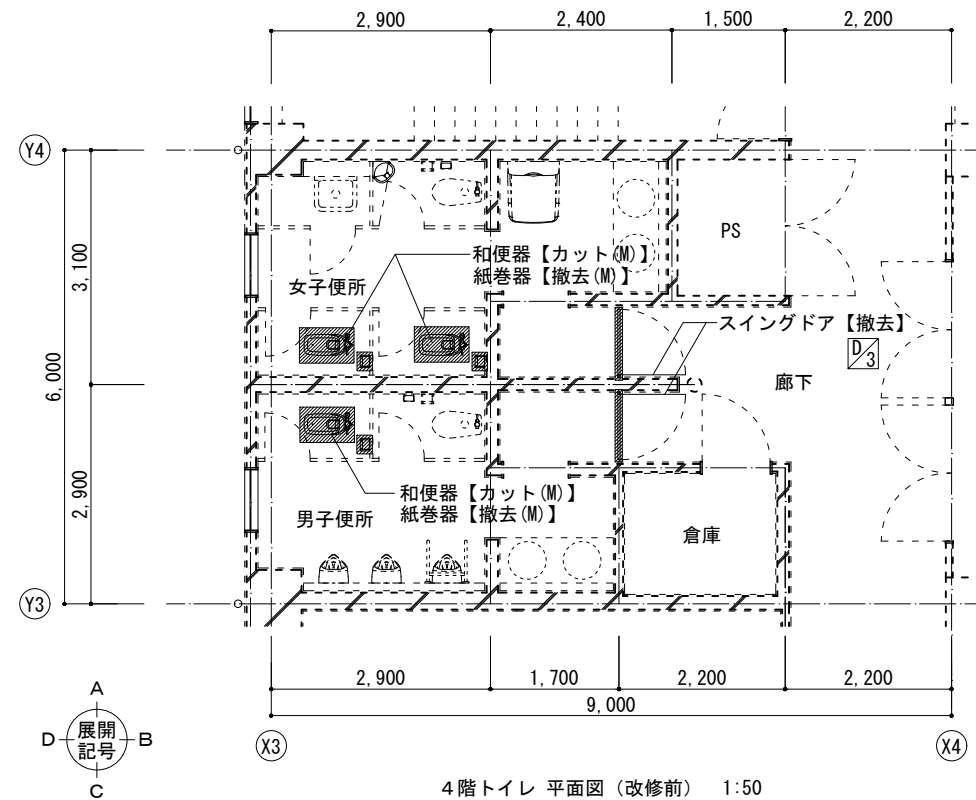
展開図 (改修後) 1:25



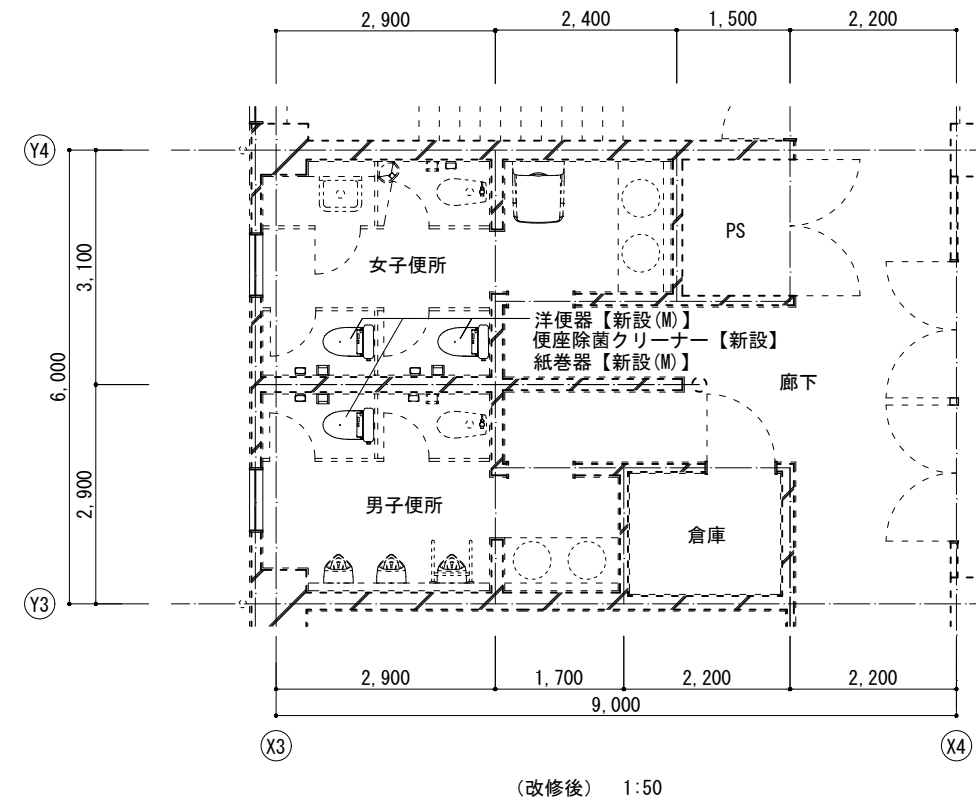
【リモデル工法(M)】和便器の洋式化断面図 (改修前)

(改修後)

(M) 機械設備工事 (E) 電気設備工事を表す。



4階トイレ 平面図 (改修前) 1:50

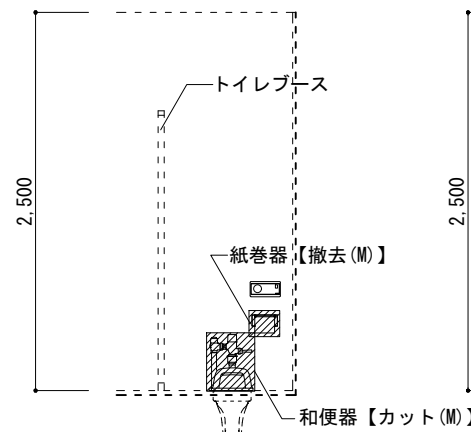


(改修後) 1:50

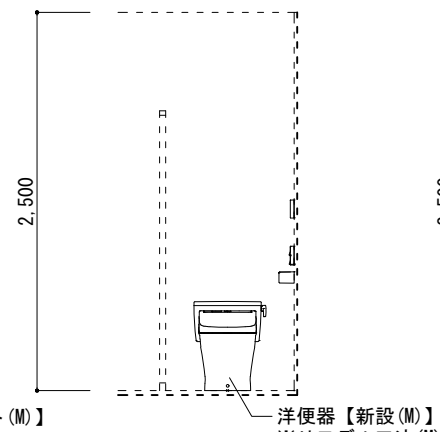
室名	部位	改修前	改修後
男女便所 (共通)	床	磁器質100角タイル(模様貼) 【一部撤去(M)】	【撤去部新設(M)】※リモデル工法
	幅木	陶器質100角タイル	既存のまま
	壁	陶器質100角タイル(模様貼)	既存のまま 【劣化補修 F・G】
	天井	FK 6t +VP	既存のまま
	廻縁	塩ビ 【撤去】	既存のまま

【壁タイル 劣化補修】  
 F タイルひび割れ部 :10枚  
 タイル部分張替え工法[改修標仕4.4.7]  
 G タイル浮き部 :100枚  
 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法[改修標仕4.4.9]

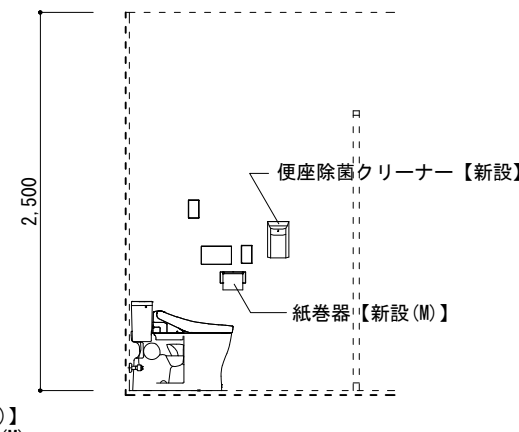
※施工数量調査を行うこと。



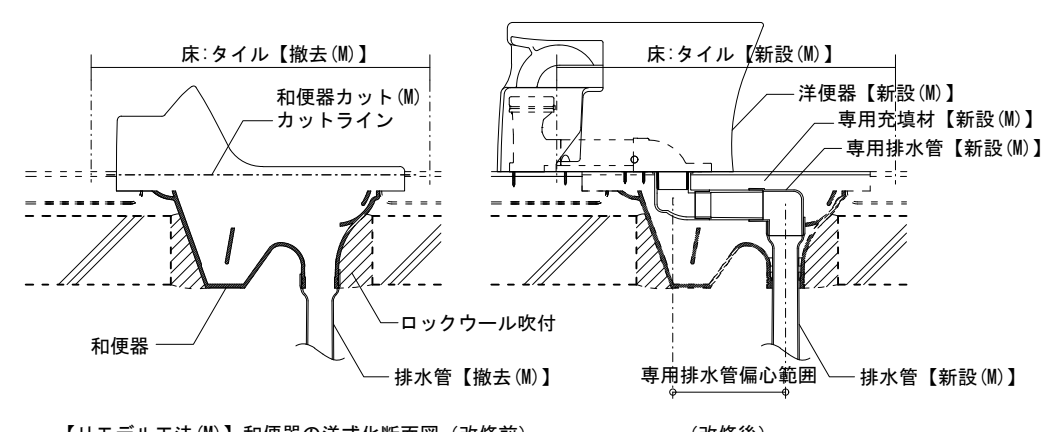
トイレブース内 展開図 (改修前) 1:25



(改修後) 1:25




(改修後) 1:25



【リモデル工法(M)】和便器の洋式化断面図 (改修前)

(改修後)

(M) 機械設備工事 (E) 電気設備工事 を表す。

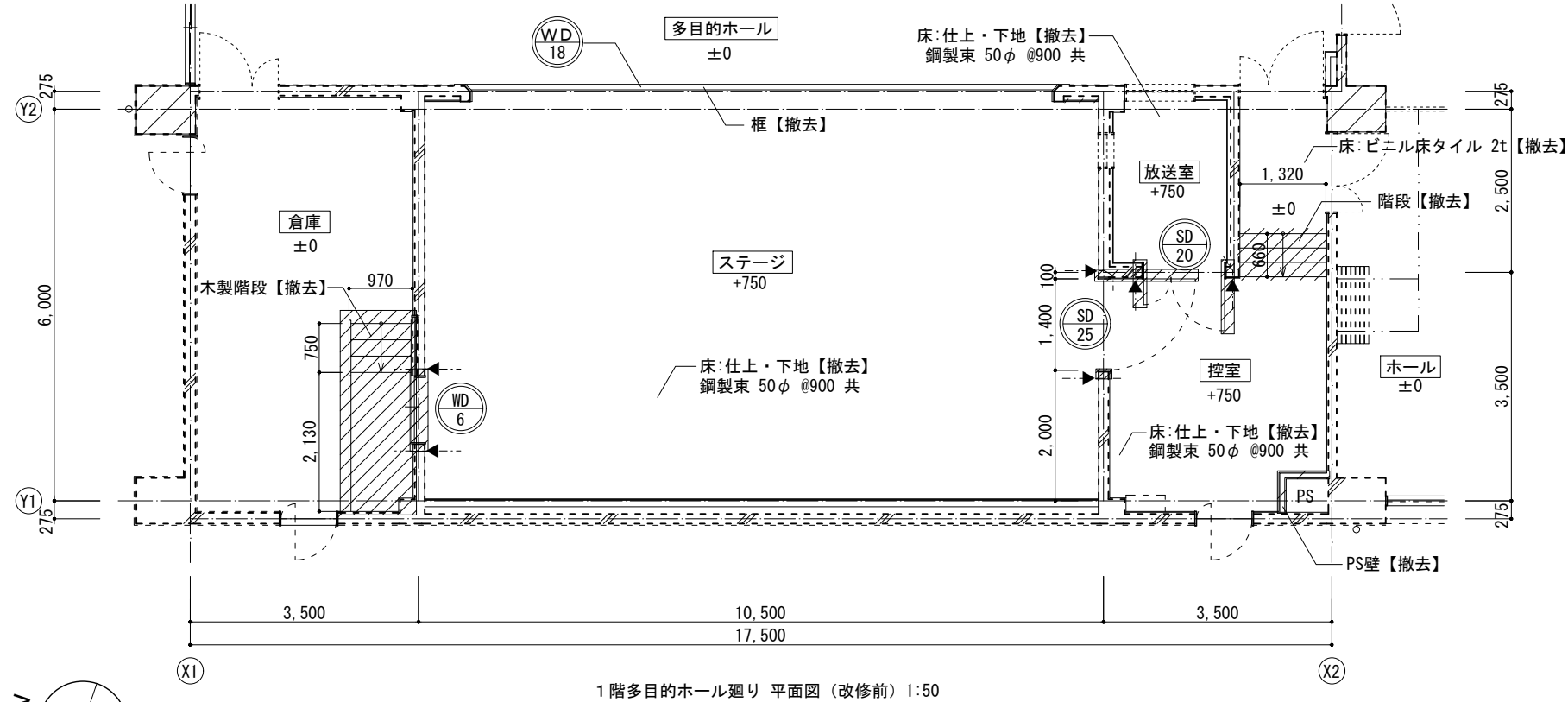
変更履歴	月、日	月、日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 第109706号 木下智矢	図面名称 4階トイレ詳細図	縮尺 図示	管理No. 60-030









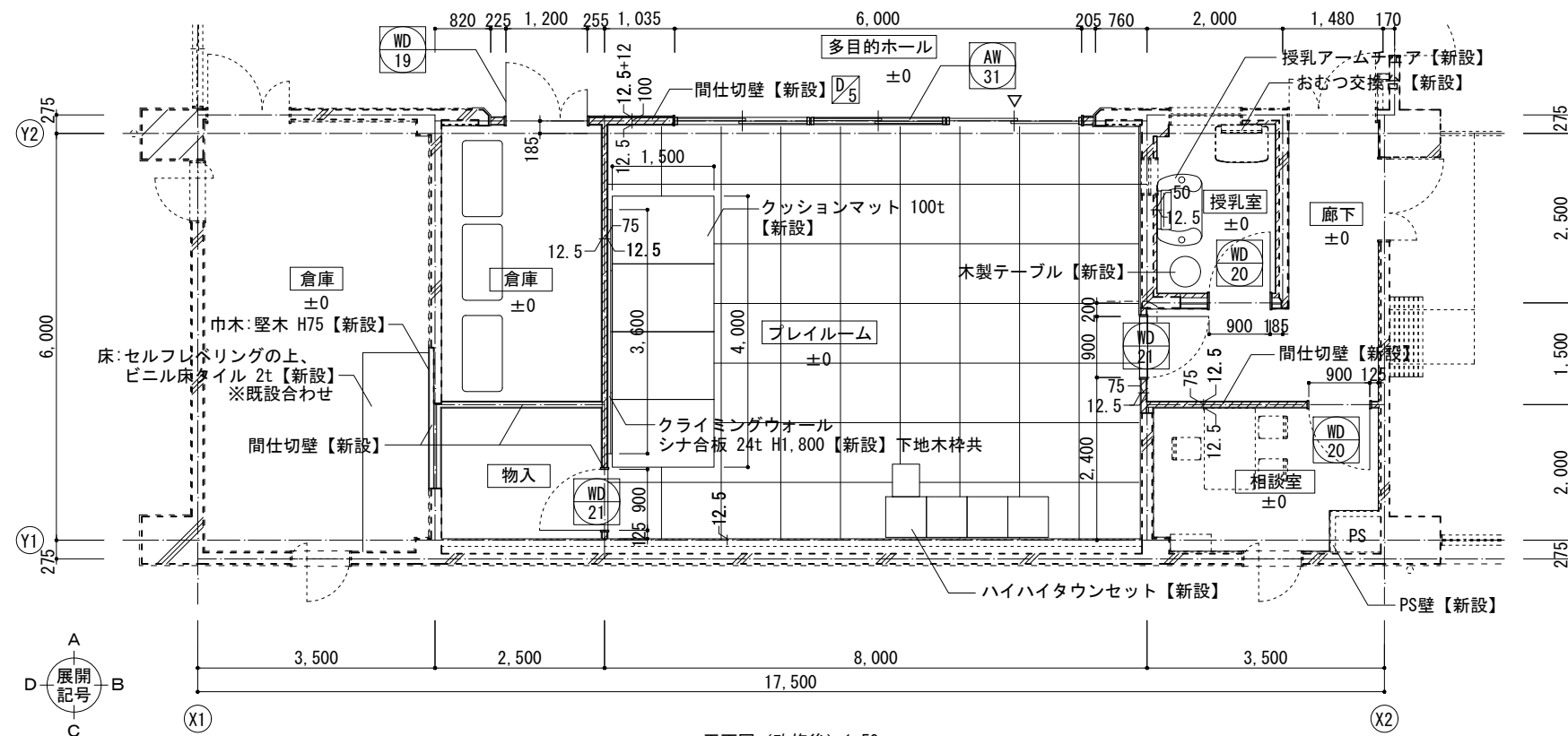


1階多目的ホール廻り 平面図 (改修前) 1:50

←← 仕上・躯体カッター入れ

(改修前) 仕上表

室名	部位	改修前
ステージ	床	鋼製床下地【撤去】+パーティクルボード 21t【撤去】+複合フローリング 15t【撤去】+ポリウレタン塗装【撤去】
	幅木壁	堅木 +OS【撤去】
	天井廻縁	LGS +GB-R 9+12t +AEP【下地調整】 CON +AEP【下地調整】 ブドウ棚(鉄骨 +SOP)
放送室	床	鋼製床下地【撤去】+パーティクルボード 21t【撤去】+カーペット【撤去】
	幅木壁	堅木 +OS【撤去】
	天井廻縁	CON +GW 50t【撤去】+有孔ケイカル板 8t +AEP【撤去】 LGS【撤去】+GB-R 12t【撤去】+DR 9t【撤去】 塩ビ【撤去】
控室	床	鋼製床下地【撤去】+パーティクルボード 21t【撤去】+複合フローリング 15t +ポリウレタン塗装【撤去】
	幅木壁	堅木 +OS【撤去】
	天井廻縁	CON +FP 25t +GB-R 12t +吹付タイル【下地調整】 CON +モルタル金コテ押え +吹付タイル【下地調整】 LGS +GB-R 12t +DR 9t【撤去】 塩ビ【撤去】



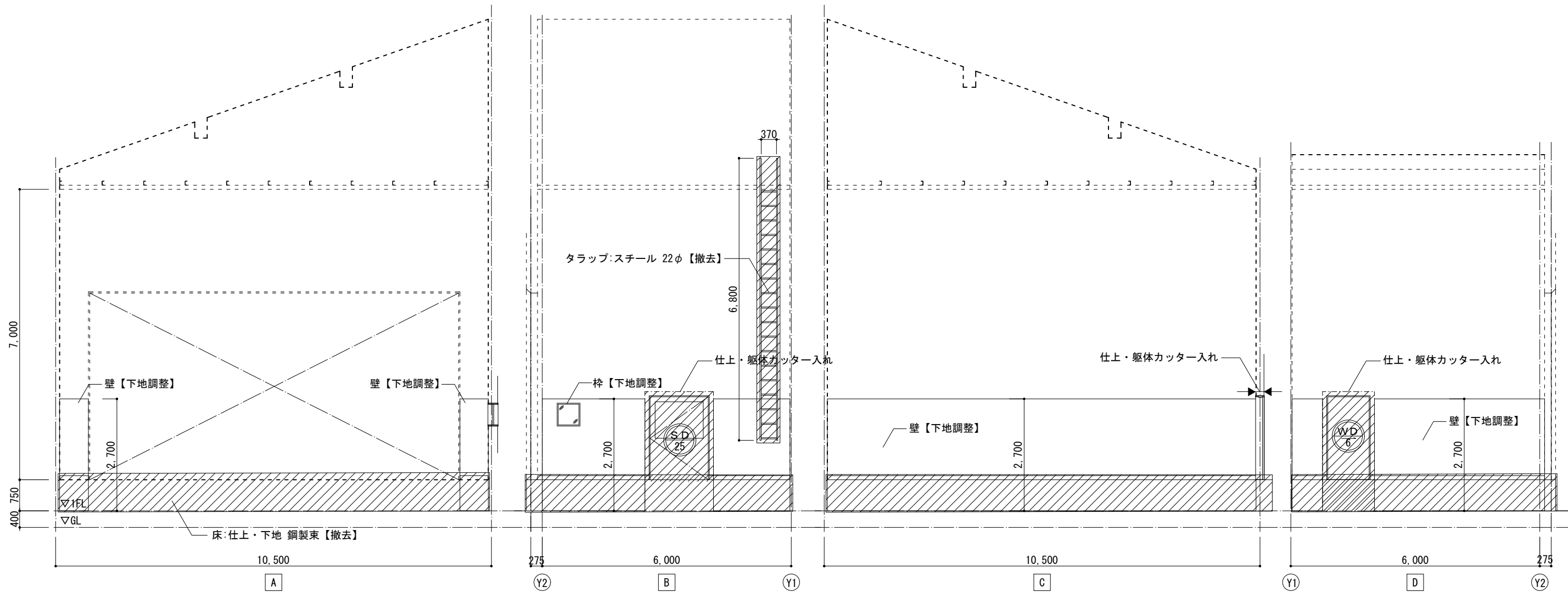
平面図 (改修後) 1:50

▨ (改修後)GW 50t 24K 施工範囲

(改修後) 仕上表

室名	部位	改修後
ブレイルーム	床	セルフレベリング 10t +捨て合板 9t +和紙製畳 12t【新設】
	幅木壁	MDF壁見切【新設】 EP【新設】
	天井廻縁	LGS +GW 50t +GB-R 12.5t +EP【新設】 LGS +GB-NC 9.5t +DR 9t【新設】 木製【新設】
物入	床	セルフレベリング 10t +ビニル床シート(FS) 2t【新設】
	幅木壁	ソフト巾木【新設】
	天井廻縁	EP【新設】 LGS +GB-R 12.5t +EP【新設】 LGS +GB-D 9.5t【新設】 塩ビ【新設】
倉庫 (新設)	床	セルフレベリング 10t +ビニル床シート(FS) 2t【新設】
	幅木壁	ソフト巾木【新設】
	天井廻縁	EP【新設】 LGS +GB-R 12.5t +EP【新設】 LGS +GB-D 9.5t【新設】 塩ビ【新設】
授乳室	床	セルフレベリング 10t +ビニル床シート(HS) 6.0t【新設】
	幅木壁	ソフト巾木【新設】
	天井廻縁	GW 50t +GB-R 12.5t +EP【新設】 LGS +GB-NC 9.5t +DR 9t【新設】 塩ビ【新設】
廊下	床	セルフレベリング 10t +ビニル床シート(HS) 6.0t【新設】
	幅木壁	ソフト巾木【新設】
	天井廻縁	EP【新設】 LGS +GW 50t +GB-R 12.5t +EP【新設】 LGS +GB-R 9.5t +DR 9t【新設】 塩ビ【新設】
相談室	床	セルフレベリング 10t +ビニル床シート(HS) 6.0t【新設】
	幅木壁	ソフト巾木【新設】
	天井廻縁	EP【新設】 LGS +GW 50t +GB-R 12.5t +EP【新設】 LGS +GB-R 9.5t +DR 9t【新設】 塩ビ【新設】






ステージ 展開図 (改修前) 1:50

(改修前) 仕上表

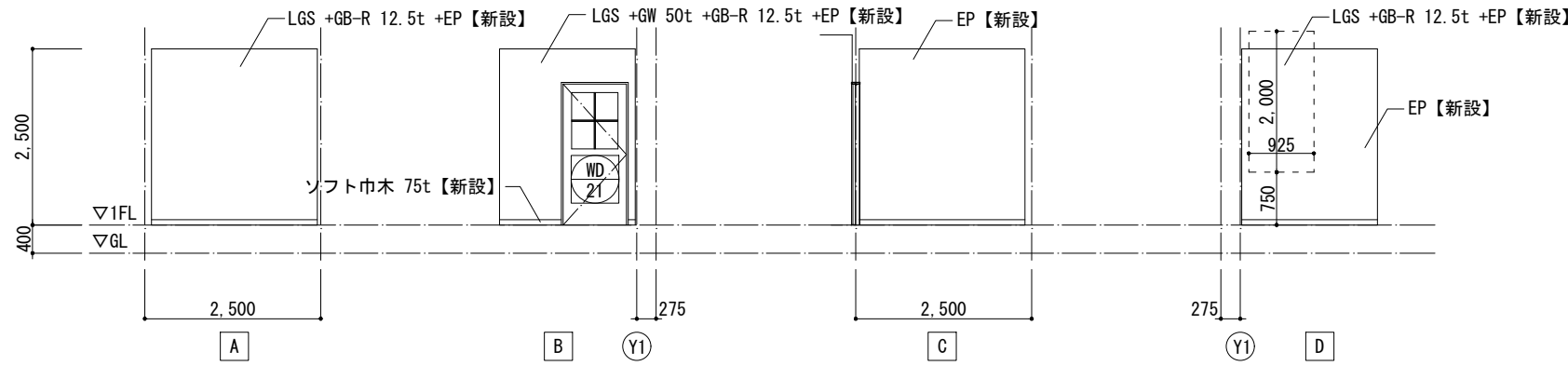
室名	部位	改修前
ステージ	床	鋼製床下地【撤去】+パーティクルボード 21t【撤去】 +複合フローリング 15t【撤去】+ポリウレタン塗装【撤去】
	幅木	堅木 +OS【撤去】
	壁	LGS +GB-R 9+12t +AEP【下地調整】 CON +AEP【下地調整】
	天井	ブドウ棚 (鉄骨 +SOP)
	廻縁	—

舞台装置 撤去リスト

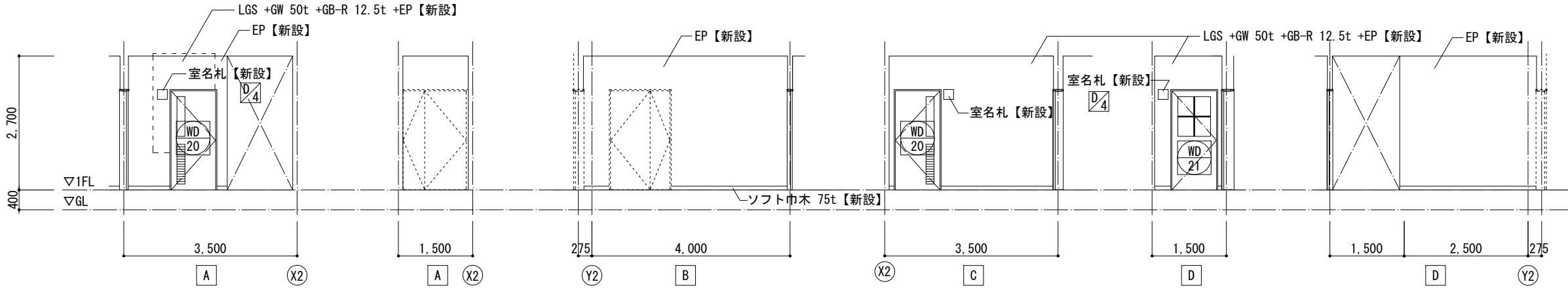
一文字幕、袖幕、ボーダーライト、脇幕、サスペンションライト  
カスミ幕、中割幕、美術バトン、脇幕、アッパーホリゾンライト  
後幕、ホリゾン幕、吊物制御操作盤

変更履歴	月. 日	月. 日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称 1階多目的ホール廻り詳細図3 (改修前)	縮尺 図示	管理No. 60-030
	月. 日	月. 日					

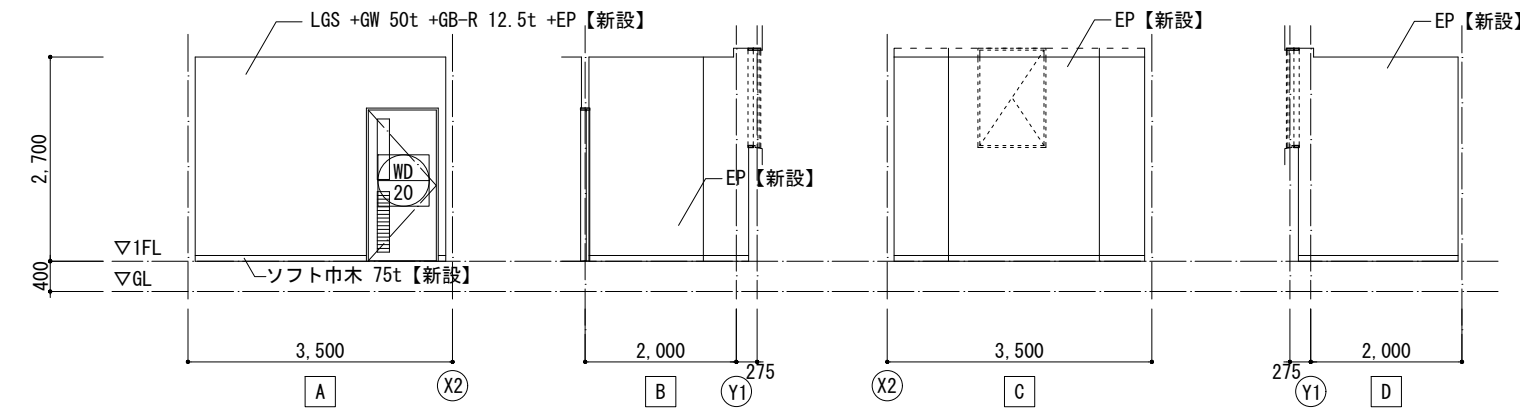




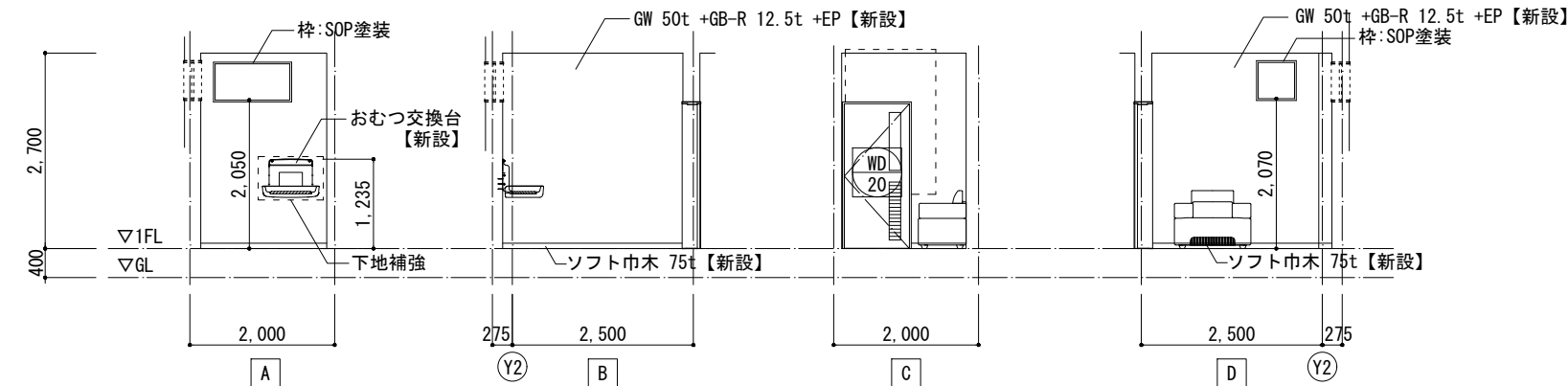
物入 展開図 (改修後) 1:50



廊下 展開図 (改修後) 1:50



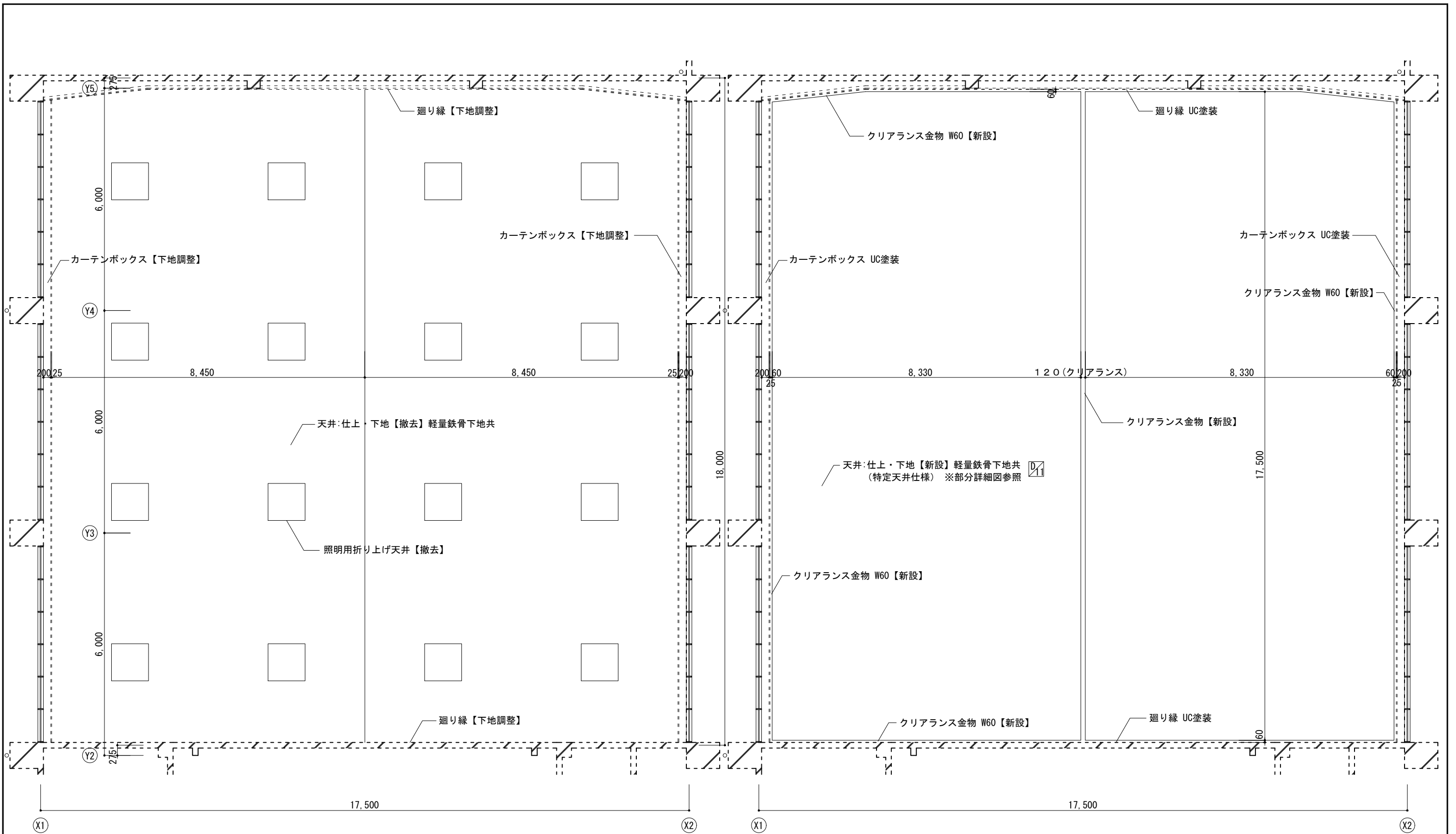
相談室 展開図 (改修後) 1:50



授乳室 展開図 (改修後) 1:50

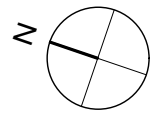
(改修後) 仕上表

室名	部位	改修後
物入	床	セルフレベリング 10t +ビニル床シート (FS) 2t【新設】
	幅木	ソフト巾木【新設】
	壁	EP【新設】
	天井	LGS +GB-R 12.5t +EP【新設】
廊下	天井	LGS +GB-D 9.5t【新設】
	廻縁	塩ビ【新設】
	床	セルフレベリング 10t +ビニル床シート (HS) 6.0t【新設】
	幅木	ソフト巾木【新設】
相談室	壁	EP【新設】
	天井	LGS +GW 50t +GB-R 12.5t +EP【新設】
	廻縁	LGS +GB-R 9.5t +DR 9t【新設】
	塩ビ	塩ビ【新設】
授乳室	床	セルフレベリング 10t +ビニル床シート (HS) 6.0t【新設】
	幅木	ソフト巾木【新設】
	壁	EP【新設】
	天井	LGS +GW 50t +GB-R 12.5t +EP【新設】
廻縁	LGS +GB-R 9.5t +DR 9t【新設】	
塩ビ	塩ビ【新設】	



1階多目的ホール 天井伏図 (改修前) 1:50

1階多目的ホール 天井伏図 (改修後) 1:50



仕上表

室名	部位	改修前	改修後
多目的ホール	天井	LGS【撤去】+GB-R 9t【撤去】+DR 9t【撤去】	LGS(特定天井仕様)+GB-R 9.5t +DR 9t【新設】

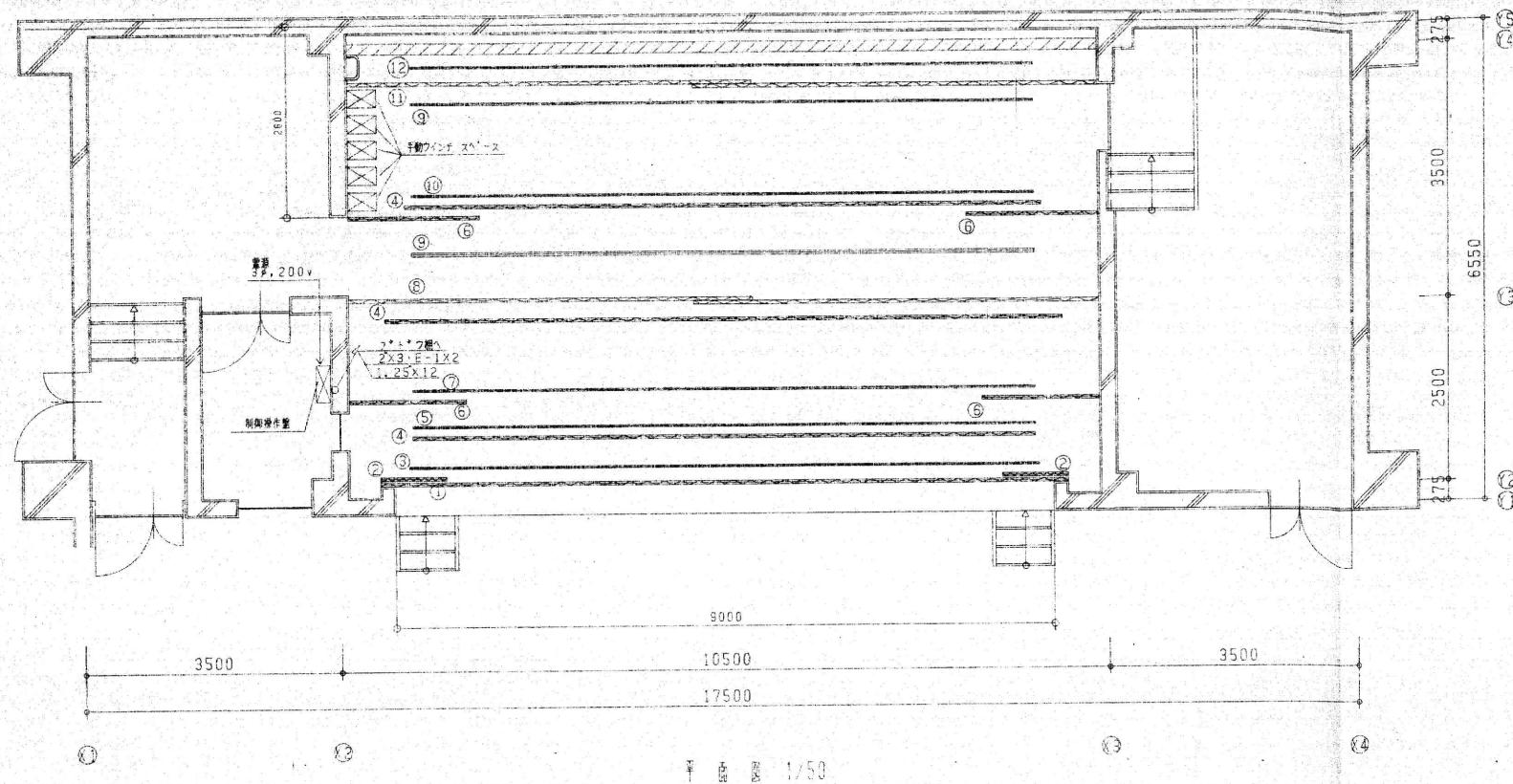
変更履歴	月.日	月.日

工事名称  
シーオーレ新宮大規模改修工事

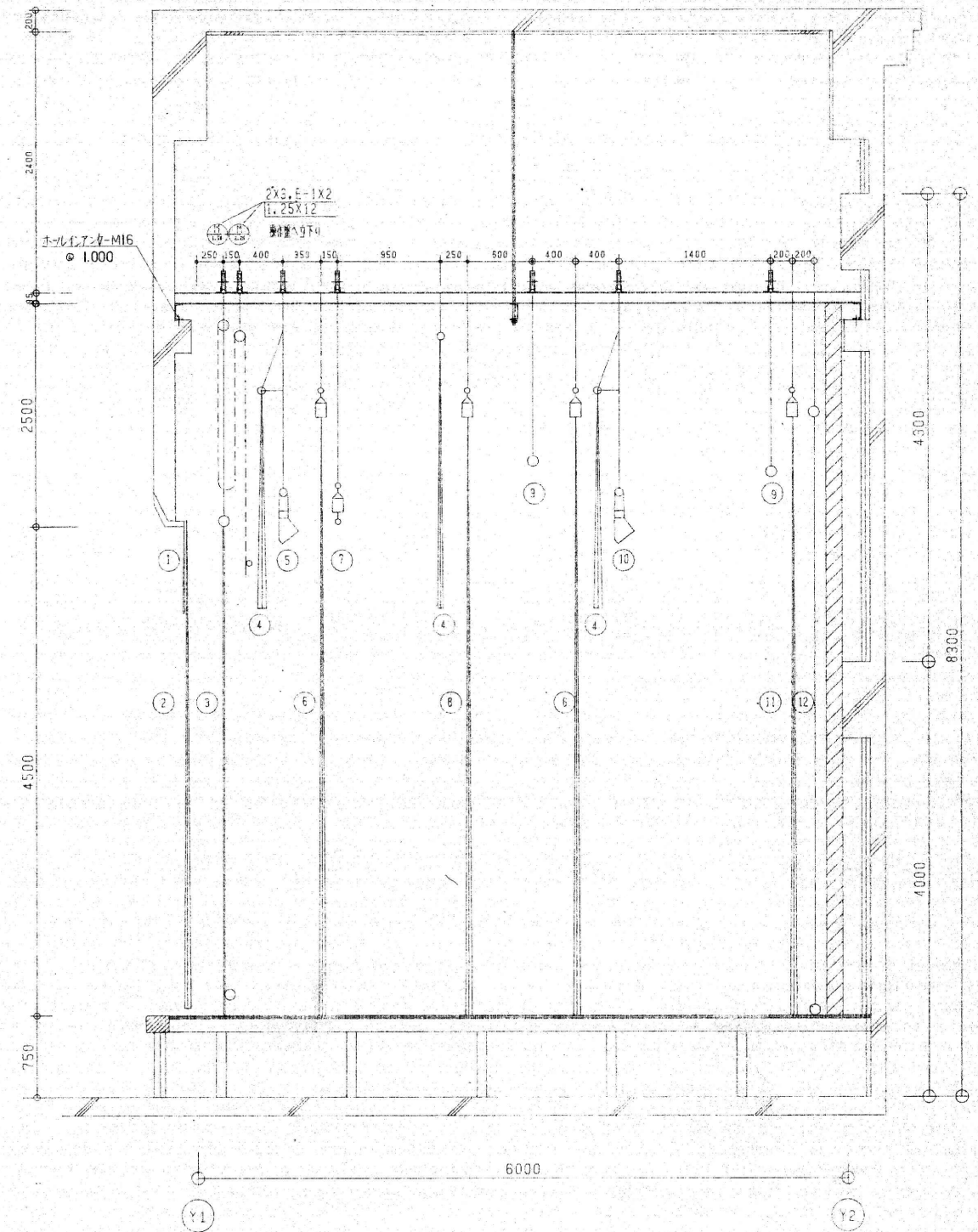
株式会社 阿波設計事務所九州支店  
 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号  
 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下 哲矢

図面名称  
1階多目的ホール詳細図6  
 担当者 管理技術者 大林 信二 照査技術者 林田 祥太郎 担当者 寺川 隆史  
 一級建築士 第308950号 一級建築士 第395282号 一級建築士 第389712号

縮尺 図示  
管理No. 60-030  
日付 2026年3月  
図面No. A / 74



平面図 1/50



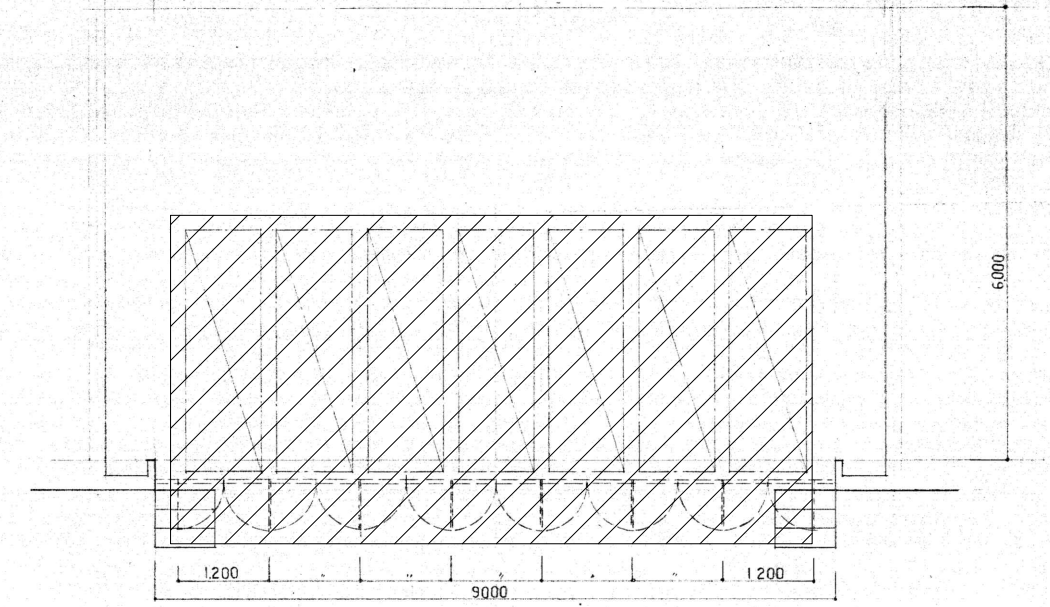
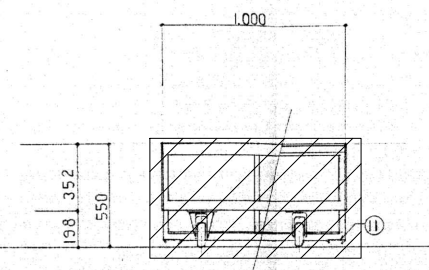
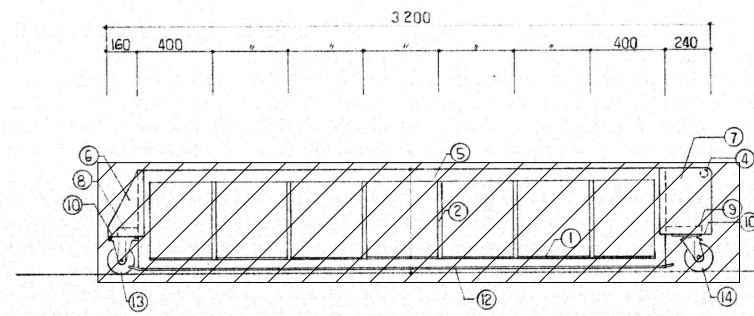
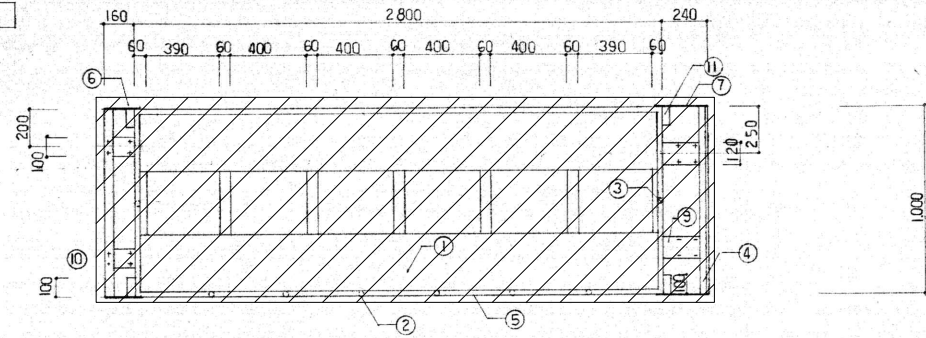
1/30 断面図

ステージ備品リスト

番号	名称	駆動方式	数量	昇降ストローク	形状	幕地	幕寸法	数量
1	水引幕	固定吊 釘止め	1式			別珍貫八 ヒダ無し(フレンジ付)	9,400×900	1
2	源氏幕	固定吊 釘止め	1式			別珍貫八 ヒダ無し(フレンジ付)	900×4,600	2
3	緞帳	電動昇降 2系列3ツ折式	1式	4,500	STK 48.5φ L=8,500	西陣別織(フレンジ付)	8,500×4,600	1
4	カスミ幕	パイプ固定吊 (2式は共吊)	3式		PZ 25φ L=8,500	別珍貫八 2倍ヒダ	8,500×2,000(2,500)	2(1)
5	ポーターライト	手動昇降ウインチ式 500kg	1式	5,000	STK 42.7φ L=8,000			
6	袖幕	レール固定吊 手動開閉式	2式		SS-70型レール L=1,800×2	別珍貫八 2倍ヒダ	1,800×5,500	4
7	サスペンションライト	手動昇降ウインチ式 500kg	1式	5,000	STK 42.7φ L=8,500			
8	中割幕	レール固定吊 手動開閉式	1式		SS-70型レール L=5,500×2	別珍貫八 2倍ヒダ	5,500×5,500	2
9	美術パトン	手動昇降ウインチ式 300kg	2式	6,000	STK 42.7φ L=8,500			
10	アッパー水平トライト	手動昇降ウインチ式 500kg	1式	5,000	STK 42.7φ L=8,500			
11	バック幕	レール固定吊 手動開閉式	1式		SS-70型レール L=5,500×2	別珍貫八 2倍ヒダ	5,500×5,500	2
12	水平ト幕	パイプ固定吊	1式		STK 42.7φ L=8,500	11号帆布	8,500×5,500	1
13	制御操作盤							

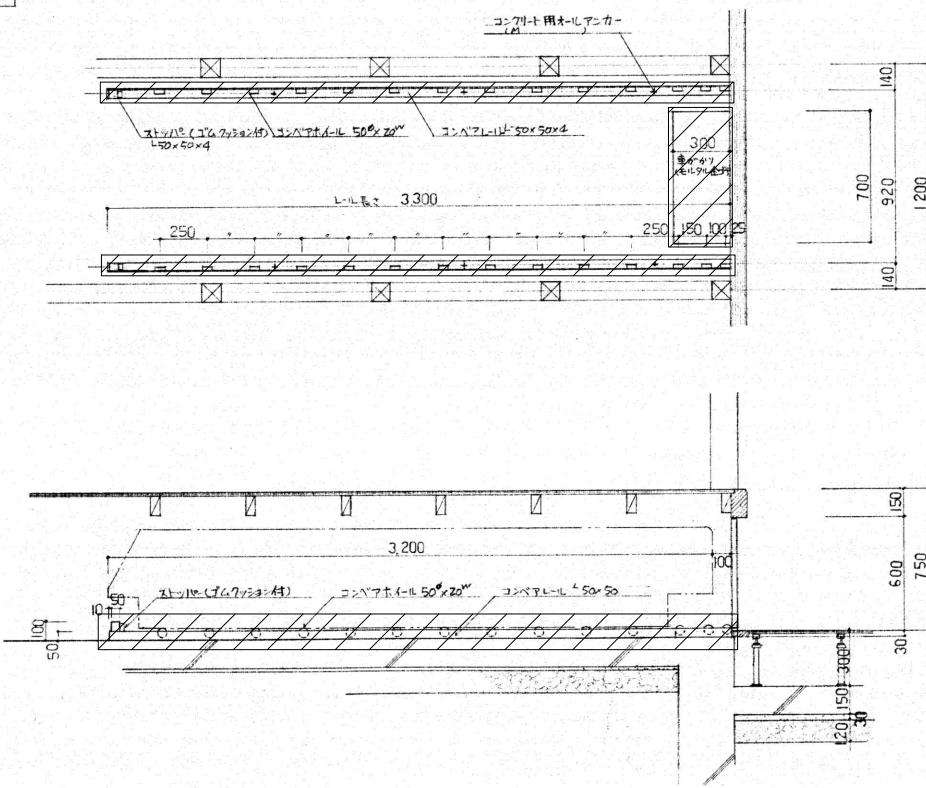
備品全て撤去

キャリア部図 1:20

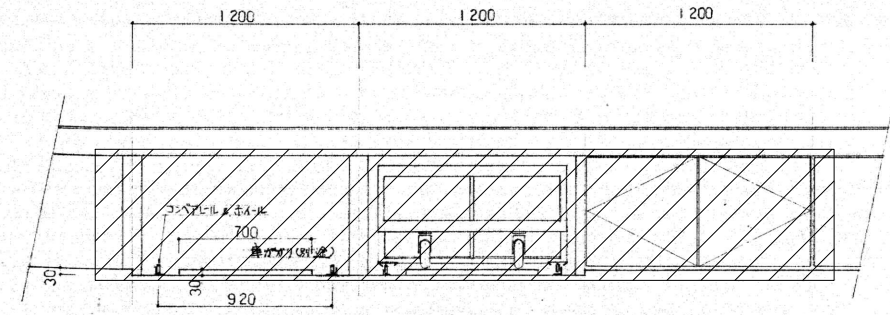


ステージキャリア部図 1:50

ピット部詳細図 1:20



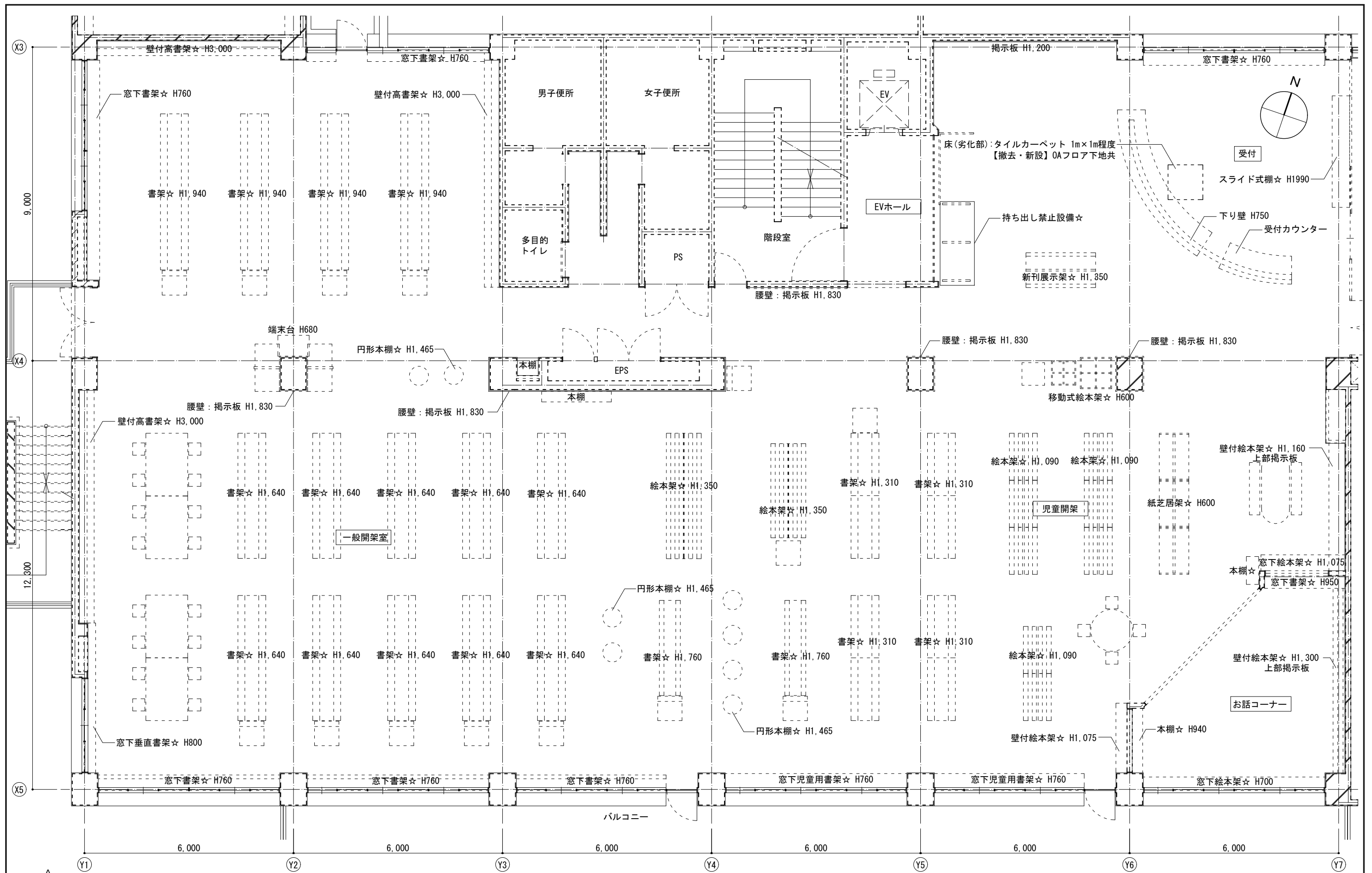
番号	名称	材料
1	表面材	77-合板 <sup>①</sup> 2x300
2	サイド仕切材	25x4x16
3	セパ-仕切材	25x4x16
4	押手	30x2x2
5	キャリア-ム	60x30x2 <sup>②</sup>
6	固定キャリア-ム	R-3 <sup>③</sup> 加工
7	自在キャ-ス	
8	固定キャリア-ム	R-3 <sup>③</sup> 加工 C-100x50
9	自在キャリア-ム	R-3 <sup>③</sup> 加工 C-120x50
10	キャリア-ム	L-50x50x4
11	L-型仕掛金具	R-3 <sup>③</sup> 加工 40x100
12	レールガイド	39 Bar
13	固定キャスター	150 <sup>④</sup> 型 200 <sup>⑤</sup> 個
14	自在キャスター	150 <sup>④</sup> 型 200 <sup>⑤</sup> 個



備品全て撤去







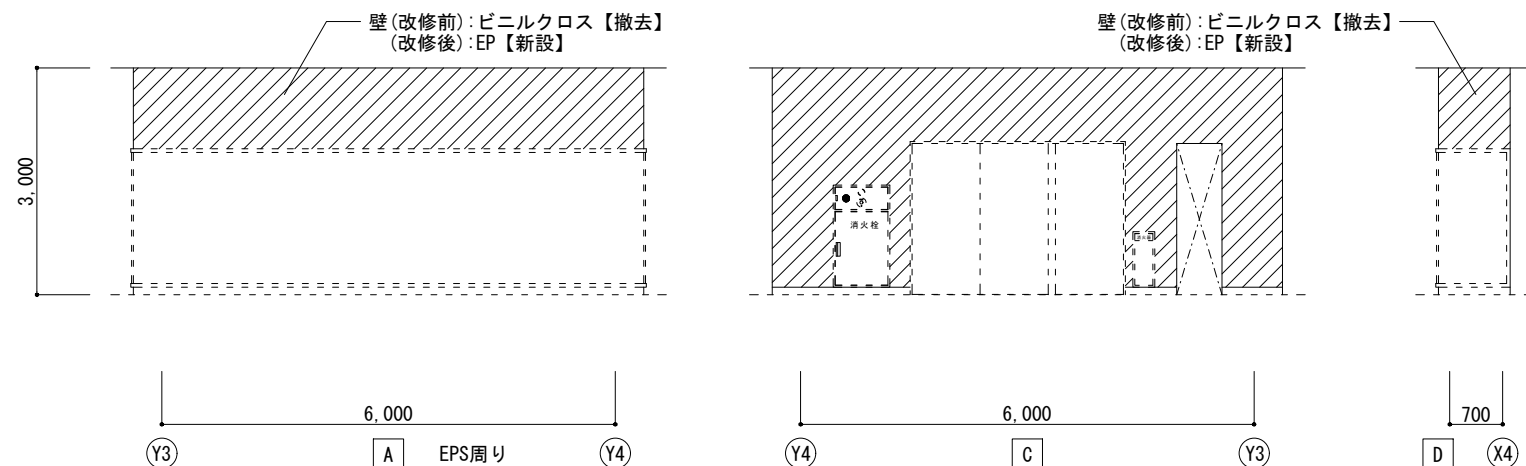
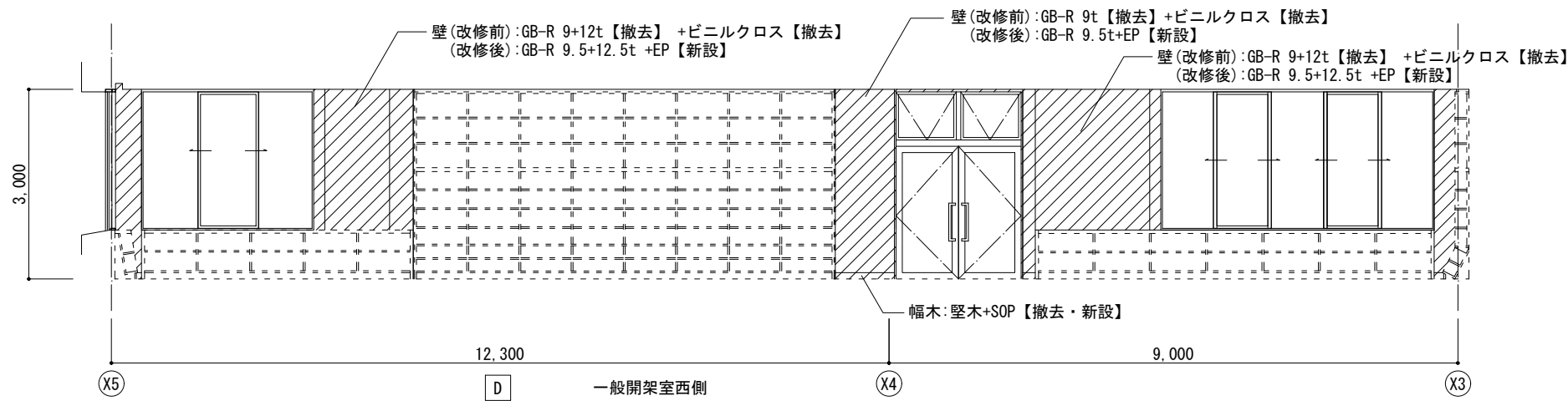
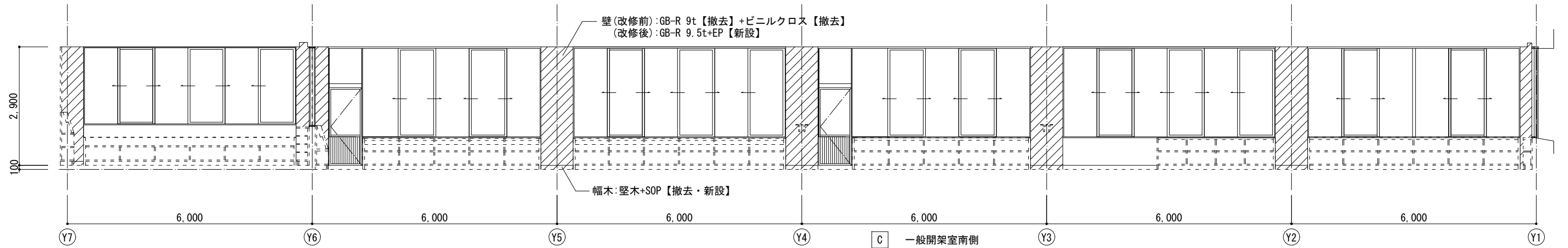
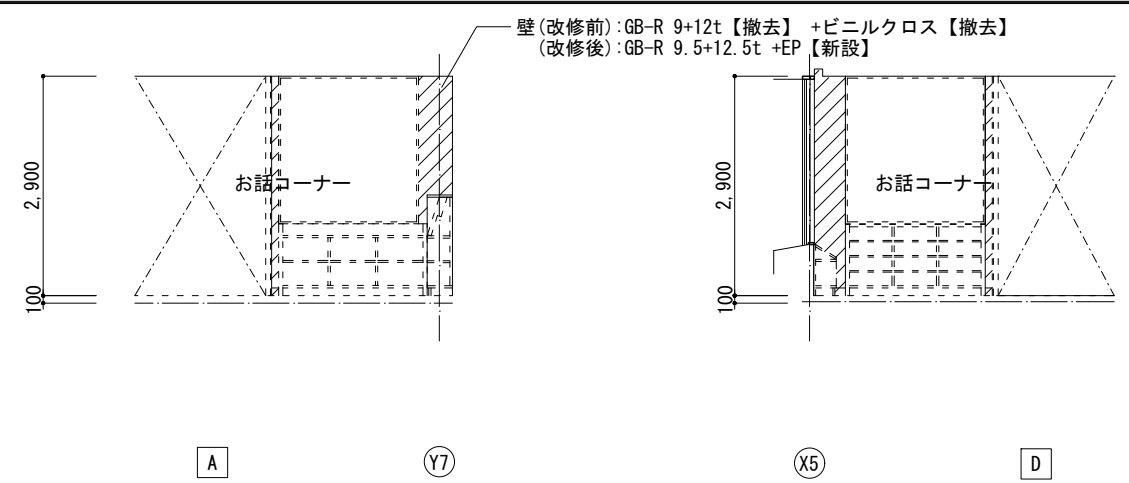
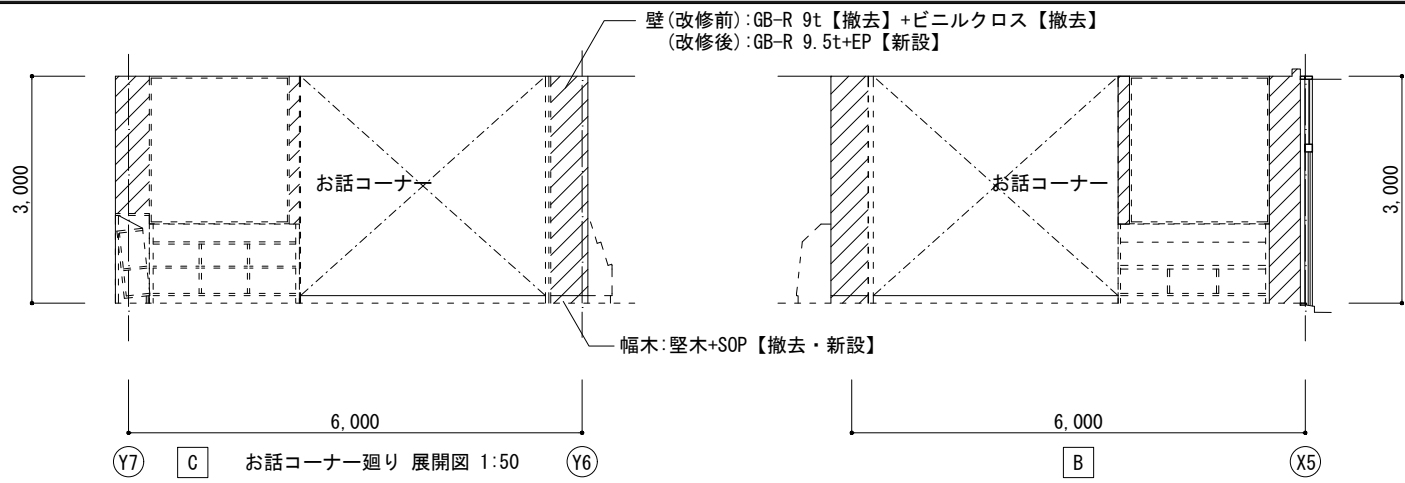
2階図書館周り平面図(改修前) 1:50

★マークの付いた書架等は合板・シートで養生する

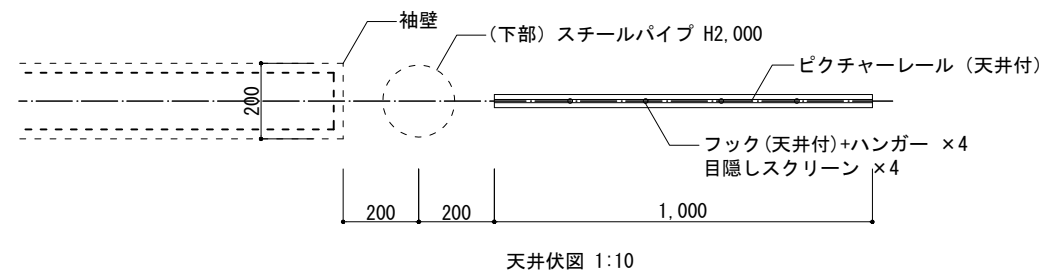
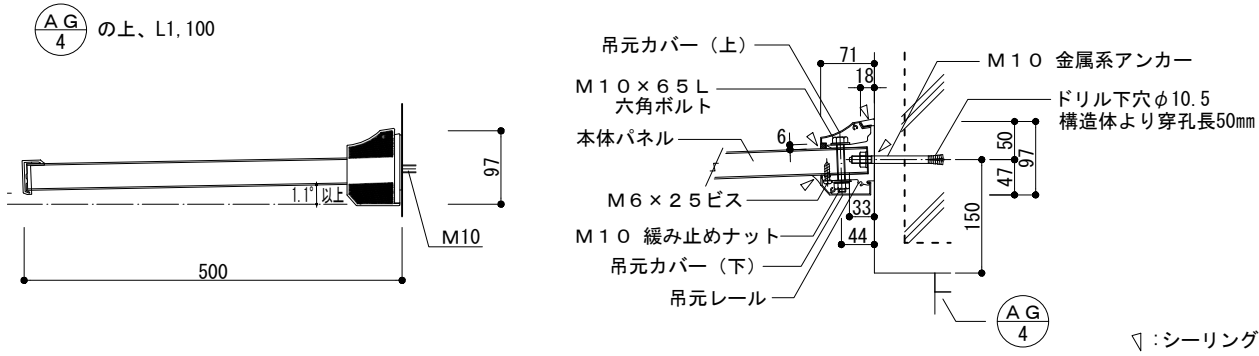
変更履歴	月. 日	月. 日	工事名称	図面名称	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事	2階図書館詳細図 1	図示	60-030
				担当者	日付	図面No.
				管理技術者 大林 健二 一級建築士 第308950号	2026年3月	A / 79
				照査技術者 林田 祥太郎 一級建築士 第395282号		
				担当者 寺川 隆史 一級建築士 第389712号		

株式会社 阿波設計事務所九州支店  
 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号  
 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下 哲矢

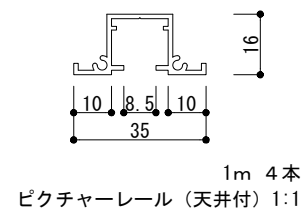




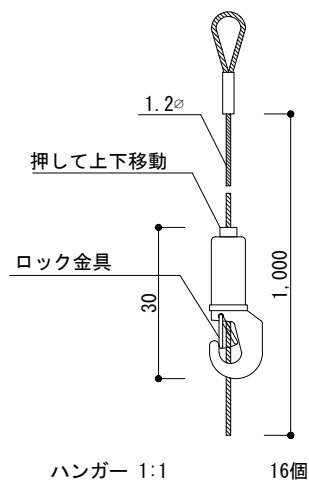
室名	部位	改修前	改修後
児童開架 一般開架	床	タイルカーペット	既存のまま
	幅木 壁	堅木+SOP【撤去】 CON +FP 25t +GB-R 9t【撤去】+ビニルクロス【撤去】 CON +モルタル金コテ押え +ビニルクロス【撤去・下地調整】 LGS +GB-R 9+12t【撤去】+ビニルクロス【撤去】 LGS【撤去】+GB-R 9t【撤去】+DR 9t【撤去】	堅木+SOP【新設】 GB-R 9.5t +EP【新設】 EP【新設】 GB-R 9.5+12.5t +EP【新設】 LGS +GB-R 9.5t +DR 9t【新設】 塩ビ【新設】
お話コーナー	床	タイルカーペット	既存のまま
	幅木 壁	堅木+SOP【撤去】 CON +モルタル金コテ押え +ビニルクロス【撤去・下地調整】 LGS +GB-R 9+12t【撤去】+ビニルクロス【撤去】 LGS【撤去】+GB-R 9t【撤去】+DR 9t【撤去】	堅木+SOP【新設】 EP【新設】 GB-R 9.5+12.5t +EP【新設】 LGS +GB-R 9.5t +DR 9t【新設】 塩ビ【新設】
受付	床	タイルカーペット【劣化補修】0Aフロア-H50	既存のまま
	幅木 壁	堅木+SOP【撤去】 CON +モルタル金コテ押え +ビニルクロス【撤去・下地調整】 LGS +GB-R 9+12t【撤去】+ビニルクロス【撤去】 LGS【撤去】+GB-R 9t【撤去】+DR 9t【撤去】	堅木+SOP【新設】 EP【新設】 GB-R 9.5+12.5t +EP【新設】 LGS +GB-R 9.5t +DR 9t【新設】 塩ビ【新設】
	天井 廻縁	塩ビ【撤去】	塩ビ【撤去】



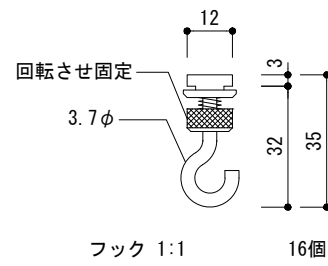
天井伏図 1:10



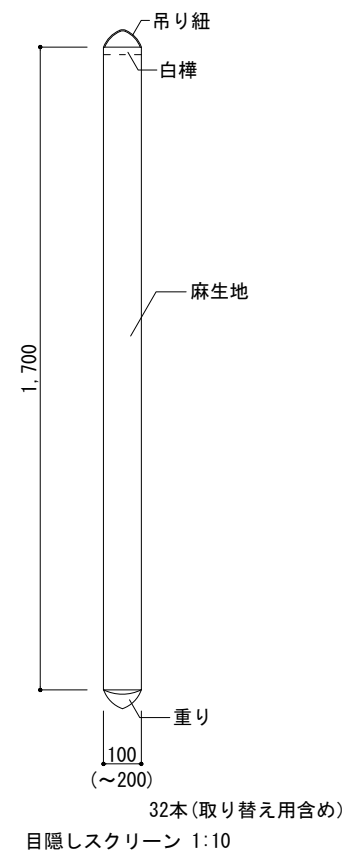
ピクチャーレール (天井付) 1:1



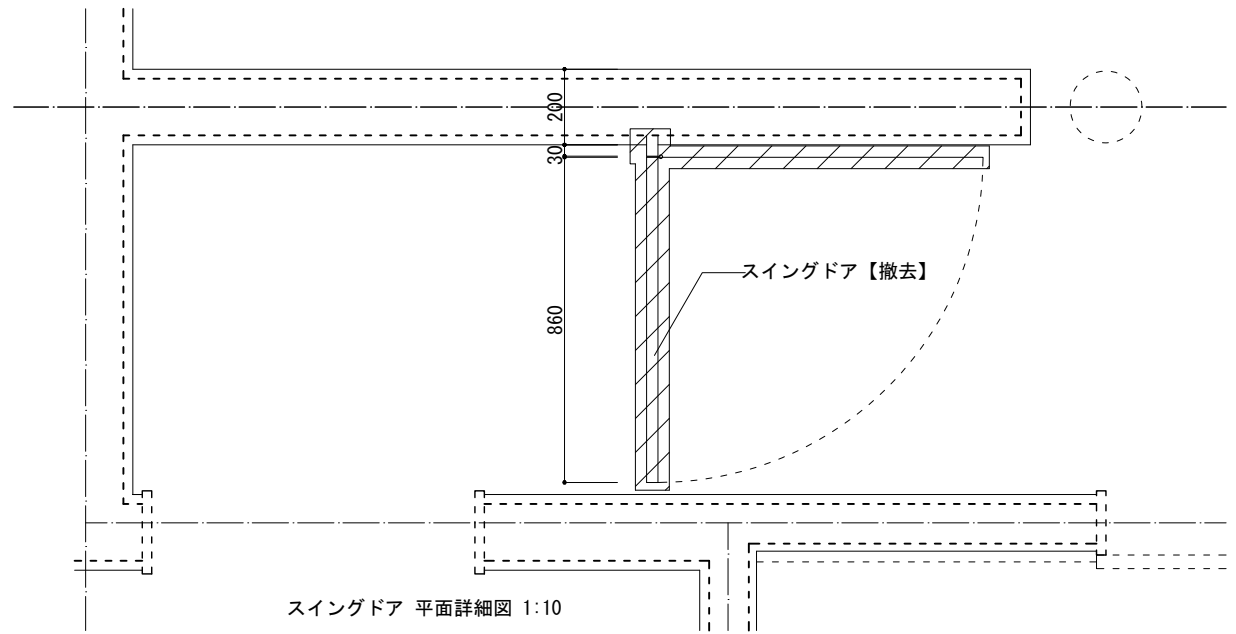
ハンガー 1:1 16個



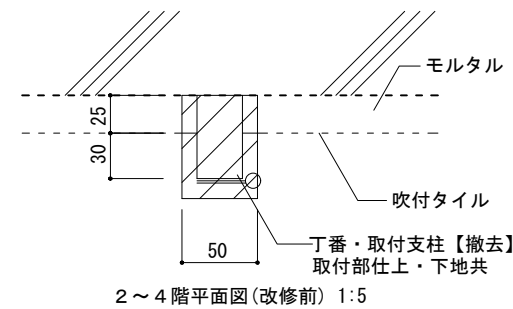
フック 1:1 16個



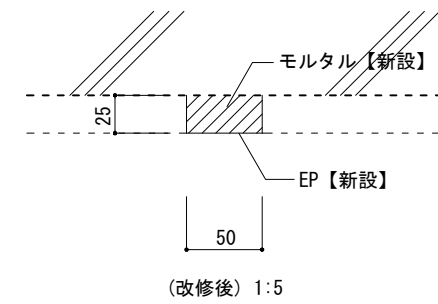
目隠しスクリーン 1:10



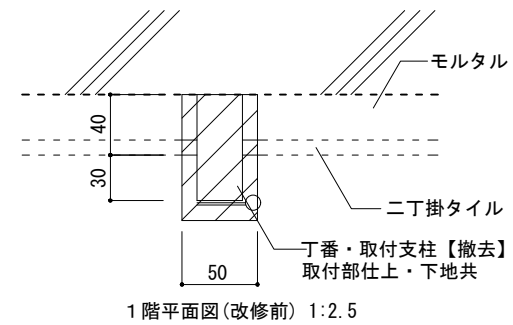
スイングドア 平面詳細図 1:10



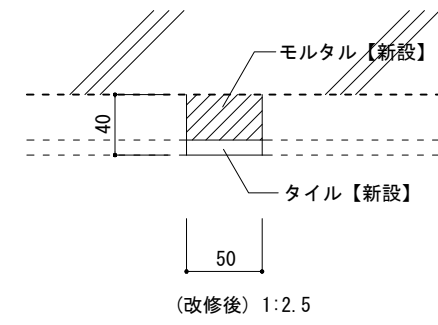
2~4階平面図 (改修前) 1:5



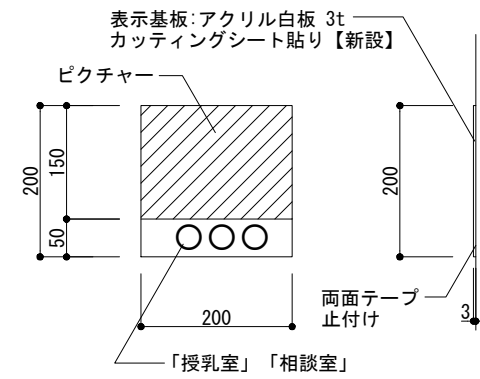
(改修後) 1:5



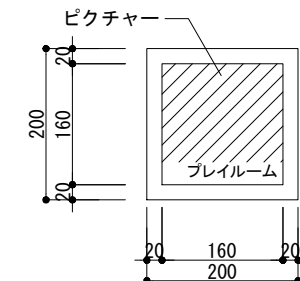
1階平面図 (改修前) 1:2.5



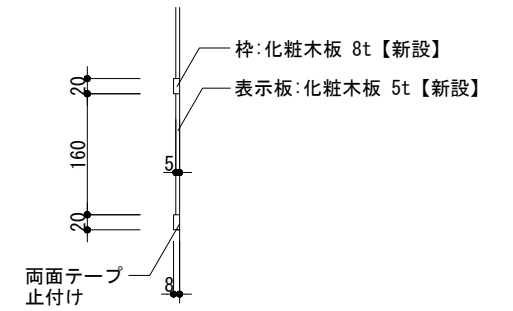
(改修後) 1:2.5



「授乳室」「相談室」



両面テープ止付け



両面テープ止付け

変更履歴	月.日	月.日	工事名称
			シーオーレ新宮大規模改修工事

図面名称	縮尺	図示	管理No.
部分詳細図 1			60-030

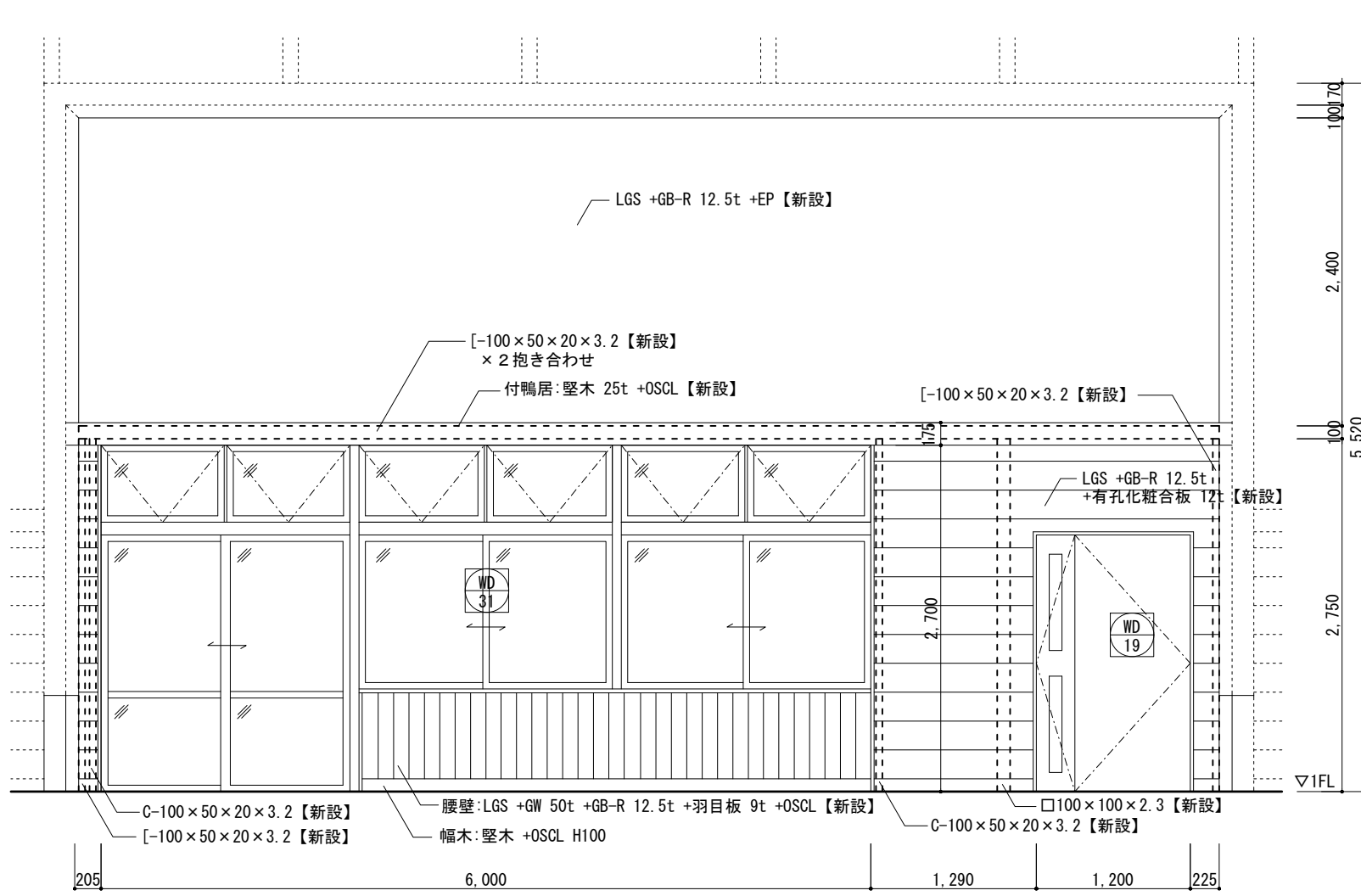
担当者	管理技術者 大林 二	照査技術者 林田 祥太郎	担当者 寺川 隆史
	一級建築士 第308950号	一級建築士 第395282号	一級建築士 第389712号

日付	2026年3月	図面No.	A / 82
----	---------	-------	--------

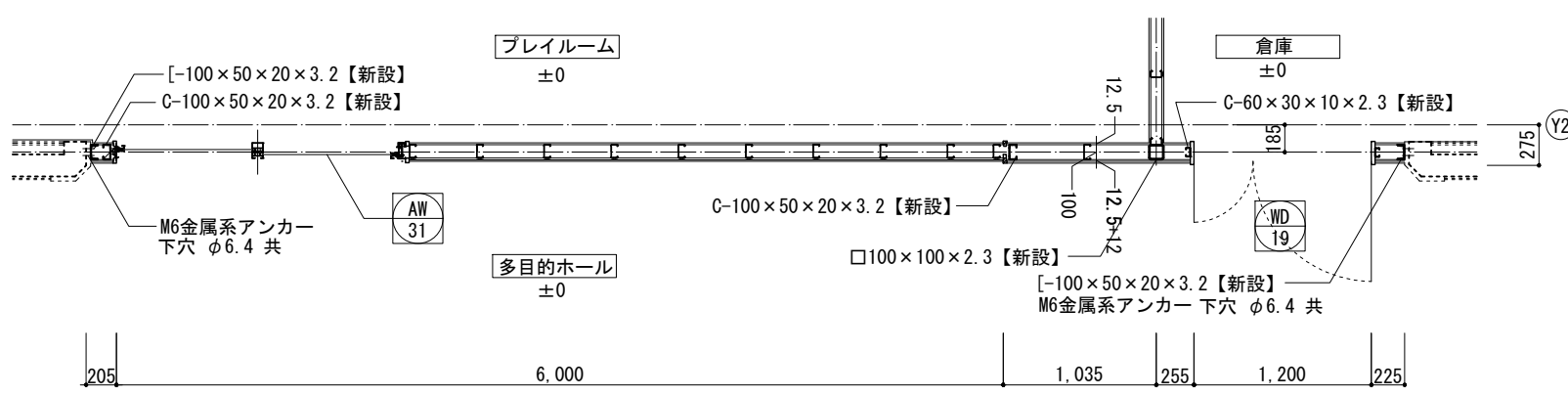
図面名称	縮尺	図示	管理No.
部分詳細図 1			60-030



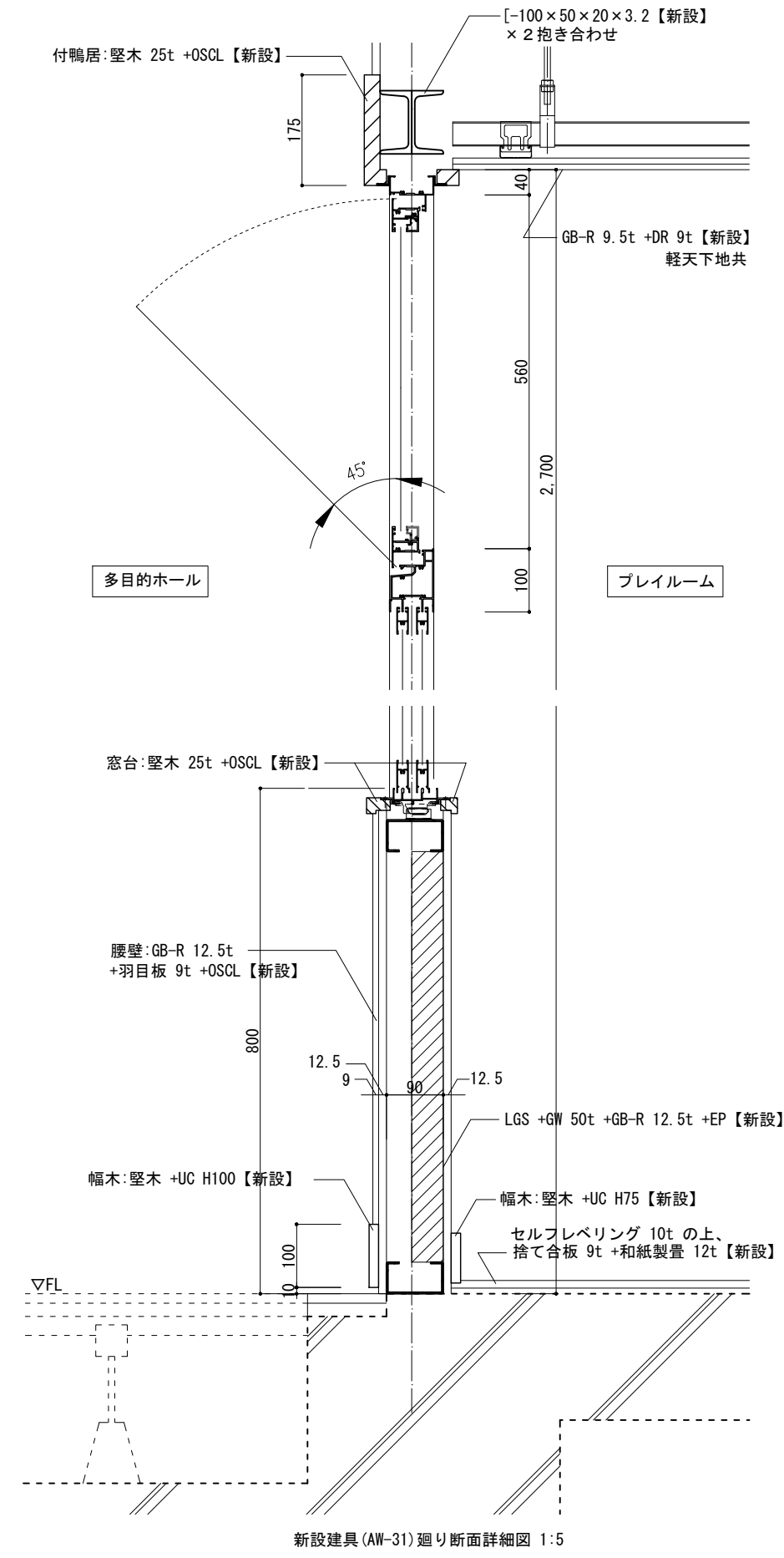
株式会社 阿波設計事務所九州支店  
 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号  
 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下 哲矢



間仕切壁 (プレイルーム⇄多目的ホール) 正面図 1:25



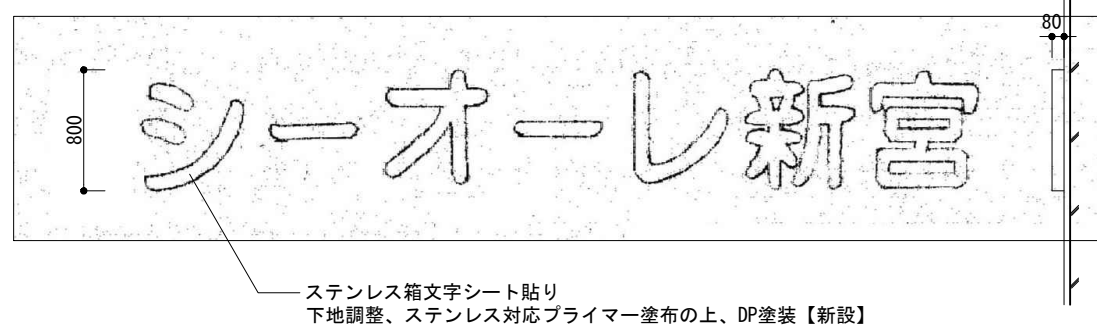
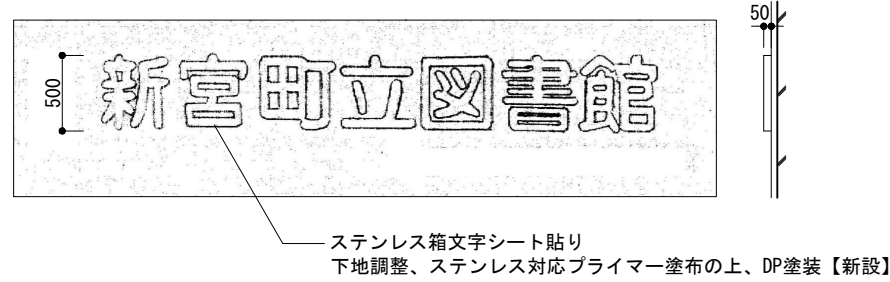
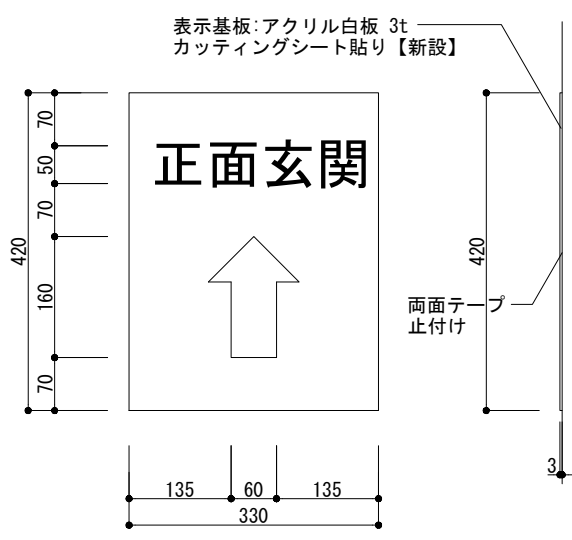
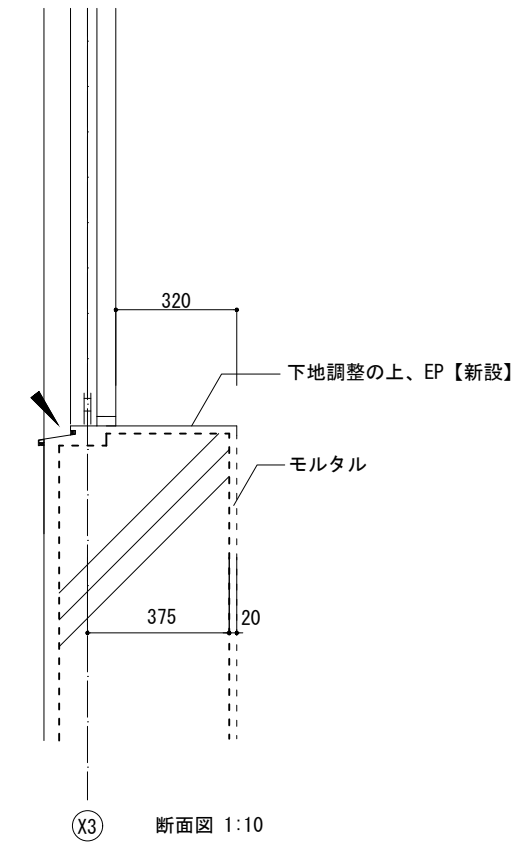
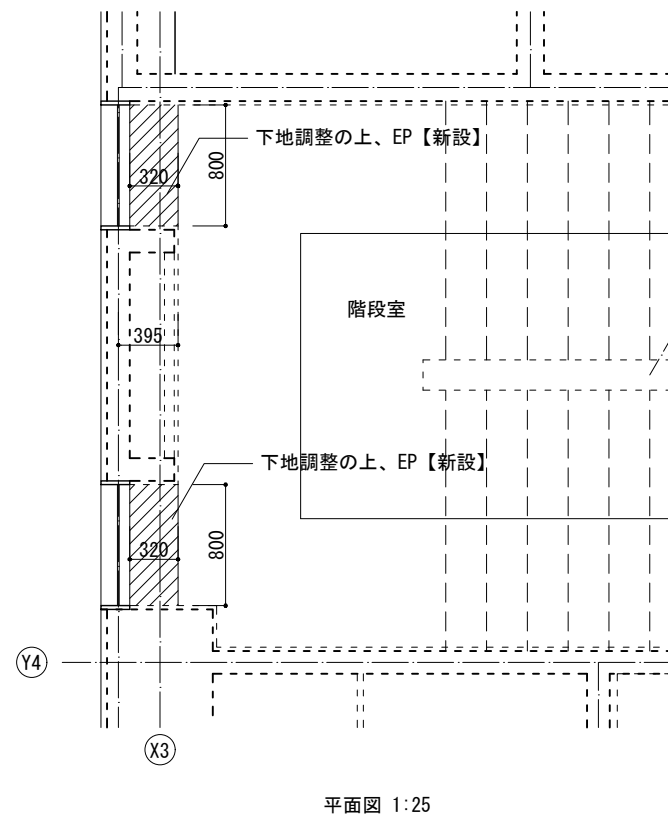
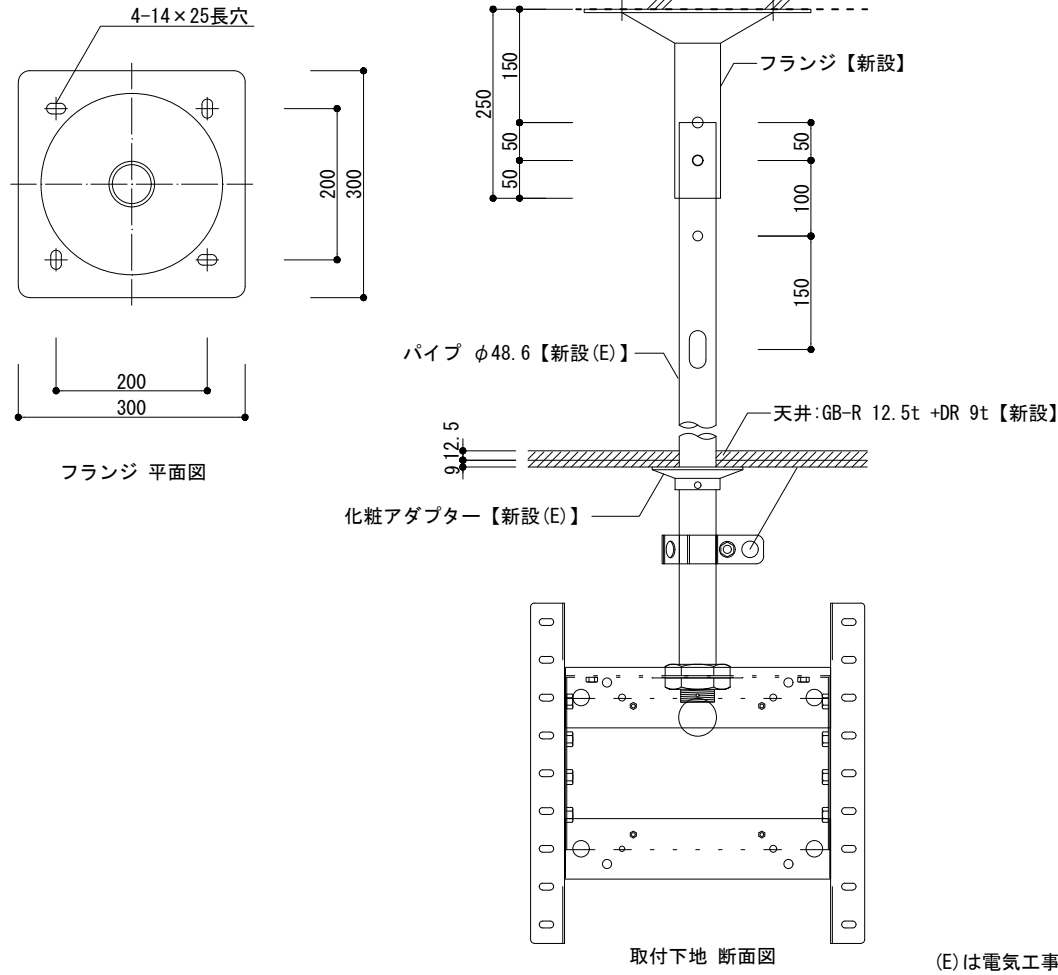
間仕切壁 (下部) 平面図 1:25



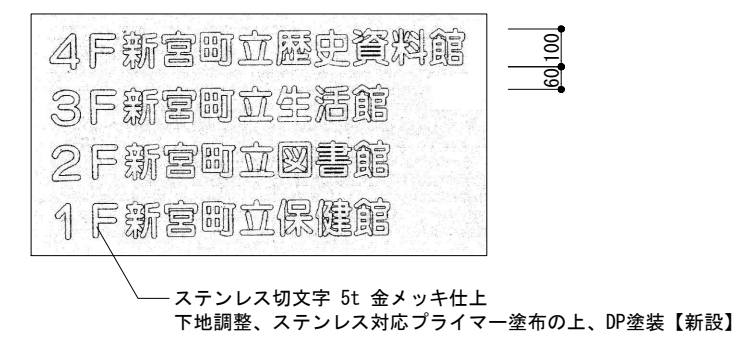
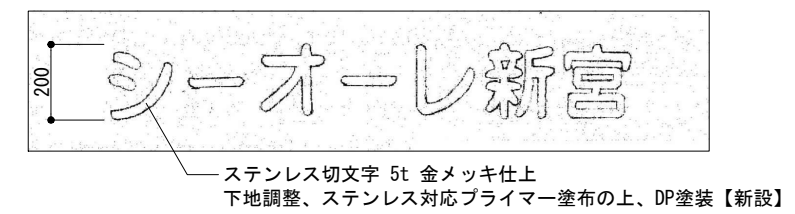
新設建具 (AW-31) 廻り断面詳細図 1:5

変更履歴	月.日	月.日	工事名称	図面名称	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事	部分詳細図2	図示	60-030
				担当者	日付	図面No.
				管理技術者 大林 二 一級建築士 第308950号	2026年3月	A / 83
				照査技術者 林田 祥太郎 一級建築士 第395282号		
				担当者 寺川 隆史 一級建築士 第38912号		

株式会社 阿波設計事務所九州支店  
 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号  
 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下 哲矢

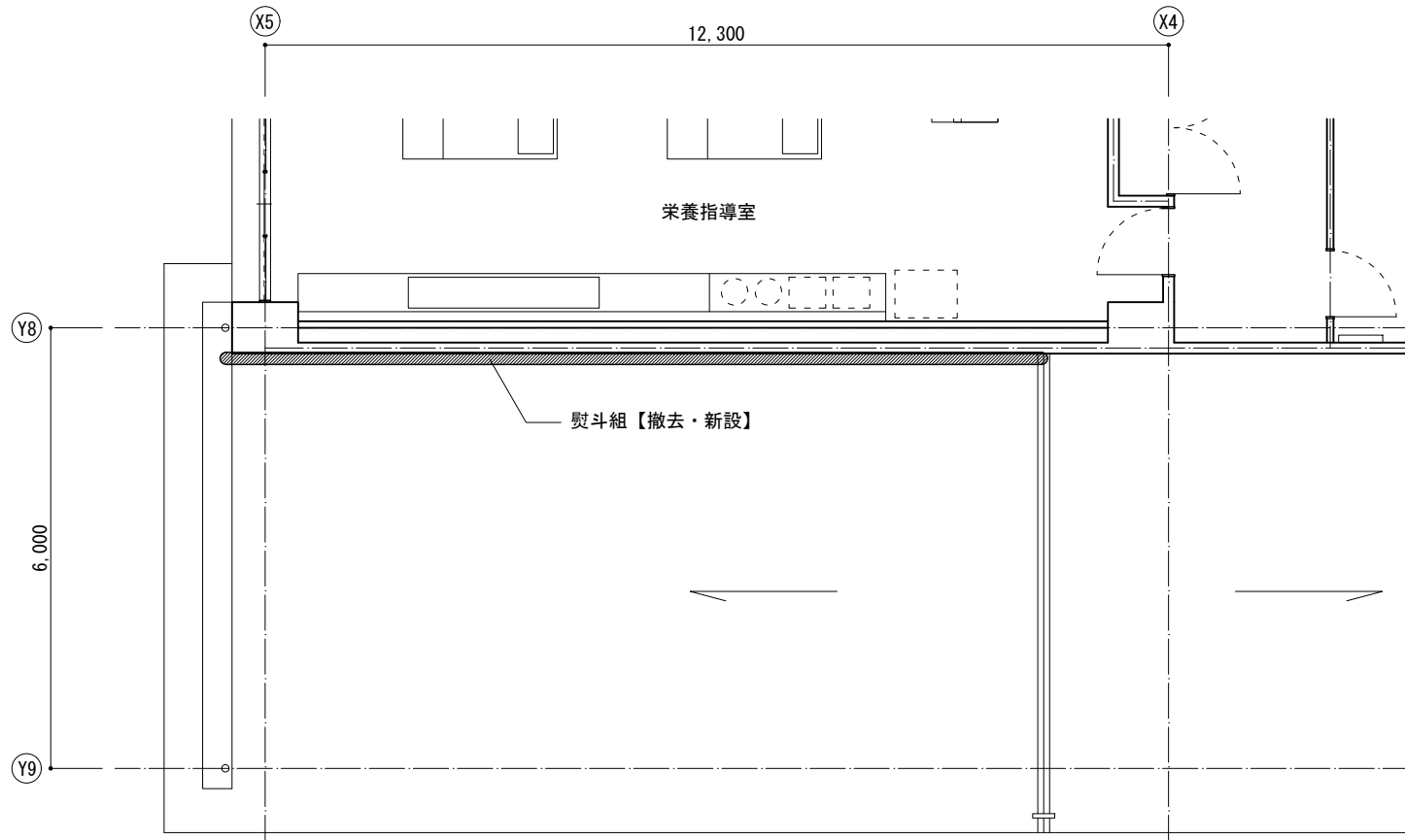


館名文字 正面図 1:25

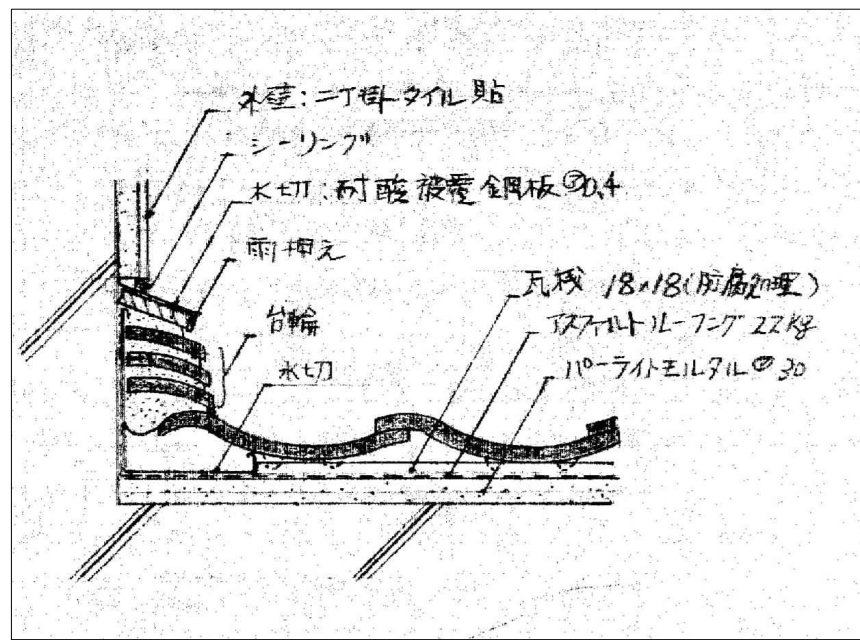


館名文字 正面図 1:10

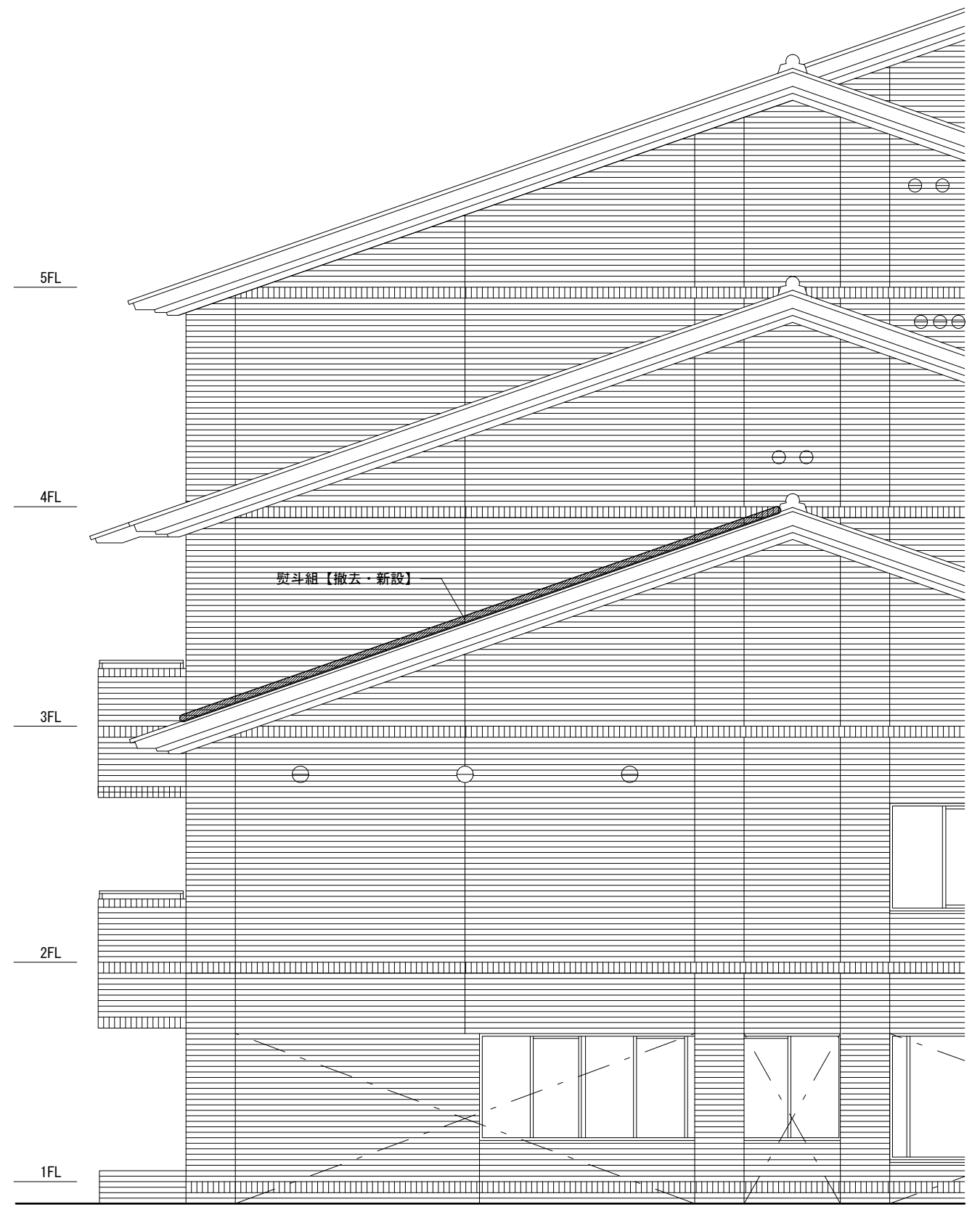
変更履歴	月.日	月.日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称	部分詳細図 3	縮尺	図示	管理No. 60-030
			シーオーレ新宮大規模改修工事		担当者	管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号		日付	2026年3月
					照査技術者	林田祥太郎 一級建築士第395282号		図面No.	A / 84
					担当者	寺川隆史 一級建築士第389712号			




平面図 1:50

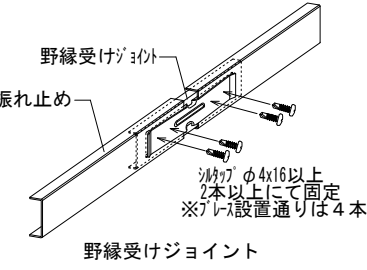
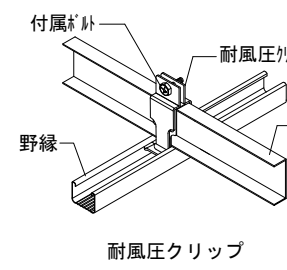
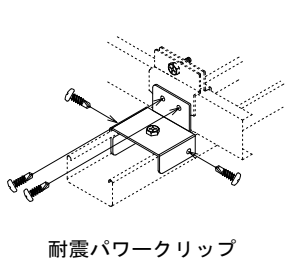
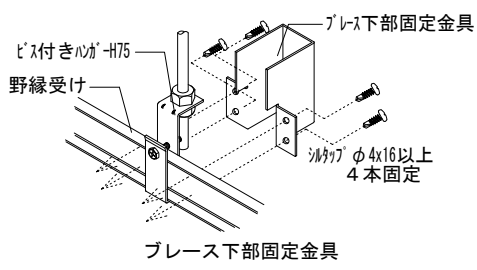
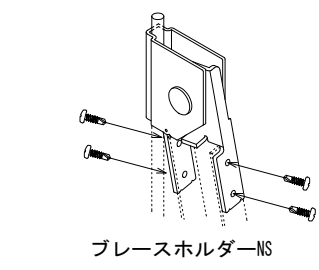
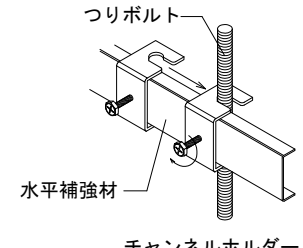
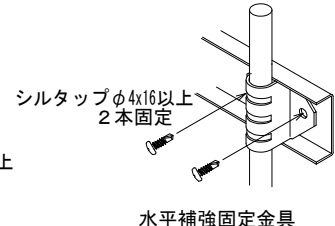
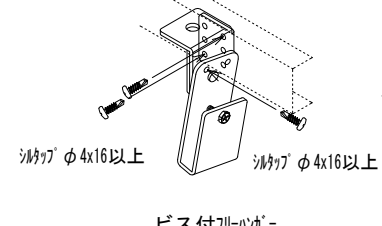
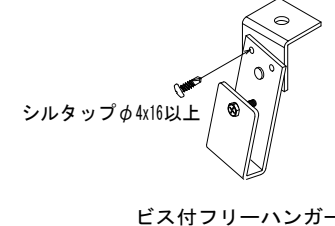
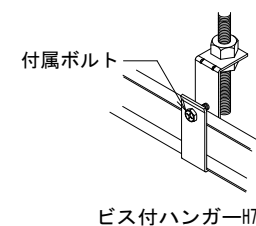
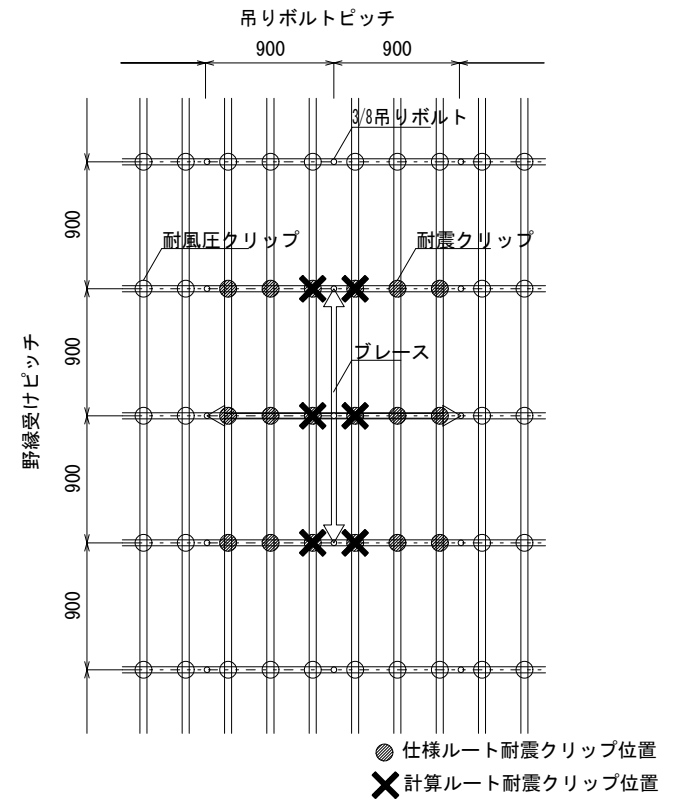
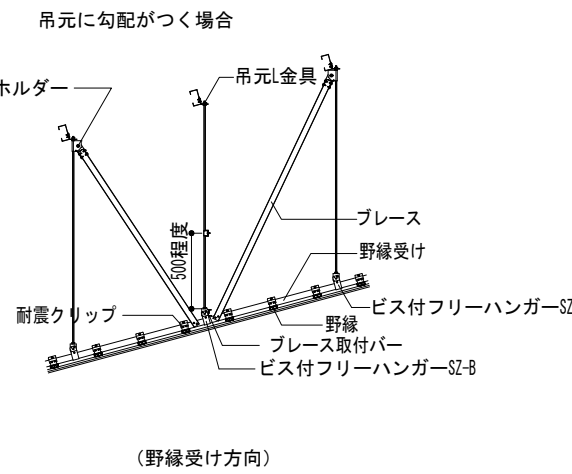
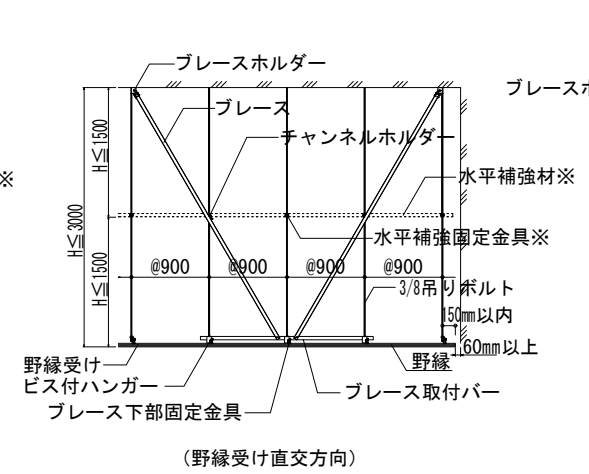
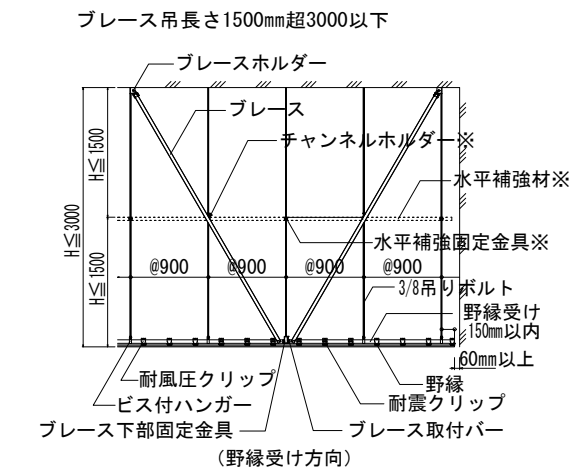


熨斗組断面詳細 No Scale



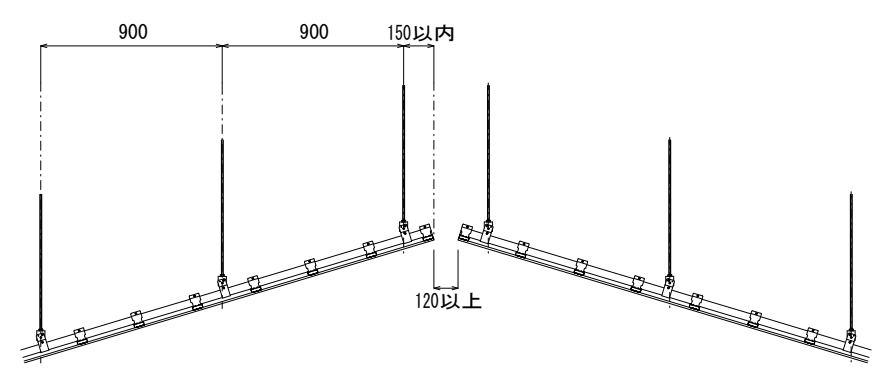
東立面図 1:50

変更履歴	月. 日	月. 日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称 部分詳細図 4			縮尺 図示	管理No. 60-030
					担当者 管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号	照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号	担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号	日付 2026年3月	図面No. A / 85

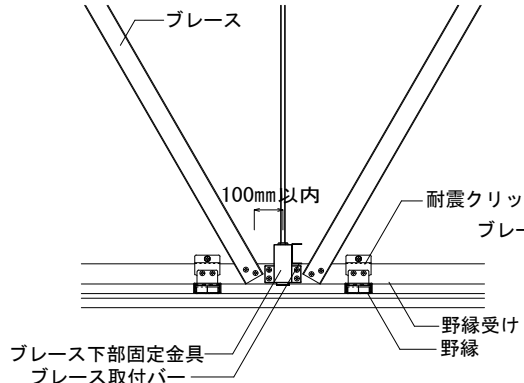


※ 水平補剛材については「建築物における天井脱落対策に係わる技術基準の解説」（平成25年9月）P34に記載されている「仕様ルートでは、吊り長さを3m以下に制限した上で、斜め部材の配置等によって水平方向の揺れを抑えることを基本的な考え、水平補剛材を設けることを天井の耐震性を確保する上での必須の要件とはしていない。ただし、吊り長さが長くなる場合において水平補剛材を設置することは何ら差支えない。」とされている。設置する場合はボルト接合に対し、チャンネルホルダーの他、水平補強固定金具などによる確実な緊結を推奨します。

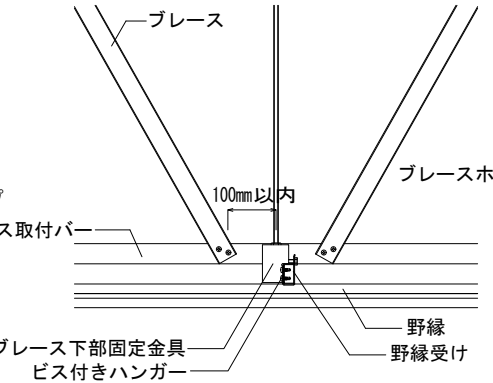
天井-天井納まり例



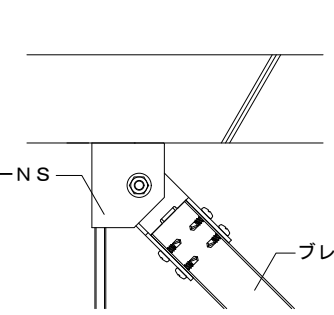
ブレース下部納まり例



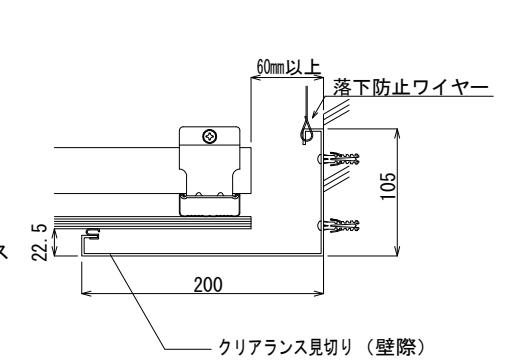
ブレースホルダー納まり例



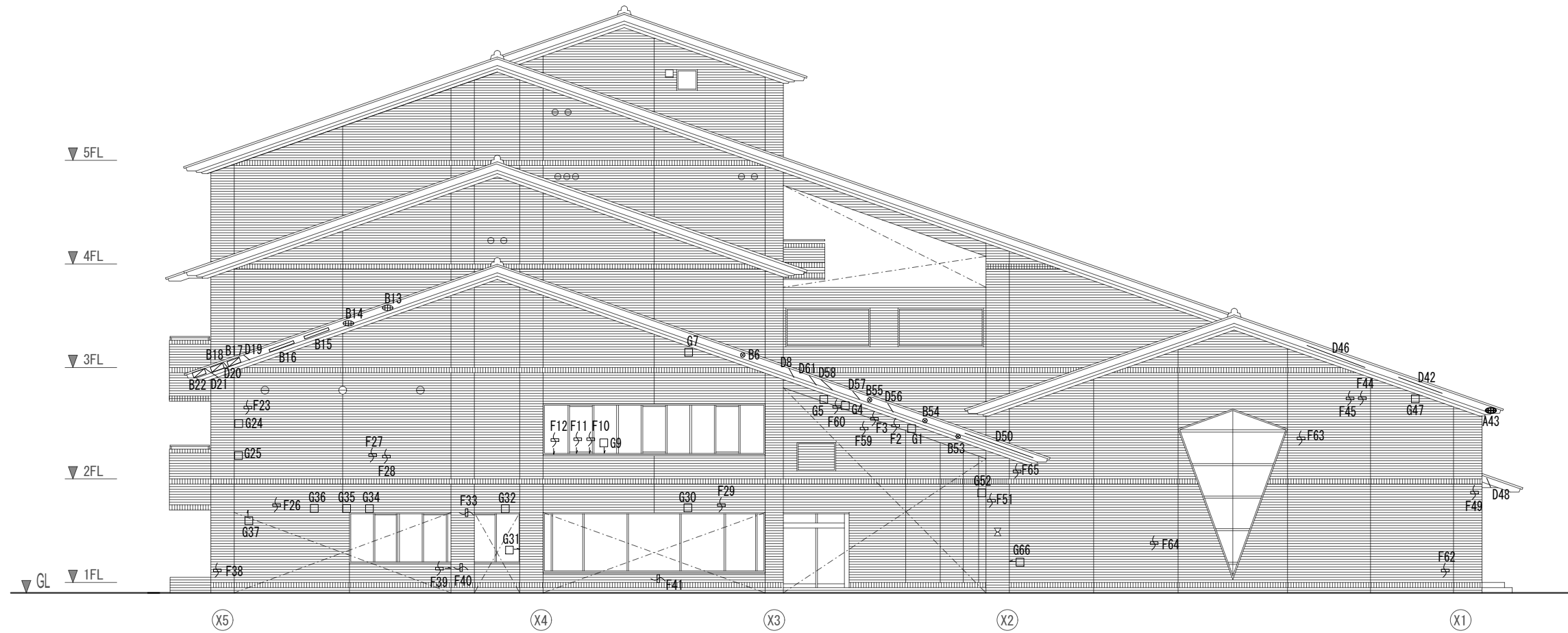
ブレースホルダー納まり例



クリアランス納まり例



変更履歴	月 日	月 日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称	部分詳細図5	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事		担当者	管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号	図示	60-030
					照査技術者	林田祥太郎 一級建築士第395282号	日付	図面No.
					担当者	寺川隆史 一級建築士第389712号	2026年3月	A / 86



東立面図

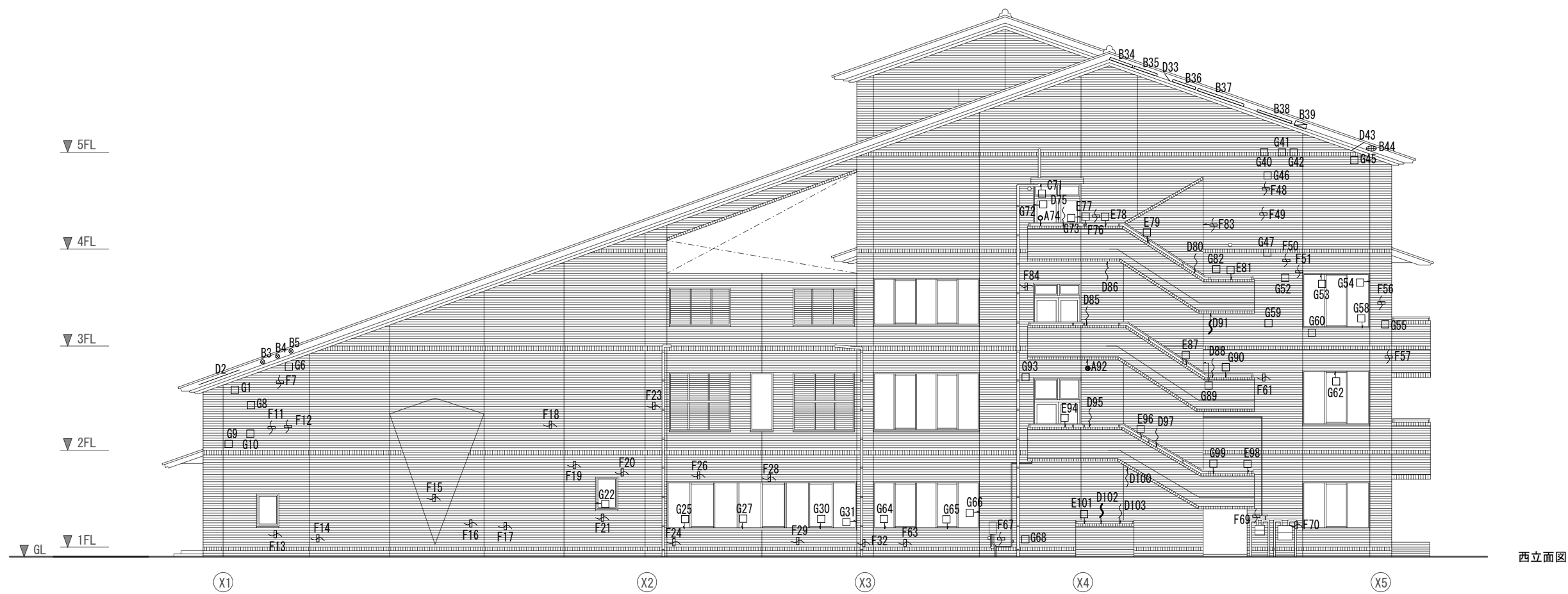
符号	内容	通し番号(数量)	計	単位
○	A 露出鉄筋 50×50			
⊗	A 露出鉄筋 100×100			
⊕	A 露出鉄筋 100×300	43	1	箇所
⊞	A 露出鉄筋 100×500			
□	A 露出鉄筋 100×1000以上			
⊗	B 欠損 100×100	6, 53, 54, 55	4	箇所
⊕	B 欠損 100×300	13, 14	2	箇所
⊞	B 欠損 100×500	17, 18, 22	3	箇所
□	B 欠損 100×1000以上	15, 16	2	箇所
□	C モルタル浮き 0.25㎡未満			
⊞	C モルタル浮き 0.25㎡~1.0㎡			
⌋	D ひび割れ 0.2mm未満	8(0.4), 19(0.3), 20(0.3), 21(0.6), 42(1.8), 46(2.4), 56(0.4), 57(0.4), 58(0.6), 61(0.6)	7.8	m
⌋	D ひび割れ 0.2~1.0mm未満	48(0.8), 50(2.8)	3.6	m
⌋	D ひび割れ 1.0mm以上			
□	E 塗膜浮き			
⌋	F タイル 割れ	—	163	枚
□	G タイル 浮き	—	136	枚

※特記なき数量は1

集計

内容	全体計	補正值=全体計×補正係数	単位
A 露出鉄筋 50×50	1	4	箇所
A 露出鉄筋 100×100	0	0	箇所
A 露出鉄筋 100×300	1	4	箇所
A 露出鉄筋 100×500	8	32	箇所
A 露出鉄筋 100×1000以上	3	12	箇所
B 欠損 100×100	19	76	箇所
B 欠損 100×300	7	28	箇所
B 欠損 100×500	16	64	箇所
B 欠損 100×1000以上	11	44	箇所
C モルタル浮き 0.25㎡未満	0.32	1.28	箇所
C モルタル浮き 0.25㎡~1.0㎡	0.74	2.96	箇所
D ひび割れ 0.2mm未満	113.80	455.20	m
D ひび割れ 0.2~1.0mm未満	6.80	27.20	m
D ひび割れ 1.0mm以上	8.00	32.00	m
E 塗膜浮き	9.11	36.44	㎡
F タイル 割れ	965	3,860	枚
G タイル 浮き	2,405	9,620	枚

補正係数 = 調査範囲 / 全体数量  
 全体数量 4,576.75㎡  
 調査範囲 1,136.02㎡  
 補正係数 4



符号	内容	通し番号(数量)	計	単位
○	A 露出鉄筋 50×50	74	1	箇所
⊗	A 露出鉄筋 100×100			
⊕	A 露出鉄筋 100×300			
▨	A 露出鉄筋 100×500			
□	A 露出鉄筋 100×1000以上			
⊗	B 欠損 100×100	3, 4, 5	3	箇所
⊕	B 欠損 100×300	44	1	箇所
▨	B 欠損 100×500	39	1	箇所
□	B 欠損 100×1000以上	34, 35, 36, 37, 38	5	箇所
□	C モルタル浮き 0.25m <sup>2</sup> 未満	71 (0.12)	0.12	m <sup>2</sup>
▨	C モルタル浮き 0.25m <sup>2</sup> ~1.0m <sup>2</sup>			
⌋	D ひび割れ 0.2mm未満	2 (1.8), 33 (0.4), 43 (0.6), 75 (1.6), 85 (2.6), 86 (0.8), 88 (1.0), 95 (1.9), 97 (1.2), 100 (2.0), 103 (3.6)	17.5	m
⌋	D ひび割れ 0.2~1.0mm未満	80 (2.0)	2.0	m
⌋	D ひび割れ 1.0mm以上	91 (1.7), 102 (0.8)	2.5	m
□	E 塗膜浮き	77 (1.04), 78 (0.56), 79 (0.72), 81 (0.84), 87 (0.18), 94 (0.18), 96 (0.36), 98 (0.48), 101 (0.72)	5.08	m <sup>2</sup>
⌋	F タイル 割れ	—	505	枚
□	G タイル 浮き	—	424	枚

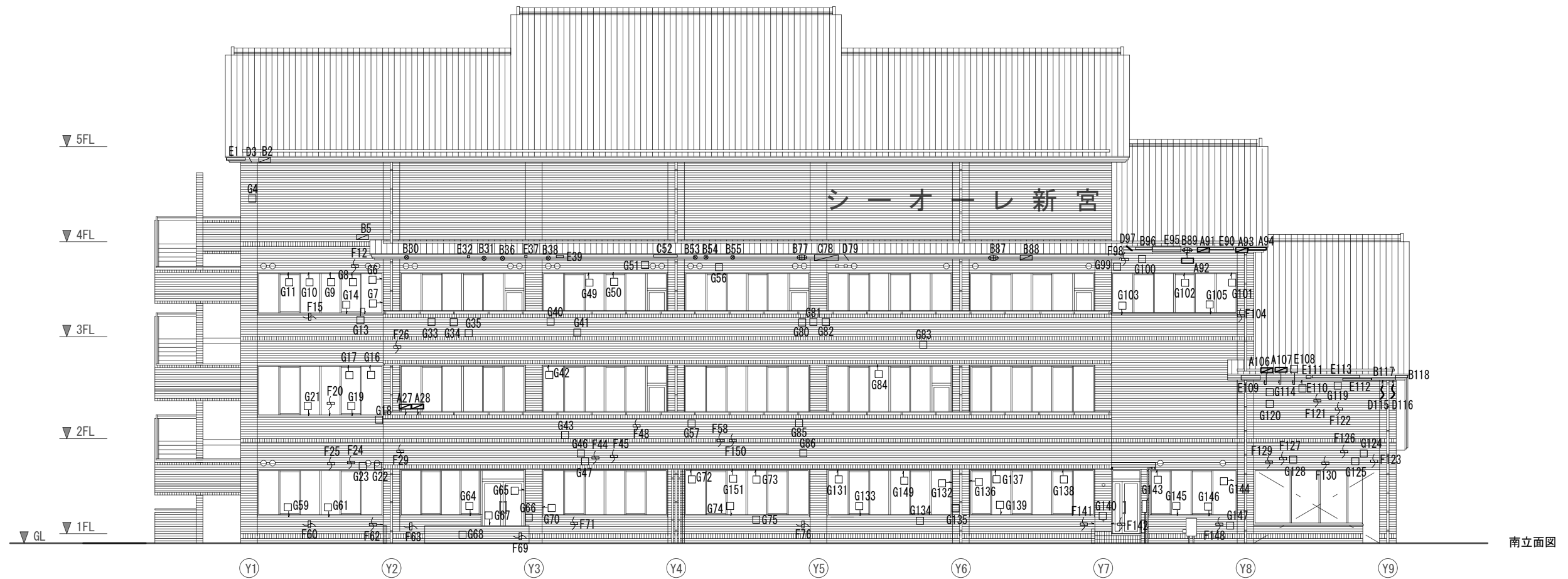
※特記なき数量は1



北立面図

符号	内容	通し番号(数量)	計	単位
○	A 露出鉄筋 50×50			
⊗	A 露出鉄筋 100×100			
⊕	A 露出鉄筋 100×300			
▭	A 露出鉄筋 100×500			
□	A 露出鉄筋 100×1000以上			
⊗	B 欠損 100×100			
⊕	B 欠損 100×300	6	1	箇所
▭	B 欠損 100×500			
□	B 欠損 100×1000以上			
□	C モルタル浮き 0.25㎡未満			
▭	C モルタル浮き 0.25㎡~1.0㎡			
⌋	D ひび割れ 0.2mm未満			
⌋	D ひび割れ 0.2~1.0mm未満	3(0.4), 4(0.2), 5(0.6)	1.2	m
⌋	D ひび割れ 1.0mm以上			
□	E 塗膜浮き			
⌋	F タイル 割れ	—	58	枚
□	G タイル 浮き	—	159	枚

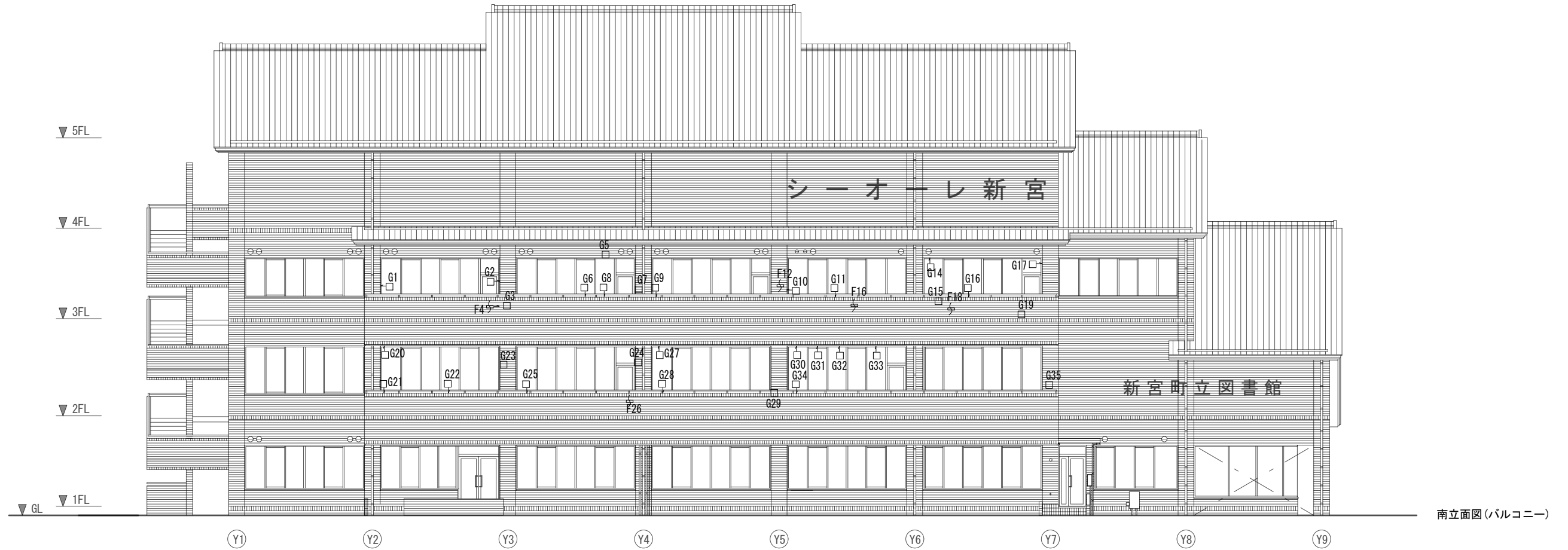
※特記なき数量は1



南立面図

符号	内容	通し番号(数量)	計	単位
○	A 露出鉄筋 50×50			
⊗	A 露出鉄筋 100×100			
⊕	A 露出鉄筋 100×300			
⊠	A 露出鉄筋 100×500	27, 28, 91, 93, 94, 106, 107	7	箇所
□	A 露出鉄筋 100×1000以上	92	1	箇所
⊗	B 欠損 100×100	30, 31, 36, 38, 53, 54, 55	7	箇所
⊕	B 欠損 100×300	77, 87, 89	3	箇所
⊠	B 欠損 100×500	2, 5, 88, 118	4	箇所
□	B 欠損 100×1000以上	96, 117	2	箇所
□	C モルタル浮き 0.25㎡未満	52 (0.2)	0.2	㎡
□	C モルタル浮き 0.25㎡~1.0㎡	78 (0.3)	0.3	㎡
}	D ひび割れ 0.2mm未満	3 (0.5), 79 (0.6)	1.1	m
}	D ひび割れ 0.2~1.0mm未満			
}	D ひび割れ 1.0mm以上	97 (0.8), 115 (0.9), 116 (0.8)	2.5	m
□	E 塗膜浮き	1 (0.08), 32 (0.01), 37 (0.01), 39 (0.03), 90 (0.1), 95 (0.36), 108 (0.24), 109 (0.48), 110 (0.72), 111 (0.02), 112 (0.12), 113 (0.2)	2.37	㎡
✂	F タイル 割れ	—	183	枚
□	G タイル 浮き	—	1316	枚

※特記なき数量は1



南立面図(バルコニー)

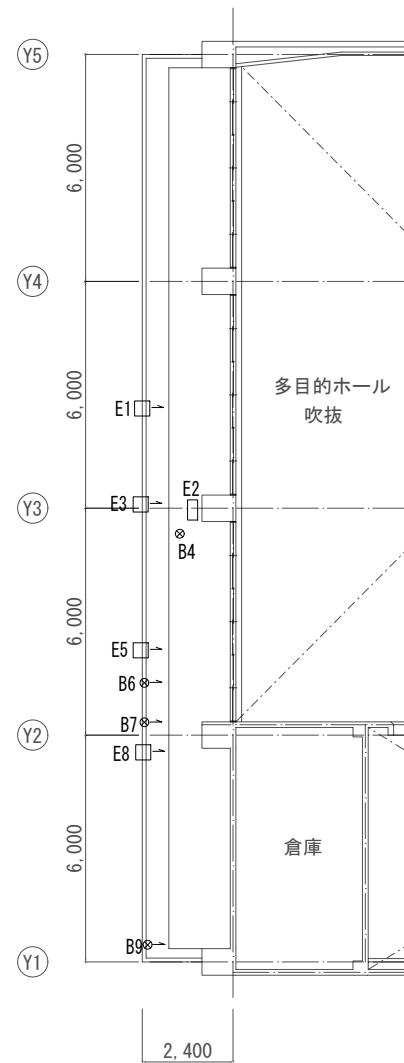
符号	内容	通し番号(数量)	計	単位
○	A 露出鉄筋 50×50			
⊗	A 露出鉄筋 100×100			
⊕	A 露出鉄筋 100×300			
⊞	A 露出鉄筋 100×500			
⊠	A 露出鉄筋 100×1000以上			
⊗	B 欠損 100×100			
⊕	B 欠損 100×300			
⊞	B 欠損 100×500			
⊠	B 欠損 100×1000以上			
□	C モルタル浮き 0.25㎡未満			
▣	C モルタル浮き 0.25㎡～1.0㎡			
⌋	D ひび割れ 0.2mm未満			
⌋	D ひび割れ 0.2～1.0mm未満			
⌋	D ひび割れ 1.0mm以上			
□	E 塗膜浮き			
⌋	F タイル 割れ	—	11	枚
□	G タイル 浮き	—	252	枚

※特記なき数量は1

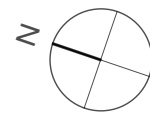
2階 劣化部凡例・数量表

符号	内容	通し番号(数量)	計	単位
○	A 露出鉄筋 50×50			
⊗	A 露出鉄筋 100×100			
⊕	A 露出鉄筋 100×300			
▧	A 露出鉄筋 100×500			
□	A 露出鉄筋 100×1000以上			
⊗	B 欠損 100×100			
⊕	B 欠損 100×300			
▧	B 欠損 100×500	21, 33, 34	3	箇所
□	B 欠損 100×1000以上	22	1	箇所
□	C モルタル浮き 0.25㎡未満			
▨	C モルタル浮き 0.25㎡～1.0㎡			
⌋	D ひび割れ 0.2mm未満	25(0.4), 26(2.6), 27(0.3), 28(2.4), 29(2.7), 30(1.6), 31(0.8), 32(0.4)	11.2	m
⌋	D ひび割れ 0.2～1.0mm未満			
⌋	D ひび割れ 1.0mm以上			
□	E 塗膜浮き	12(0.01), 13(0.01), 14(0.01), 18(0.12), 19(0.05)	0.2	㎡
⌋	F タイル 割れ	—	45	枚
□	G タイル 浮き	—	118	枚

※特記なき数量は1



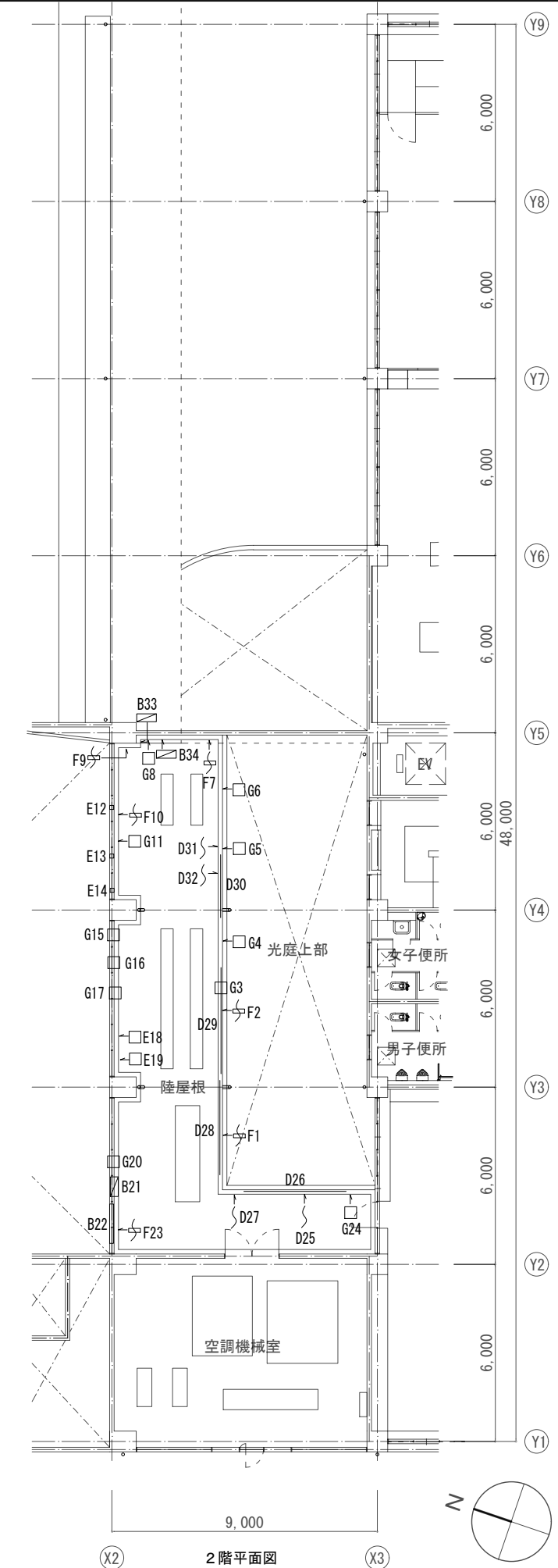
(X1) 1階天井伏図



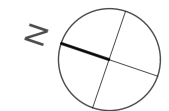
1階 劣化部凡例・数量表

符号	内容	通し番号(数量)	計	単位
○	A 露出鉄筋 50×50			
⊗	A 露出鉄筋 100×100			
⊕	A 露出鉄筋 100×300			
▧	A 露出鉄筋 100×500			
□	A 露出鉄筋 100×1000以上			
⊗	B 欠損 100×100	4, 6, 7(2), 9	5	箇所
⊕	B 欠損 100×300			
▧	B 欠損 100×500			
□	B 欠損 100×1000以上			
□	C モルタル浮き 0.25㎡未満			
▨	C モルタル浮き 0.25㎡～1.0㎡			
⌋	D ひび割れ 0.2mm未満			
⌋	D ひび割れ 0.2～1.0mm未満			
⌋	D ひび割れ 1.0mm以上			
□	E 塗膜浮き	1(0.18), 2(0.08), 3(0.21), 5(0.12), 8(0.12)	0.71	㎡
⌋	F タイル 割れ			
□	G タイル 浮き			

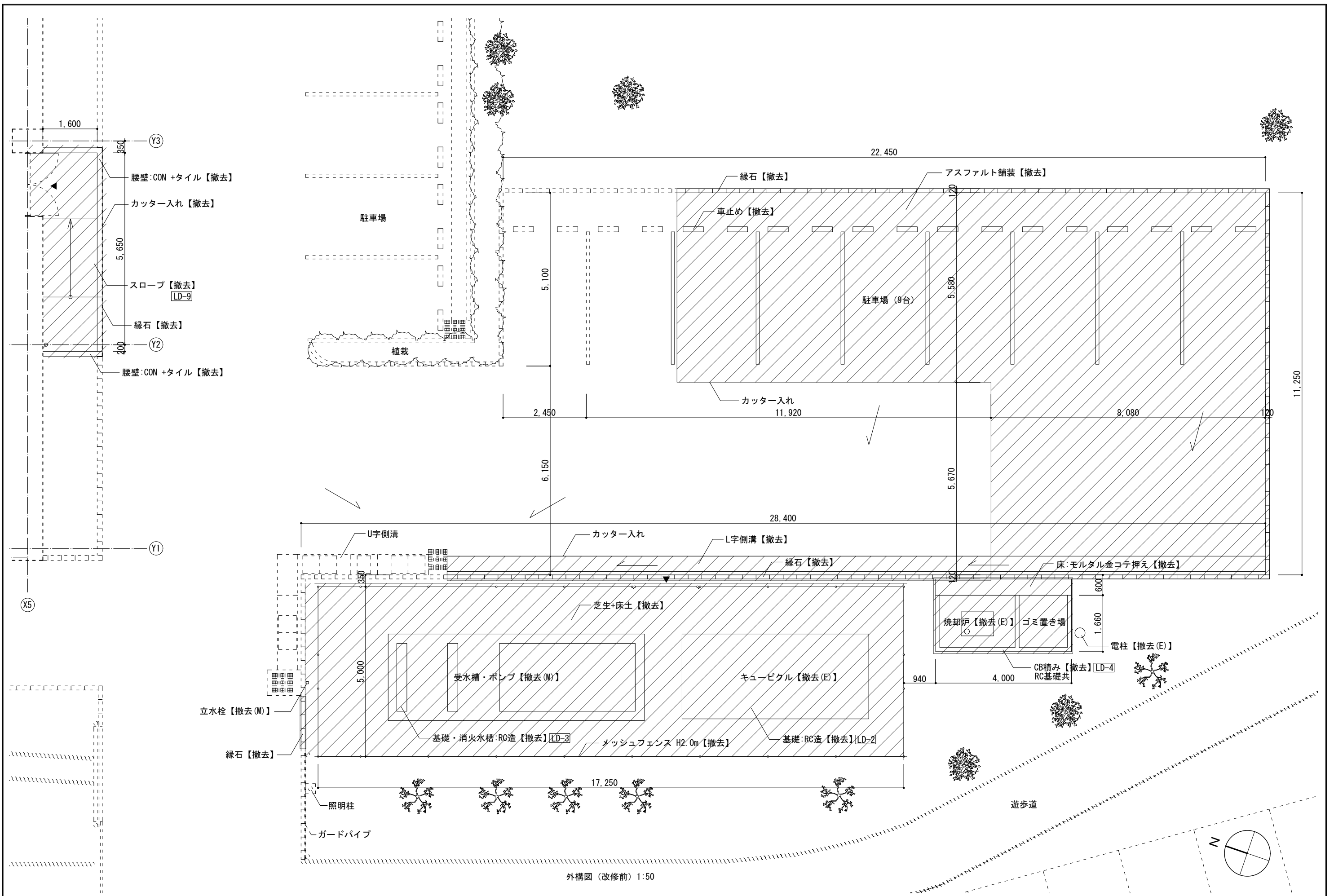
※特記なき数量は1



(X2) 2階平面図



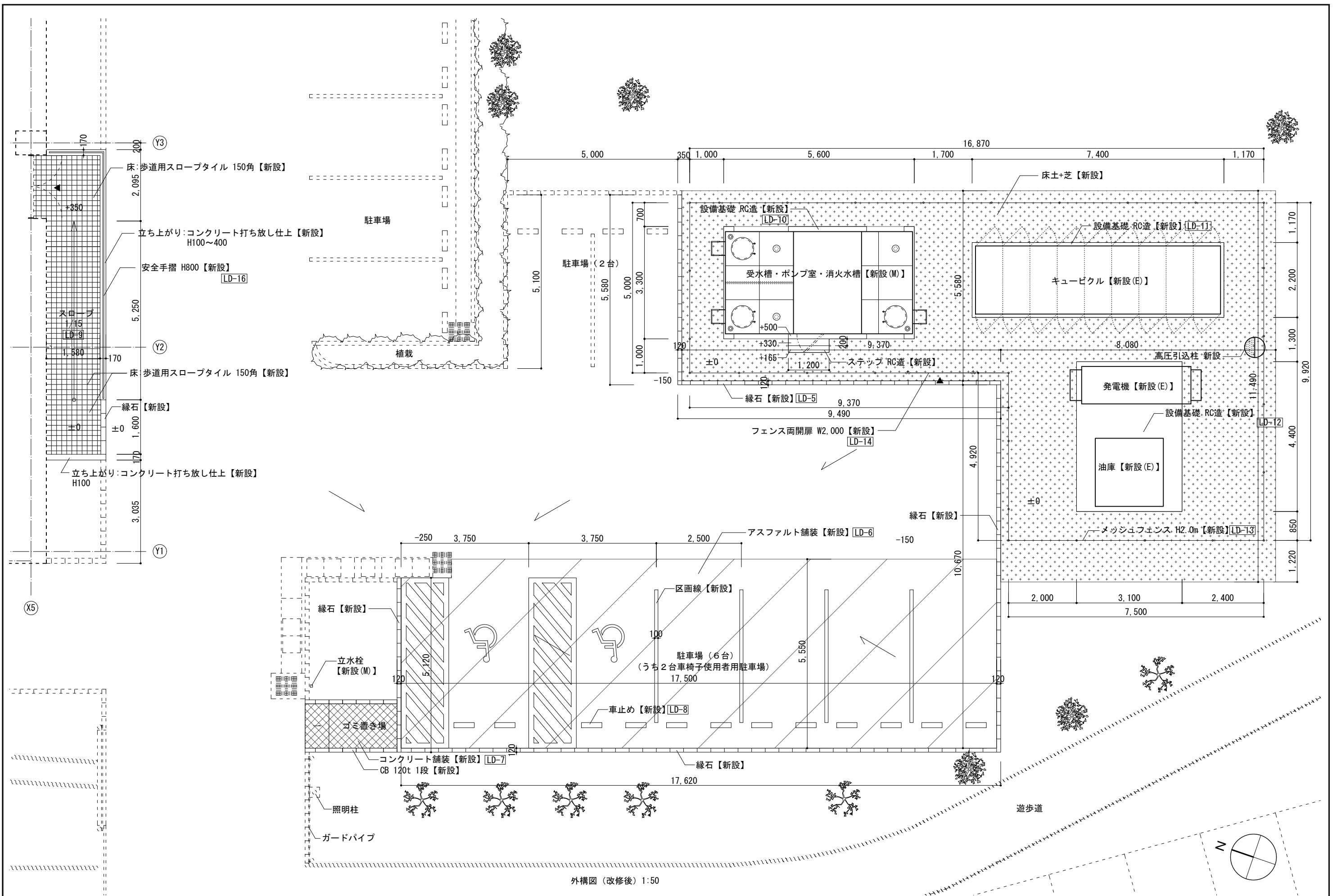




外構図 (改修前) 1:50

(M) 機械設備工事 (E) 電気設備工事を表す。

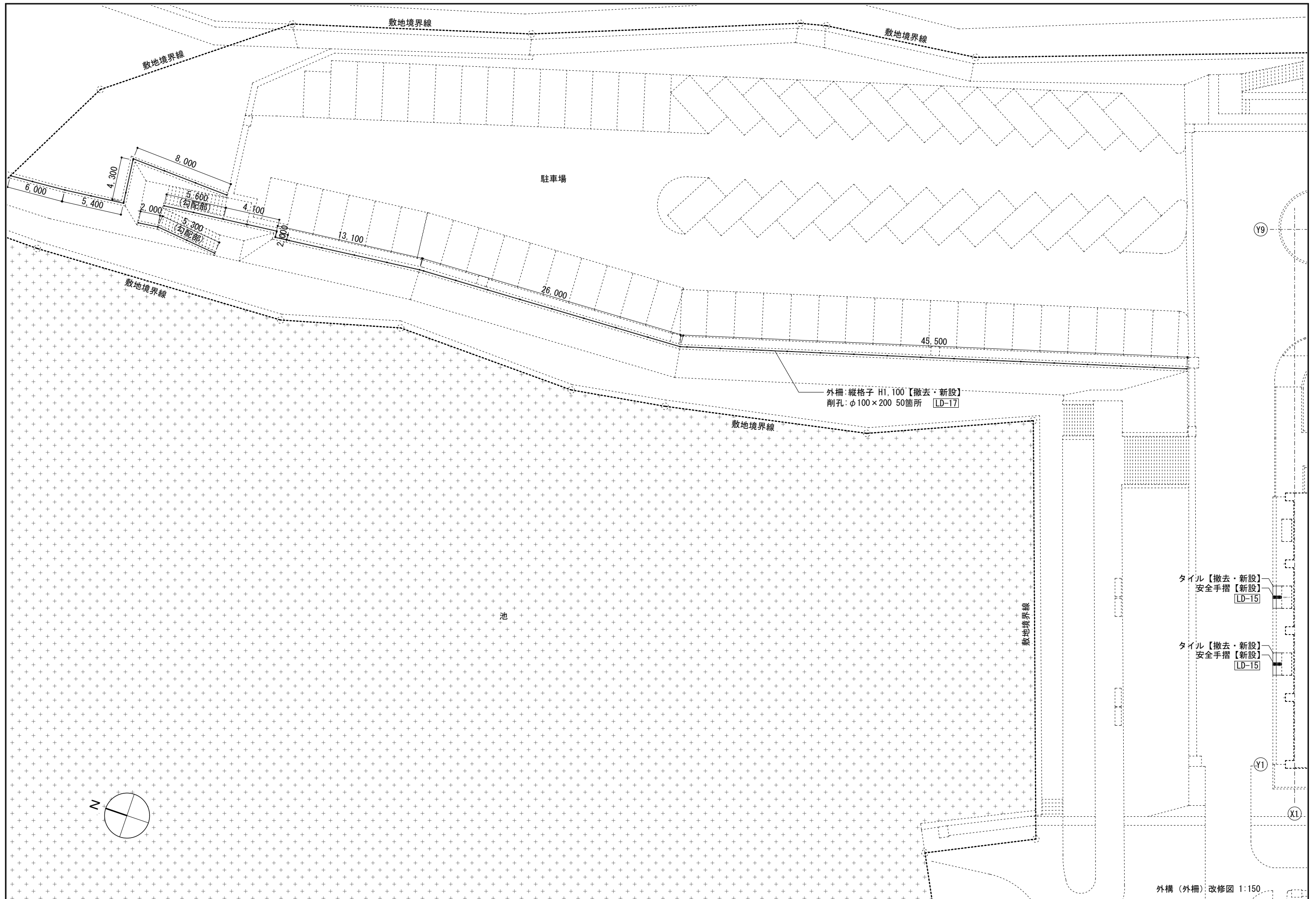
変更履歴	月. 日	月. 日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称	外構図 1	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事		担当者	管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号	図示	60-030
					照査技術者	林田祥太郎 一級建築士第395282号	日付	図面No.
					担当者	寺川隆史 一級建築士第389712号	2026年3月	A / 94



外構図 (改修後) 1:50

(M) 機械設備工事 (E) 電気設備工事を表す。


変更履歴	月. 日	月. 日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称	外構図 2	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事		担当者	管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号	図示	60-030
					照査技術者	林田祥太郎 一級建築士第395282号	日付	図面No.
					担当者	寺川隆史 一級建築士第389712号	2026年3月	A / 95

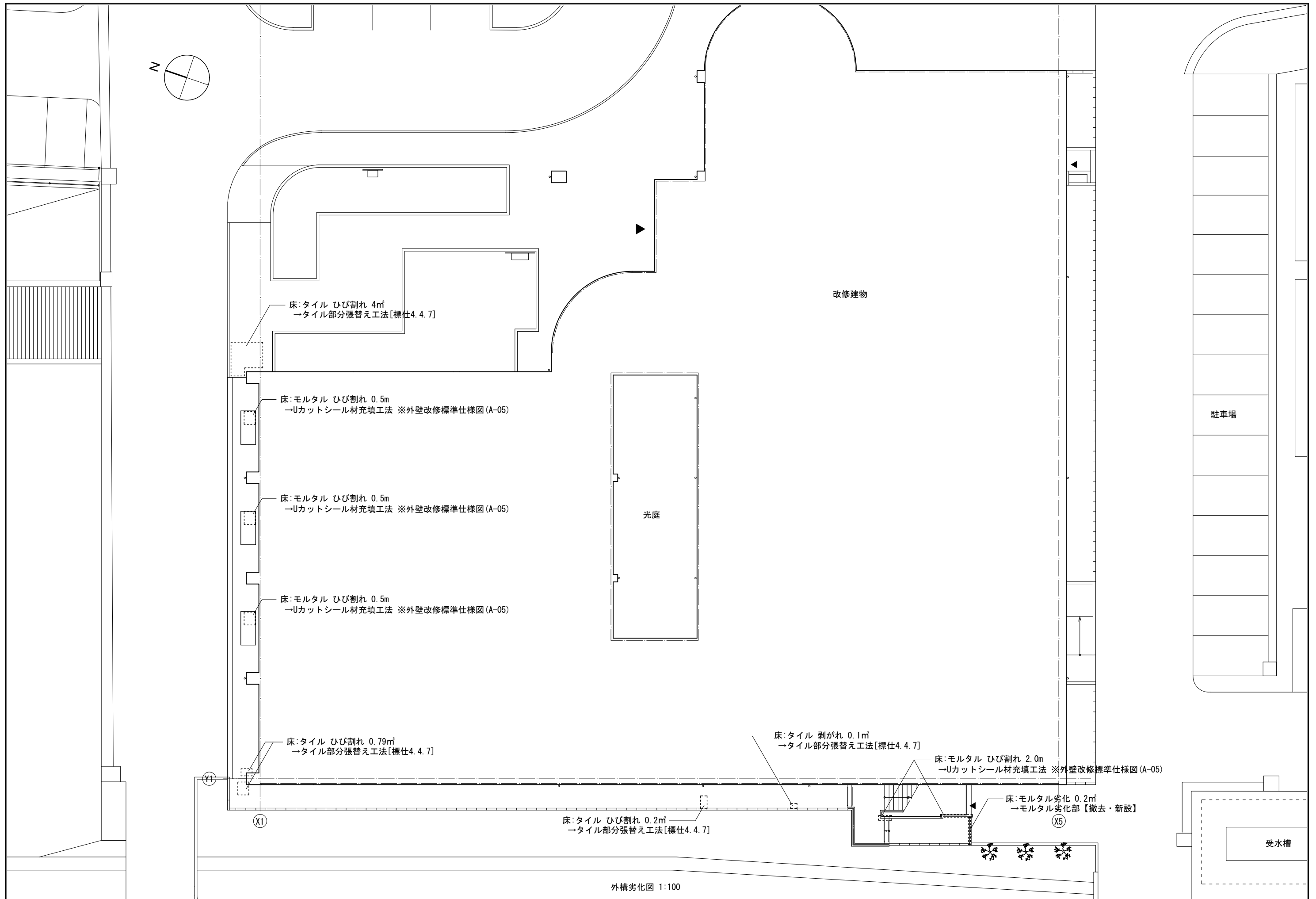



タイル【撤去・新設】  
安全手摺【新設】 [LD-15]

タイル【撤去・新設】  
安全手摺【新設】 [LD-15]

外構（外柵）改修図 1:150

変更履歴	月.日	月.日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称 外構図3	縮尺 図示	管理No. 60-030



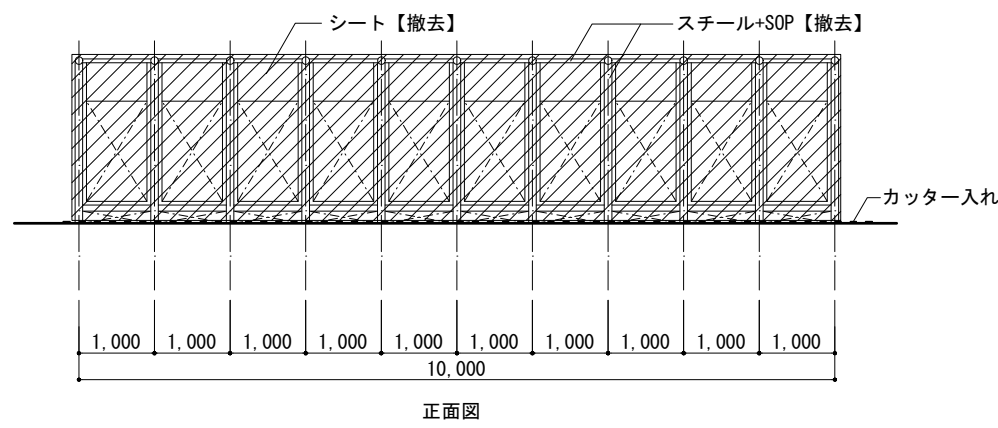
変更履歴	月. 日	月. 日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称 外構劣化改修図	縮尺	管理No.
						図示	60-030
					担当者	日付	図面No.
					管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号	2026年3月	A / 97
					照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号		
					担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号		

LD-1 駐輪場【撤去】

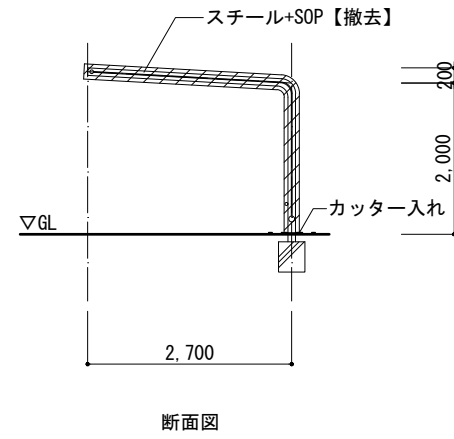
1:50

LD-2 キュービクル基礎【撤去】

1:50

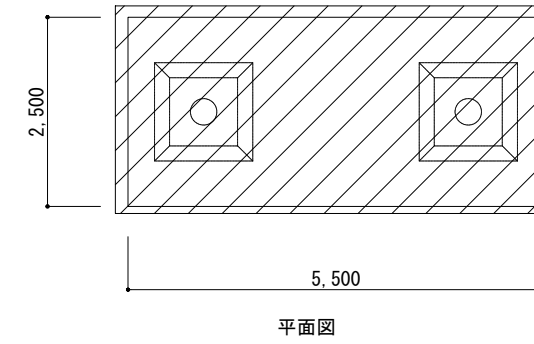


正面図

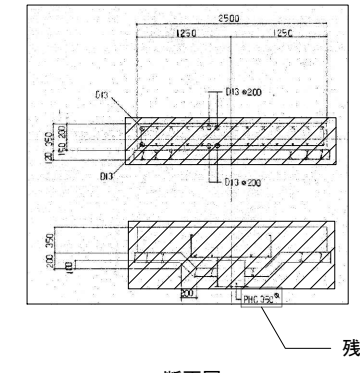


断面図

カッター入れ部より上部撤去  
※カッター入れ部より下部残置



平面図

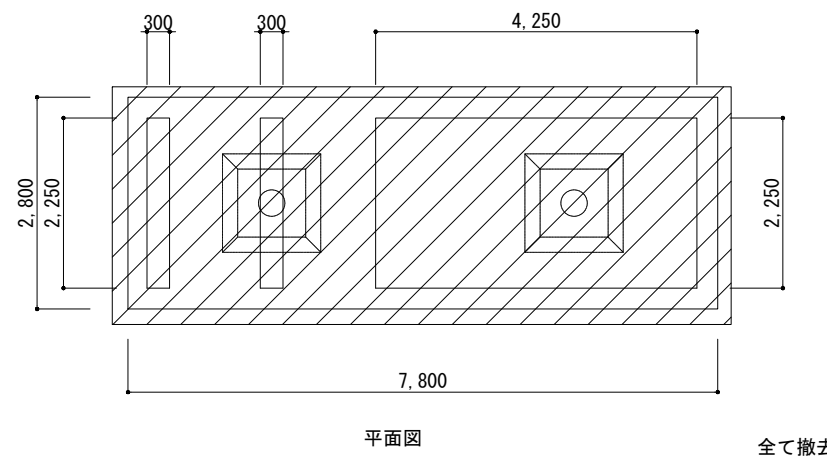


断面図

残置

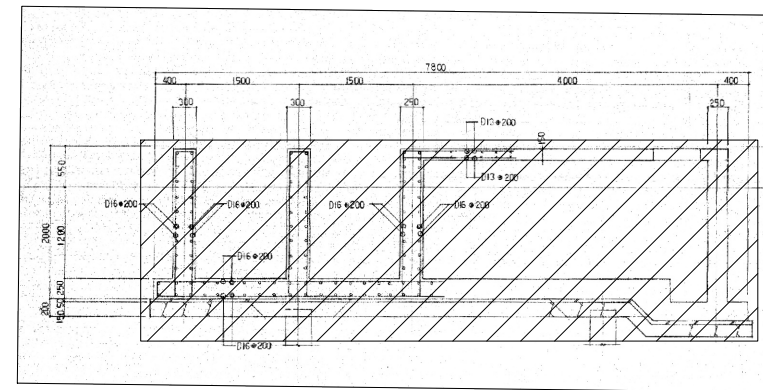
LD-3 受水槽基礎・消火水槽【撤去】

1:50



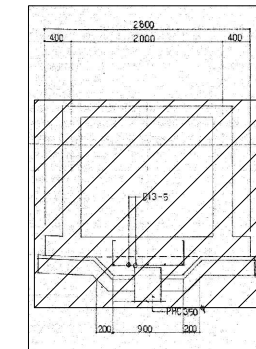
平面図

全て撤去



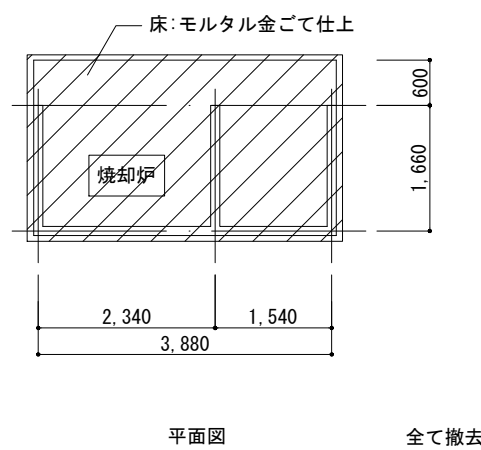
断面図

全て撤去



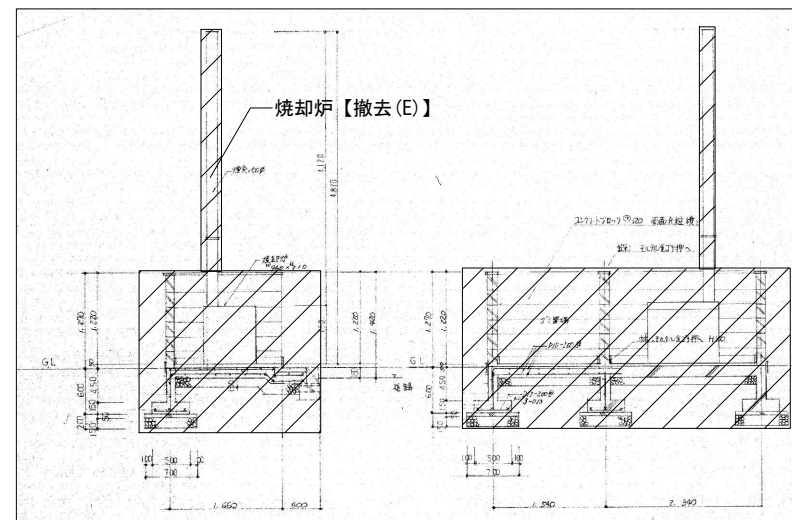
LD-4 ゴミ置き場【撤去】

1:50



平面図

全て撤去



断面図

全て撤去

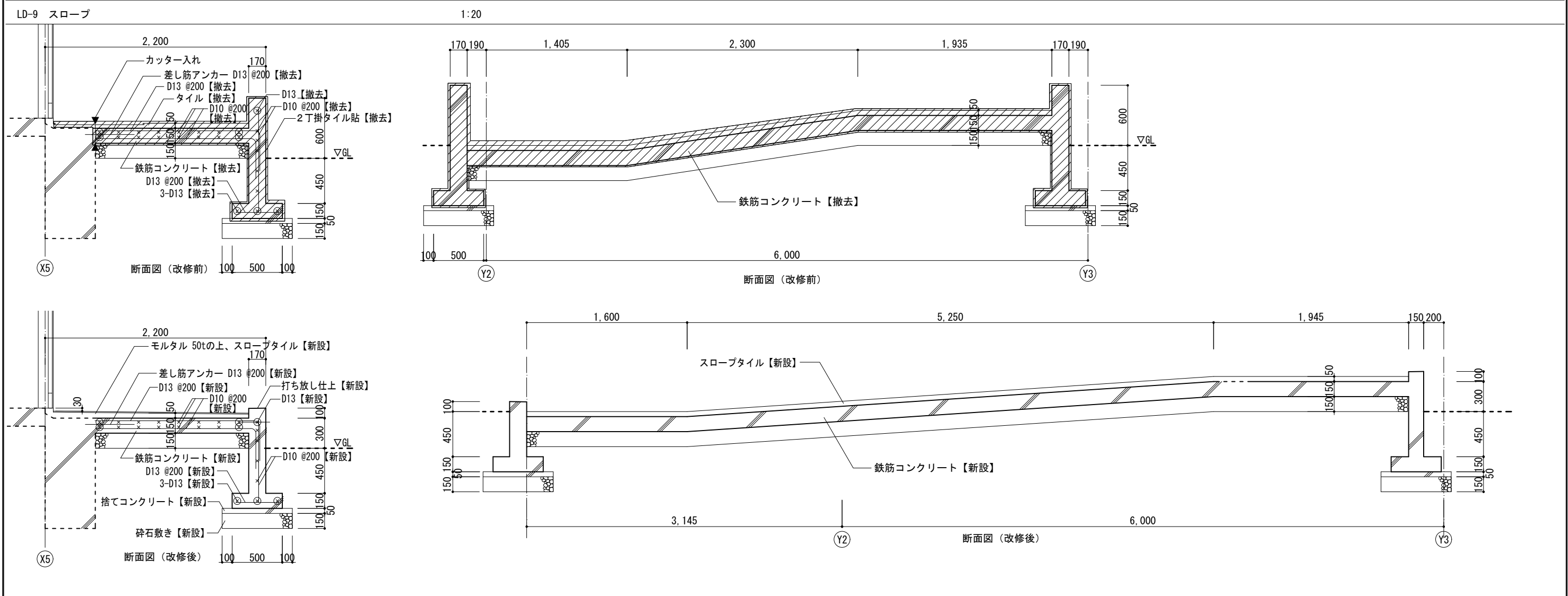
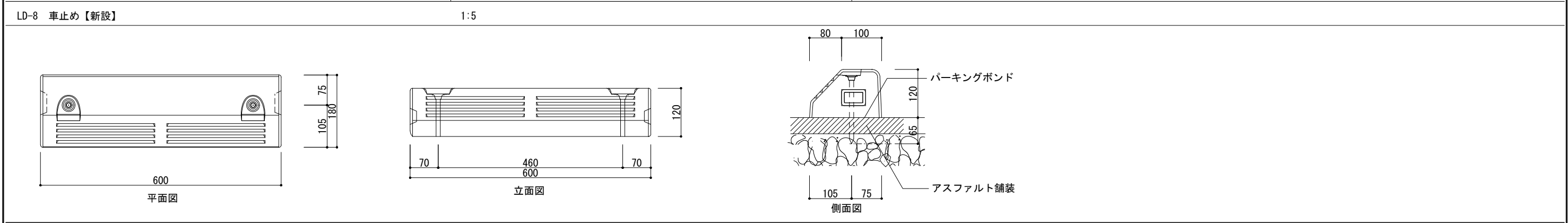
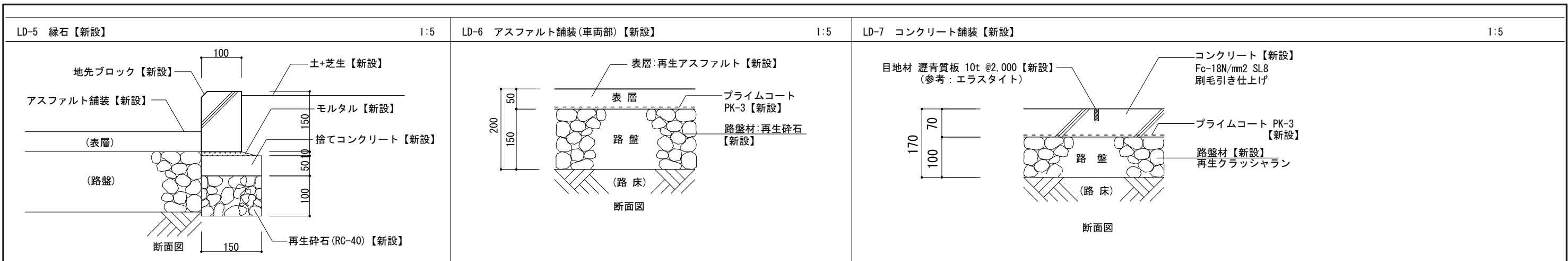
変更履歴	月.日	月.日

工事名称	シーオーレ新宮大規模改修工事
------	----------------

株式会社	阿波設計事務所九州支店
一級建築士事務所	福岡県知事登録第1-60917号
管理建築士	一級建築士 第109706号 木下哲夫

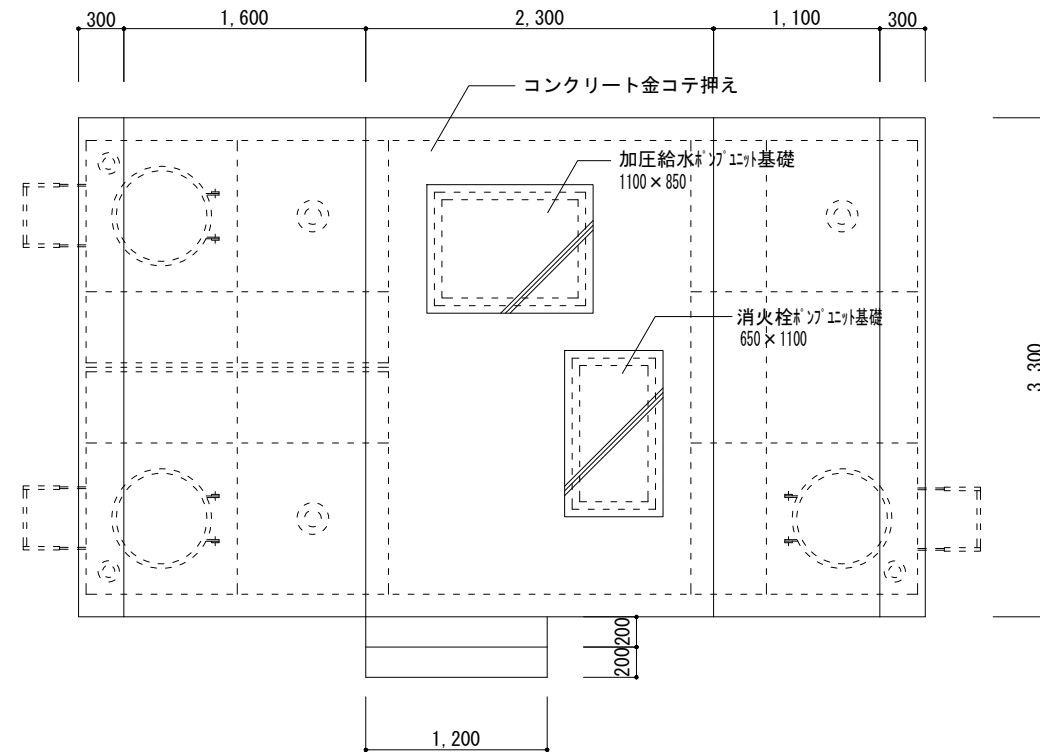
図面名称	外構部分詳細図 1
担当者	管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号
	照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号
	担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号

縮尺	図示	管理No.	60-030
日付	2026年3月	図面No.	A / 98

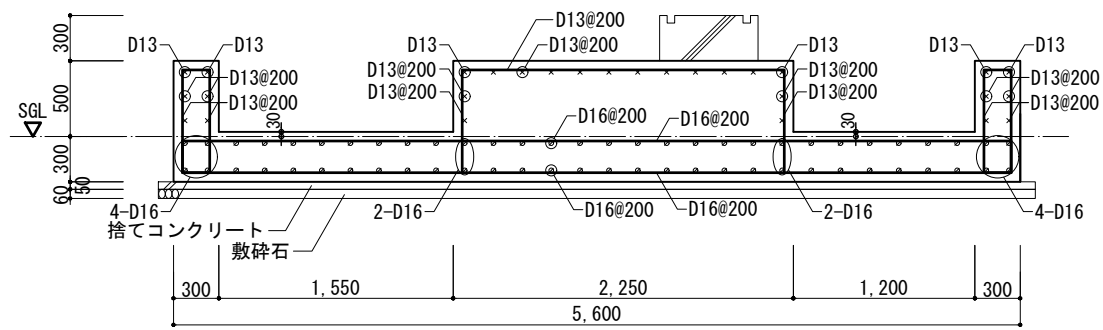


変更履歴	月、日	月、日	工事名称	図面名称	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事	外構部分詳細図 2	図示	60-030
				担当者	日付	図面No.
				管理技術者 大林 二 一級建築士 第308950号	2026年3月	A / 99
				照査技術者 林田 祥太郎 一級建築士 第395282号		
				担当者 寺川 隆史 一級建築士 第389712号		

株式会社 阿波設計事務所九州支店  
 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号  
 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下 哲矢



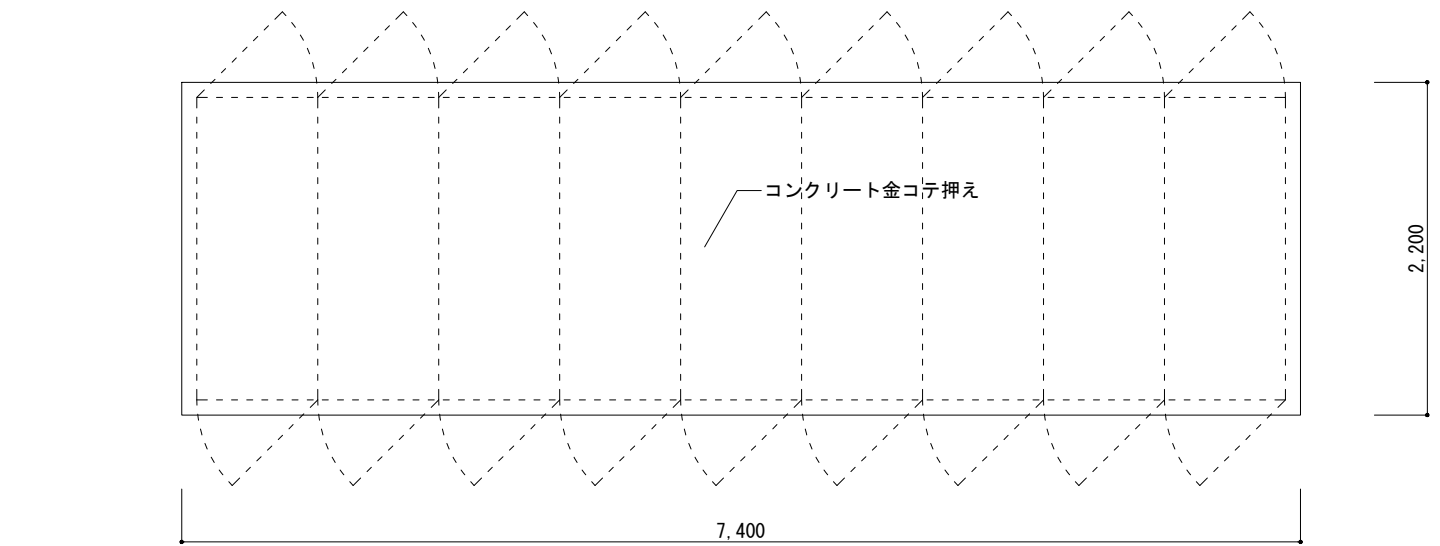
平面図



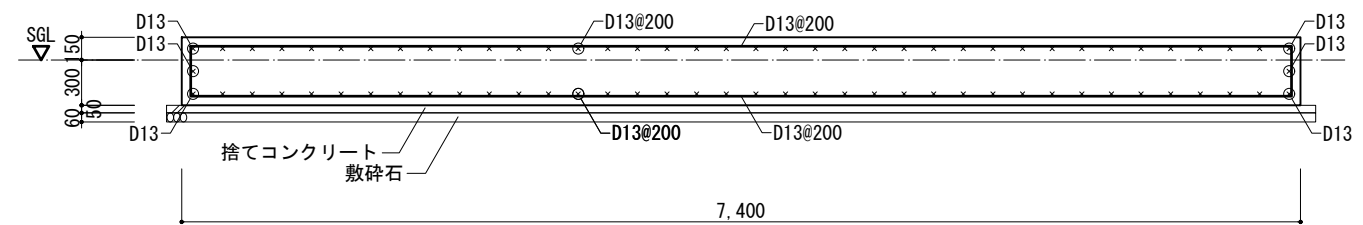
断面図・配筋図

共通事項

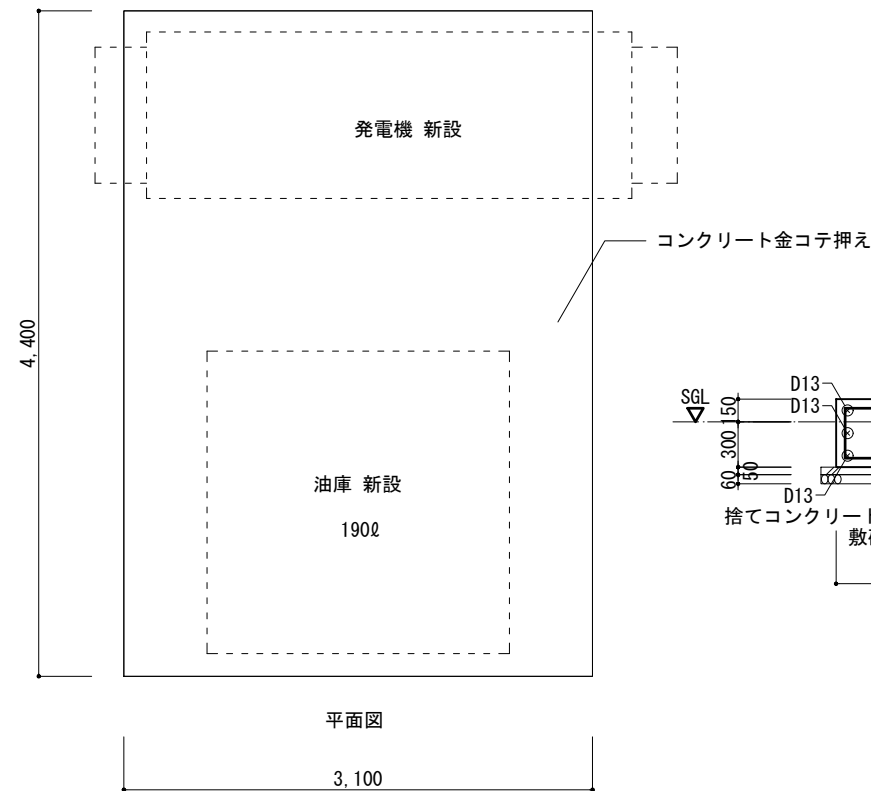
- ・コンクリート強度：Fc21 N/mm<sup>2</sup>
- ・鉄筋材質：SD295 (D10~D16)
- ・基礎底：SGL-300
- ・設計地耐力：25kN/m<sup>2</sup> (長期) ※地耐力の確認を行うこと



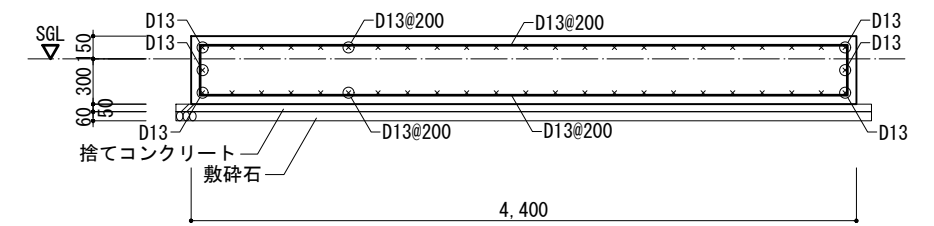
キュービクル基礎 平面詳細図 1:50



断面詳細図・配筋図 1:50



平面図



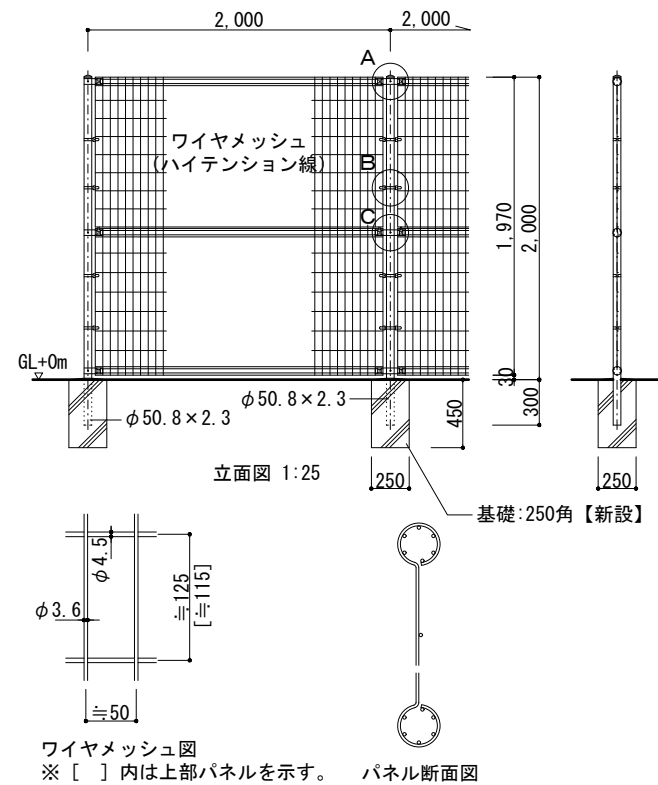
断面図・配筋図

変更履歴	月.日	月.日	工事名称
			シーオーレ新宮大規模改修工事

図面名称	縮尺	管理No.
外構部分詳細図 3	図示	60-030
担当者	日付	図面No.
管理技術者 大林 二 一級建築士 第308950号	2026年3月	A / 100
照査技術者 林田 祥太郎 一級建築士 第395282号		
担当者 寺川 隆史 一級建築士 第38912号		

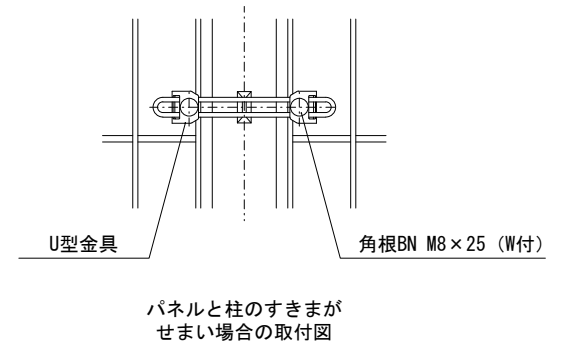
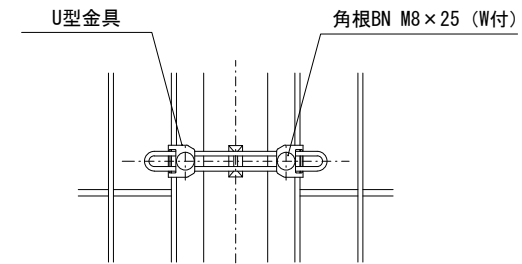
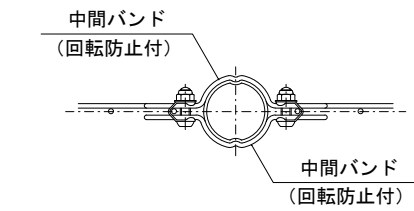
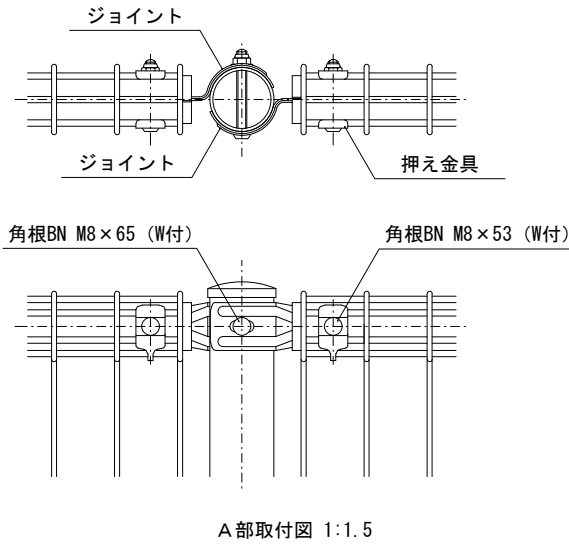
株式会社 阿波設計事務所九州支店  
 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号  
 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下 哲矢

図面名称	縮尺	管理No.
外構部分詳細図 3	図示	60-030
担当者	日付	図面No.
管理技術者 大林 二 一級建築士 第308950号	2026年3月	A / 100
照査技術者 林田 祥太郎 一級建築士 第395282号		
担当者 寺川 隆史 一級建築士 第38912号		

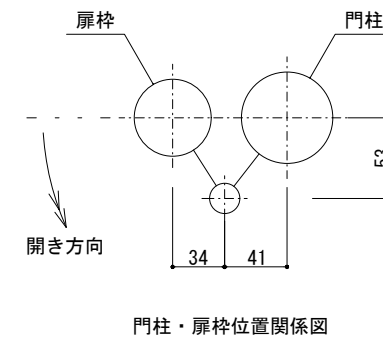
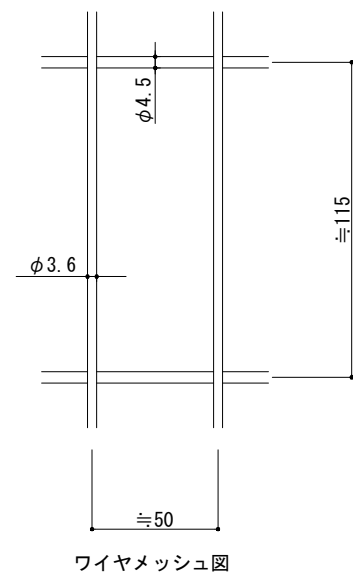
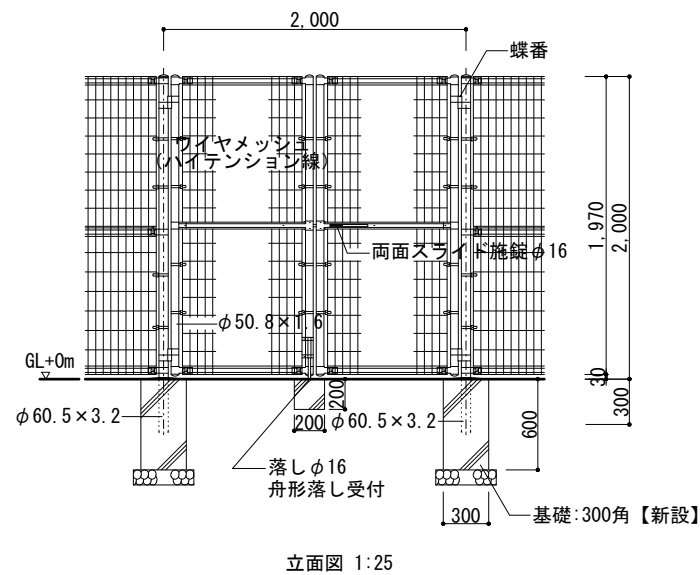
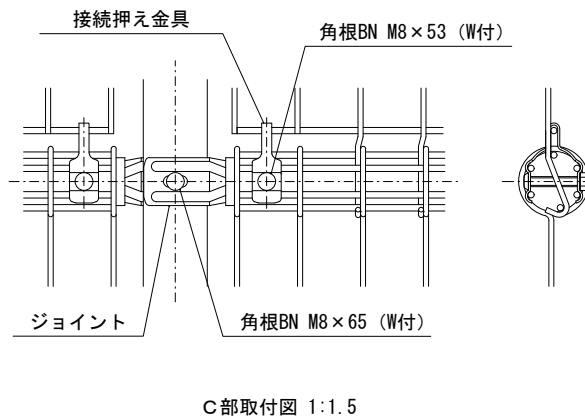


設計条件  
 設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。  
 基礎条件・・・長期許容地耐力 98 kN/m<sup>2</sup> (10 t/m<sup>2</sup>)

備考  
 1. 外装は溶融亜鉛めっきとする。



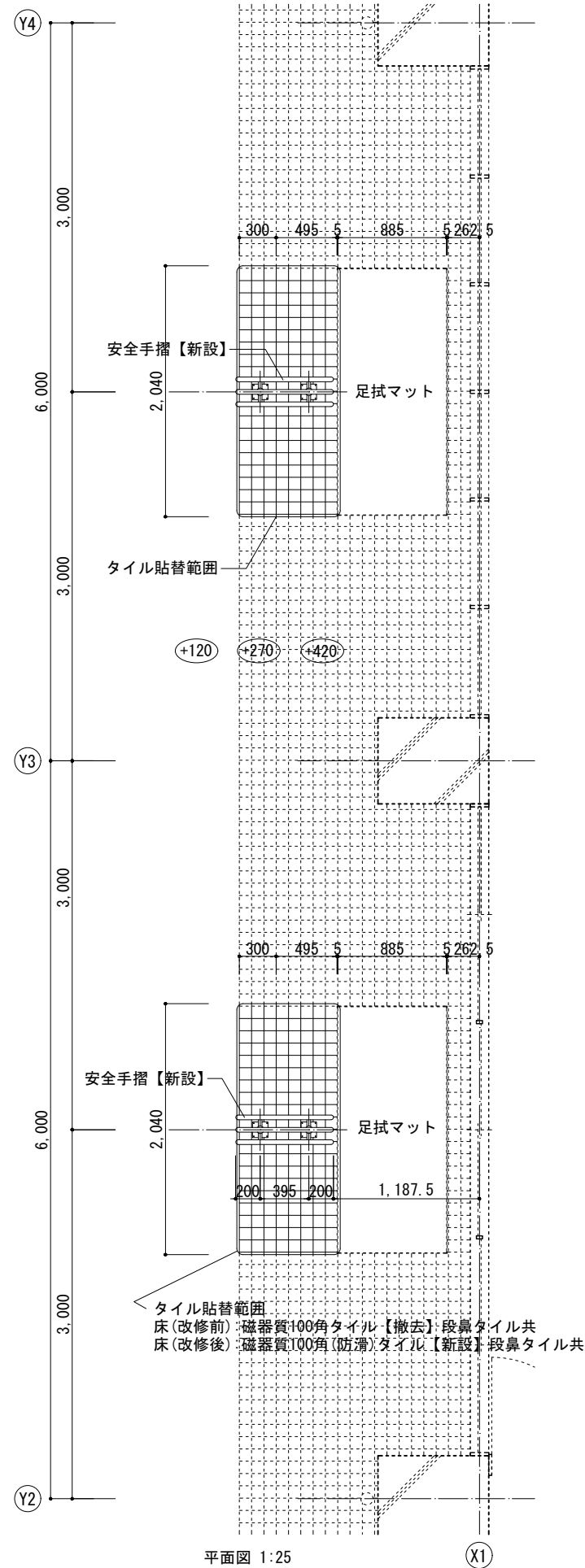
B部取付図 1:1.5



備考  
 1. 外装は溶融亜鉛めっきとする。  
 2. 本図門扉は片側180°開きとする。

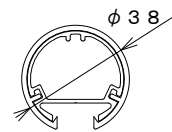
変更履歴	月 日	月 日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称	外構部分詳細図 4	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事		担当者	管理技術者 大林信二 一級建築士第308950号	図示	60-030
					照査技術者	林田祥太郎 一級建築士第395282号	日付	2026年3月
					担当者	寺川隆史 一級建築士第389712号	図面No.	A / 101

LD-15 安全手摺【新設】

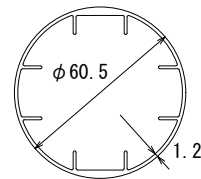


平面図 1:25

① 手すり38



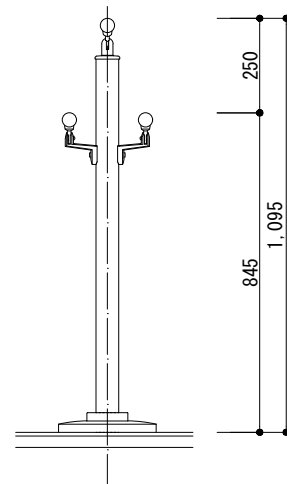
② SB支柱T



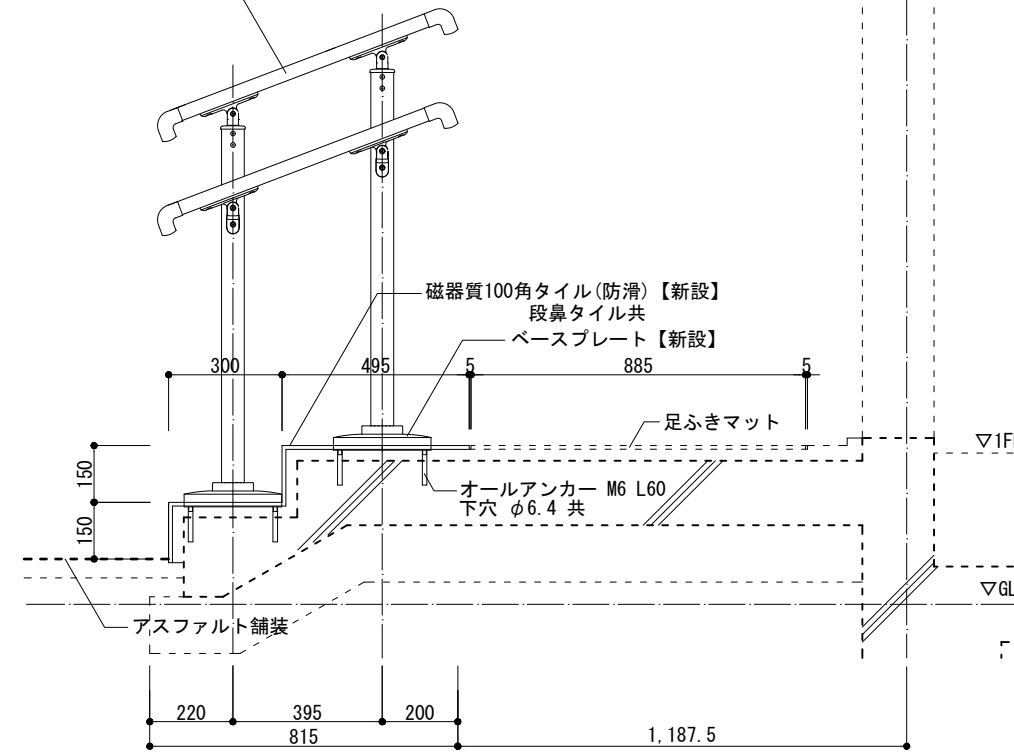
主要部材断面図 1:1

ボルト・ナット・座金 ステンレス	
③ SBアール端部キャップ	アルミダイカスト (アクリル溶剤塗装)
② SB支柱T	アルミ押出型材 (陽極酸化・塗装複合皮膜)
① 手すり38	ASA+アルミ押出型材 (陽極酸化・塗装複合皮膜) 木粉ASA+アルミ押出型材 (陽極酸化・塗装複合皮膜)
主要部材	仕様 (材質・塗装)

安全手摺【新設】  
被覆タイプ

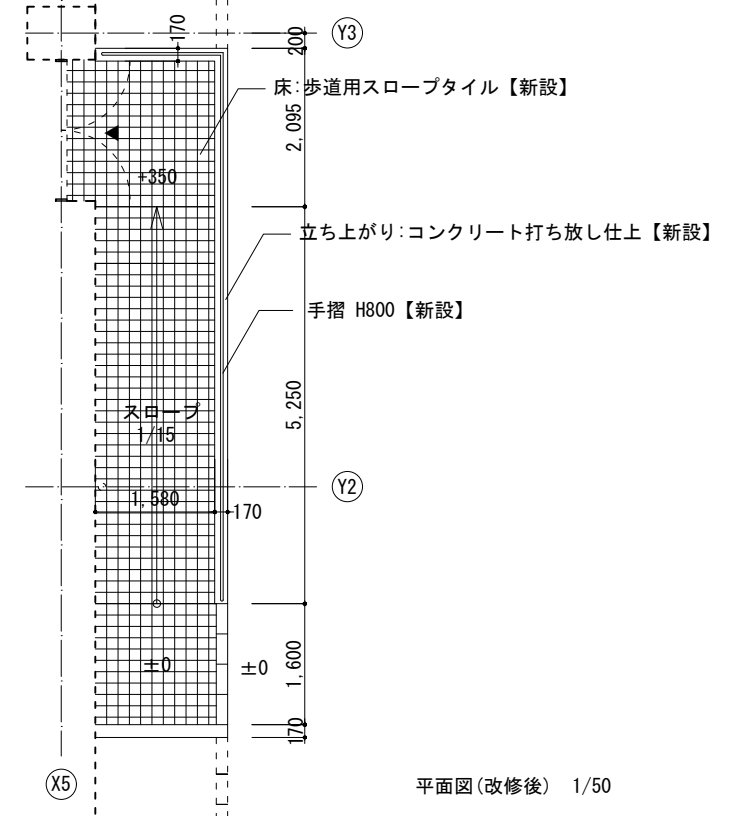


正面図 1/10



断面図(改修後) 1/10

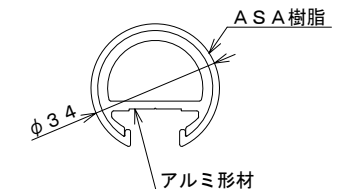
LD-16 安全手摺【新設】



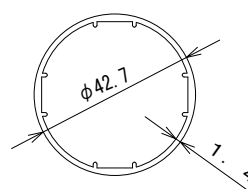
平面図(改修後) 1/50

ボルト・ナット・座金 ステンレス	
③ SUアール端部キャップ	アルミダイカスト (アクリル溶剤塗装)
② SJ支柱A	アルミ押出型材 (陽極酸化・塗装複合皮膜)
① 手すり	ASA+アルミ押出型材 (樹脂+陽極酸化・塗装複合皮膜)
主要部材	仕様 (材質・塗装)

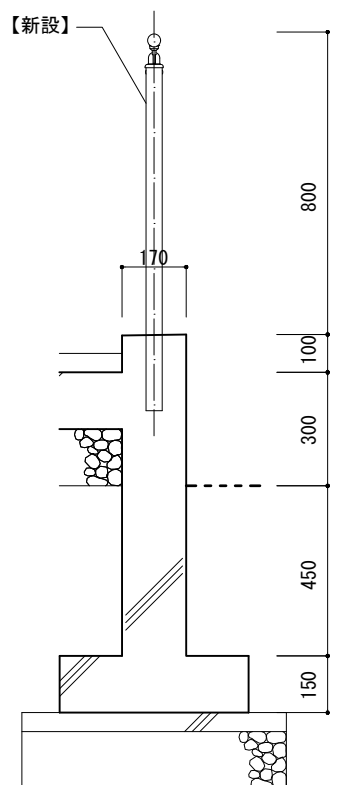
① 手すり38

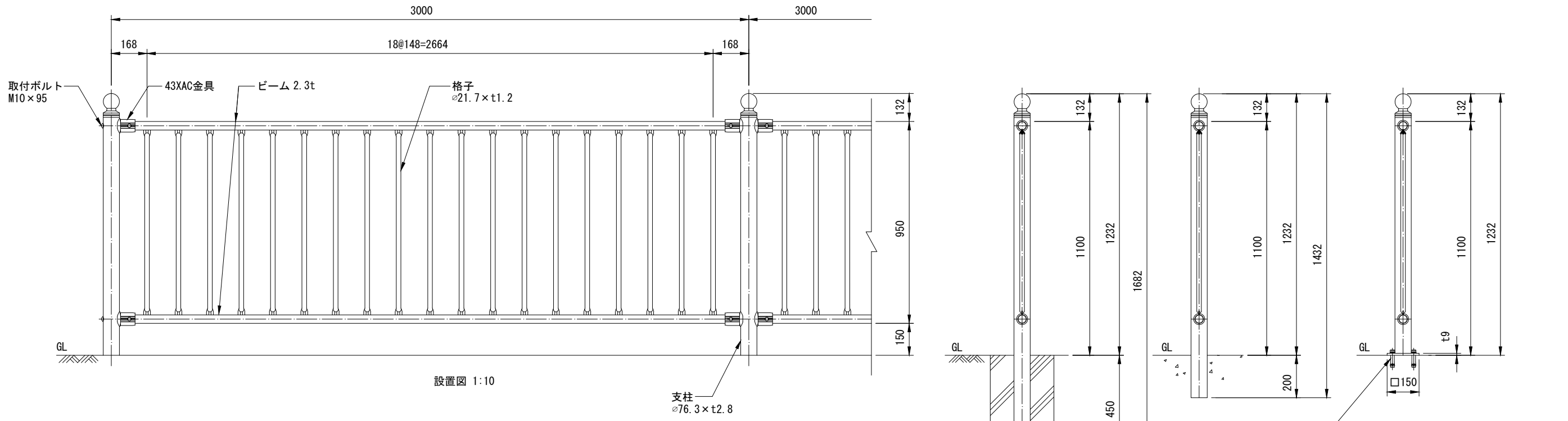


② SJ支柱A



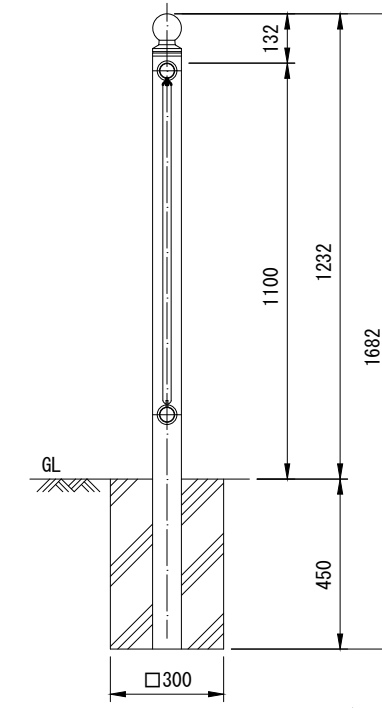
主要部材断面図 1:1



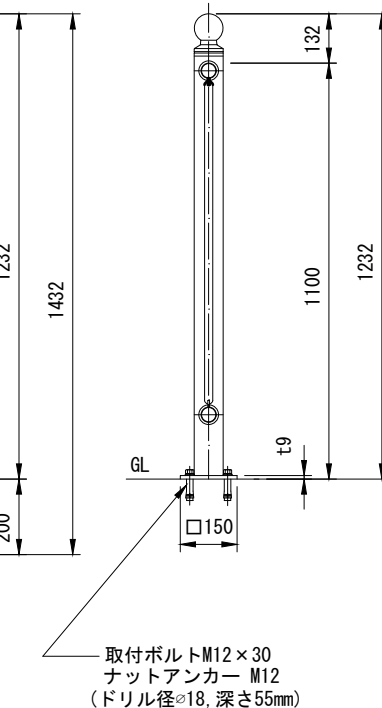


設置図 1:10

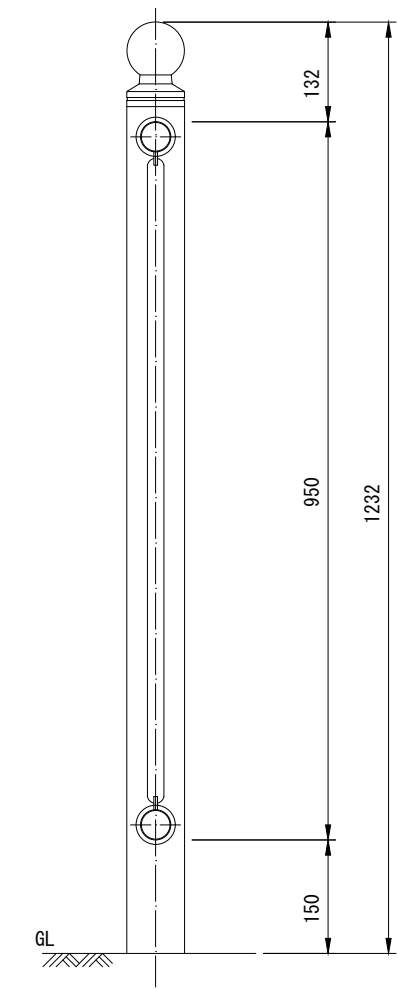
支柱  
φ76.3×t2.8



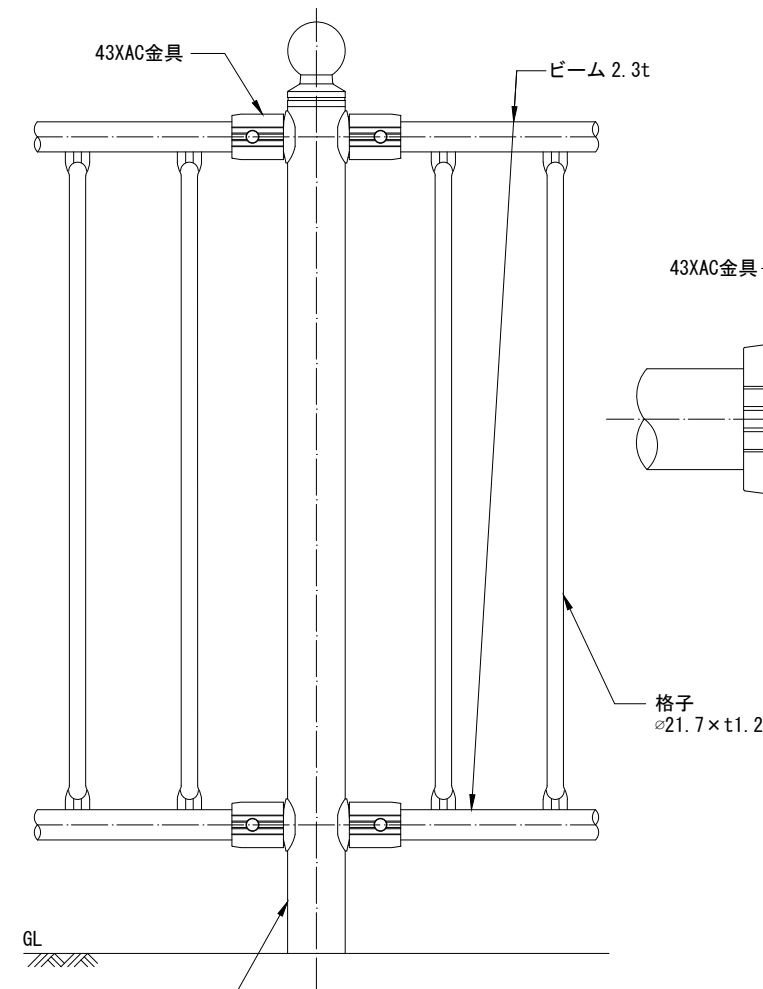
取付部詳細図 1:1.5



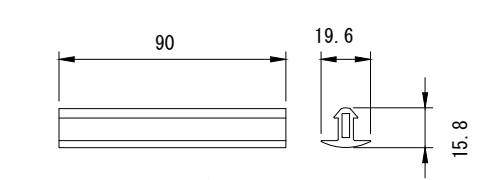
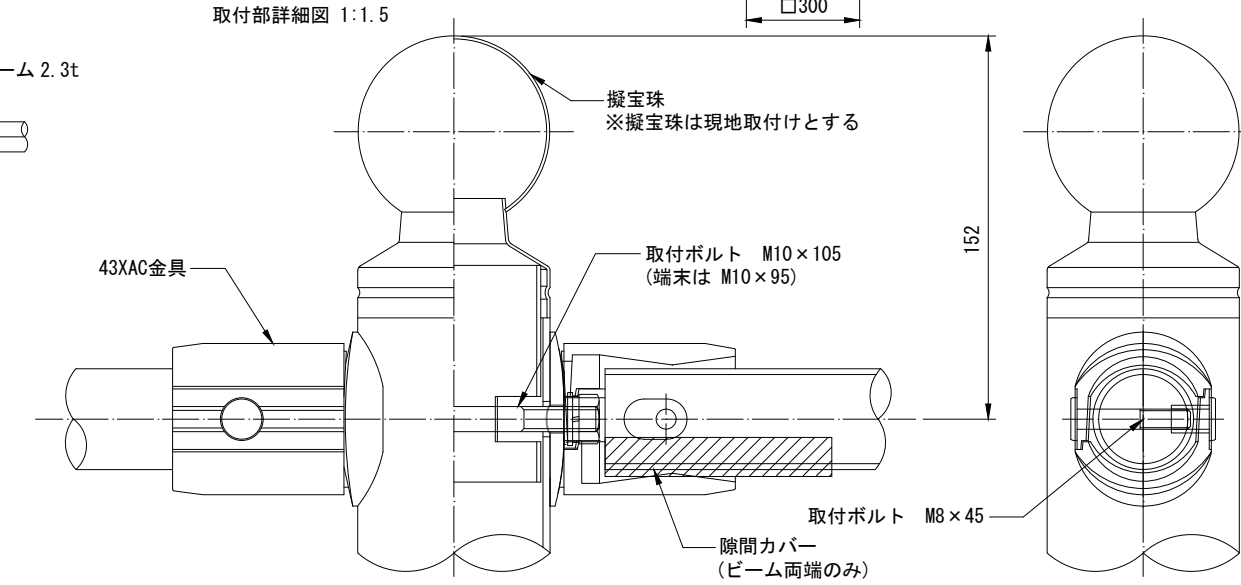
取付ボルト M12×30  
ナットアンカー M12  
(ドリル径φ18, 深さ55mm)



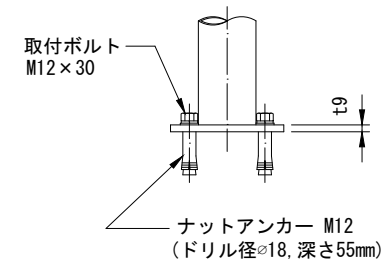
支柱図 1:5



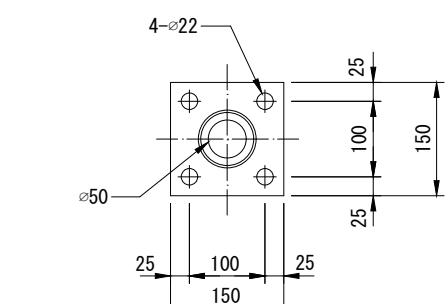
支柱  
φ76.3×t2.8



隙間カバー詳細図 1:1.5

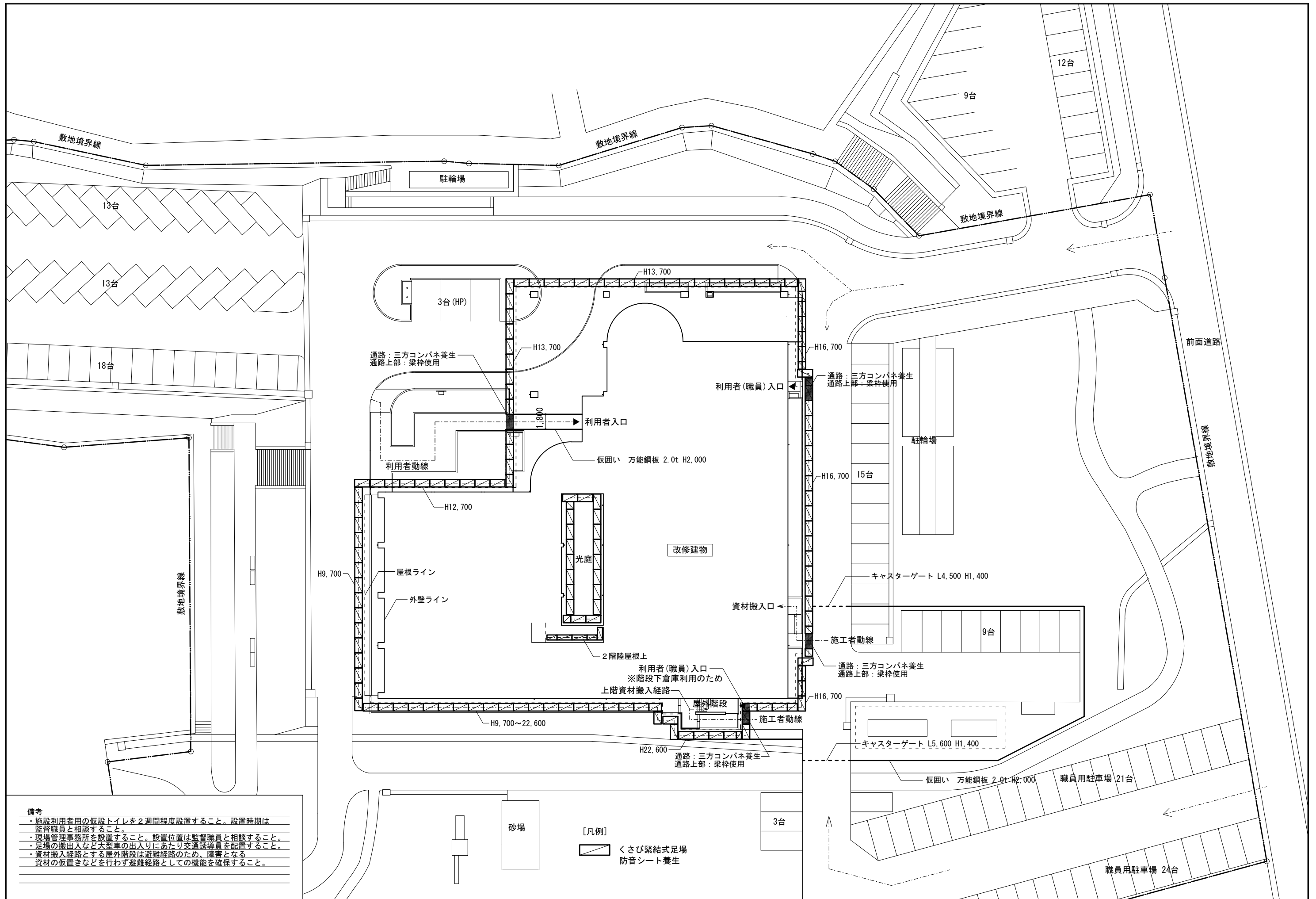


ナットアンカー M12  
(ドリル径φ18, 深さ55mm)



ベースプレート詳細図 1:5

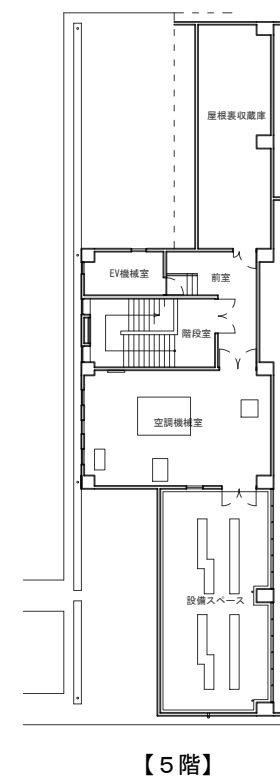
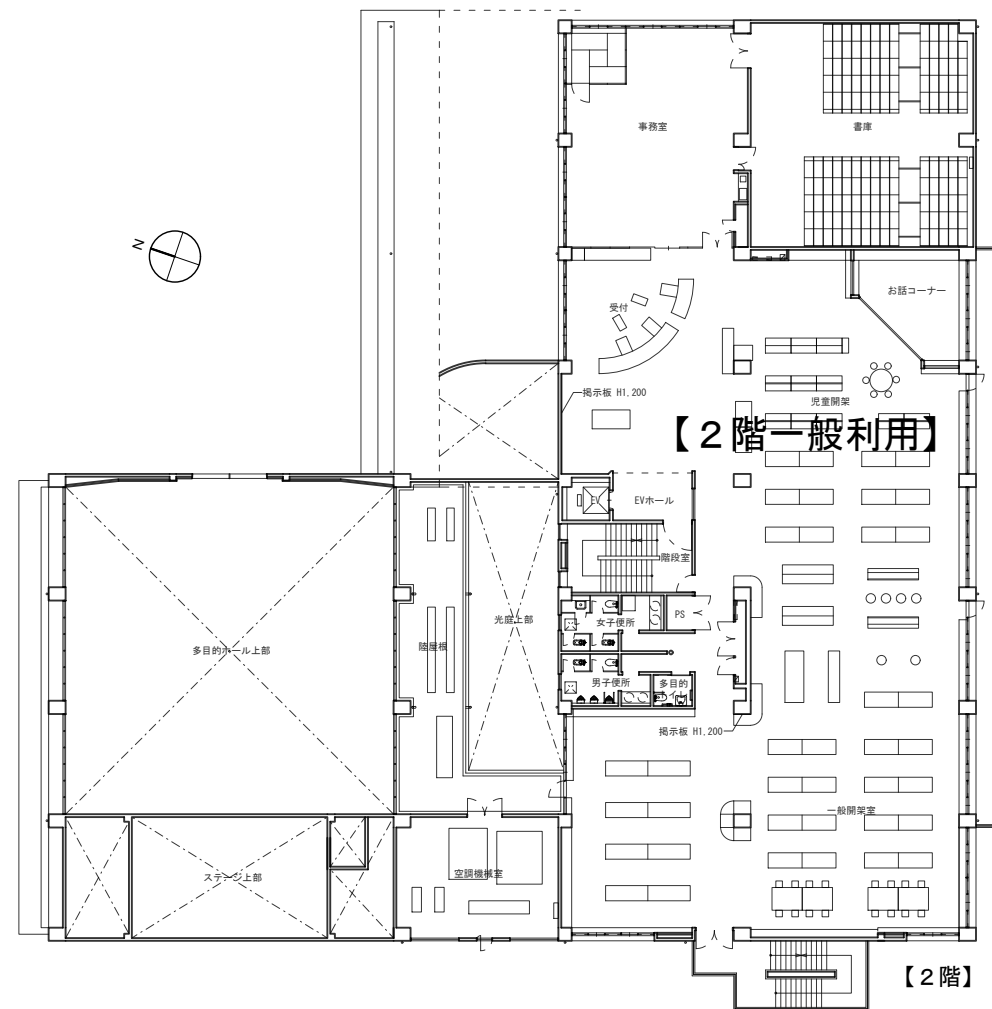
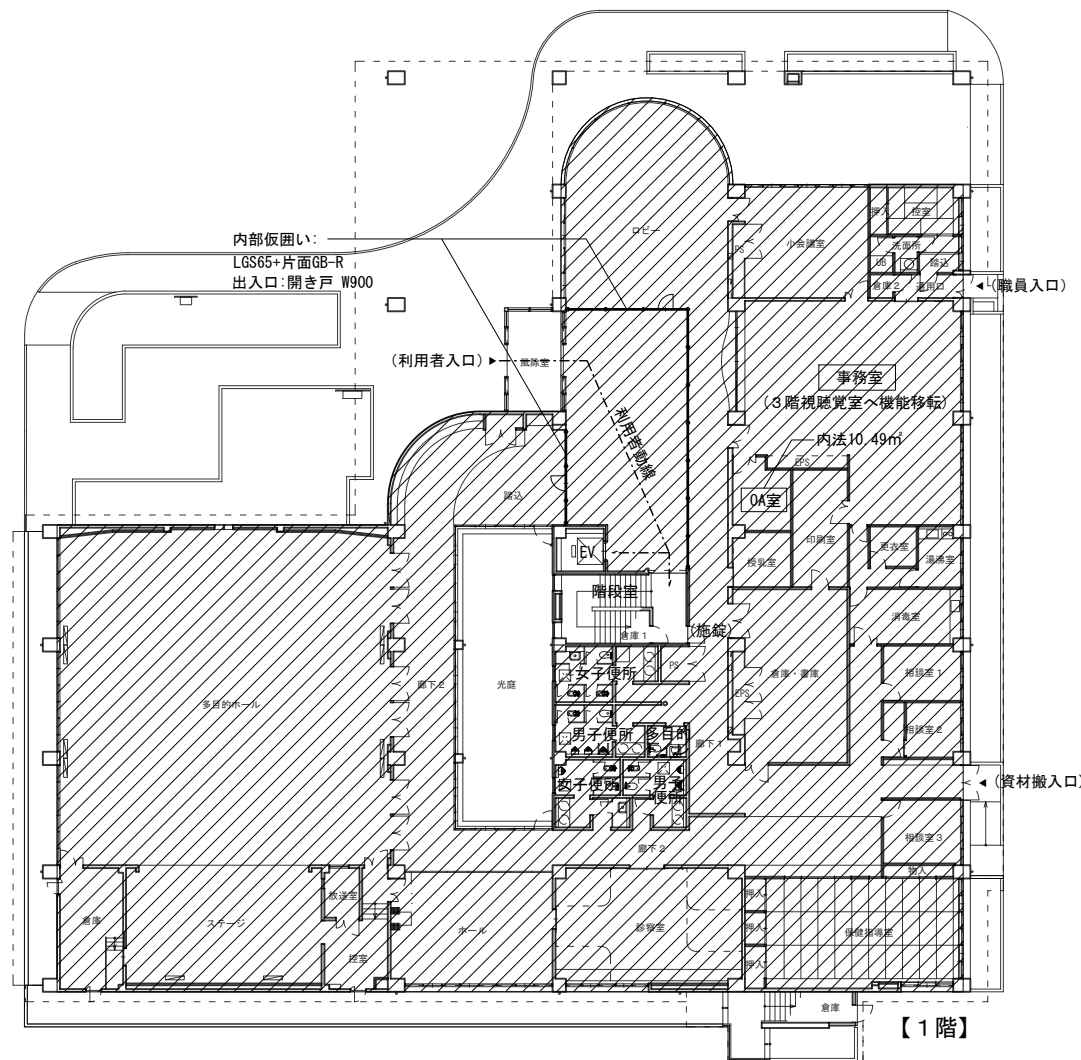
品名	材質	摘要
支柱	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
ビーム	SGH490	亜鉛めっき+静電粉体塗装
格子	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
擬宝珠	SGCC	亜鉛めっき+静電粉体塗装
43XAC金具	アルミ合金	焼付塗装
取付ボルト	SUS	SUS304 テンパー処理 M8×45
取付ボルト	4.6相当	M10×105
取付ボルト	4.6相当	M10×95
ナットアンカー		溶融亜鉛めっき M12
取付ボルト	4.6相当	溶融亜鉛めっき M12×30
隙間カバー	エラストマー	



備考  
 ・施設利用者用の仮設トイレを2週間程度設置すること。設置時期は監督職員と相談すること。  
 ・現場管理事務所を設置すること。設置位置は監督職員と相談すること。  
 ・足場の搬出入など大型車の出入りにあたり交通誘導員を配置すること。  
 ・資材搬入経路とする屋外階段は避難経路のため、障害となる資材の仮置きなどを行わず避難経路としての機能を確保すること。

[凡例]  
 くさび緊結式足場  
 防音シート養生

変更履歴	月、日	月、日	工事名称	図面名称	縮尺	管理No.
			シーオーレ新宮大規模改修工事	外部仮設計画図(参考)	A1 1:200 A3 1:400	60-030
				担当者	日付	図面No.
				管理技術者 大林 健二 一級建築士 第308950号	2026年3月	A / 104
				照査技術者 林田 祥太郎 一級建築士 第395282号		
				担当者 寺川 隆史 一級建築士 第389712号		



**【1階施工時】**

- ・事務室の残置物に対してシート養生をする。
- ・OA室内の残置物 (AV機器) に対して合板+シート養生をする。
- ・事務室機能の移転 (備品運搬など) を行う。
- ・施工範囲内に利用者動線が通る部分は施設開館時間 (8:30~22:00) 外に施工を行う。

凡例

- 施工範囲
- 仮設間仕切 B種

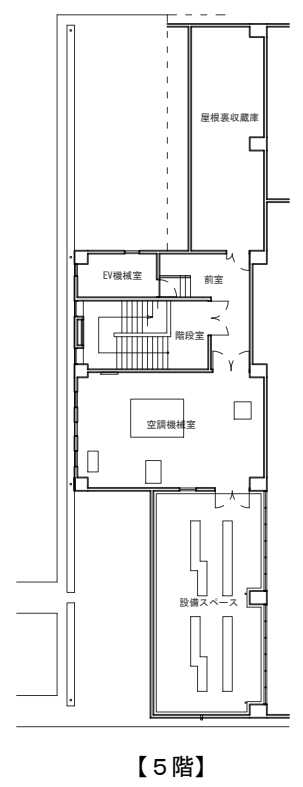
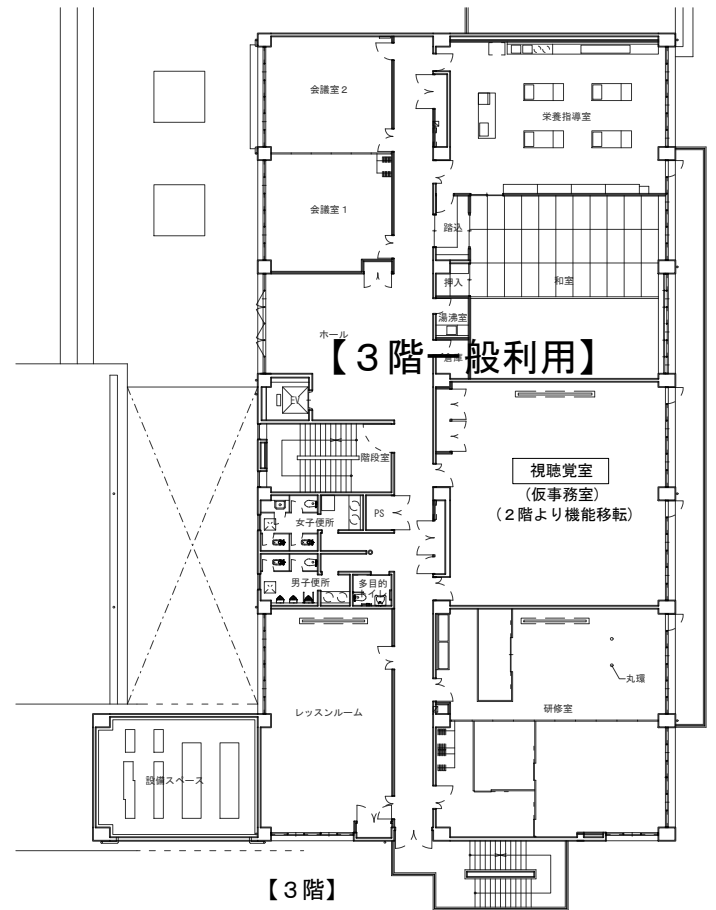
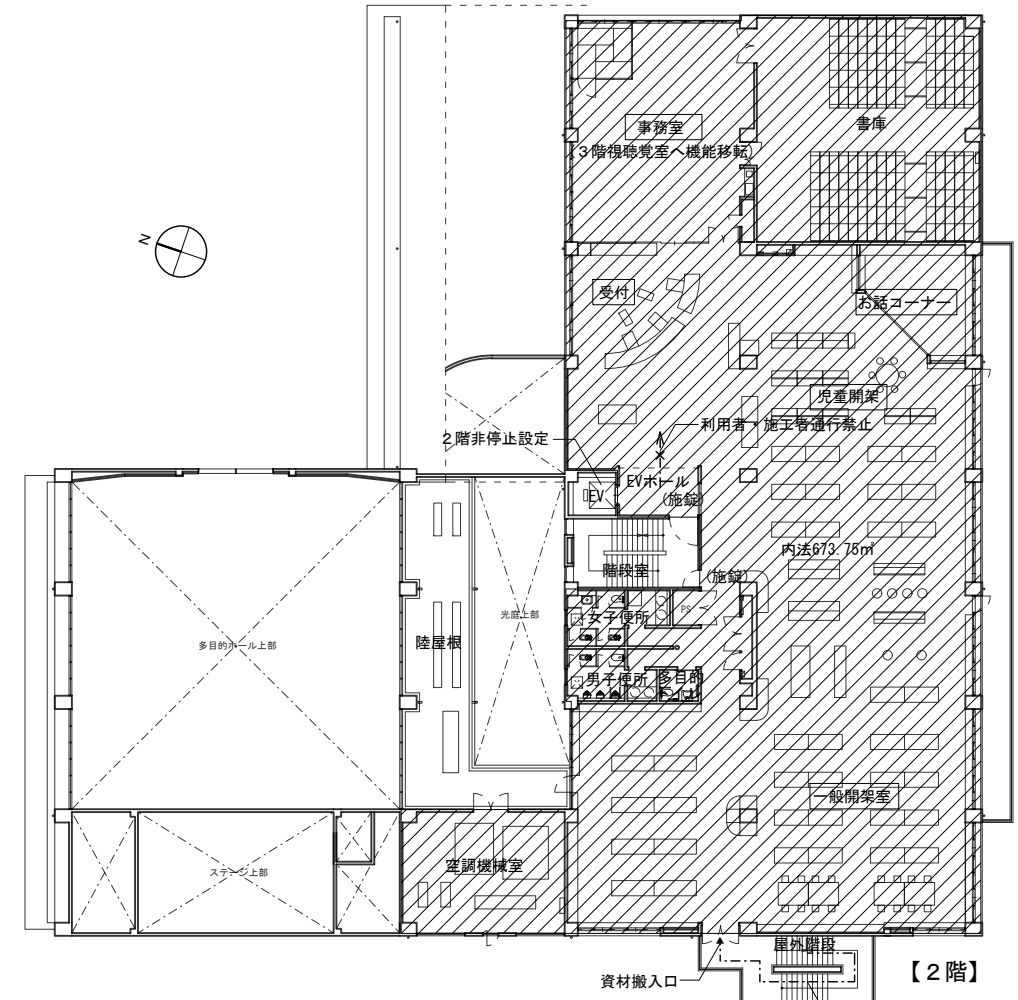
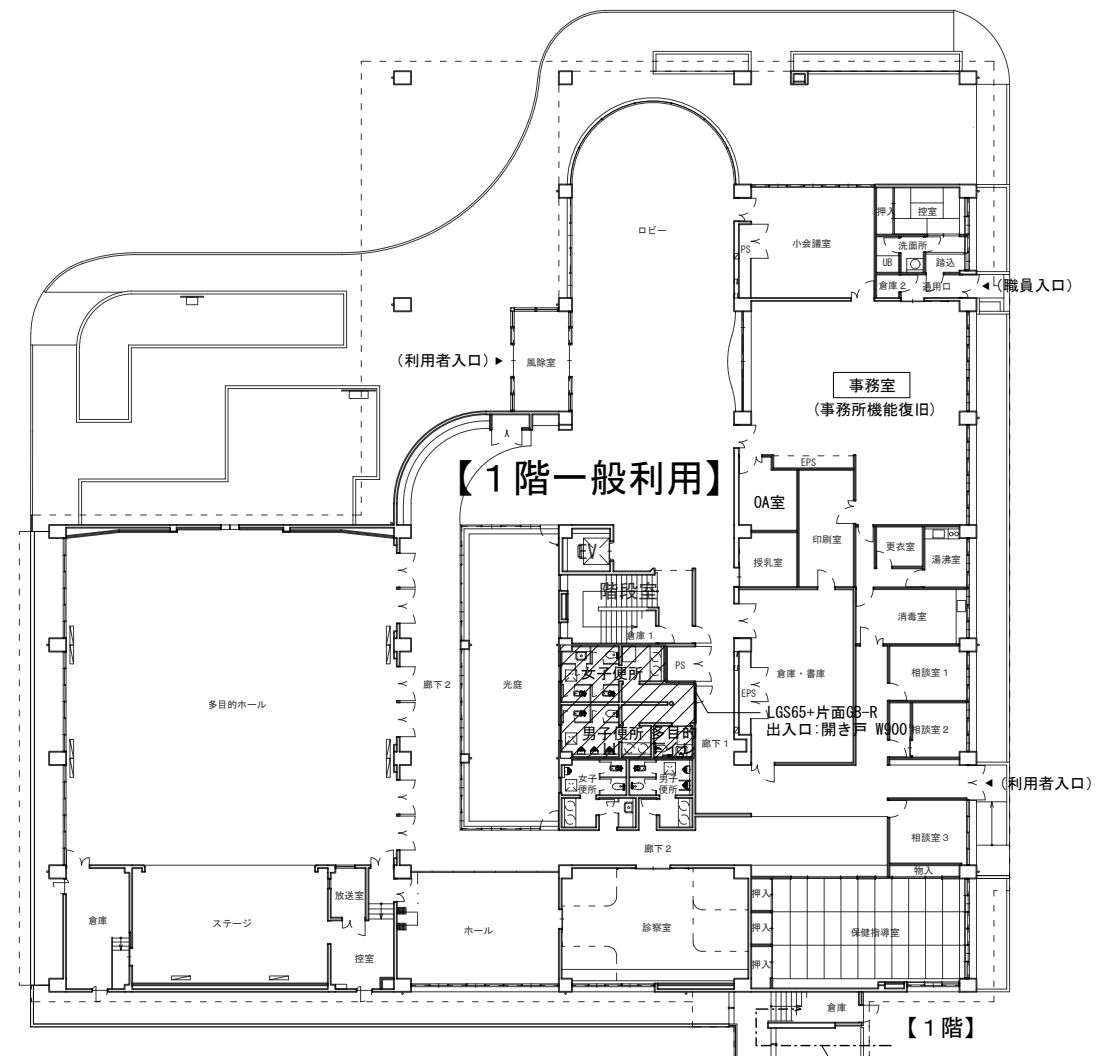
変更履歴	月. 日	月. 日

工事名称	シーオーレ新宮大規模改修工事
------	----------------

株式会社	阿波設計事務所九州支店
一級建築士事務所	福岡県知事登録第1-60917号
管理建築士	一級建築士 第109706号 木下智矢

図面名称	内部仮設計画図 (参考・1階施工時)
担当者	管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号
	照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号
	担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号

縮尺	A1 1:200 A3 1:400	管理No.	60-030
日付	2026年3月	図面No.	A / 105

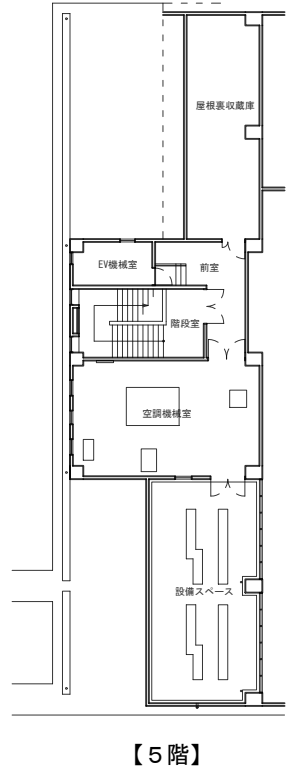
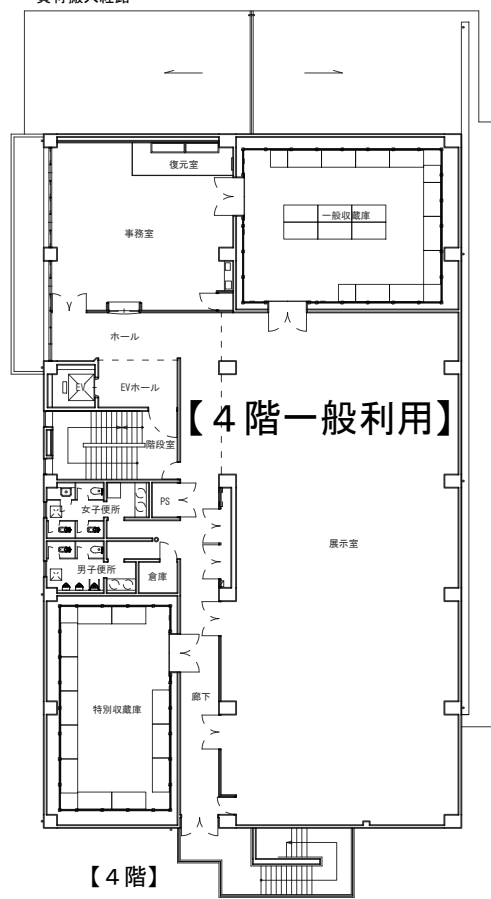
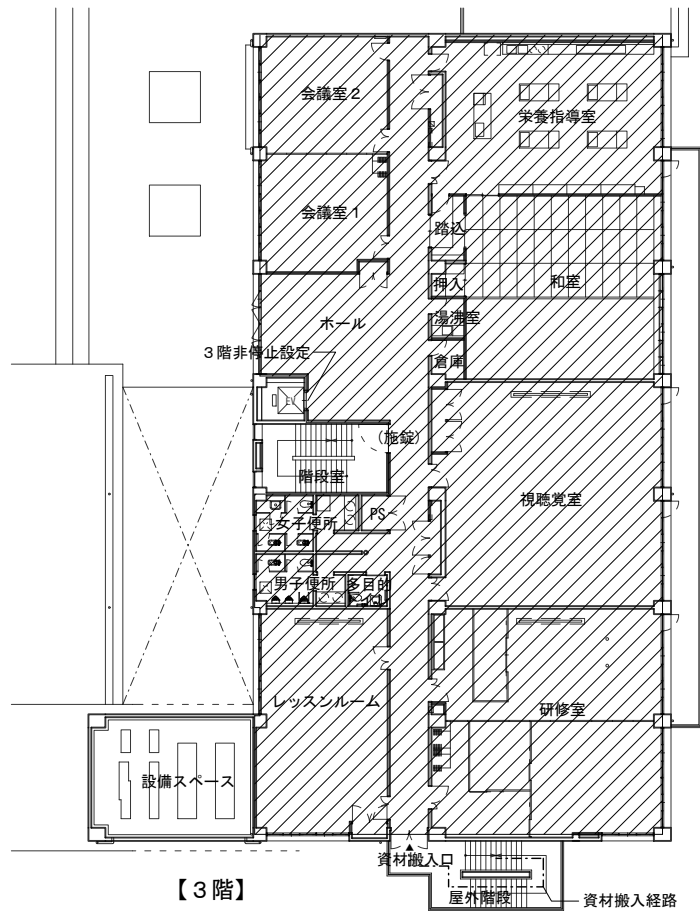
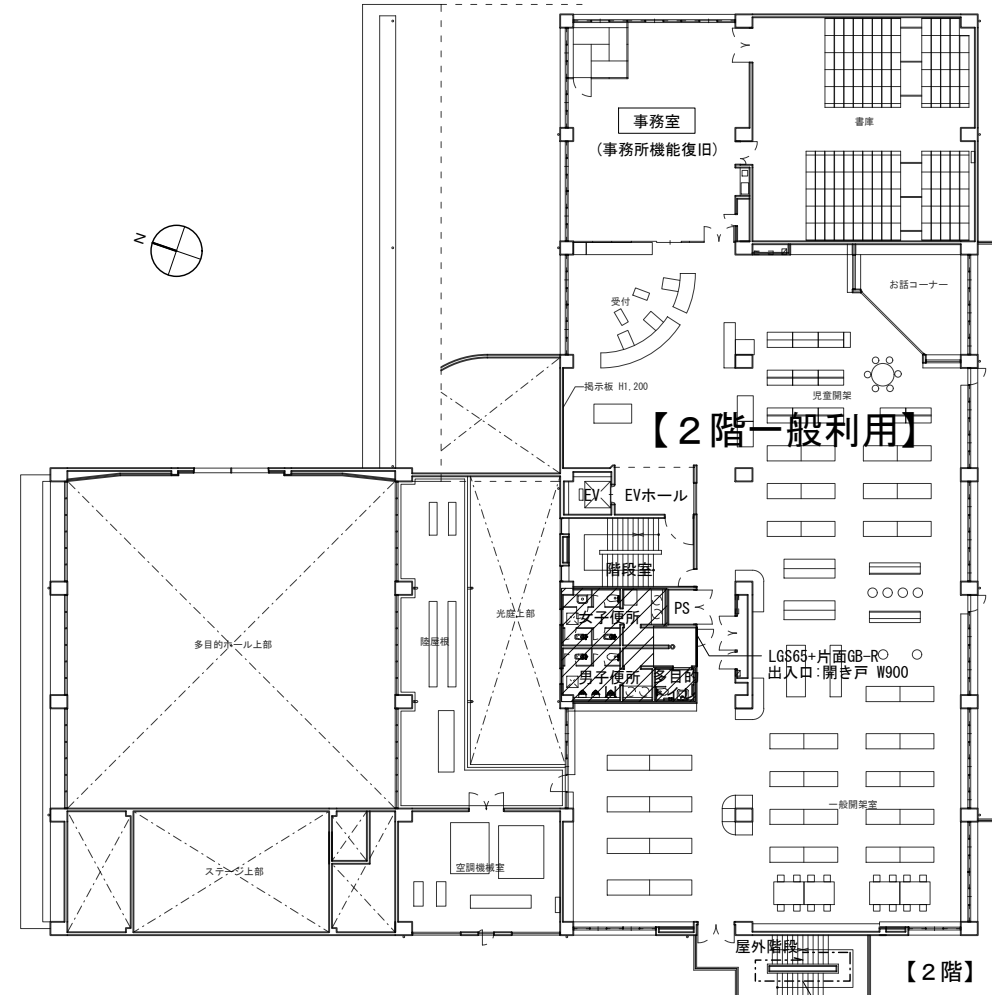
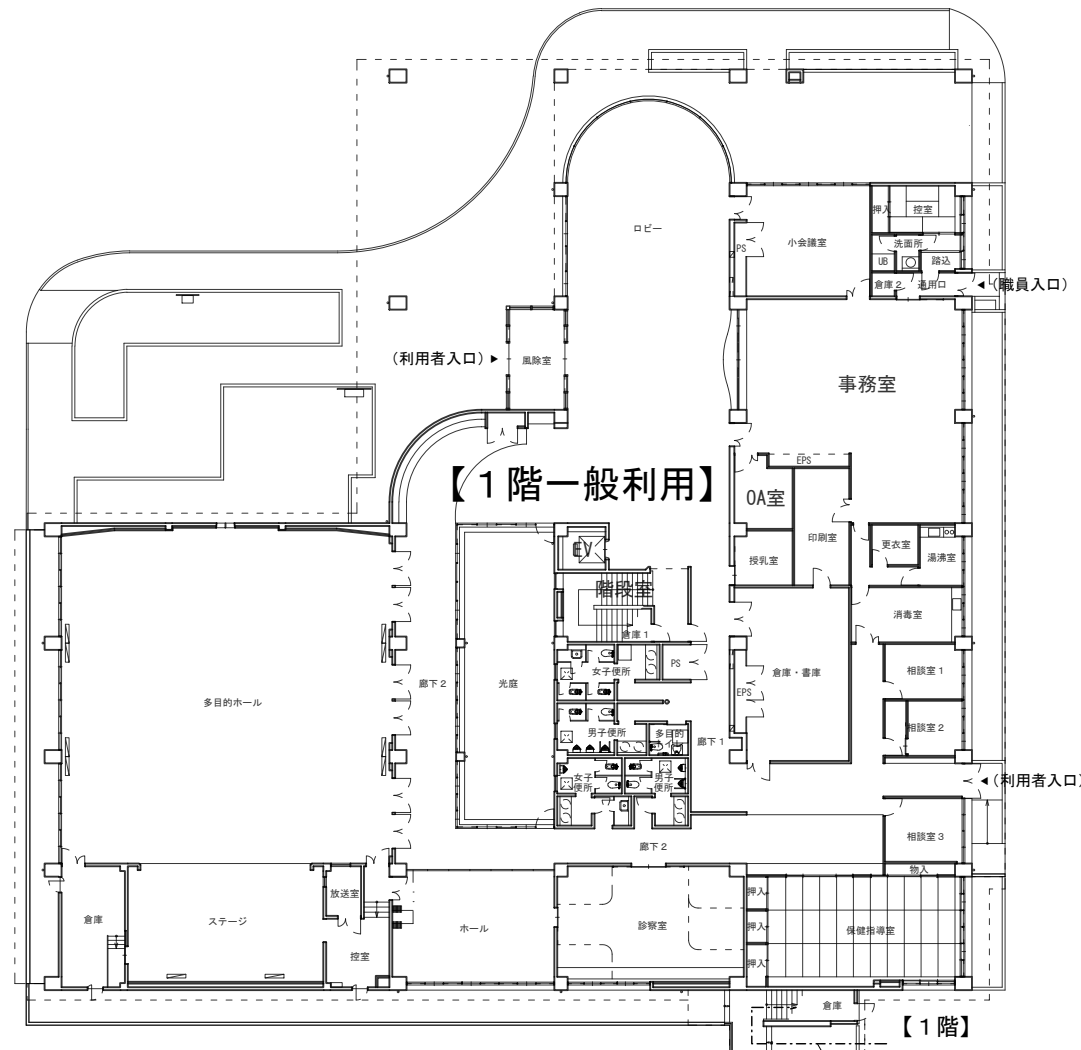


**[2階施工時]**

- ・2階事務室の残置物に対してシート養生をする。
- ・事務室機能の移転・復旧（備品運搬など）を行う。
- ・資材搬入経路とする屋外階段は避難経路のため、障害となる資材の仮置きなどを行わず避難経路としての機能を確保すること。
- ・2階受付、お話しコーナー、児童開架、一般開架室、書庫の書架・棚・絵本架に対して合板+シート養生をする。

凡例  
 施工範囲  
 仮設間仕切 B種

変更履歴	月、日	月、日	工事名称	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下哲矢	図面名称	内部仮設計画図（参考・2階施工時）	縮尺	A1 1:200 A3 1:400	管理No.	60-030	
			シーオーレ新宮大規模改修工事		担当者	管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号			日付	2026年3月	
						照会技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号				図面No.	A / 106
						担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号					



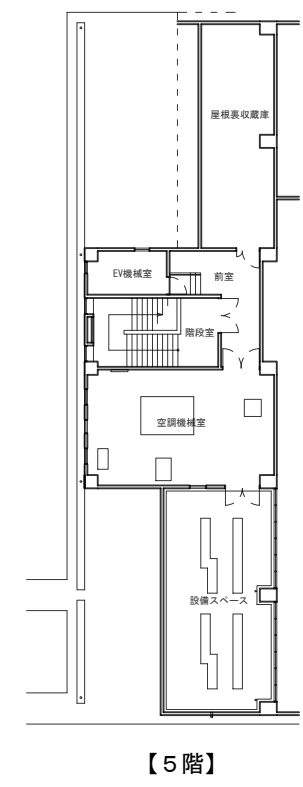
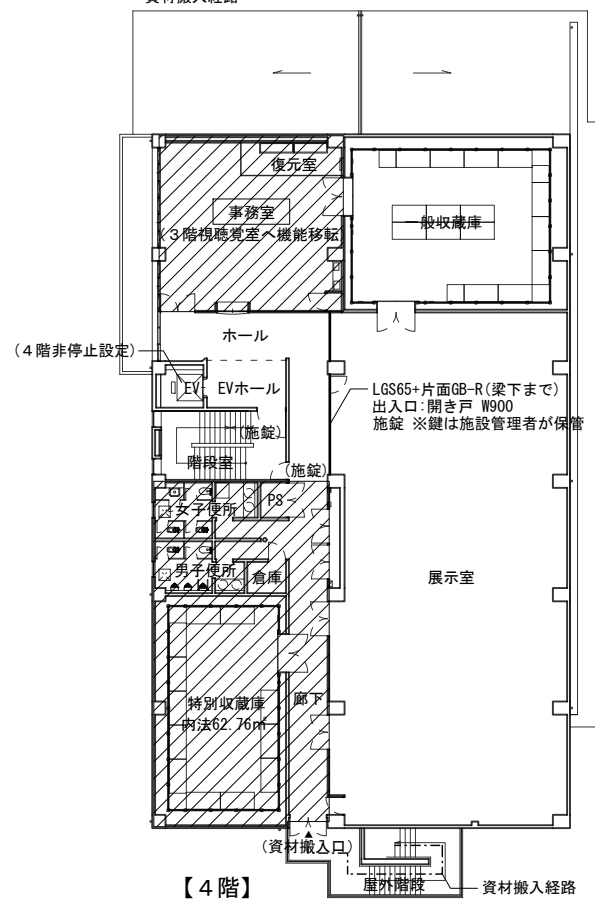
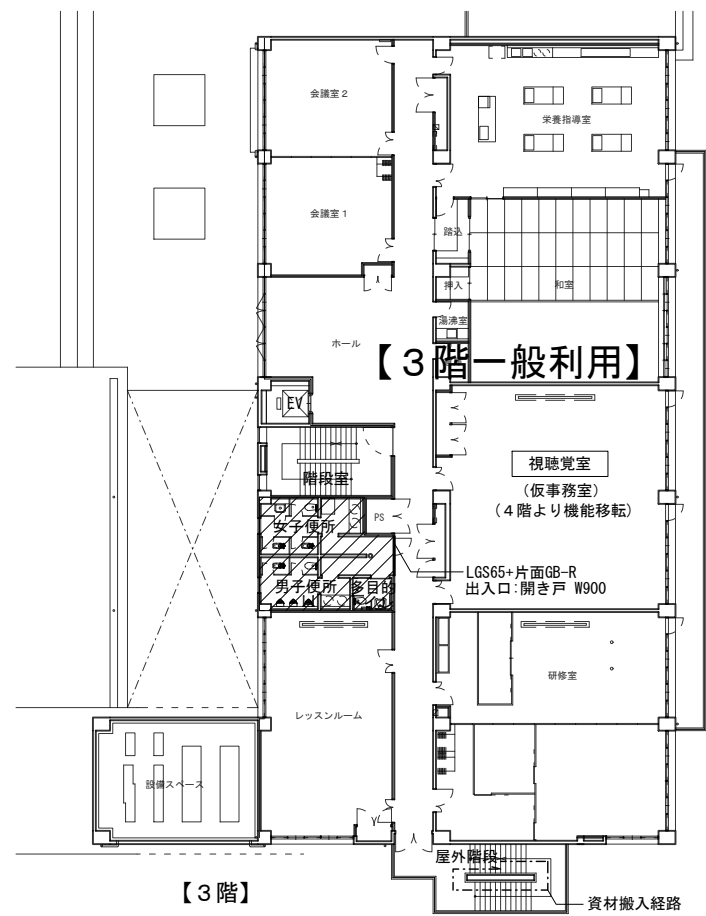
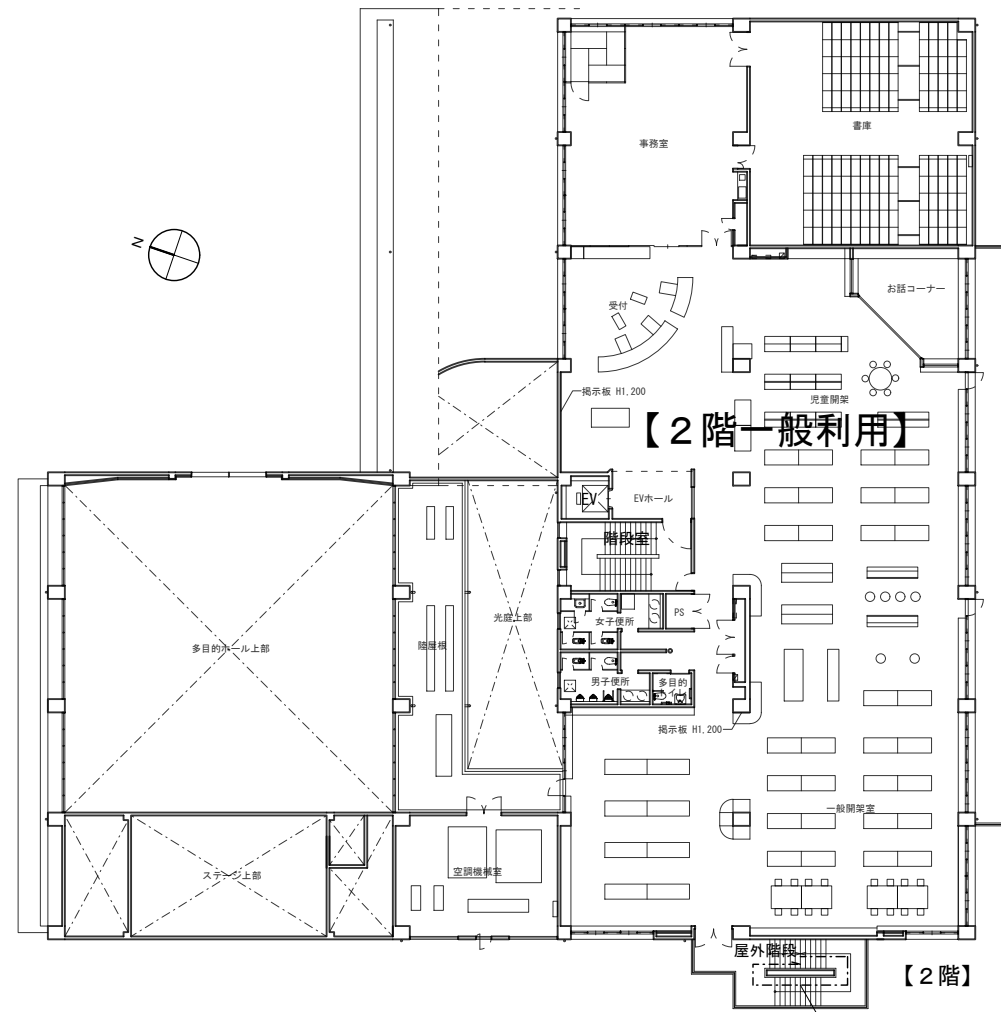
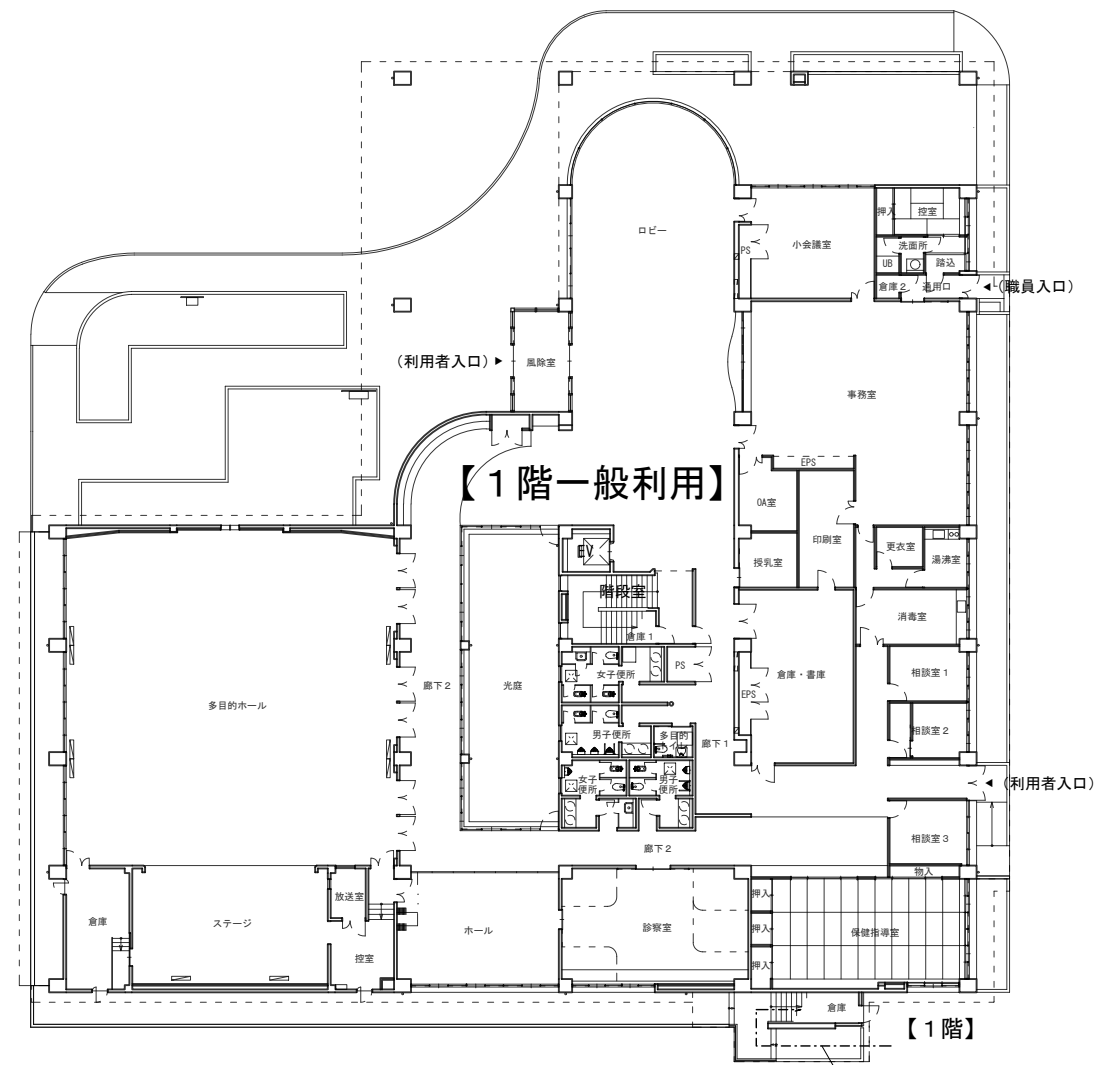
【3階施工時】

- ・事務室機能の移転・復旧（備品運搬など）を行う。
- ・資材搬入経路とする屋外階段は避難経路のため、障害となる資材の仮置きなどを行わず避難経路としての機能を確保すること。

凡例



- （斜線） 施工範囲
- （破線） 仮設間仕切 B種


変更履歴	月、日	月、日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下智矢	図面名称 内部仮設計画図（参考・3階施工時）	縮尺 A1 1:200 A3 1:400	管理No. 60-030
					担当者 管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号 照査技術者 林田祥太郎 一級建築士第395282号 担当者 寺川隆史 一級建築士第389712号	日付 2026年3月	図面No. A / 107



**【4階施工時】**

- ・4階事務室内の残置物に対してシート養生をする。
- ・事務室機能の移転・復旧（備品運搬など）を行う。
- ・4階特別収蔵庫内棚に対して台板+シート養生をする。
- ・4階特別収蔵庫内の物品は発注者の手によって展示室に移動する。
- ・資材搬入経路とする屋外階段は避難経路のため、障害となる資材の置きなどを行わず避難経路としての機能を確保すること。

凡例  
 施工範囲  
 仮設間仕切 B種

変更履歴	月 日	月 日	工事名称 シーオーレ新宮大規模改修工事	 株式会社 阿波設計事務所九州支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-60917号 管理建築士 一級建築士 第109706号 木下智矢	図面名称 内部仮設計画図（参考・4階施工時）	縮尺 A1 1:200	管理No. 60-030
						担当者 管理技術者 大林健二 一級建築士第308950号	